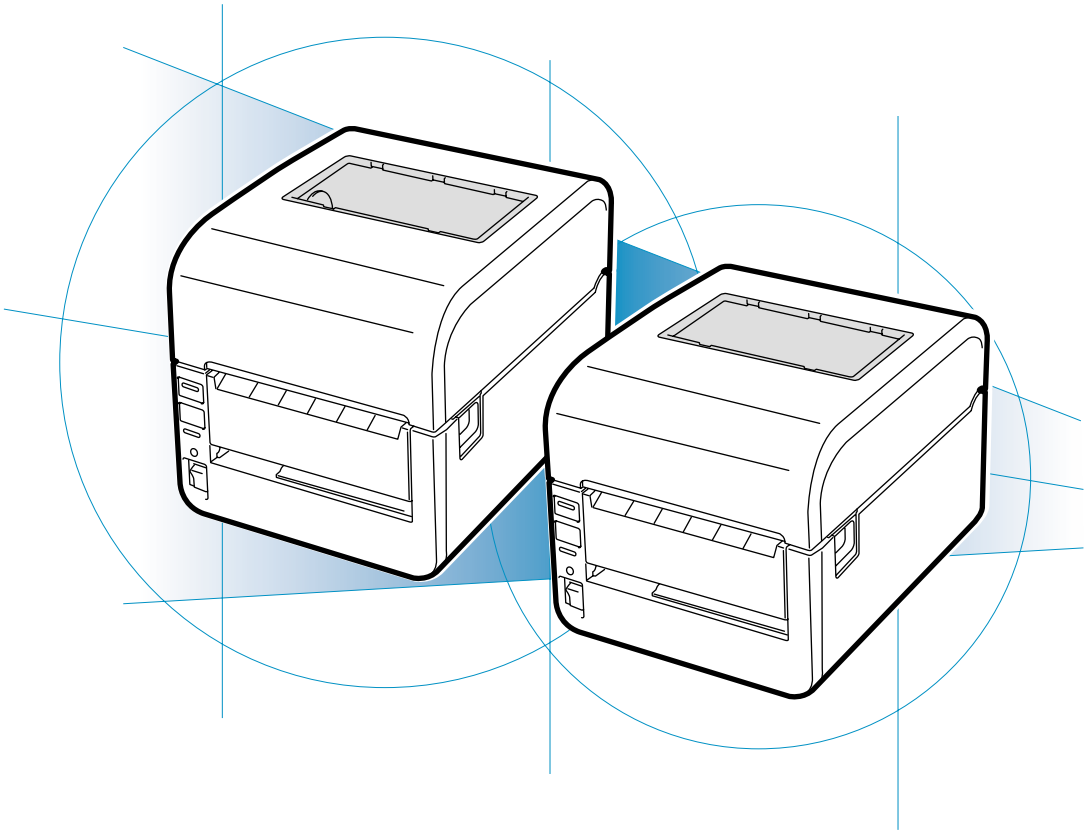
NEC

MultiCoder 502L シリーズ

ラベルプリンター　オンラインマニュアル



853-810932-013-A
第5版

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置くことをお勧めします。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。

このマニュアルにはプリンターのどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、プリンター内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

このマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

警告	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
注意	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」「行為の禁止」「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起

注意の喚起は、「 △ 」の記号を使って表示されています。この記号は、指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	発煙または発火のおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		体内に入れると有害な物質であることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

行為の禁止は「🚫」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		お子様を近づけないでください。**けが**をするおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。**けが**をするおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。**感電**のおそれがあります。		電源プラグを中途半端に差し込まないでください。**火災**のおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。**感電**するおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。**感電や火災**のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと**感電や発火**のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による**感電や火災**のおそれがあります。
	製品の近くで火器類を扱わないでください。**火災**の原因となるおそれがあります。		手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれて**けが**をするおそれがあります。
	直射日光を避けてください。**発火**のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の禁止を示します。
	破損した電源コードは使わないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。		電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。**火災や漏電**のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して**火災や感電**のおそれがあります。		アース線を接続してください。万一漏電した場合に**感電や火災**のおそれがあります。
	電源コードは添付のものを使ってください。専用品を使わないと**感電や火災**のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の強制を示します。

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
	この注意事項を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
	この注意事項を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴは日本電気株式会社の登録商標です。
MultiCoderはNECエンベデッドプロダクツ株式会社の登録商標です。
PrinterSignalStationはNECソフト株式会社の登録商標です。
LabelStar、BarStarはアイニックス株式会社の登録商標です。
DynaFontはDynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
SVF: Super Visual Formade、RDE: Report Director Enterpriseはウィングアークテクロジーズ株式会社の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。
Windows 8 はMicrosoft Windows 8 operating system、Microsoft Windows 8 Pro operating systemおよびMicrosoft Windows 8 Enterprise operating systemの略です。
Windows 7はMicrosoft Windows 7 Ultimate operating systemおよびMicrosoft Windows 7 Enterprise operating system、Microsoft Windows 7 Business operating system、Microsoft Windows 7 Home Premium operating system、Microsoft Windows 7 Starter operating systemの略です。
Windows VistaはMicrosoft Windows Vista Ultimate operating systemおよびMicrosoft Windows Vista Enterprise operating system、Microsoft Windows Vista Business operating system、Microsoft Windows Vista Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista Home Basic operating systemの略です。
Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。
Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。
Windows Server 2003 はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard Edition、Microsoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Edition Microsoft Windows Server 2003 R2 operating system, Standard Editionおよび Microsoft Windows Server 2003 R2 operating system, Enterprise Editionの略です。
Windows Server 2008は、Microsoft Windows Server 2008 operating system, Standard 日本語版、Windows Server 2008 operating system, Enterprise 日本語版、Microsoft Windows Server 2008 R2 operating system, Standard 日本語版および Windows Server 2008 R2 operating system, Enterprise 日本語版の略です。
Windows Server 2012は、Microsoft Windows Server 2012 operating system, StandardおよびMicrosoft Windows Server 2012 operating system, Essentialsの略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

© NEC Corporation, NEC Embedded Products, Ltd. 2008-2013
日本電気株式会社、NECエンベデッドプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本マニュアルは、NECラベルプリンター「MultiCoder 502L」シリーズ（以降、「本プリンター」と呼びます）を正しくお使いいただくための手引き書です。
本マニュアルには本プリンターの操作に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。
なお、ユーザーズマニュアルではプリンターを初めてお使いになるときの手順や日常の保守、「故障かな？」と思ったときの処置方法やプリンタードライバーなど添付ソフトウェアのインストール方法が記載されています。併せてご利用ください。

マニュアルの構成

本マニュアルの構成は次のとおりです。

第1章　プリンタードライバー

本プリンターのプリンタードライバーのインストール方法、およびプリンタードライバーを使った印刷の手順や印刷の詳細な設定方法について説明しています。

第2章　リモートパネル

リモートパネルのインストール方法、およびリモートパネルの使い方や設定の変更方法について説明しています。

第3章　PrinterSignalStation for ラベルプリンタ

PrinterSignalStationのインストール方法、およびPrinterSignalStationの使い方や設定の変更方法について説明しています。

第4章　プリンタドライバー括設定ツール

本プリンターに添付のソフトウェアCD-ROMに含まれている「ドライバー括設定ツール」の使用方法について説明しています。

第5章　バンドルソフトウェア

本プリンターに添付のソフトウェアCD-ROMに含まれているBarStar ProとLabelStar Liteのインストール方法およびアンインストール方法を説明しています。

第6章　リストバンドの印刷方法

リストバンドの印刷方法を説明しています。リストバンドは、病院などで患者さんの腕に着けるなどさまざまな用途で使用することができます。

第7章　オプション

本プリンター用のオプションの取り付け手順について説明しています。

第8章　用紙規格と印刷範囲

本プリンターで使用できる用紙と印刷範囲の説明、および用紙の取り扱いに関する注意事項、および印刷の手順について説明しています。

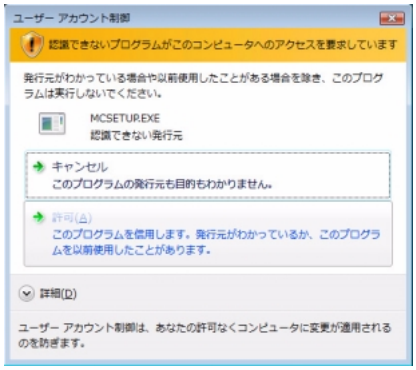
付録　技術情報

本プリンターの仕様および本プリンターがサポートするインターフェースの仕様を載せています。

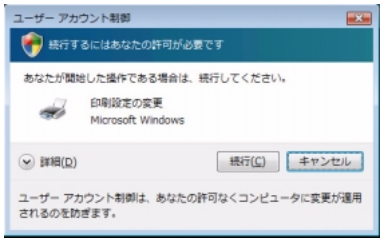
プリンターソフトウェアについて
～インストール／アンインストール前の注意事項～

本プリンターに添付のソフトウェアCD-ROMに収録されたプリンターソフトウェアのインストールまたはアンインストールをする前の注意事項について説明します。
基本的な操作およびセットアップについては各OSに添付のマニュアルなどをご覧ください。

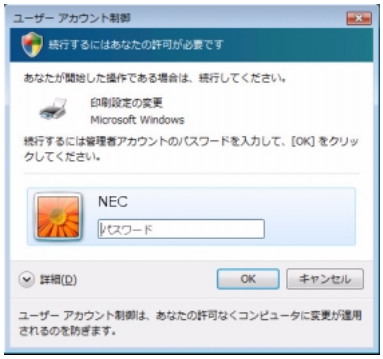
- 操作中に［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または［許可］（または［続行］）の操作をして先に進んでください。



ソフトウェアCD-ROMをセットしたときの表示例



コンピューターの管理者の場合の表示例

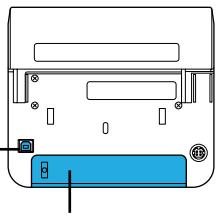


標準ユーザーの場合の表示例

- 他のユーザーがお使いのコンピューターにログオンしている場合、プリンターソフトウェアのインストールは行えません。各ユーザーに切り替えてログオフしてからインストールを行ってください。
- プリンターソフトウェアをインストール（またはアンインストール）する場合は、実施者が「コンピュータの管理者」である必要があります。
- プリンターソフトウェアをインストール（またはアンインストール）する場合は、実施者が「Administrators」「DomainAdmins」または「Power User」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、インストール（またはアンインストール）を行うことはできません。
- プリンタードライバーをインストール（またはアンインストール）する前にすべてのアプリケーションを終了させてください。
- 添付のソフトウェア CD-ROMは、CD-ROM をドライブにセットするだけで自動的にメニュープログラムを起動させる機能を持っています。自動的にメニュープログラムが起動しない場合は、CD-ROM内のルートディレクトリーにあるMCSETUP.EXEを実行してください。
- プリンタードライバーは印刷中にアンインストールを行うことはできません。印刷が終了してからアンインストールを行ってください。
- プリンターに標準装備のUSBインターフェースを使用する場合は、プリンターのDIP SWの設定を確認してください。



DIP SW10
OFF：インターフェースボードのインターフェースを使用する（工場出荷時の設定）
ON： 本体の USB インターフェースを使用する



インターフェースボード装着部に装着されているインターフェースを使用する場合は「OFF」にする。

本体標準装備のUSBインターフェースを使用する場合は「ON」にする。

目　次

安全にかかわる表示 ii

はじめに v

マニュアルの構成 v

プリンターソフトウェアについて
～インストール／アンインストール前の注意事項～ vi

安全にお使いいただくために..... 1

警告ラベルについて 1

安全上のご注意 2
無線 LAN（電波）について 2
プリンター（プリントサーバー・無線 LAN）について 4

1章　プリンタードライバー..... 11

プリンタードライバーのインストール 12
インストーラーを使う 14
プリントサーバーを装着している場合について 14
Windows 8/Server 2012 日本語版の場合 15
Windows 7/Vista/Server 2008 日本語版の場合 19
Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 日本語版の場合 23
プラグ・アンド・プレイによるインストール 27
Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 日本語版 27
Windows XP/Windows Server 2003 日本語版 31
Windows 2000 日本語版 33

プリンタードライバーの削除（アンインストール） 35

印刷の手順 37

プリンタードライバーの選択 39

印刷先の変更 41
USB インターフェースへの切り替え 42
LAN インターフェースへの切り替え 44
パラレルインターフェースへの切り替え 46
RS-232C インターフェースへの切り替え 48

共有プリンターに設定する 50

印刷の詳細設定 53
［プロパティ］ダイアログボックスを開く 54
［スタート］ボタンを使って呼び出す 54
アプリケーションを使って呼び出す 57
［印刷設定］ダイアログボックスで詳細設定を行う（［レイアウト］シート） 59
［詳細オプション］ダイアログボックス 61
［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う 69

ユーザー定義用紙サイズの登録 72
用紙サイズについて 72
登録手順 74

印刷の指示 78
印刷の種類と方法 78
連続印刷 79
プリンタードライバーの設定を使用する場合 79
プリンタードライバーの設定を使用しない場合 81
カット印刷 82
カット印刷をする 82
カッターモジュールを付けたまま連続印刷をする 85
ハクリ印刷 87
ハクリ印刷をする 87
ハクリモジュールを付けたまま連続印刷をする 90

プリンター制御フォントの使用方法 93
プリンタードライバーの設定 93
アプリケーションでの指定方法 96
「NEC プリンタ制御」フォントを使ったカット指定 98
CT（任意のページでカットする） 98
~（任意ページの複部数印刷後にカットする） 99
「NEC プリンタ制御（ファイル）」フォントを使ったカット指定 100

プリンタードライバーに関する問題一覧 101

2章　リモートパネル 103

リモートパネルのインストールとアンインストール 104
リモートパネルのインストール 104
リモートパネルの削除（アンインストール） 105

リモートパネルの起動 107

リモートパネルの使い方 108
システムメニュー 108
メニューバー 109
ツールバー 112
プロパティシート 114

設定変更手順 124

アプリケーションプログラムインターフェース（API） 125

リモートパネルが正しく動作しないときは 126

3章 PrinterSignalStation for ラベルプリンタ..... 127

PrinterSignalStationの使用できる環境 128

PrinterSignalStationのインストールとアンインストール 129
- PrinterSignalStation のインストール 129
- PrinterSignalStation の削除（アンインストール） 132

PrinterSignalStationに関する注意事項 134
- PrinterSignalStation を動作させる前に 134
- 転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境についてのご注意 134

ソフトウェアの起動 135
- タスクトレイアイコン 135
- バルーンポップアップ 136
- メニューの起動 138
  - ［左クリック］ 138
  - ［右クリック］ 140
- プリンター一覧 142
- 状　態 142
- 環境設定 143
- リモートパネルの起動 148
- ヘルプを見る 149
- トレイアイコン 150
- ステータス 150

PrinterSignalStationが正しく動作しないときは 151

アプリケーションプログラムインターフェース（API） 157

4章 プリンタドライバー括設定ツール..... 159

動作環境 160

制限事項・注意事項 161

起動方法 162

準　備 163
- プリンターの追加 163
- 用紙情報の取得 165
- プリンター設定の取得 166

展　開 168
- 用紙の追加 168
- プリンターの追加 169
- プリンター設定の更新 170

5章 バンドルソフトウェア..... 173

BarStar Pro 174
- BarStar Pro のインストール 174
- BarStar Pro の削除（アンインストール） 176

LabelStar Lite 177
- LabelStar Lite のインストール 177
- LabelStar Lite の削除（アンインストール） 180

MultiCoder SDK 182

6章 リストバンドの印刷方法... 183

リストバンドに印刷できるモデルとリストバンドの種類 184

リストバンドの印刷方法 185
- リストバンドの有効印刷部 186
- ユーザー定義用紙サイズの登録 187
- リボンを取り付ける 189
- リストバンド（用紙）をセットする 191
  - センターリブの確認 191
  - リストバンドのセット 191
- センサーしきい値を調整する 193
- 連続印刷でリストバンドに印刷する 195
  - プリンタードライバーの設定を使用する場合 195
  - プリンタードライバーの設定を使用しない場合 197
- リストバンドの印刷濃度推奨設定 199

7章 オプション..... 201

オプションの紹介 202

カッターモジュール 204
- 付属品 204
- 取り付け／取り外し手順 206
- 用紙のセット 209

ハクリモジュール 210
- 付属品 210
- 取り付け／取り外し手順 211
- 用紙のセット 214
  - ハクリ印刷の場合 214
  - ハクリモジュールを付けたまま連続印刷の場合 215

ペーパーテーブル（L） 216
- 付属品 216
- 取り付け／取り外し手順 216

8章　用紙規格と印刷範囲 219

自動用紙先頭位置合わせ機能 220
使用できる用紙 220
リボン一覧 221
リボン幅と用紙幅の適合表 221
連続印刷（自動カット位置送り対応）ラベル紙 222
連続印刷（自動カット位置送り非対応）ラベル紙 223
連続印刷（自動カット位置送り対応）タグ紙 224
連続印刷（自動カット位置送り非対応）タグ紙 225
カット印刷（フルカット）ラベル紙 226
カット印刷（フルカット）タグ紙 227
カット印刷（パーシャルカット）タグ紙 228
ハクリ印刷ラベル紙 229
タグ・ラベルの印刷保証範囲 230
プレ印刷用紙に関する注意 231
印刷濃度推奨設定 232
用紙・リボンの保管上の注意 233

付録　技術情報 235

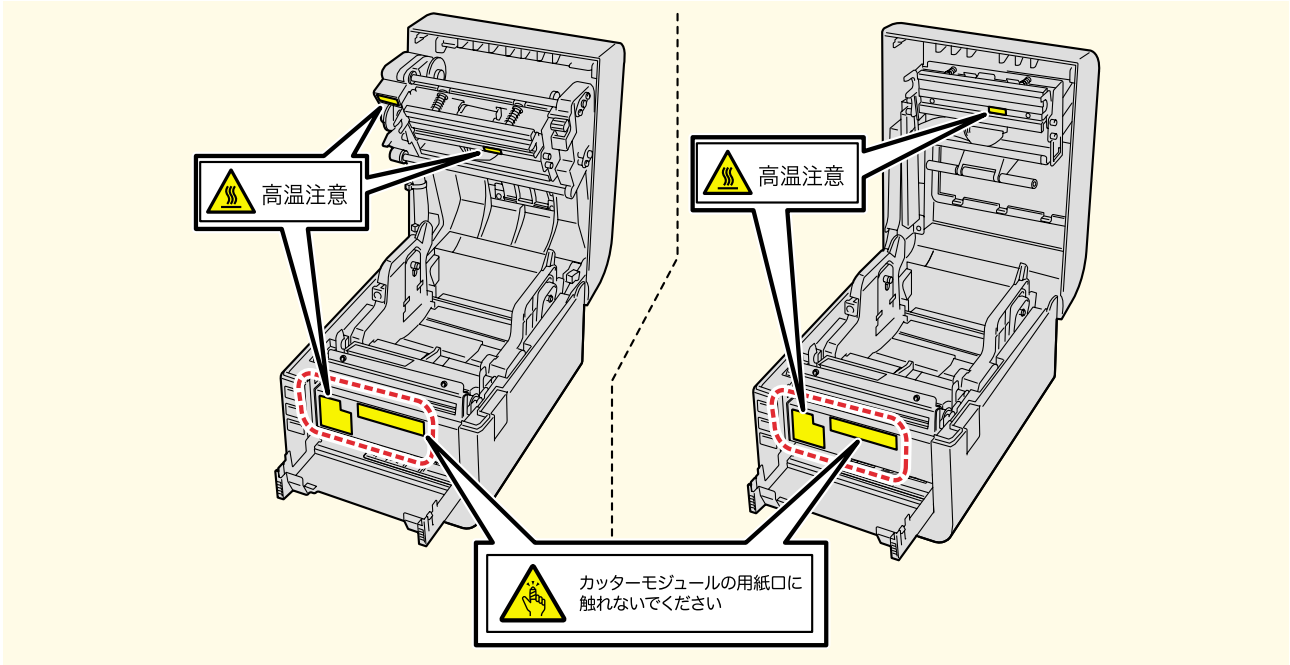
仕　様 235
DIP SW設定早見表 252
DIP SW設定早見表（RS-232C） 253
初期状態 255
インターフェース（コネクターピン配置） 256
USB インターフェース 256
LAN インターフェース 256
パラレルインターフェース 257
共通仕様 257
コネクターピン接続図
（IEEE1284-B コネクター） 258
タイミングチャート 259
RS-232C インターフェース 260
共通仕様 260
コネクターピン接続図 261
スイッチ設定 261
伝送制御（プロトコル） 262
索　引 265

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。



重要

本製品には無線LANを装着したモデルもあります。無線LANを装着したプリンターは電波を使用する装置＊1となります。そのため、使用する用途または場所によっては医用機器に影響を与えるおそれがあります。警告ラベルの表示と併せて次ページの「無線LAN（電波）について」に示す注意事項を厳守してください。

＊1 無線LANのモデルやオプションとして無線LANを使用した場合のみが対象となります。モデルについてはユーザーズマニュアルを参照してください。

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」(iiページ)を参照してください。プリントサーバーや無線LANについても記載していますが、装着されていないモデルもあります。

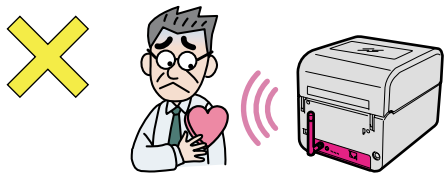
無線LAN（電波）について

無線LANを装着したプリンター*1の場合は、電波を使用する装置となります。そのため、使用する用途または場所によっては医用機器に影響を与えるおそれがあります。

無線LAN機能を持つプリントサーバーを搭載したプリンターは、2.4GHz帯域の電波を使用した無線機器として扱われます。2.4GHz帯域は電子レンジなどの産業・化学・医用機器のほか、工場の生産ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定省電力無線局（免許を要しない無線局）で使用されています。
本製品を使用する前に、近くで移動体識別の構内無線局および特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。
万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の周波数を変更して、混信を回避してください。（周波数の変更方法についてはプリントサーバーソフトウェアCD-ROM内のオンラインマニュアルの「6　Web Setupの利用」ー「無線機能を設定する」の「通信チャネル」を参照してください。）
その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などは本製品の使用を停止し、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口までお問い合わせください。

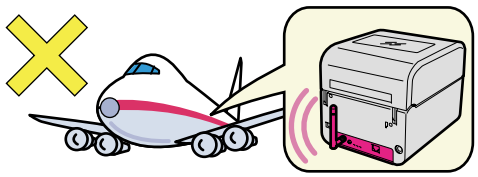
警告

植込み型医用機器を近づけない



植込み型医用機器を装着されている方は、装着部位をプリンターのアンテナ部より22cm以内に近づけないでください。

飛行機内では使用しない

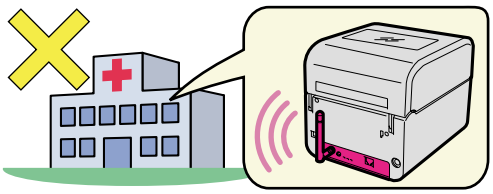


飛行機内では無線LAN（プリントサーバー）を装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、プリントサーバーもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

*1 無線LANのモデルやオプションとして無線LANを使用した場合のみが対象となります。モデルについてはユーザーズマニュアルを参照してください。

警告

使用禁止区域では使用しない

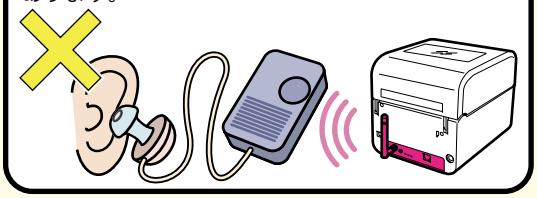


心臓ペースメーカーや補聴器などの医用機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が電波を発生する無線LANの使用を禁止した区域では、本プリンターを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANの使用を認めた区域でも、近くで医用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源はOFFにしてください。
使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

注意

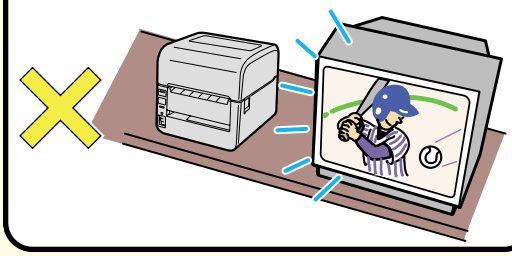
補聴器のそばで使用しない

補聴器を装着されている方、またはその近くでプリンターを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くでプリンターを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし、事故の原因となるおそれがあります。



ラジオ、テレビの近くに設置しない

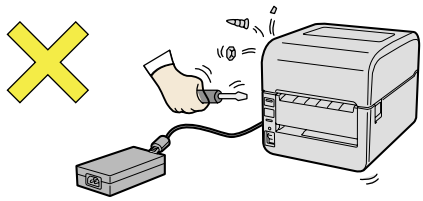
ラジオやテレビの近くには設置しないでください。そばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。



プリンター（プリントサーバー・無線LAN）について

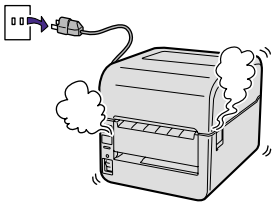
警告

分解・修理・改造はしない



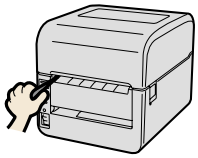
ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。ACアダプターやプリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源をOFFにする



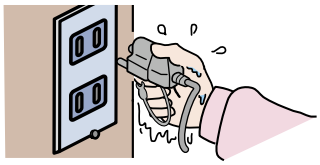
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



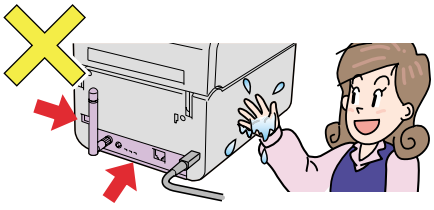
プリンターのすきまから金属片や針金などの異物を落としたり、差し込んだりしないでください。感電や故障のおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない



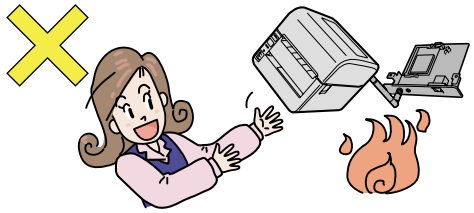
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で触らない



通電中にぬれた手でプリンター背面のインターフェース部やプリンター内部に触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

火の中に投げ入れない

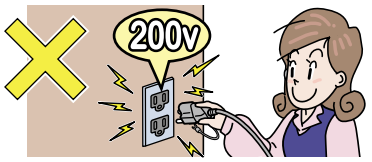


プリンターやプリントサーバーを火の中に投げ入れないでください。プラスチック部分が溶け出して、有害な成分が発生することがあります。

⚠注意

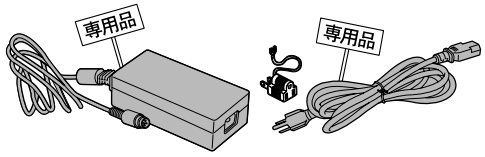
100V以外のコンセントに差し込まない

電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になるおそれがあります。



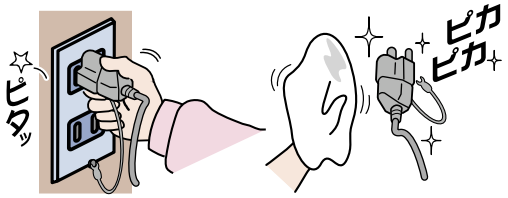
変換プラグ・電源コード・ACアダプターは本体付属品を使用する

付属品以外を使用すると、火災のおそれがあります。



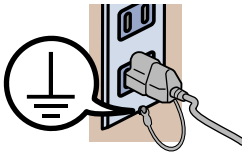
電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となるおそれがあります。



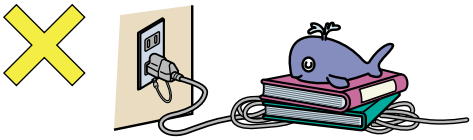
必ずアース（接地）する

万一漏電した場合、火災・感電のおそれがあります。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース（接地）を行わないでください。



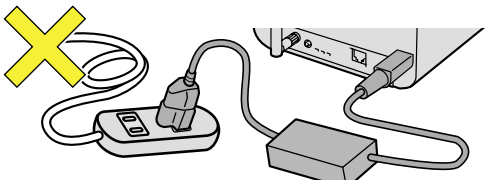
電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。



延長コードは使用しない

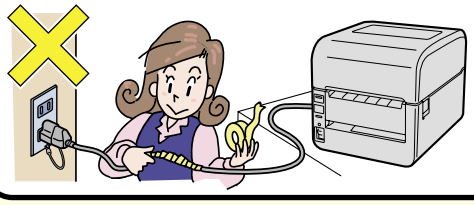
添付の専用ACアダプターや変換プラグ、電源コードだけでコンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。



⚠ 注意

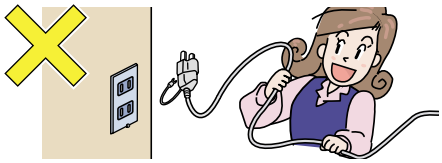
損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



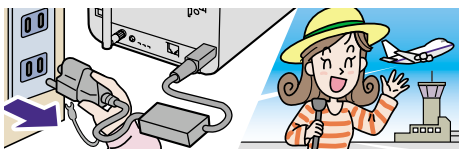
電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源コードを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。



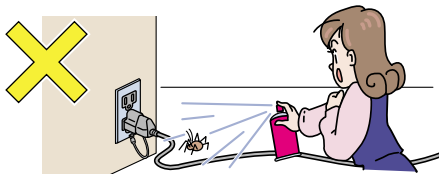
長期間使用しないときは電源プラグを抜く

連休などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためプリンター本体および専用ACアダプタの電源プラグを抜いてください。火災の原因となることがあります（電源コードをコンセントから抜くまでプリンター内部は通電状態にあります）。



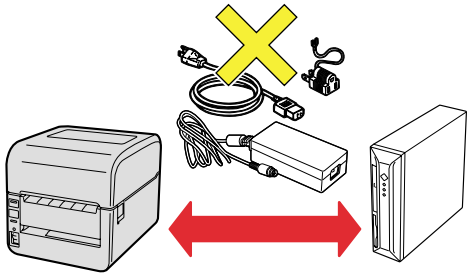
電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となるおそれがあります。



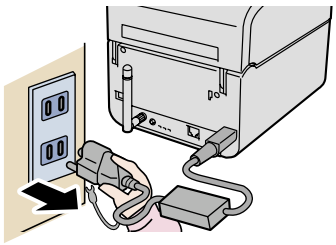
添付の変換プラグ・電源コード・ACアダプターを転用しない

添付の電源コードと変換プラグ、ACアダプターは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。



電源プラグに手が届きやすい場所に置く

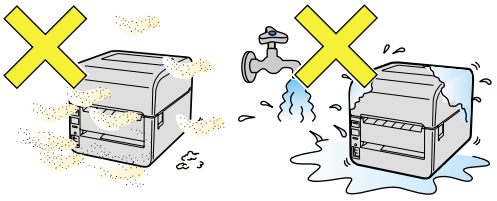
プリンターの電源スイッチをOFFにしても、電源コードをコンセントから抜くまでプリンター内部は通電状態にあります。万一の事故に備えてコンセントに接続した電源プラグにすぐ手が届くようにしてください。



⚠ 注意

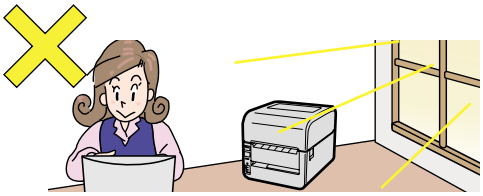
ほこり・湿気の多い場所で使用しない

プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。



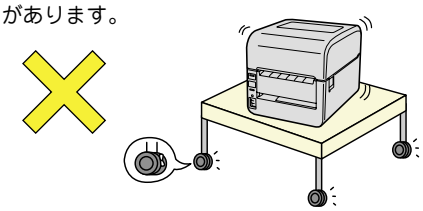
直射日光が当たるところ、温度変化の激しい場所には置かない

プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。また温度変化の激しい場所（暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く）、湿気の多い場所には設置しないでください。温度変化により内部の温度が上がったり、結露現象が起こったりして、故障の原因となるばかりでなく、異常動作したり、火災を引き起こしたりすることがあります。



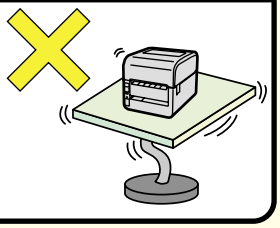
キャスター付きの台に設置したときは、必ずキャスター止めをする

動いたり、倒れたりして、けがの原因となるおそれがあります。



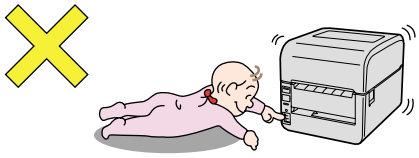
不安定な場所に置かない

プリンターを縦型OAラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。



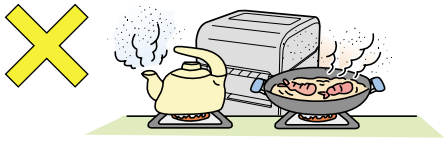
本プリンターを子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置いたりしない

感電・けがの原因となるおそれがあります。



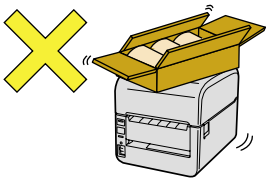
調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かない

絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となるおそれがあります。



プリンターの上に重い物を置かない

置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となるおそれがあります。

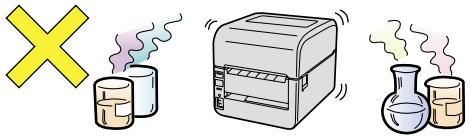


⚠ 注意

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない

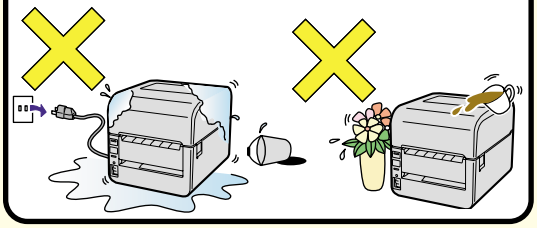
腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



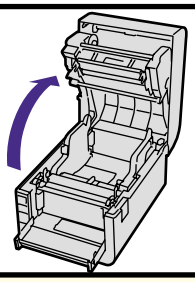
プリンターおよびプリントサーバー内に異物を入れない

プリンターおよびプリントサーバー内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。
もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。



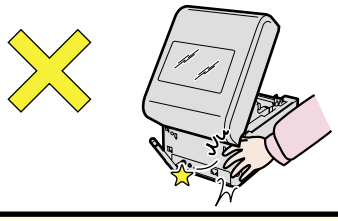
トップカバーやリボンフレームユニットは後側へ90度に全開にする

中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。



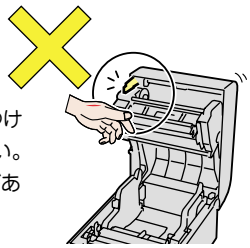
指を挟まない

トップカバーを開けたときに指を挟まないように気を付けてください。けがをするおそれがあります。



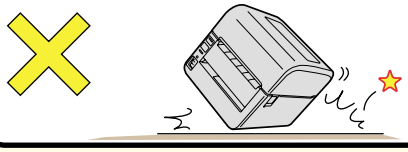
突起物に手などをぶつけない

本体内部のロックプレートやトップカバー左側には突起物があります。
突起物などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。



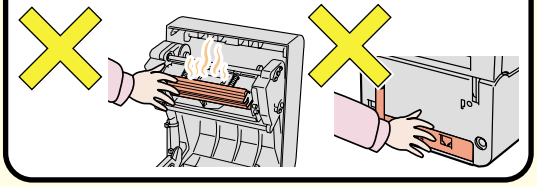
プリンターを落としたり、強い衝撃を与えたりしない

カバーおよびプリントサーバーなどが破損し、火災・感電のおそれがあります。



高温注意

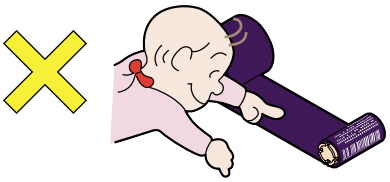
プリンターの内部には、使用中に高温になるサーマルヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。
また長時間プリントサーバーを使用した後、取り外したりする場合は、十分に冷めてから行ってください。使用中に触ると火傷するおそれがあります。



⚠ 注意

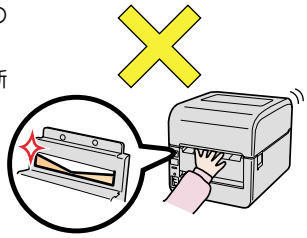
リボンをなめたりしない

リボンはお子様の手の届かない所に保管してください。
インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。
万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。



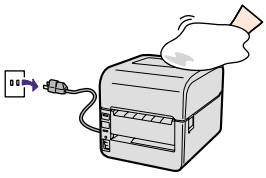
カッターモジュール用紙口には手を触れない

カッターモジュールの用紙口に触れないでください。用紙を切断するカッターが内蔵されており、けがの原因となるおそれがあります。



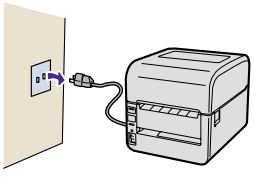
お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となるおそれがあります。



移動するときは、電源コードや他の接続コードを抜く

接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となるおそれがあります。



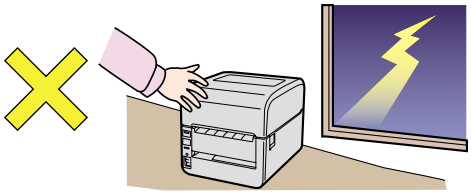
巻き込み注意

プリンターの動作中、用紙やリボンなどの消耗品を交換するときはプリンターのギヤなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。



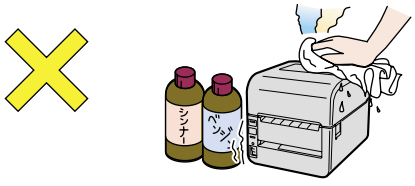
雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンターおよびプリンター背面のインターフェース部には触らないでください。



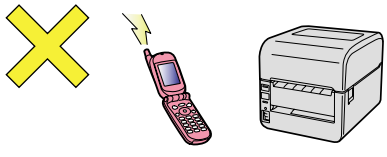
シンナーやベンジンなどの薬品類で本プリンターを拭かない

火災の原因となるおそれがあります。



プリンターの近くで携帯電話等を使用しない

携帯電話、スマートフォン、PHS、ポケットベル、無線通信機、電子レンジをプリンターの近くで使用しないでください。
プリンターが異常動作するおそれがあります。

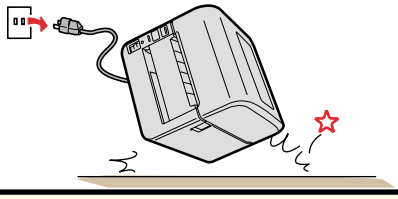


⚠ 注意

万一、本体を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡する



そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。



1章 プリンタードライバー

プリンタードライバーは、本プリンターで印刷を行うために必要なソフトウェアです。ここでは以下について説明します。

- プリンタードライバーのインストール 12ページ
- プリンタードライバーの削除（アンインストール）..... 35ページ
- 印刷の手順 37ページ
- プリンタードライバーの選択 39ページ
- 印刷先の変更 41ページ
- 共有プリンターに設定する 50ページ
- 印刷の詳細設定 53ページ
- ユーザー定義用紙サイズの登録 72ページ
- 印刷の指示 78ページ
- プリンター制御フォントの使用方法 93ページ
- プリンタードライバーに関する問題一覧 101ページ

チェック

本書では以下のWindowsオペレーティングシステム*1 に関する説明をしています。

- Microsoft Windows 8 日本語版*2
- Microsoft Windows 7 日本語版*2
- Microsoft Windows Vista 日本語版*2
- Microsoft Windows XP 日本語版*2
- Microsoft Windows Server 2012 日本語版*2
- Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*2
- Microsoft Windows Server 2008 日本語版*2
- Microsoft Windows Server 2003 R2 日本語版*2
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版*2
- Microsoft Windows 2000 日本語版

＊1　USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合せによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821 シリーズのUSB インターフェース接続には対応していません。

＊2　64 ビットバージョンにも対応しています。

プリンタードライバーのインストール

装置に添付の「ソフトウェアCD-ROM」を使ってお使いになるコンピューターにソフトウェアをインストールする手順およびアンインストールをする手順について説明します。

本プリンターのプリンターソフトウェアはこのプリンターとUSBおよびネットワークで接続されているPC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）にインストールすることができます（NECのPC-9800シリーズにはインストールできません）。
また、お使いのコンピューターには次のWindows OS*1 がインストールされている必要があります。

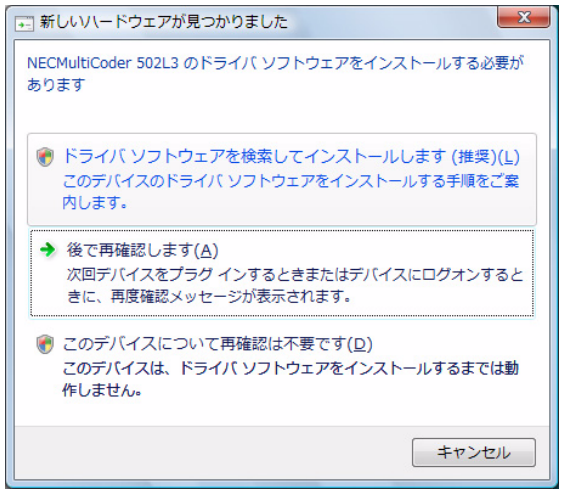
- Microsoft Windows 8 日本語版
- Microsoft Windows 7 日本語版
- Microsoft Windows Vista 日本語版
- Microsoft Windows XP 日本語版
- Microsoft Windows Server 2012 日本語版
- Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版
- Microsoft Windows Server 2008 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 R2 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版

添付のソフトウェアCD-ROMを使ったインストール方法には次の2つの方法があります。

- **インストーラーを使う**（→14ページ）
  インストールメニューの［プリンタドライバ］ボタンをクリックすると、「プリンタの追加ウィザード」が起動します。このウィザードに従って作業を進めることでプリンタードライバーがインストールされます。
  プリントサーバーを装着したプリンターでLANインターフェースを使用する場合は、またはプラグ・アンド・プレイが起動しなかった場合に使用します。
  なお、LANインターフェースを使用する場合は、あらかじめプリントサーバーのセットアップが必要です。プリントサーバーのマニュアルを参照してあらかじめセットアップを完了させておいてください。



- **プラグ・アンド・プレイ機能を使う**（→27ページ）
  プリンターとお使いになるコンピューターがUSBケーブル接続されている場合、プリンター、コンピューターの順に電源をONにすると自動的に起動するWindowsのプラグ・アンド・プレイ機能を使用します。



＊1　詳しくは「仕　様」(235 ページ) をご覧ください。

Windowsの［プリンタのインストール］（または［プリンタの追加］）機能の利用

Windows OSの［プリンタ］（または［プリンタとFAX］）フォルダーから操作できる［プリンタのインストール］（または［プリンタの追加］）を使ってインストールすることもできます。「インストーラーを使う」（14ページ）以降で説明している［プリンタの追加］または［プリンタの追加ウィザードの開始］ダイアログボックス以降の手順を参照してください。

インストーラーを使う

添付のソフトウェアCD-ROMを起動すると、コンピューターの画面にダイアログボックスが表示されます。画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。
ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになる場合も次の手順でプリンタードライバーをインストールしてください。
なお、インストール手順はWindowsのバージョン別に手順を説明します。

- Windows 8/Server 2012 日本語版（→15ページ）
- Windows 7/Vista/Server 2008 日本語版（→19ページ）
- Windows XP/2000/Server 2003 日本語版（→23ページ）

プリントサーバーを装着している場合について

プリントサーバーを装着したプリンターにプリンタードライバーをインストールする手順は次の順序で進めます。

順番	作　業	使用するCD-ROM	参照先
1	プリントサーバーのセットアップ（Quick Setup）	プリントサーバーの「プリントサーバーソフトウェアCD-ROM」	プリントサーバーセットアップガイドまたはオンラインマニュアル
2	プリントサーバーの詳細なセットアップ（Web Setup）	不要	プリントサーバーセットアップガイドまたはオンラインマニュアル
3	NEC Print Server Portのインストール	プリントサーバーの「プリントサーバーソフトウェアCD-ROM」	プリントサーバーセットアップガイドまたはオンラインマニュアル
4	プリンタードライバーのインストール	プリンターの「ソフトウェアCD-ROM」	Windows 8/Server 2012：15ページ Windows 7/Vista/Server 2008：19ページ Windows XP/2000/Server 2003：23ページ

「Quick Setup」「Web Setup」および「NEC Print Server Port」のインストールとポートのセットアップについては、「参照先」に記載のマニュアルを参照してください。
なお、プリンタードライバーのインストールには何種類かの方法がありますが、本書では以下の条件で行う場合について説明します。

- ネットワークの構築を完了していること
- 上表の項番1～3の作業を完了していること
- 上表の項番3では、NEC Print Server Portの設定までが完了していて、LPR (Line Printer Remote)プロトコルで仮に「123.123.123.123:lp」という名前のポート名が作成されていること

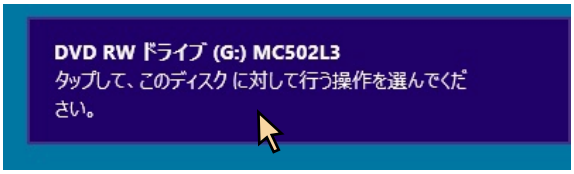
Windows 8/Server 2012 日本語版の場合

Windows 8、Windows Server 2012のインストールの手順はほぼ同じです。ここでは、Windows 8でのインストール方法を例に説明しています。
Windows Server 2012をお使いの方は、それぞれのOSに読み替えてお使いください。

❶ コンピューターの電源をONにし、コンピューターを起動します。

❷ ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

画面右上隅に、ＣＤ操作選択画面が表示されるのでクリックします。

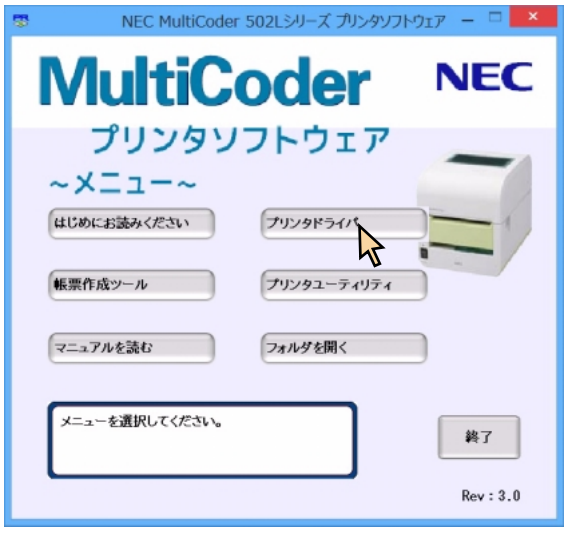


❸ ［MCSETUP.EXEの実行］をクリックします。

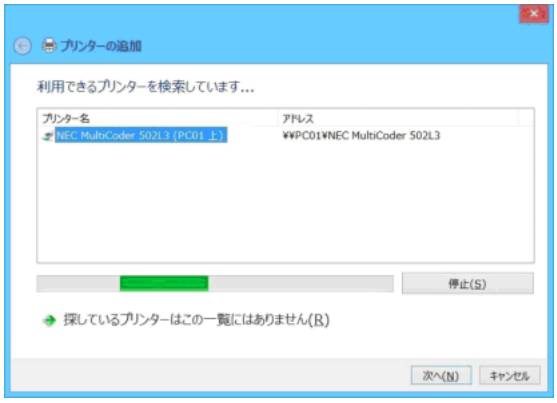
［プリンタソフトウェア］ダイアログボックスが起動します。



❹ ［プリンタドライバ］ボタンをクリックします。



❺ プリンターの接続先を指定します。

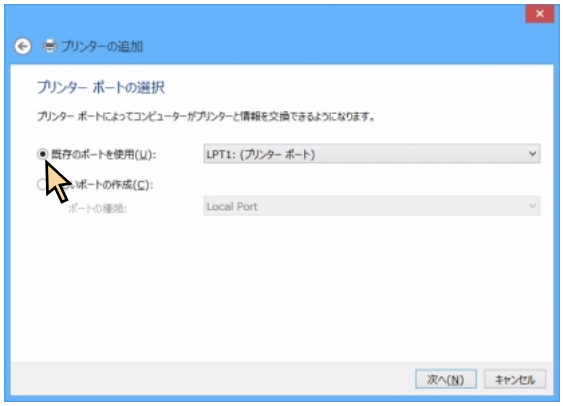


- **有線ＬＡＮまたは無線ＬＡＮのネットワークを経由している場合**
  ［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリックします。→❻へ
- **ＵＳＢ　インターフェース、パラレルインターフェース、ＲＳ－２３２Ｃインターフェースを使用している場合**
  ［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリックします。→❻へ
- **ネットワーク上の共有プリンターを使用する場合**
  目的のプリンターが表示された場合
  一覧から目的のプリンターアイコンを選び、［次へ］をクリックします。→⓫へ（17ページ）
  （一部手順が省略されます。説明を読み飛ばしてください。）
  目的のプリンターが表示されなかった場合
  ［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリックします。
  →以降はＯＳの取扱説明書を参照してプリンターの接続先を設定した後、⓫へ（17ページ）

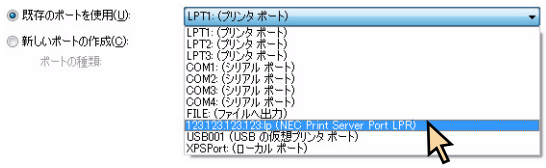
❻ **[ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する]を選択し、[次へ]をクリックします。**



❼ **[既存のポートを使用]を選び、一覧から使用するポートを選択して［次へ］をクリックします。**

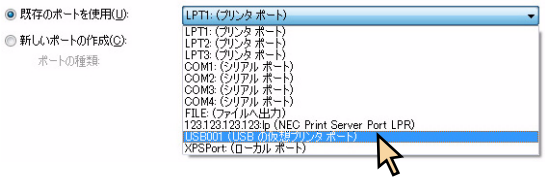


- **有線 LANまたは無線 LAN のネットワークを使用している場合**
  “123.123.123.123:lp（NEC Print Server Port LPR）”を選択します。



“123.123.123.123:lp”はプリントサーバーのセットアップで事前に作成したポート名です。セットアップの際に付けたポート名と読み替えてください。
目的のポートが一覧にない場合は、[新しいポートの作成]を選び、[ポートの種類]から［NEC Print Server Port］を選択して［次へ］をクリックしてください。その後の手順はプリントサーバーの「セットアップガイド」を参照してください。ポートの作成を完了したら、手順❽へ進んでください。

- **USBインターフェースを使用している場合**
  “USBnnn（USBの仮想プリンタポート）”を選択します（“nnn”は001から任意の3桁の数字です）。



チェック

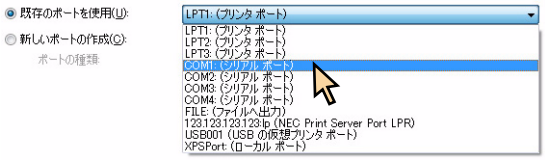
USBのプリンターポートは初期状態では存在しません。プリンターとコンピューターを接続してプラグ・アンド・プレイをすることで自動的に作成されます。初めてUSB接続で本プリンターを使用する場合は「プラグ・アンド・プレイによるインストール」（27ページ）を参照してください。
プラグ・アンド・プレイによるインストールができなかった場合は、ここで［既存のポートを使用］から［USBnnn（USBの仮想プリンタポート）］を選択して❽へ進んでください（“nnn”は001から任意の3桁の数字です）。

- **パラレルインターフェースを使用している場合**
  “LPT1（プリンタポート）”を選択します。



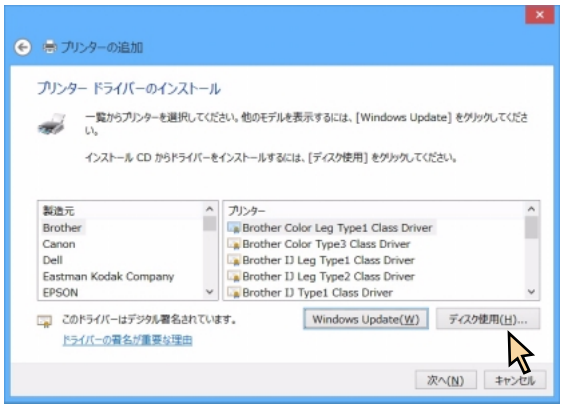
“LPT”ポートはお使いの環境によって“LPT1”・“LPT2”・“LPT3”…と複数存在する場合があります。

- **RS-232Cインターフェースを使用している場合**
  “COM1（シリアルポート）”を選択します。



“COM”ポートはお使いの環境によって“COM1”・“COM2”・“COM3”…と複数存在する場合があります。

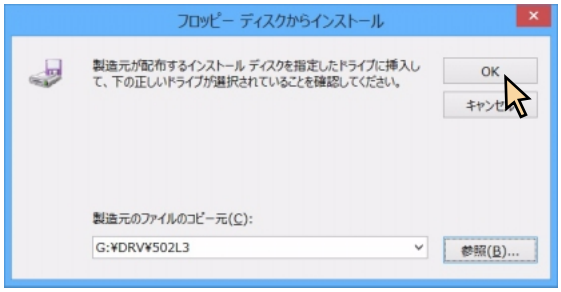
❽ **［ディスク使用］をクリックします。**

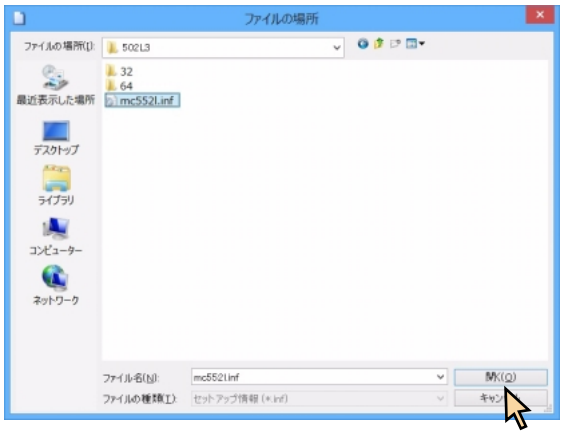


❾ ［製造元のファイルのコピー元］を設定します。

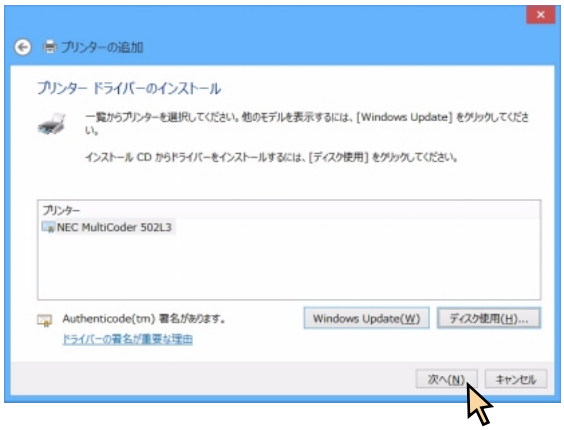
［製造元のファイルのコピー元］に、「（ソフトウェアCD-ROMのセットされている）ドライブ名」、コロン（：）、円記号（¥）に続けて“DRV¥502L3”と入力し、［OK］をクリックします。

または、［参照］クリックし、［ファイルの場所］ダイアログボックスを開き、CD-ROMを挿入したドライブの次の内容の場所にあるセットアップ情報（✱.inf）ファイルを選択し、［開く］をクリックします。」





❿ ［プリンタ］に表示されたリストの中からお使いのプリンター名（［NEC MultiCoder 502L3］）を選択し、［次へ］をクリックします。

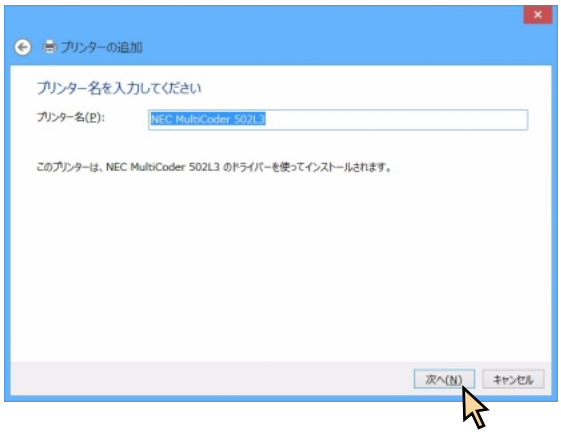


チェック

インストールしようとしているコンピューターにこのプリンターのプリンタードライバーがインストール済みの場合は、この後にドライバーを置き換えるかどうかを確認する画面が表示されます。［現在のドライバを置き換える］を選んで次へ進んでください。

⓫ 必要に応じてプリンターに任意の名前を付け、［次へ］をクリックします。

お使いのMultiCoderを簡単に識別できる名前を付けてください（例：NEC MultiCoder 502L3）。

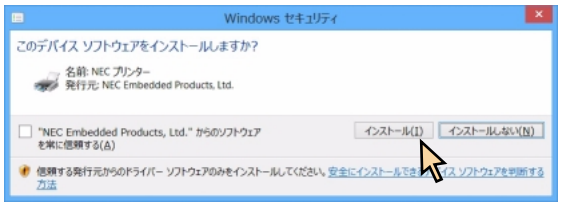


チェック

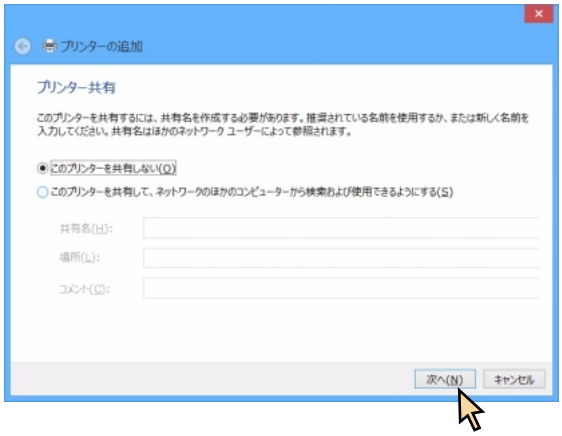
同じプリンター名を複数台接続する場合は、各プリンターを識別できるように設定してください。また、プリンター名は重複しないようにしてください。

⓬ ［インストール］をクリックします。

一度このプリンタードライバーをインストールしている場合は表示されないことがあります。

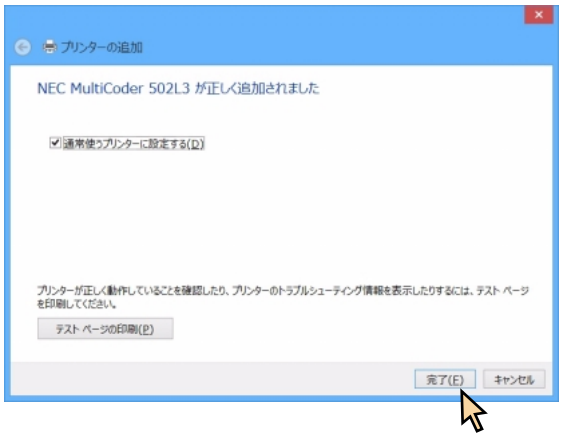


⓭ ネットワーク上でMultiCoderを他のユーザーと共有するかを選択し、［次へ］をクリックします。



⓮ **［完了］をクリックします。**

［テストページの印刷］をクリックしないでください。



チェック

以前に他のプリンタードライバーをインストールしている場合は、通常使うプリンターとして使用するかしないかを選択してください。

⓯ **［コントロールパネル］の［ハードウェアとサウンド］にある［プリンタ］クリックして表示される一覧にインストールされたプリンタのアイコンが表示されたことを確認します。**

これでインストールは完了です。

チェック

プリンターの接続先のポートに［COM］（シリアルポート）を選択した場合は、［RS-232Cインターフェースへの切り替え］（48ページ）を参照してポートの設定をしてください。

Windows 7/Vista/Server 2008 日本語版の場合

Windows 7、Windows Vista/Server 2008 R2およびWindows Server 2008のインストールの手順はほぼ同じです。
ここでは、Windows Vistaでのインストール方法を例に説明しています。
Windows 7、Windows Server 2008をお使いの方は、それぞれのOSに読み替えてお使いください。

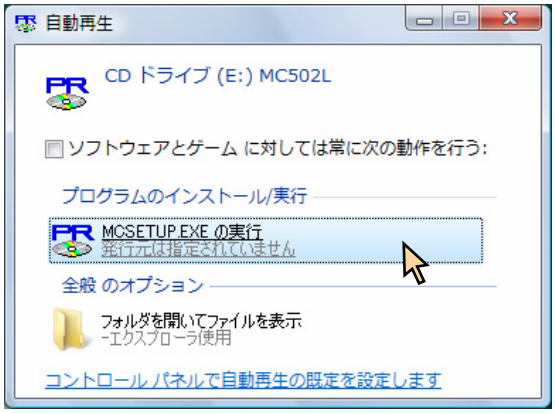
❶ コンピューターの電源をONにし、コンピューターを起動します。

❷ ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

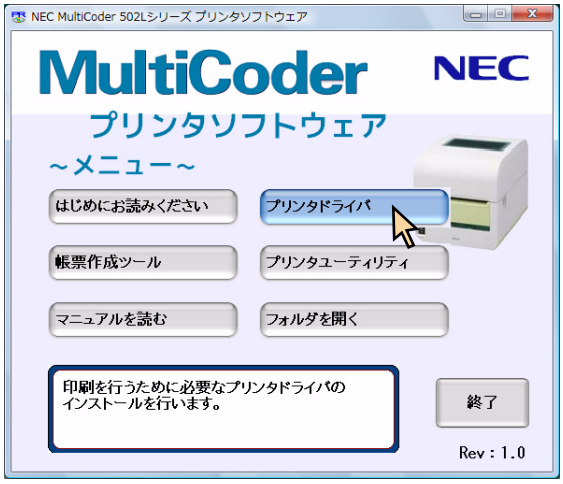
［自動再生］ダイアログボックスが起動します。

❸［MCSETUP.EXEの実行］をクリックします。

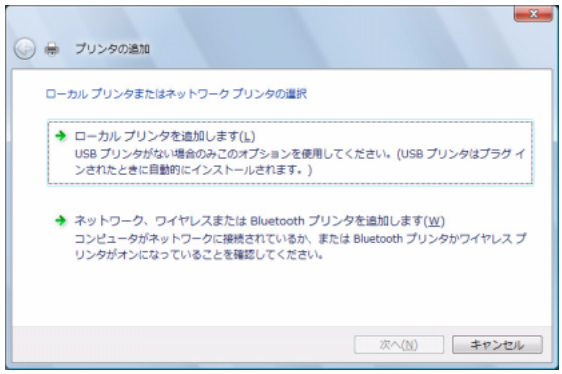
［プリンタソフトウェア］ダイアログボックスが起動します。



❹［プリンタドライバ］ボタンをクリックします。

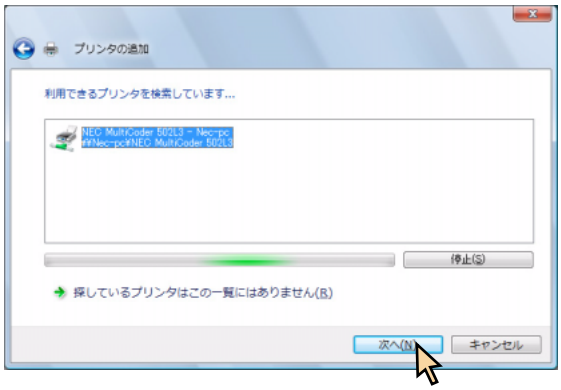


❺ プリンターの接続先を指定します。



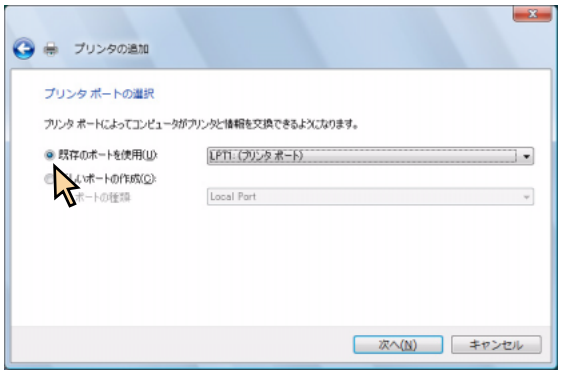
- **有線 LANまたは無線 LAN のネットワークを使用している場合**
  ［ローカルプリンタを追加します］をクリックします。→❼へ
- **USBインターフェース、パラレルインターフェース、RS-232Cインターフェースを使用している場合**
  ［ローカルプリンタを追加します］をクリックします。→❼へ
- **ネットワーク上の共有プリンターを使用する場合**
  ［ネットワーク プリンタ、ワイヤレスまたはBluetoothプリンタを追加します］をクリックします。→❻へ

❻ 検索されたプリンターの一覧から目的のプリンターを選択します。

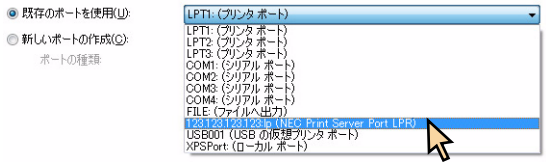


- **目的のプリンターが表示された場合**
  一覧から目的のプリンターアイコンを選び、［次へ］をクリックします。→⓫へ（21ページ）
  （一部手順が省略されます。説明を読み飛ばしてください。）
- **目的のプリンターが表示されなかった場合**
  ［探しているプリンタはこの一覧にはありません］をクリックします。
  →以降はOSの取扱説明書を参照してプリンターの接続先を設定した後、⓫へ（21ページ）

❼ ［既存のポートを使用］を選び、一覧から使用するポートを選択して［次へ］をクリックします。



- **有線LANまたは無線LANのネットワークを使用している場合**
  “123.123.123.123:lp（NEC Print Server Port LPR）”を選択します。



“123.123.123.123:lp”はプリントサーバーのセットアップで事前に作成したポート名です。セットアップの際に付けたポート名と読み替えてください。
目的のポートが一覧にない場合は、［新しいポートの作成］を選び、［ポートの種類］から［NEC Print Server Port］を選択して［次へ］をクリックしてください。その後の手順はプリントサーバーの「セットアップガイド」を参照してください。ポートの作成を完了したら、手順❽へ進んでください。

- **USBインターフェースを使用している場合**
  “USBnnn（USBの仮想プリンタポート）”を選択します（“nnn”は001から任意の3桁の数字です）。



チェック

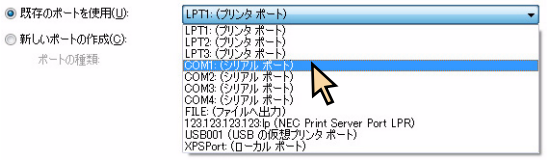
USBのプリンターポートは初期状態では存在しません。プリンターとコンピューターを接続してプラグ・アンド・プレイをすることで自動的に作成されます。初めてUSB接続で本プリンターを使用する場合は「プラグ・アンド・プレイによるインストール」（27ページ）を参照してください。
プラグ・アンド・プレイによるインストールができなかった場合は、ここで［既存のポートを使用］から［USBnnn（USBの仮想プリンタポート）］を選択して❽へ進んでください（“nnn”は001から任意の3桁の数字です）。

- **パラレルインターフェースを使用している場合**
  “LPT1（プリンタポート）”を選択します。



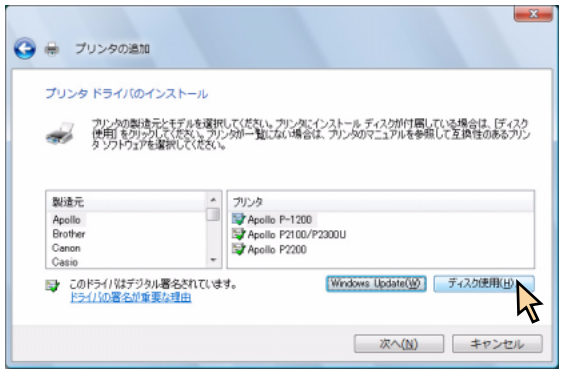
“LPT”ポートはお使いの環境によって“LPT1”・“LPT2”・“LPT3”…と複数存在する場合があります。

- **RS-232Cインターフェースを使用している場合**
  “COM1（シリアルポート）”を選択します。



“COM”ポートはお使いの環境によって“COM1”・“COM2”・“COM3”…と複数存在する場合があります。

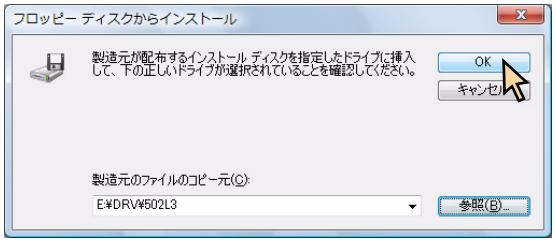
❽ ［ディスク使用］をクリックします。

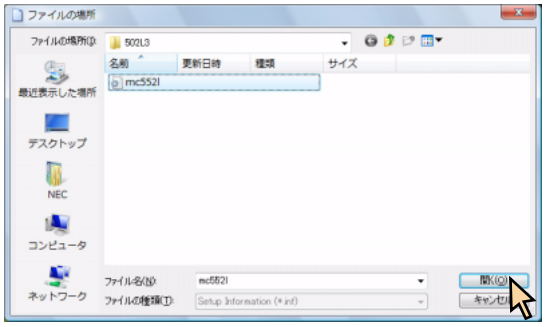


❾ ［製造元のファイルのコピー元］を設定します。

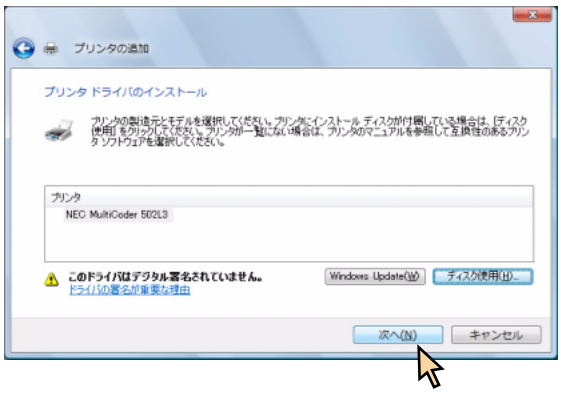
［製造元のファイルのコピー元］に、「（ソフトウェアCD-ROMのセットされている）ドライブ名」、コロン（：）、円記号（¥）に続けて“DRV¥502L3”と入力し、［OK］をクリックします。

または、［参照］クリックし、［ファイルの場所］ダイアログボックスを開き、CD-ROMを挿入したドライブの次の内容の場所にあるセットアップ情報（✱.inf）ファイルを選択し、［開く］をクリックします。」





❿ ［プリンタ］に表示されたリストの中からお使いのプリンター名（［NEC MultiCoder 502L3］）を選択し、［次へ］をクリックします。

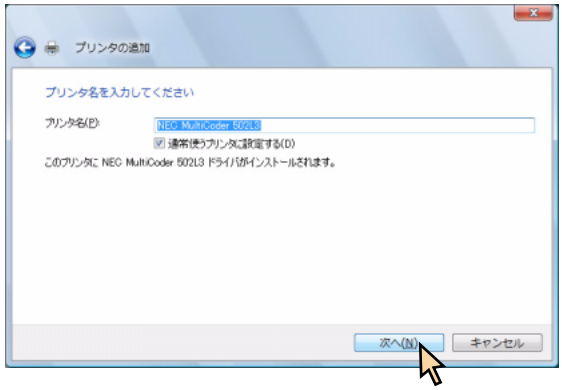


チェック

インストールしようとしているコンピューターにこのプリンターのプリンタードライバーがインストール済みの場合は、この後にドライバーを置き換えるかどうかを確認する画面が表示されます。［現在のドライバを置き換える］を選んで次へ進んでください。

⓫ 必要に応じてプリンターに任意の名前を付け、［次へ］をクリックします。

お使いのMultiCoderを簡単に識別できる名前を付けてください（例：NEC MultiCoder 502L3）。

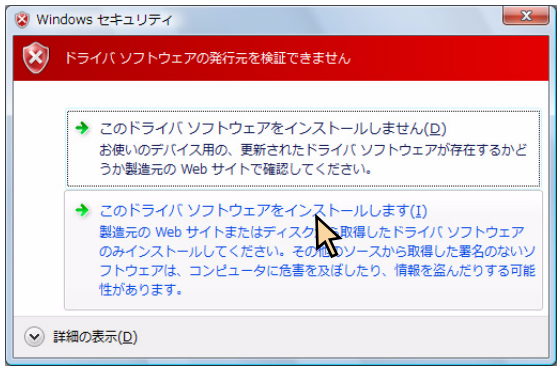


チェック

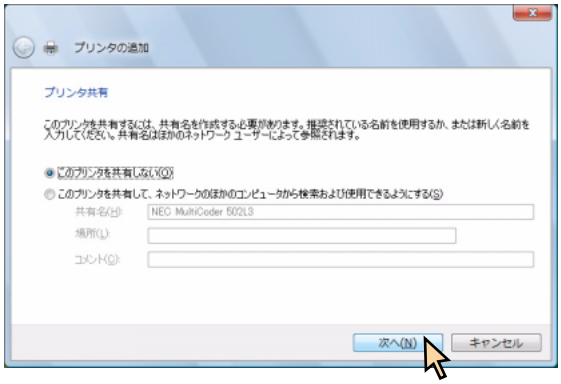
- 同じプリンター名を複数台接続する場合は、各プリンターを識別できるように設定してください。また、プリンター名は重複しないようにしてください。
- 以前に他のプリンタードライバーをインストールしている場合は、通常使うプリンターとして使用するかしないかを選択してください。

⓬ ［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

一度このプリンタードライバーをインストールしている場合は表示されないことがあります。

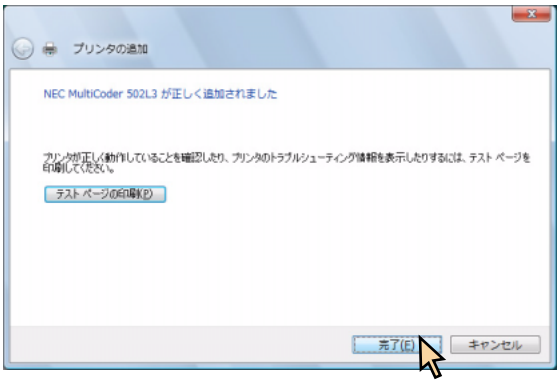


⓭ **ネットワーク上でMultiCoderを他のユーザーと共有するかを選択し、［次へ］をクリックします。**



⓮ **［完了］をクリックします。**

［テストページの印刷］をクリックしないでください。



⓯ **［コントロールパネル］の［ハードウェアとサウンド］にある［プリンタ］クリックして表示される一覧にインストールされたプリンタのアイコンが表示されたことを確認します。**

これでインストールは完了です。

チェック

プリンターの接続先のポートに［COM］(シリアルポート) を選択した場合は、［RS-232Cインターフェースへの切り替え］（48ページ）を参照してポートの設定をしてください。

Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 日本語版の場合

Windows XP、Windows 2000、Windows Server 2003のインストールの手順はほぼ同じです。ここでは、Windows XPでのインストール方法を例に説明しています。
Windows 2000またはWindows Server 2003をお使いの方は、Windows XPをWindows 2000またはWindows Server 2003に読み替えてお使いください。

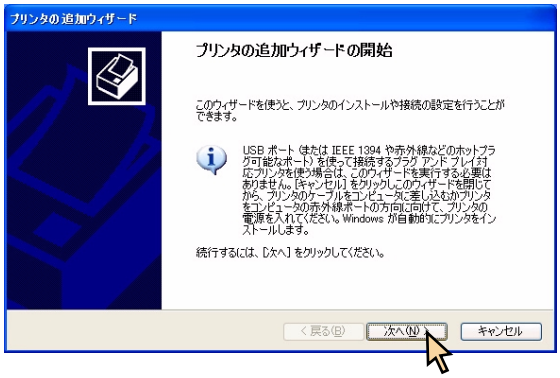
❶ コンピューターの電源をONにし、Windows XPを起動します。

❷ ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。
［プリンタソフトウェア］ダイアログボックスが起動します。

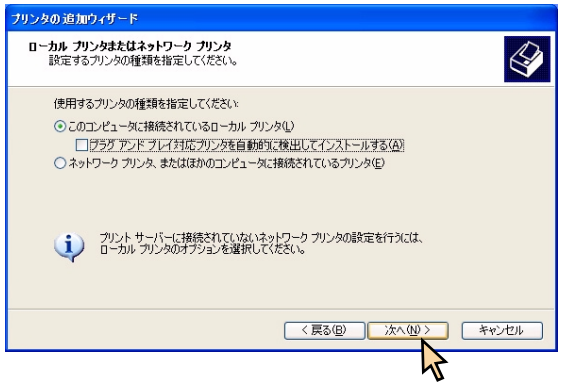
❸［プリンタドライバ］ボタンをクリックします。



❹［次へ］をクリックします。



❺ プリンターの接続先を設定します。



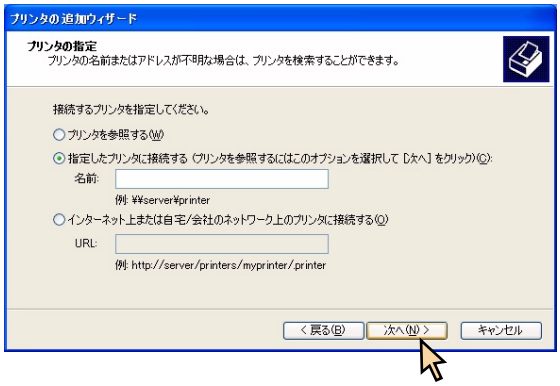
- **有線LANまたは無線LANのネットワークを使用している場合**
［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択して、［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外し、［次へ］をクリックします。
→❽へ
- **ネットワーク上の共有プリンターを使用する場合**
［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックします。→❻へ

チェック

- 使用しているネットワーク環境により［次へ］をクリックしたときに表示される画面が異なります。手順❻以外の画面が表示された場合は、OSの取扱説明書を参照してプリンターの接続先を設定してください。
- ［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

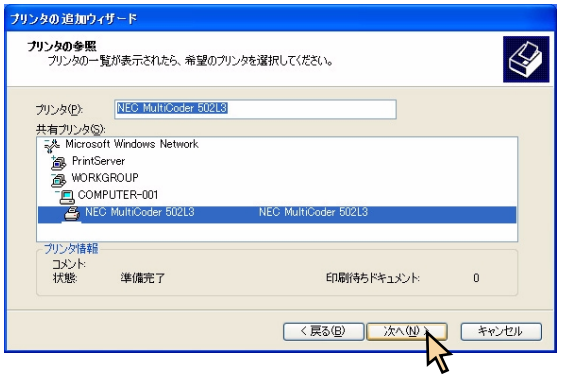
- **USBインターフェース、パラレルインターフェース、RS-232Cインターフェースを使用している場合**
［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択して、［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外し、［次へ］をクリックします。
→❽へ

❻ プリンターを検索します。



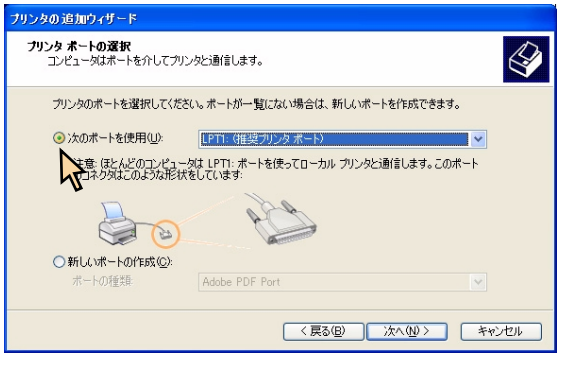
- **ネットワーク上のプリンター名をダイアログボックスに直接入力し、[次へ] をクリックした場合**
  →❿へ（25ページ）
  （一部手順が省略されます。説明を読み飛ばしてください。）
- **ネットワーク上のプリンター名を入力しないで、[次へ] をクリックした場合**
  →❼へ

❼ ネットワーク上のプリンター名を［プリンタ］に直接入力するか、[共有プリンタ] 一覧から指定し、[次へ] をクリックします。

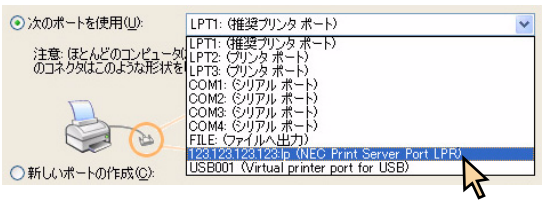


❿へ（25ページ）へ進んでください。

❽ [既存のポートを使用] を選び、一覧から使用するポートを選択して［次へ］をクリックします

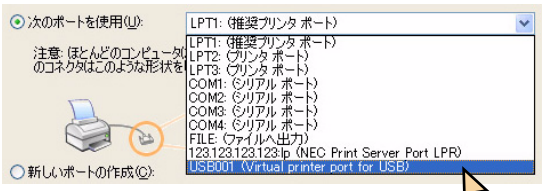


- **有線 LANまたは無線 LAN のネットワークを使用している場合**
  “123.123.123.123:lp（NEC Print Server Port LPR）”を選択します。



“123.123.123.123:lp”はプリントサーバーのセットアップで事前に作成したポート名です。セットアップの際に付けたポート名と読み替えてください。
目的のポートが一覧にない場合は、[新しいポートの作成] を選び、[ポートの種類] から [NEC Print Server Port] を選択して［次へ］をクリックしてください。その後の手順はプリントサーバーの「セットアップガイド」を参照してください。ポートの作成を完了したら、手順❾へ進んでください。

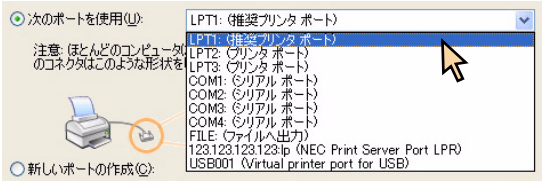
- **USBインターフェースを使用している場合**
  “USBnnn（USBの仮想プリンタポート）”を選択します（“nnn”は001から任意の3桁の数字です）。



チェック

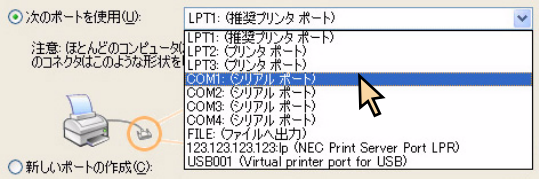
USBのプリンターポートは初期状態では存在しません。プリンターとコンピューターを接続してプラグ・アンド・プレイをすることで自動的に作成されます。
初めてUSB接続で本プリンターを使用する場合は［プラグ・アンド・プレイによるインストール］（27ページ）を参照してください。
プラグ・アンド・プレイによるインストールができなかった場合は、ここで［既存のポートを使用］から［USBnnn（USBの仮想プリンタポート）］を選択して❽へ進んでください（“nnn”は001から任意の3桁の数字です）。

- **パラレルインターフェースを使用している場合**
  “LPT1（プリンタポート）”を選択します。



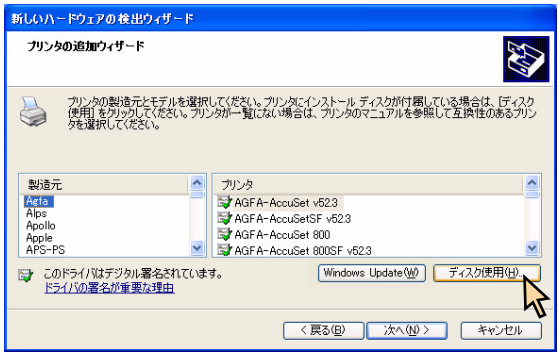
“LPT”ポートはお使いの環境によって“LPT1”・“LPT2”・“LPT3”…と複数存在する場合があります。

• **RS-232Cインターフェースを使用している場合**
“COM1（シリアルポート）”を選択します。



“COM”ポートはお使いの環境によって“COM1”・“COM2”・“COM3”…と複数存在する場合があります。

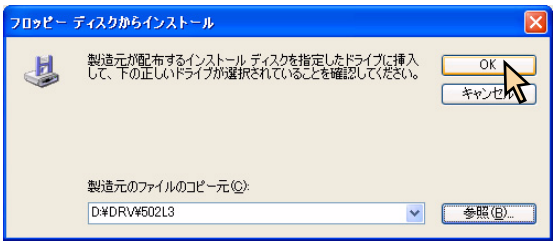
❾［ディスク使用］をクリックします。

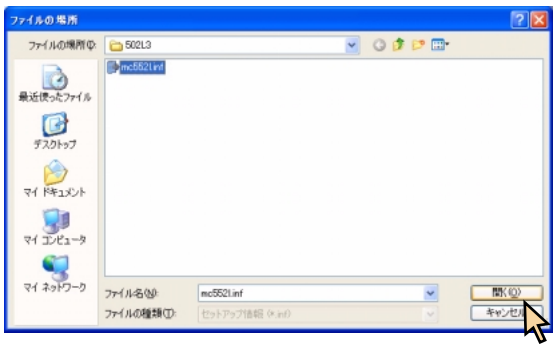


❿［製造元のファイルのコピー元］を設定します。

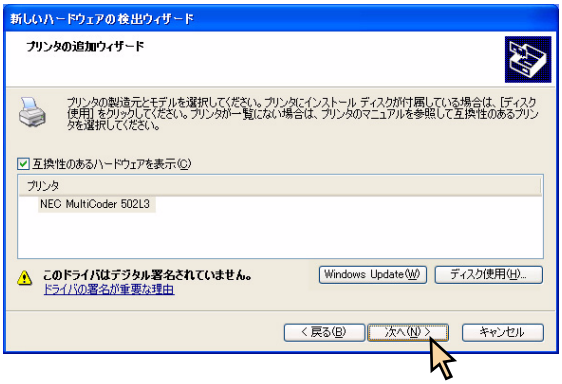
［製造元のファイルのコピー元］に、「（ソフトウェアCD-ROMのセットされている）ドライブ名」、コロン（：）、円記号（¥）に続けて“DRV¥502L3”と入力し、［OK］をクリックします。

または、［参照］クリックし、［ファイルの場所］ダイアログボックスを開き、CD-ROMを挿入したドライブの次の内容の場所にあるセットアップ情報（✱.inf）ファイルを選択し、［開く］をクリックします。





⓫［プリンタ］に表示されたリストの中からお使いのプリンター名（[NEC MultiCoder 502L3]）を選択し、［次へ］をクリックします。

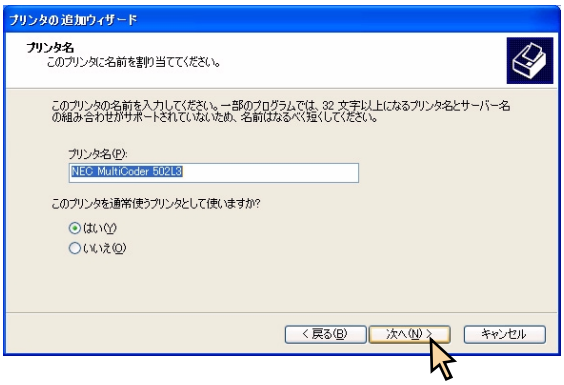


チェック

インストールしようとしているコンピューターにこのプリンターのプリンタードライバーがインストール済みの場合は、この後にドライバーを置き換えるかどうかを確認する画面が表示されます。[新しいドライバに置き換える］を選んで次へ進んでください。

⓬必要に応じてプリンターに任意の名前を付け、［次へ］をクリックします。

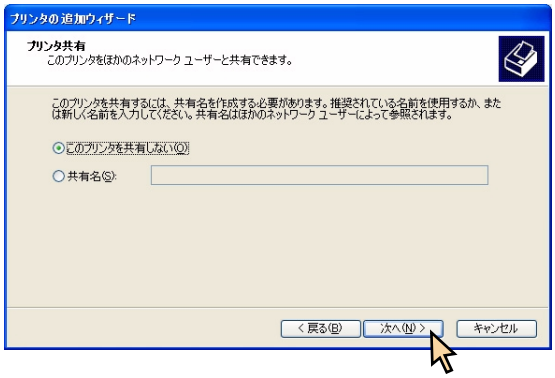
お使いのMultiCoderを簡単に識別できる名前を付けてください（例：NEC MultiCoder 502L3）。



チェック

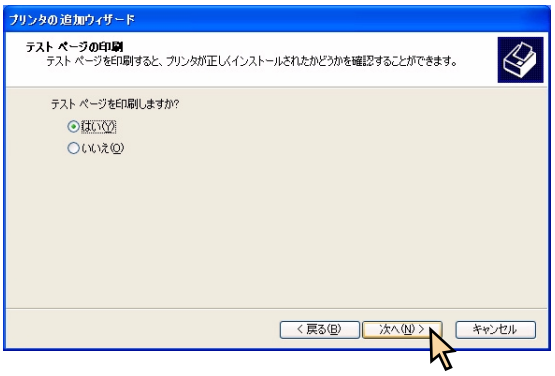
- 同じプリンター名を複数台接続する場合は、各プリンターを識別できるように設定してください。また、プリンター名は重複しないようにしてください。
- 以前に他のプリンタードライバーをインストールしている場合は、通常使うプリンターとして使用するかしないかを選択してください。

⓭ ネットワーク上で本プリンターを他のユーザーと共有するかを選択し、［次へ］をクリックします。

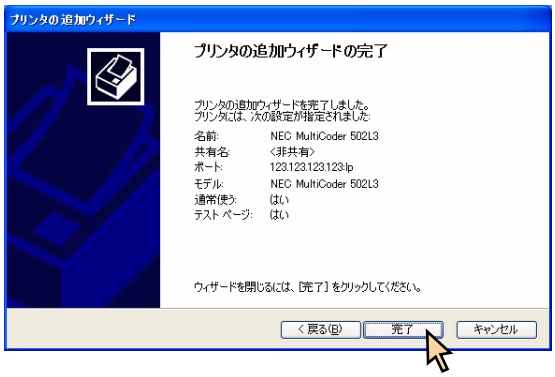


⓮ ［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

［はい］を選択しないでください。

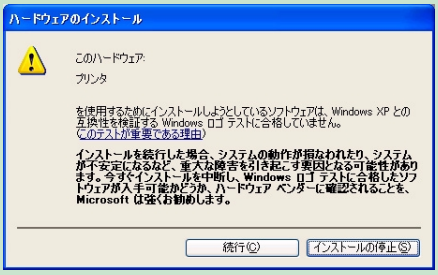


⓯ ［完了］をクリックします。



チェック

次のいずれかのダイアログボックスが表示される場合がありますが、［続行］または［はい］をクリックしてインストールを継続してください。





⓰ ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダー内にインストールされたプリンターのアイコンが表示されたことを確認します。



これでインストールは完了です。

チェック

プリンターの接続先のポートに［COM］(シリアルポート) を選択した場合は、［RS-232Cインターフェースへの切り替え」(48ページ) を参照してポートの設定をしてください。

プラグ・アンド・プレイによるインストール

Windowsの「プラグ・アンド・プレイ」機能を利用したプリンタードライバーのインストール方法について説明します。

チェック

プラグ・アンド・プレイの注意点

- USBのプリンターポートは初期状態では存在しません。プリンターとコンピューターを接続してプラグ・アンド・プレイをすることで自動的に作成されます。
- 本プリンターは一度、プラグ・アンド・プレイによるインストールを行うと、以降［新しいハードウェアの検出］ウィザードは表示されません*1。コンピューターのどのUSBポートに接続しても、そのままお使いいただけます。
- プラグ・アンド・プレイはUSBケーブルまたはパラレルインターフェースケーブルで接続している場合に起動します。

＊1　別のプリンター装置を接続すると、［新しいハードウェアの検出］ウィザードが表示されますので、再度、プラグ・アンド・プレイによるインストールを行ってください。

Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 日本語版

USB接続によるプラグ・アンド・プレイでのインストールの手順について説明します。パラレルインターフェースケーブル接続の場合も同じ手順で行えます。
なお、Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2012またはWindows Server 2008の基本的な操作およびセットアップについては、各OSに添付のマニュアルなどをご覧ください。

● Windows Vista、Windows Server 2008の場合

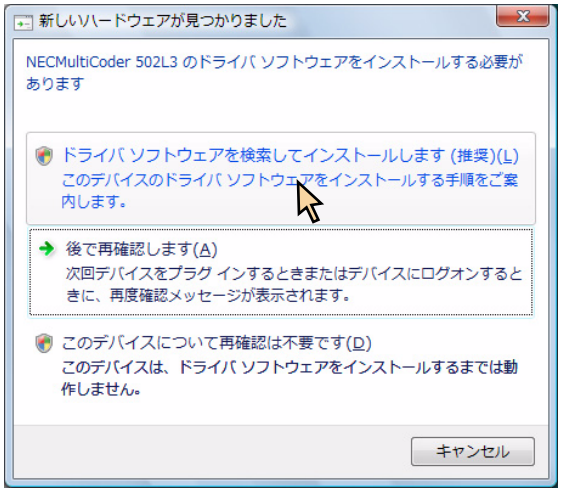
ここではWindows Vistaでのインストール方法を例にしています。Windows Server 2008も手順は同じです。

❶ コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで正しく接続されていることを確認します。

❷ プリンターの電源スイッチをONにします。

❸ コンピューターの電源をONにし、コンピューターを起動します。

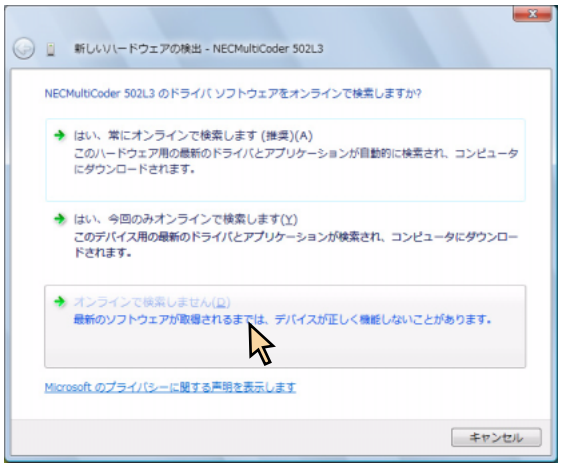
❹ ［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログボックスが表示されたら、［ドライバソフトウェアを検索してインストールします］をクリックします。



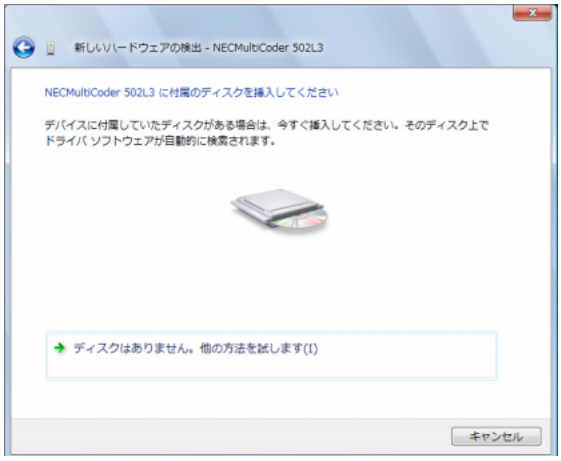
チェック

このダイアログボックスが表示されない場合は、（「インストーラーを使う」（14ページ））を参照してインストールしてください。

❺［オンラインで検索しません］をクリックします。

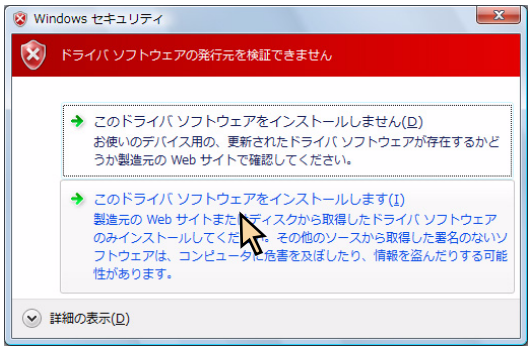


❻ 以下の画面が表示されたら、ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。

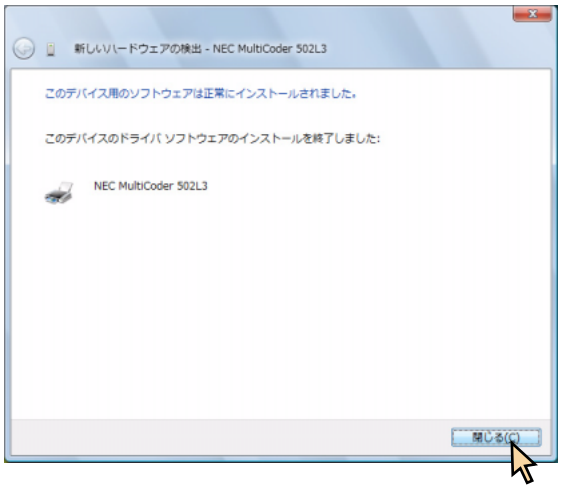


❼［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

一度このプリンタードライバーをインストールしている場合は表示されないことがあります。



❽［閉じる］をクリックします。



以上で完了です。

● Windows 8、Windows 7、Windows Server 2012/2008 R2の場合

ここではWindows 7でのインストール方法を例にしています。Windows 8、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2も手順は同じです。

❶ コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで正しく接続されていることを確認します。

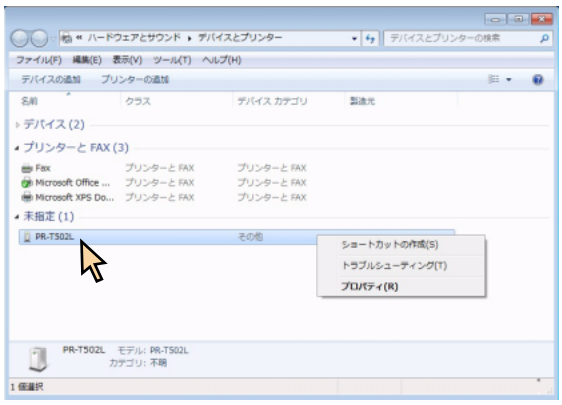
❷ プリンターの電源スイッチをONにします。

❸ コンピューターの電源をONにし、コンピューターを起動します。

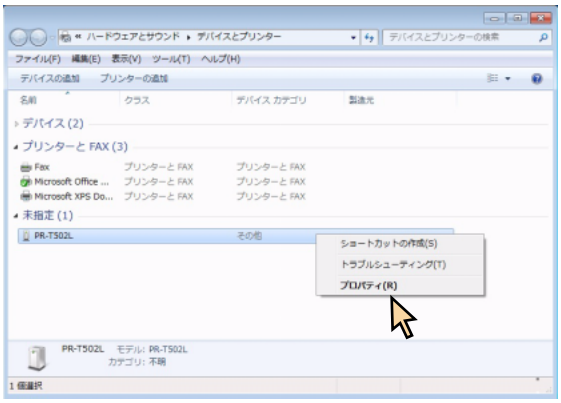
あらかじめコンピューターにプリンタードライバーがインストールされている場合は、自動的にインストールが完了します。

プリンタードライバーがインストールされていないときは、未指定のデバイスとして登録されます。

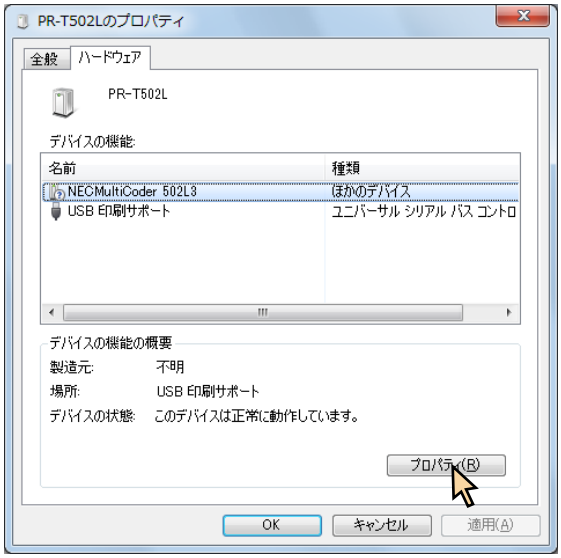
❹「コントロールパネル」ー「ハードウェアとサウンド」ー「デバイスとプリンター」をクリックし、「PR-T502L」を右クリックしてメニューを表示させます。



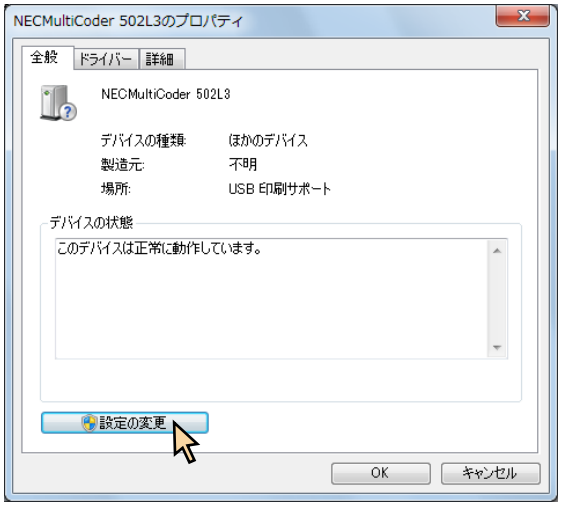
❺ メニューから［プロパティ］をクリックします。



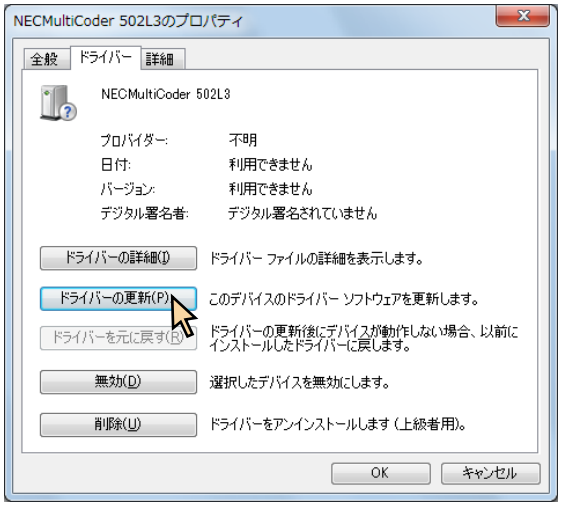
❻［ハードウェア］タブの［プロパティ］をクリックします。



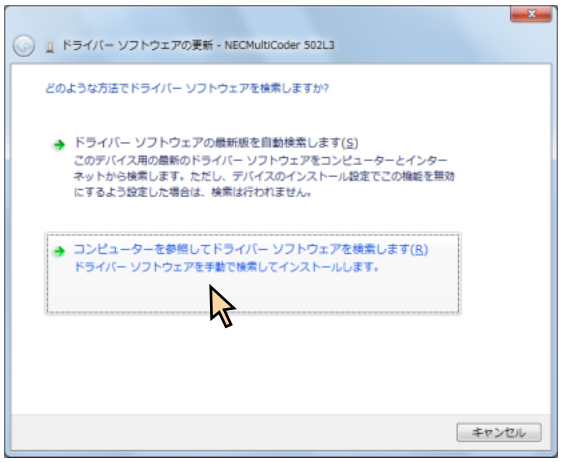
❼［全般］タブの［設定の変更］をクリックします。



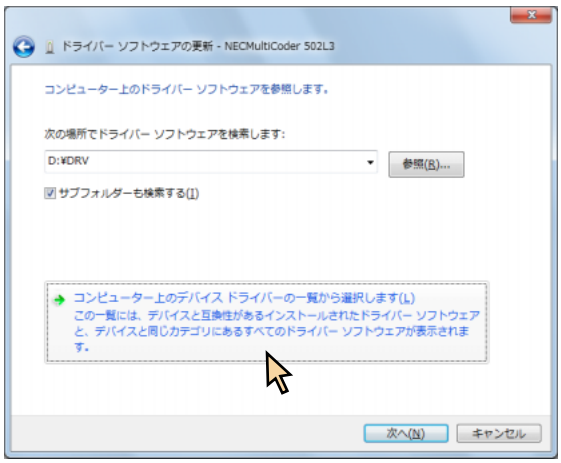
❽［ドライバー］タブの[ドライバーの更新]をクリックします。



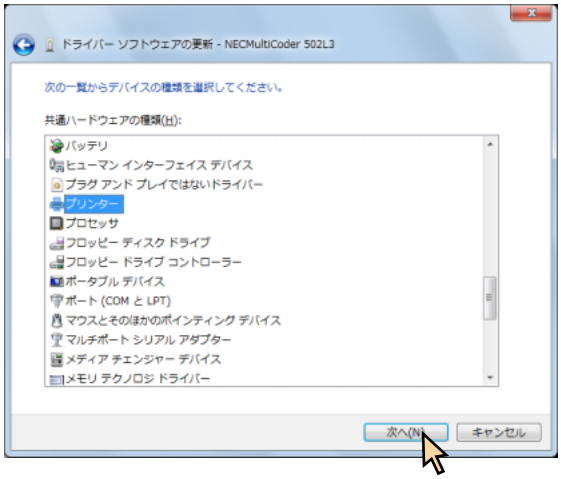
❾［コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します］をクリックします。



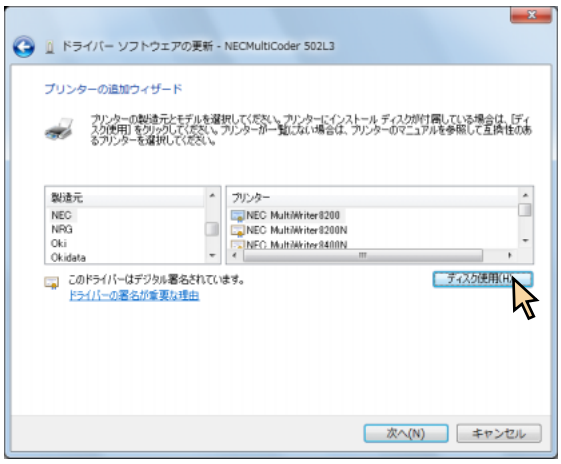
❿［コンピューター上のデバイスドライバー一覧から選択します］をクリックします。



⓫ デバイスの種類から［プリンター］を選択し、［次へ］をクリックします。

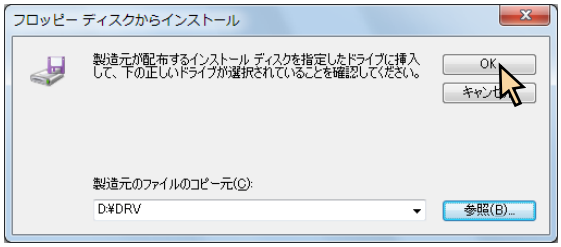


⓬ ［ディスク使用］をクリックします。

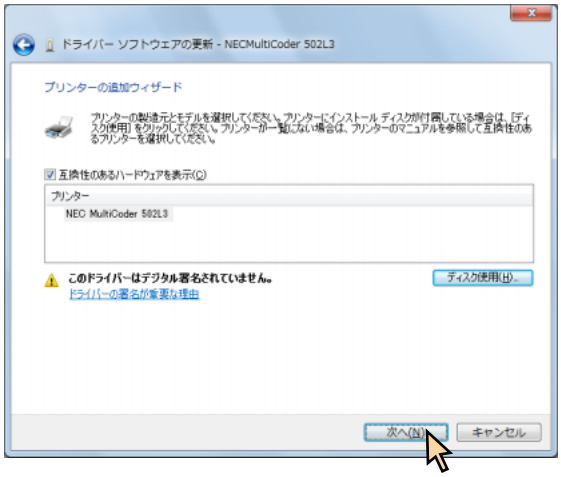


⓭ ［製造元のファイルのコピー元］を指定します。

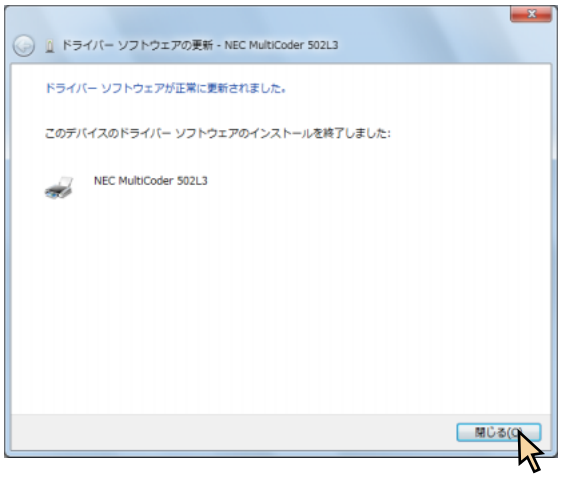
［製造元のファイルのコピー元］に、「（プリンタソフトウェアCD-ROMのセットされている）ドライブ名」、コロン（：）、円記号（¥）に続けて次の内容を入力し、［OK］をクリックします。



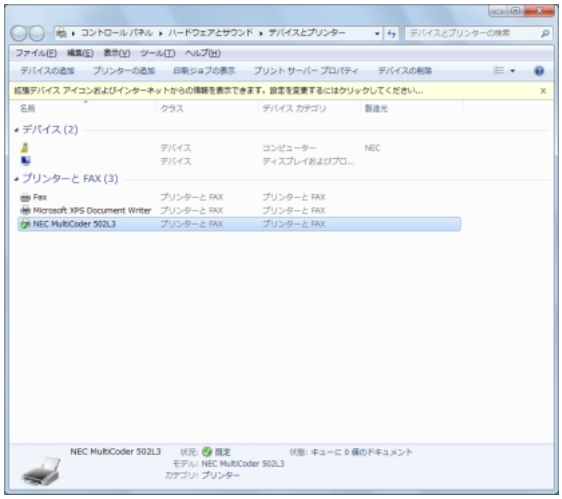
⓮ ［NEC MultiCoder 502L3］を選択し、［次へ］をクリックします。



⓯ ［閉じる］クリックします。



⓰ カテゴリがプリンターになっていることを確認します。



以上で完了です。

Windows XP/Windows Server 2003 日本語版

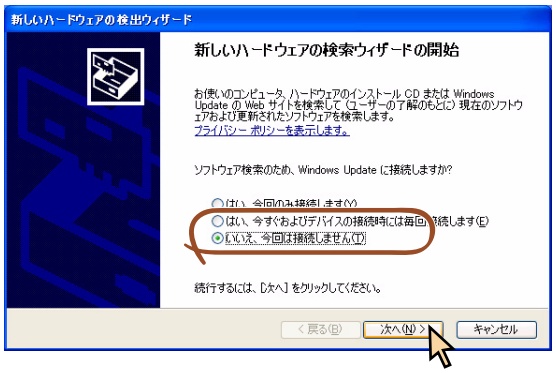
USB接続によるプラグ・アンド・プレイでのインストールの手順について説明します。パラレルインターフェースケーブル接続の場合も同じ手順で行えます。
また、Windows XPまたはWindows Server 2003のインストールの手順は同じです。ここでは、Windows XPでのインストール方法を例にしています。Windows Server 2003をお使いの方は、Windows XPをWindows Server 2003に読み替えてお使いください。
なお、Windows XPまたはWindows Server 2003の基本的な操作およびセットアップについては、Windows XPまたはWindows Server 2003に添付のマニュアルなどをご覧ください。

❶ コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで正しく接続されていることを確認します。

❷ プリンターの電源スイッチをONにします。

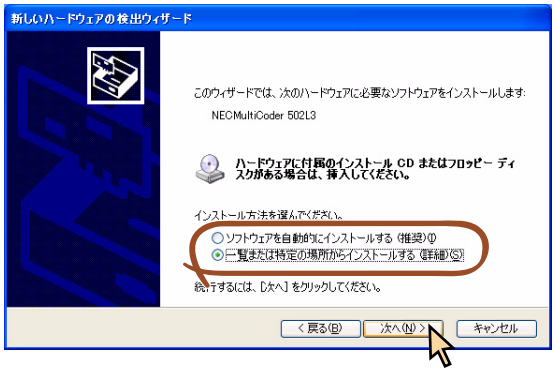
❸ コンピューターの電源をONにし、Windows XPを起動します。

❹ 次の画面が表示された場合は、［いいえ、今回は接続しません］を選択し、［次へ］をクリックします。



表示されない場合は、次へ進んでください。

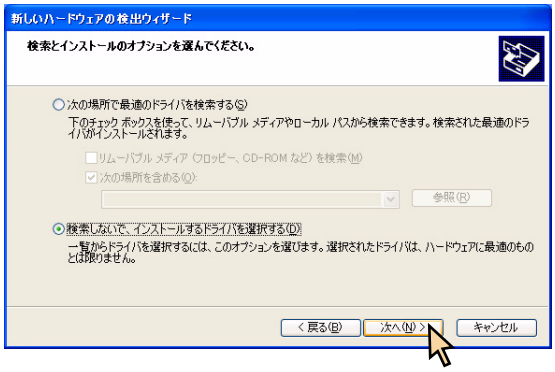
❺ ［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスが表示されたら、［一覧または特定の場所からインストールする］を選択し、［次へ］をクリックします。



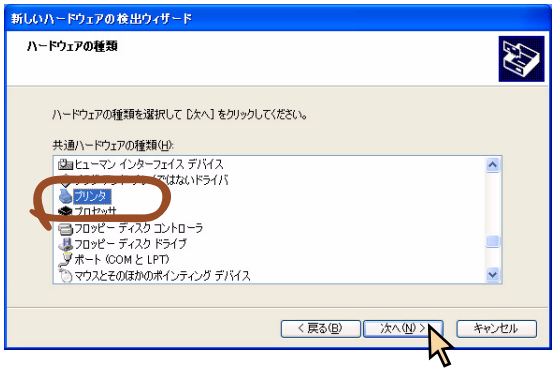
チェック

このダイアログボックスが表示されない場合は、（［インストーラーを使う］（14ページ））を参照してインストールしてください。

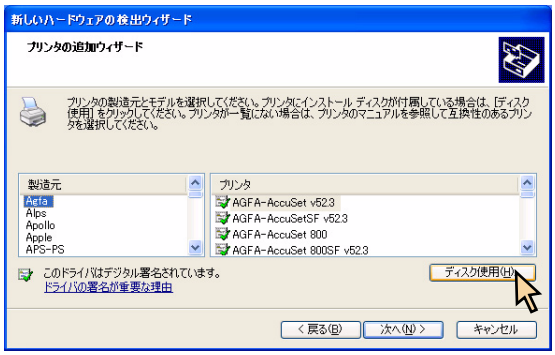
❻ ［検索しないで、インストールするドライバを選択する］を選択し、［次へ］をクリックします。



次の画面が表示された場合は、［共通ハードウェアの種類］から［プリンタ］を選択し、［次へ］をクリックしてください。



❼ ［ディスク使用］をクリックします。

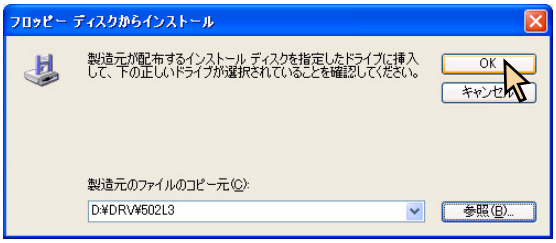


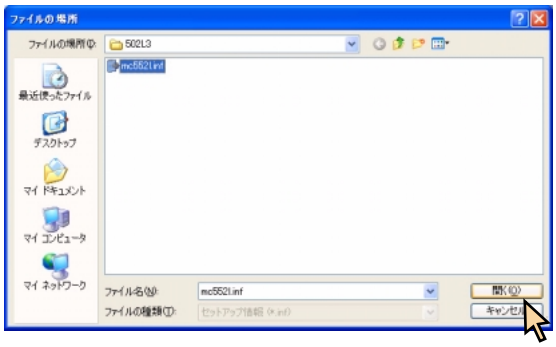
［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

❽ **［製造元のファイルのコピー元］を設定します。**

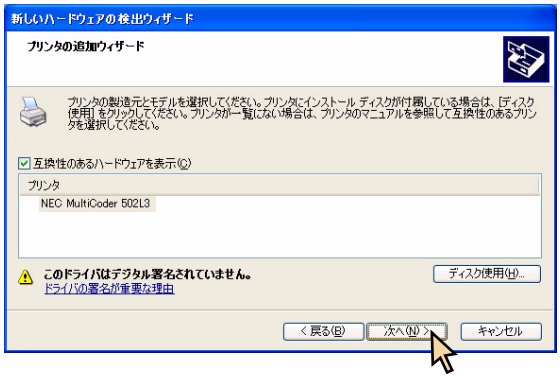
［製造元のファイルのコピー元］に、「（ソフトウェアCD-ROMのセットされている）ドライブ名」、コロン（：）、円記号（¥）に続けて“DRV¥502L3”と入力し、［OK］をクリックします。

または、［参照］クリックし、［ファイルの場所］ダイアログボックスを開き、CD-ROMを挿入したドライブの次の内容の場所にあるセットアップ情報（✱.inf）ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

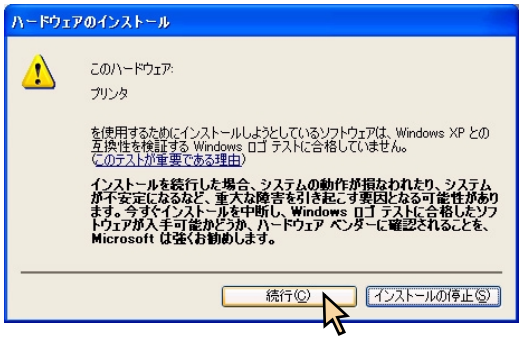




❾ **［プリンタ］に表示されたリストの中からお使いのプリンター名（［NEC MultiCoder 502L3］）を選択し、［次へ］をクリックします。**



［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。



❿ **［完了］をクリックします。**



⓫ **［プリンタとFAX］フォルダー内にインストールしたアイコンが表示されていることを確認します。**



プリンターアイコンが表示されていればインストール完了です。

Windows 2000 日本語版

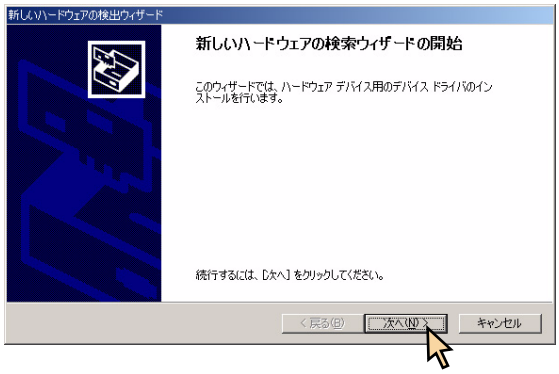
USB接続によるプラグ・アンド・プレイでのインストールの手順について説明します。パラレルインターフェースケーブル接続の場合も同じ手順で行えます。なお、Windows 2000の基本的な操作およびセットアップについては、Windows 2000に添付のマニュアルなどをご覧ください。

❶ **コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで正しく接続されていることを確認します。**

❷ **プリンターの電源スイッチをONにします。**

❸ **コンピューターの電源をONにし、Windows 2000を起動します。**

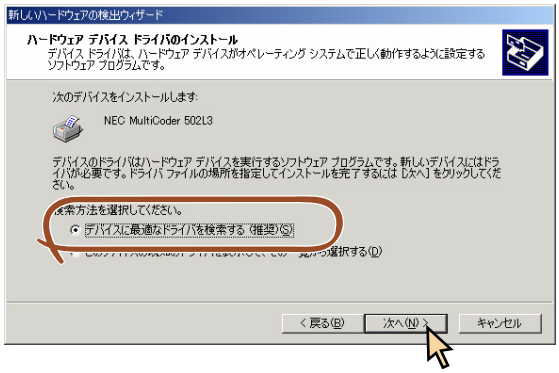
❹ **［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスが表示されたら、［次へ］をクリックします。**



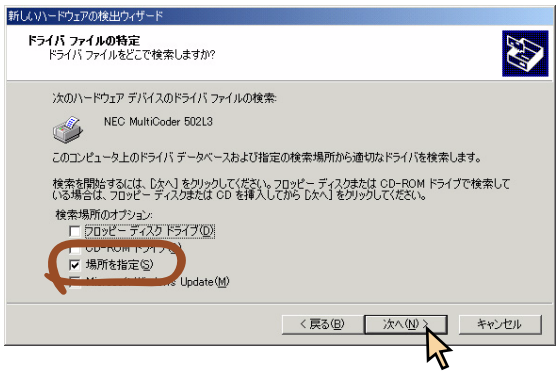
チェック

このダイアログボックスが表示されない場合は、[インストーラーを使う](14ページ)を参照してインストールしてください。

❺ **［デバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。**



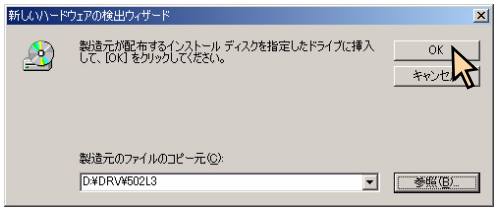
❻ **［検索場所のオプション］の中から［場所を指定］のみを選んで、［次へ］をクリックします。**

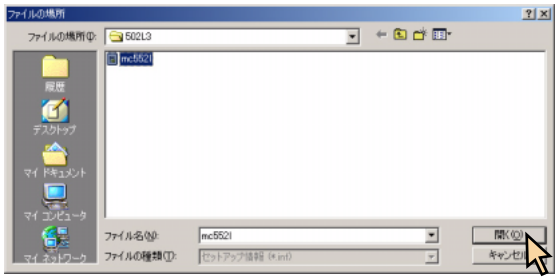


❼ **［製造元のファイルのコピー元］を設定します。**

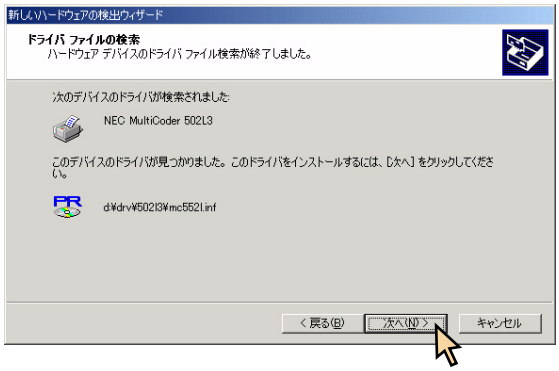
［製造元のファイルのコピー元］に、「（ソフトウェアCD-ROMのセットされている）ドライブ名」、コロン（：）、円記号（¥）に続けて“DRV¥502L3”と入力し、［OK］をクリックします。

または、［参照］クリックし、［ファイルの場所］ダイアログボックスを開き、CD-ROMを挿入したドライブの次の内容の場所にあるセットアップ情報（*.inf）ファイルを選択し、［開く］をクリックします。



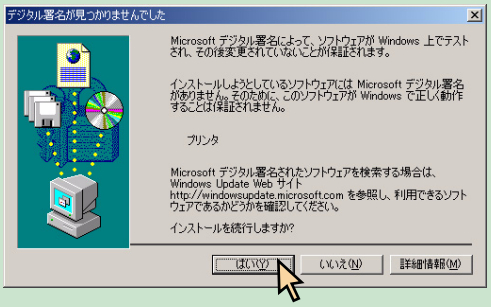


❽［次へ］をクリックします。



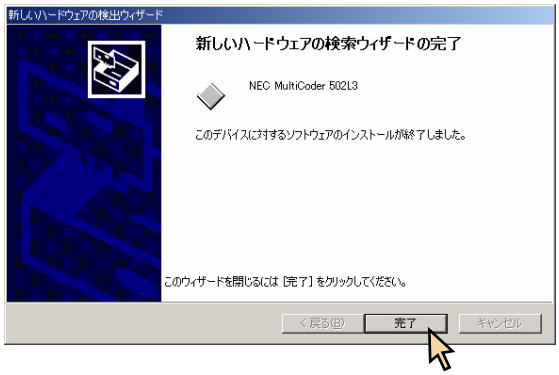
チェック

次のダイアログボックスが表示される場合があります。[はい] をクリックしてインストールを継続してください。

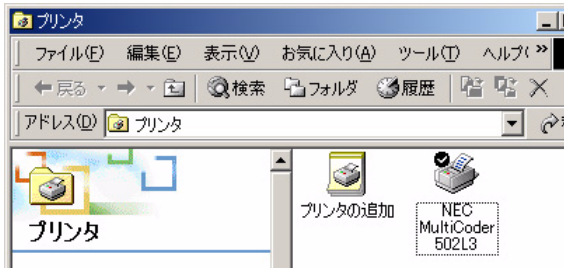


プリンタードライバーのインストールを開始します。

❾［完了］をクリックします。



❿［プリンタ］フォルダー内にインストールしたアイコンが表示されていることを確認します。



プリンターアイコンが表示されていればインストール完了です。

プリンタードライバーの削除（アンインストール）

プリンタードライバーの削除（アンインストール）方法を説明します。

❶ [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーを開きます。

Windows 8/Server 2012の場合、[デバイスとプリンター] フォルダーは、マウスポインタを画面右下隅に移動してチャームを表示し、[設定]ー[コントロールパネル]をクリックし、[デバイスとプリンターの表示]をクリックすると開きます。

Windows 7/Server 2008 R2の場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[デバイスとプリンター] の順にクリックすると開きます。

Windows Vista/Server 2008の場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタ] の順にクリックすると開きます。

Windows XP ProfessionalまたはWindows Server 2003の場合、[プリンタとFAX] フォルダーは、[スタート] から [プリンタとFAX] をクリックすると開きます。

Windows XP Home Editionの場合、[プリンタとFAX] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア] 、[プリンタとFAX] の順にクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [設定] ー [プリンタ] をクリックすると開きます。

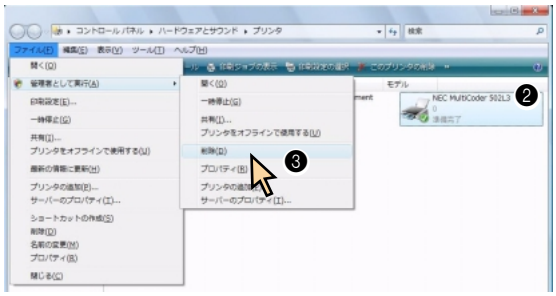
❷ 削除する本プリンター（[NEC MultiCoder 502L3]）のアイコンをクリックします。

❸ プリンタードライバーの削除を行います。

Windows 8/7/Server 2012/Server 2008 R2の場合は、メニューバーから[デバイスの削除]をクリックします。

Windows Vista/Server 2008の場合は [ファイル] メニューから [管理者として実行] ー [削除] の順にクリックします。

Windows XP、Windows 2000、またはWindows Server 2003の場合は［ファイル］メニューの［削除］をクリックします。



❹ [はい] をクリックします。

プリンタードライバーが削除されます。



プリンタードライバーのファイルを削除したい場合

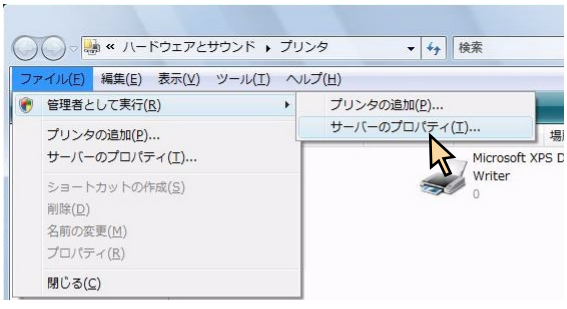
Windows 8/7/Vista/XP/2000/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008/Server 2003 日本語版では、プリンタードライバーを削除してもプリンタードライバーのファイルは削除されずに残っています。プリンタードライバーのファイルを削除したい場合は、次の手順で削除してください。

❶ [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーから［サーバーのプロパティ］画面を表示させます。

Windows 8/7またはWindows Server 2012/2008 R2の場合は、プリンタフォルダ内に残っているプリンターかFAXを選択し、メニューバーの［プリントサーバープロパティ］をクリックすると開きます。

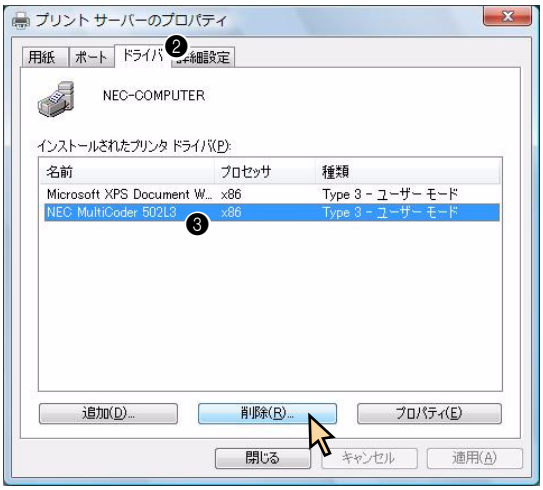
Windows VistaまたはWindows Server 2008の場合は、［ファイル］メニューから、［管理者として実行］ー［サーバーのプロパティ］の順にクリックします。

Windows XP、Windows 2000、またはWindows Server 2003の場合は［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックすると開きます。



❷［ドライバ］タブをクリックします。

❸［インストールされたプリンタドライバ］一覧から本プリンター（［NEC MultiCoder 502L3］）をクリックし、［削除］をクリックします。



Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008の場合は❹へ、その他のOSの場合は❺へ進んでください。

チェック

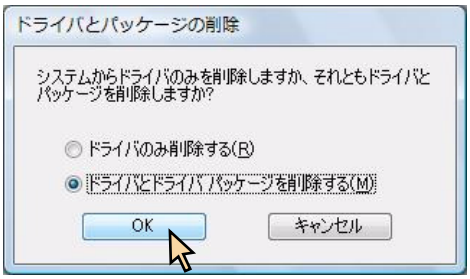
削除できないことを示す画面が表示された場合は、いったん作業を取りやめた後、OSを再起動してください。その後、はじめからやり直してください。

❹ **削除する内容を選択して［OK］をクリックします。**

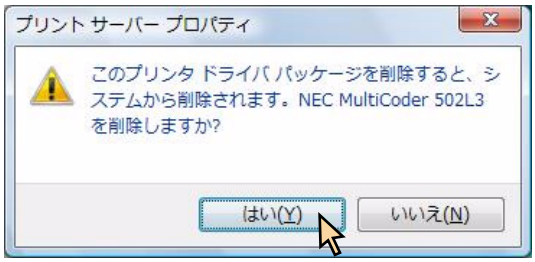
プリンタードライバーのみを削除するか、プリンタードライバーに関連する情報ファイルなど「ドライバパッケージ」を含む一式を削除するかを選択します。

［プリンタドライバのみ削除する］を選んで［OK］をクリックした場合はドライバを削除して完了します。

［ドライバとドライバパッケージを削除する］を選んだ場合は次へ進んでください。



❺［はい］をクリックします。

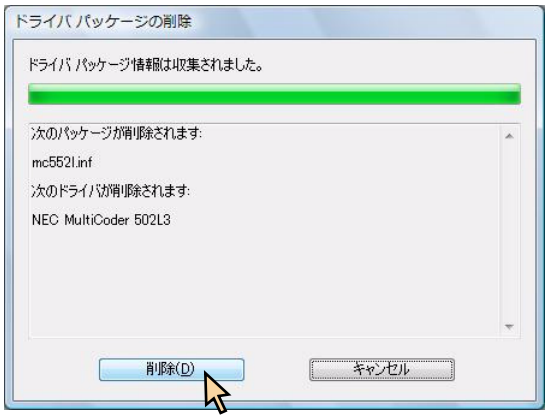


Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008の場合はコンピュータ内から削除するプリンタードライバーやドライバーパッケージの収集を開始します。❻へ進んでください。

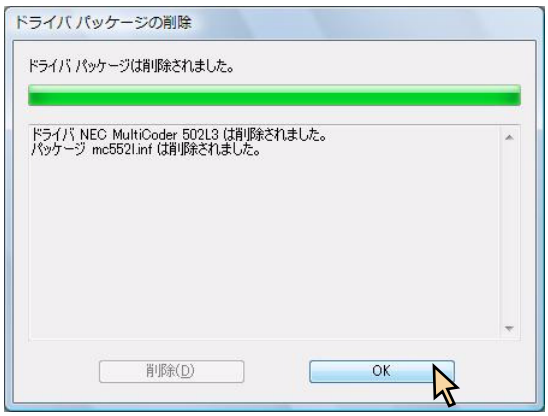
その他のOSの場合は［インストールされたプリンタドライバ］一覧からファイルが削除されます。❽へ進んでください。

❻ **［削除］をクリックします。**

［インストールされたプリンタドライバ］一覧から［NEC MultiCoder 502L3］が削除されます。



❼［OK］をクリックします。



❽［インストールされたプリンタドライバ］一覧から本プリンター（［NEC MultiCoder 502L3］）が削除されたことを確認し、プロパティ画面を閉じます。

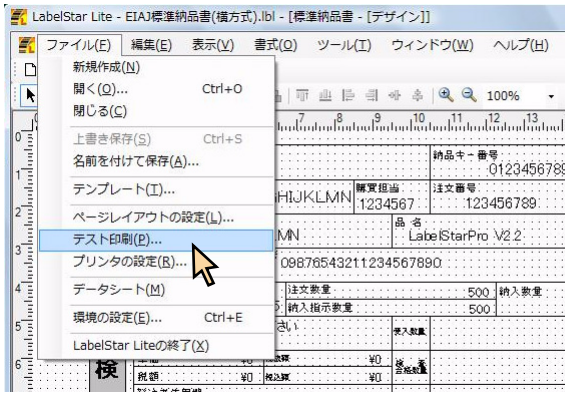
印刷の手順

ここでは、Windows Vistaで本プリンターのプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されている「LabelStar Lite」を使用した場合を例にとって印刷手順を説明します。LabelStar Liteの使い方についてはLabelStar Liteのヘルプを参照してください。また、お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる場合があります。

「印刷の指示」（78ページ）も併せて参照してください。

❶ LabelStar Liteを起動して作成済みの帳票を選び、［テスト印刷］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。



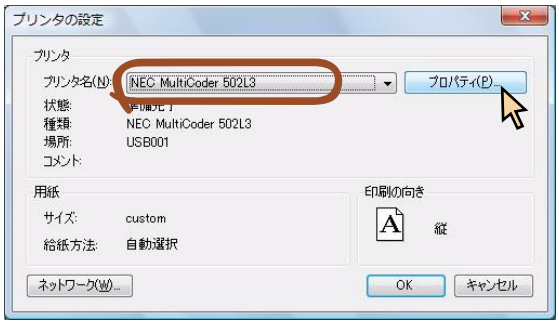
❷ ［使用するプリンタ］に「NEC MultiCoder 502L3」が表示されていることを確認して［設定］をクリックします。

もし表示されていなければ、手順❸で選択します。プリンターを「通常使うプリンタ」として設定しておきたい場合は、39ページの「プリンタードライバーの選択」を参照してください。



❸ ［プリンタ名］に「NEC MultiCoder 502L3」が選択されていることを確認して［プロパティ］をクリックします。

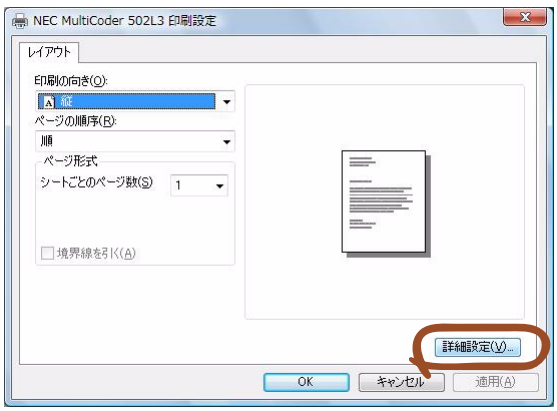
本プリンターのプロパティダイアログボックスが表示されます。



❹ 印刷の設定をします。

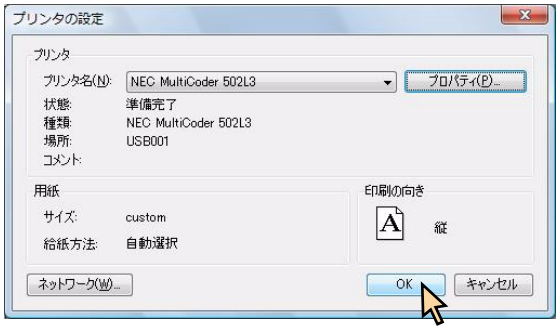
印刷の向きなどを設定します。さらに詳しい設定をしたい場合は、［詳細設定］をクリックし、設定を変更します。Windows 2000の場合は、［レイアウト］シートまたは［用紙/品質］シートで設定を変更します。

設定項目の詳細については「印刷の詳細設定」（53ページ）を参照してください。



❺ **印刷の設定が終わったら［OK］をクリックします。**

［テスト印刷］ダイアログボックスに戻ります。



❻ **印刷開始位置を設定して［OK］をクリックします。**

テスト印刷が開始されます。



プリンタードライバーの選択

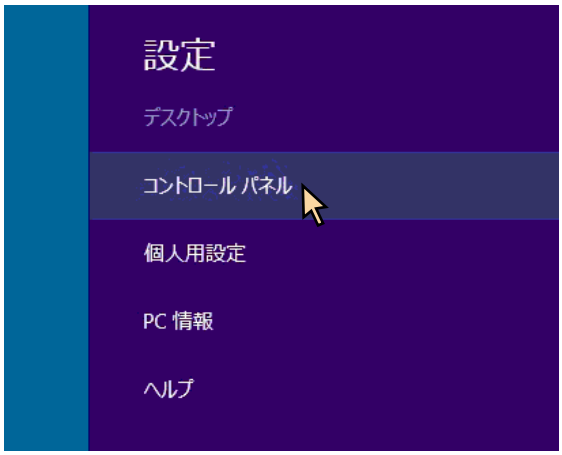
1台のコンピューターに複数のプリンタードライバーをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタードライバーを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタードライバーを選択します。

❶ [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーを開きます。

Windows 8/Server 2012の場合

① 「Windows」キーを押しながら「D」キーを押してデスクトップを表示させ、マウスポインタを画面右下隅に移動し、チャームを表示させます。

表示されたチャームから[設定チャーム]→[コントロールパネル]をクリックします。

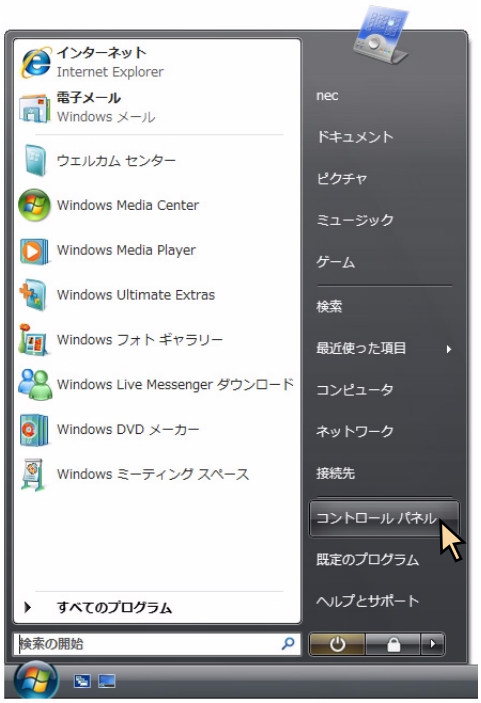


② [ハードウェアとサウンド] 項目内の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



Windows 7/Vista/Server 2008の場合

① [スタート] から [コントロールパネル] をクリックします。



② Windows Vista/Server 2008の場合は、[ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2の場合は、[デバイスとプリンター] をクリックします。

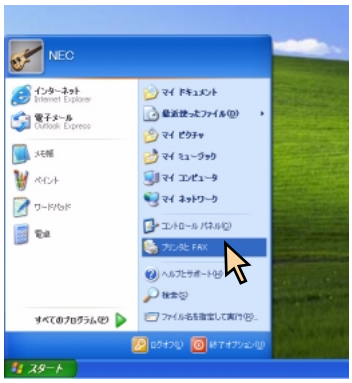


Windows XP Professional/Server 2003の場合

［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合

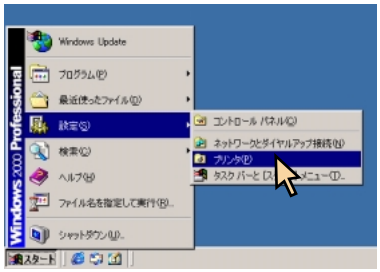
［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。



Windows XP Professional 日本語版での画面例

Windows 2000の場合

［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

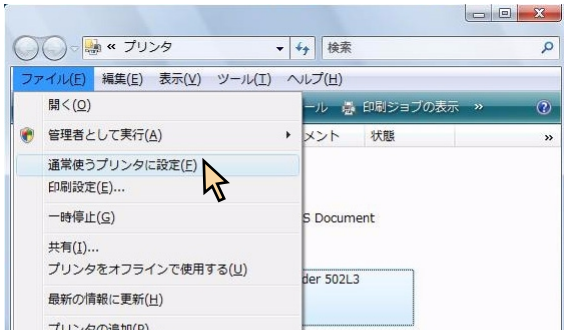


❷「NEC MultiCoder 502L3」アイコンをクリックします。

ドライバーのインストール時に付けた名前が表示されます。

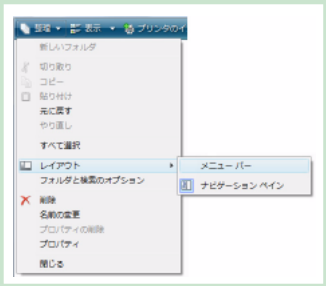


❸［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックします。



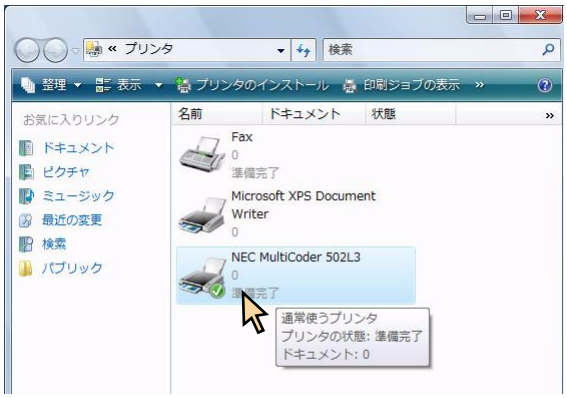
チェック

Windows Vista/Server 2008をお使いのコンピューターで、［ファイル］メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、［整理］メニューから［レイアウト］を選び、［メニューバー］をクリックしてチェックマークを付けてください。



コンピューターのキーボードの＜Alt＞キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

これでプリンタードライバーが選択されます。



印刷先の変更

本プリンターは次のインターフェースをサポートしています。

- USBインターフェース（USBnnn　nnnは任意の数字）.....42ページ
- LANインターフェース（NEC Print Server Port）.....44ページ
- パラレルインターフェース（LPTn　nは任意の数字）.....46ページ
- RS-232Cインターフェース（COMn　nは任意の数字）.....48ページ

上記のカッコ内に示す「ポート（印刷先）」はプリンタードライバーのインストールの際に登録されます。プリンターの接続先を変更した場合は、プリンターのプロパティダイアログボックスでもポートの設定を変更する必要があります。ここではWindows Vista 日本語版の環境でインストール済みのプリンタードライバーの印刷先を変更する方法について説明します。その他のOSも同じ手順で変更できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

チェック

- 印刷先は添付のソフトウェア CD-ROM を使ったプリンタードライバーのインストール手順の中で設定することもできます。詳しくは「プリンタードライバーのインストール」（12ページ）を参照してください。
- NEC Print Server Portはプリントサーバーに添付のCD-ROMからインストールを行ってください。

USBインターフェースへの切り替え

プリンタードライバーをインストールする際に接続先をLANにした設定をUSBに切り替える手順です。

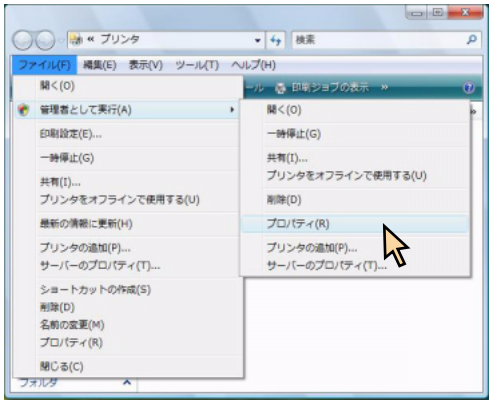
チェック

- ここに示す手順において、[ポート]の一覧に該当のポートが存在しない場合は、「プラグ・アンド・プレイによるインストール」(27ページ)を参照してプラグ・アンド・プレイでプリンタードライバーをインストールしてください。
- MultiCoder　502Lシリーズにインターフェースボードが装着された状態でUSBインターフェースを使用する場合は、プリンター本体にあるスイッチ（DIP SW10）を“ON”に切り替えてください。DIP SWの変更については「プリンターソフトウェアについて　～インストール／アンインストール前の注意事項～」(viページ)またはユーザーズマニュアルを参照してください。

❶ [NEC MultiCoder 502L3のプロパティ]ダイアログボックスを表示させます。

Windows　8/Server　2012の場合は、[NEC　MultiCoder 502L3]アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。

Windows　7/Server　2008　R2の場合は、[ファイル]メニューの[プリンターのプロパティ]をクリックします。
Windows　Vista/Server　2008の場合は、[ファイル]メニューの[管理者として実行]から[プロパティ]をクリックします。

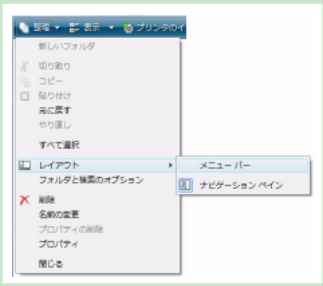


重要

- Windows　8/7/Vista/Server　2012/Server 2008　R2/Server 2008の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。
  表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または[続行]の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで[ファイル]メニューの配下にある[プロパティ]を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。[標準ユーザー]の場合は、[管理者として実行]から[プロパティ]を選択してください。

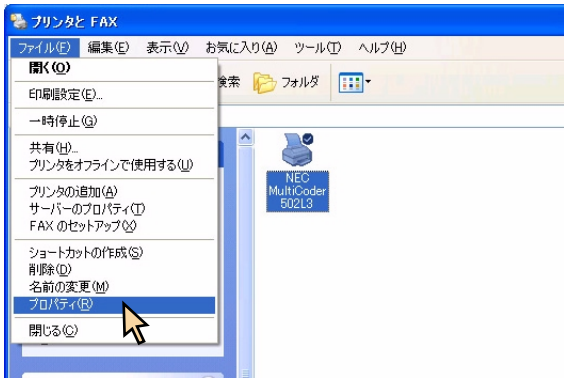
チェック

Windows　7/Vista/Server　2008をお使いのコンピューターで、[ファイル]メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理]メニューから[レイアウト]を選び、[メニューバー]をクリックしてチェックマークを付けてください。

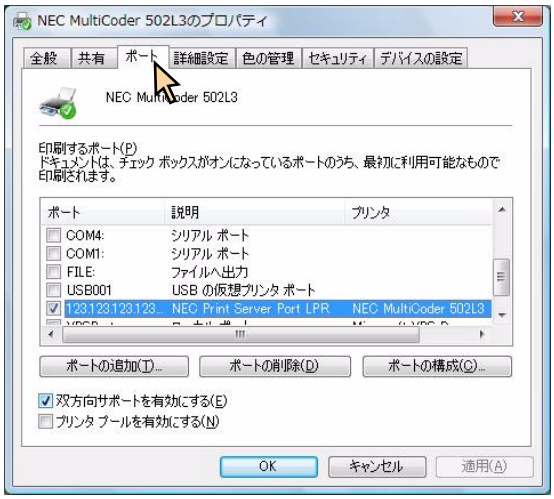


コンピューターのキーボードの<Alt>キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

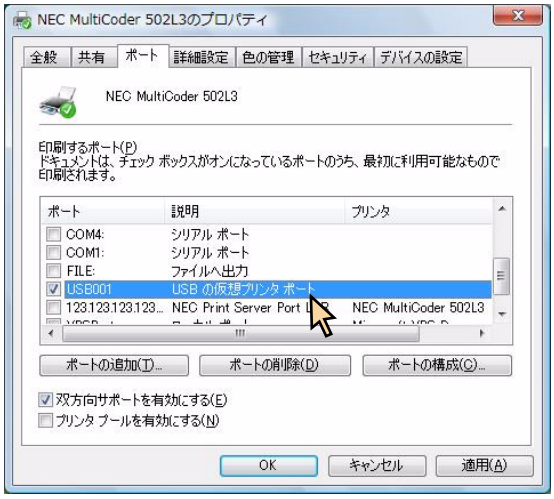
Windows　8/7/Vista/Server　2012/Server　2008　R2/Server 2008以外では、[プリンタ]フォルダーまたは[プリンタとFAX]フォルダーの[NEC MultiCoder 502L3]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。



❷［ポート］シートを開きます。

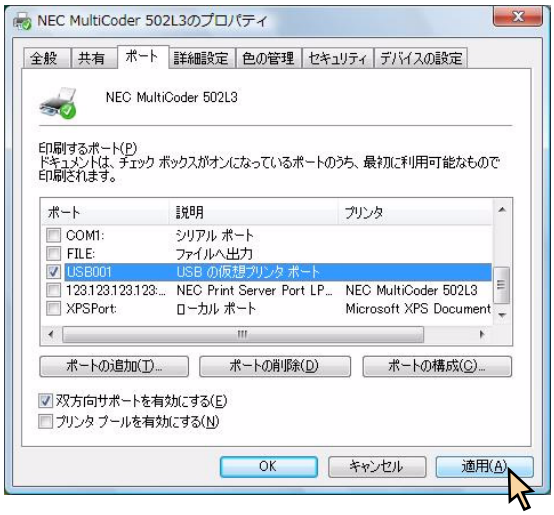


❸［ポート］の一覧から［USBnnn］（nnnは任意の数字）をクリックします。



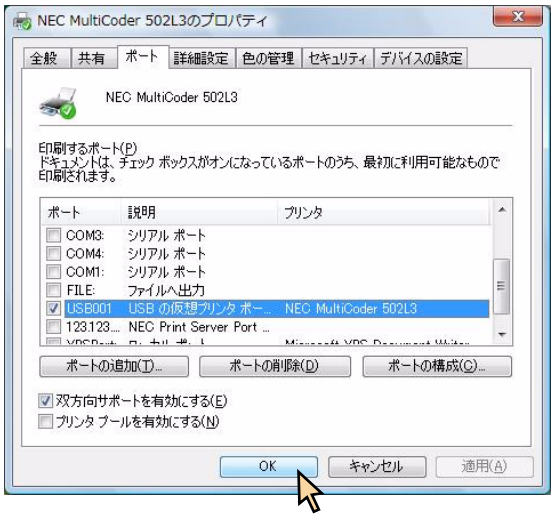
❹［適用］をクリックします。

［プリンタ］の欄にプリンタードライバーの名前が表示されます。



❺［OK］をクリックします。

印刷先の変更が完了しました。



LANインターフェースへの切り替え

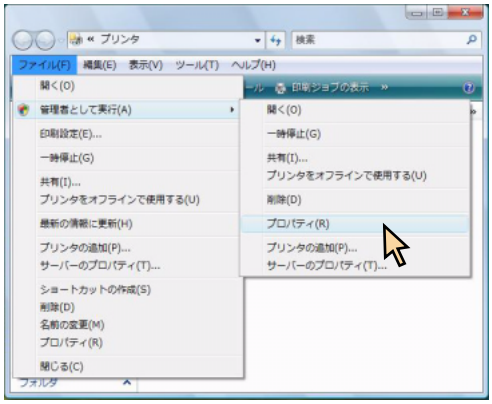
プリンタードライバーをインストールする際に、接続先をUSBとしてインストールした設定をLANに切り替える手順です。LANへの切り替えはLPR（Line Printer Remote）、IPP（Internet Printing Protocol）、またはRAW（TCP/IP 9100）の3つのプロトコルから選択することができますが、ここではLPRプロトコルへの切り替え手順を説明します。プリンターソフトウェアのインストールにより作成されたプリンターの［ポート］プロパティシート上で行います。印刷先は「NEC Print Server Port」を指定します。

チェック

- NEC Print Server Portはプリントサーバーに添付のCD-ROMからインストールを行ってください。手順の詳細についてはプリントサーバーのマニュアルを参照してください。
- MultiCoder 502Lシリーズ でLANインターフェースを使用する場合は、プリンターのDIP SW10（インターフェースの切り替え）を“OFF”に設定してください。DIP SWの変更については、「プリンターソフトウェアについて　～インストール／アンインストール前の注意事項～」（viページ）またはユーザーズマニュアルを参照してください。

❶［NEC MultiCoder 502L3のプロパティ］ダイアログボックスを表示させます。

Windows 8/Server 2012の場合は、[NEC MultiCoder 502L3]アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。
Windows 7/Server 2008 R2の場合は、［ファイル］メニューの［プリンターのプロパティ］をクリックします。
Windows Vista/Server 2008 の場合は、［ファイル］メニューの［管理者として実行］から［プロパティ］をクリックします。

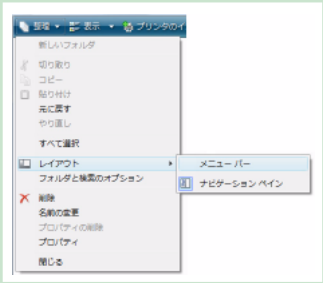


重要

- Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または［続行］の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで［ファイル］メニューの配下にある［プロパティ］を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。［標準ユーザー］の場合は、［管理者として実行］から［プロパティ］を選択してください。

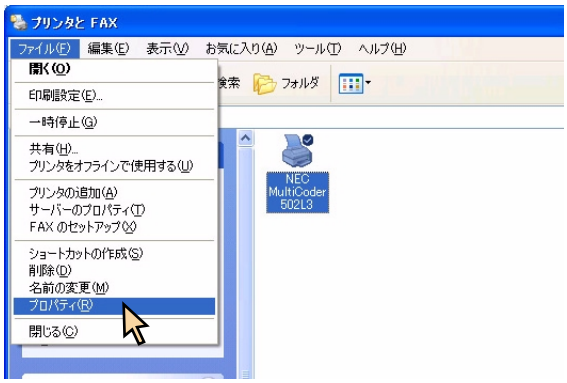
チェック

Windows 7/Vista/Server 2008をお使いのコンピューターで、［ファイル］メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、［整理］メニューから［レイアウト］を選び、［メニューバー］をクリックしてチェックマークを付けてください。

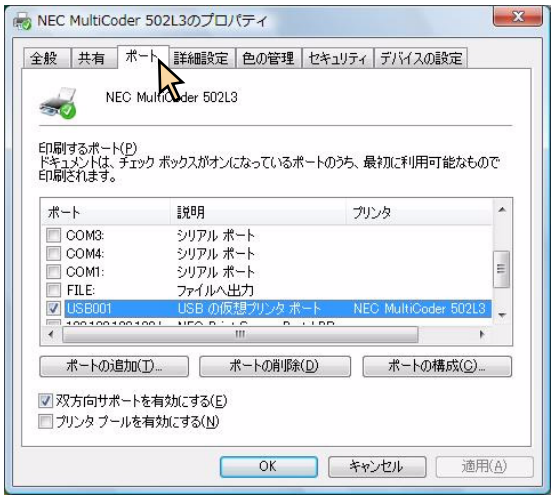


コンピューターのキーボードの＜Alt＞キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008以外では、［プリンタ］フォルダーまたは［プリンタとFAX］フォルダーの［NEC Multi Coder 502L3］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



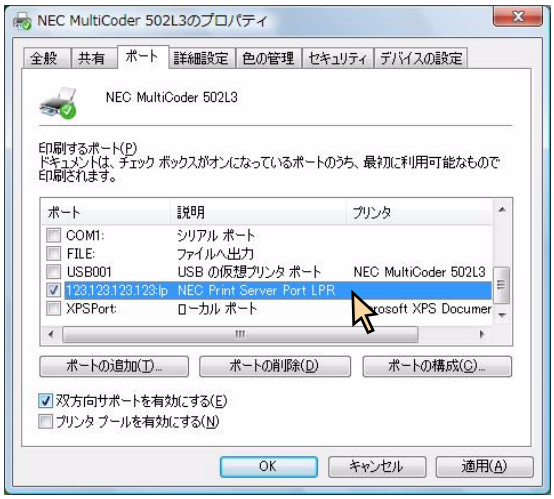
❷ ［ポート］シートを開きます。



❸ 設定済みのNEC Print Server Portを選択します。

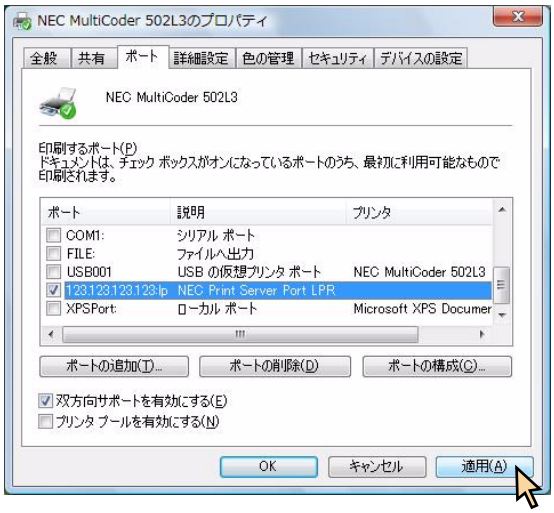
下図は［NEC Print Server Port LPR］でIPアドレスが［123.123.123.123］に設定されたNEC Print Server Portを選択している場合の例です。

使用するポートが一覧にない場合は、［ポートの追加］をクリックして新しいポートを作成してください。作成手順の詳細はプリントサーバーのマニュアルを参照してください。



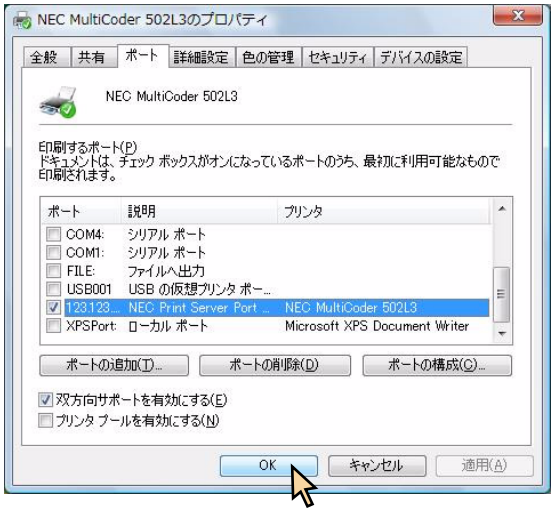
❹ ［適用］をクリックします。

［プリンタ］の欄にプリンタードライバーの名前が表示されます。



❺ ［OK］をクリックします。

印刷先の変更が完了しました。



パラレルインターフェースへの切り替え

プリンタードライバーをインストールする際に接続先をUSBにした設定をパラレルインターフェースに切り替える手順です。

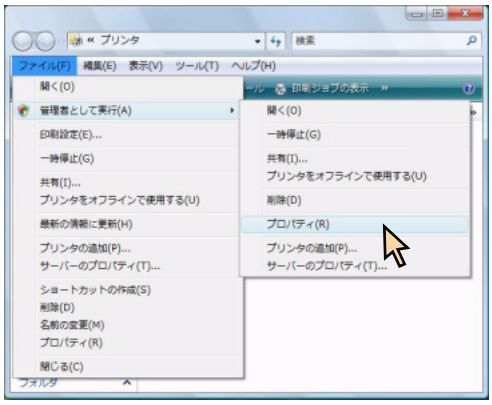
チェック

- USB+パラレルインターフェースモデルのみパラレルインターフェースを使用することができます。
- ここに示す手順を行う前に、「プラグ・アンド・プレイによるインストール」(27ページ)を参照してプリンターの追加を行えるか確認してください。プラグ・アンド・プレイによるプリンターの追加ウィザードが起動しなかった場合に以下の手順を行ってください。

❶ [NEC MultiCoder 502L3のプロパティ]ダイアログボックスを表示させます。

Windows 8/Server 2012の場合は、[NEC MultiCoder 502L3]アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2の場合は、[ファイル]メニューの[プリンターのプロパティ]をクリックします。
Windows Vista/Server 2008の場合は、[ファイル]メニューの[管理者として実行]から[プロパティ]をクリックします。

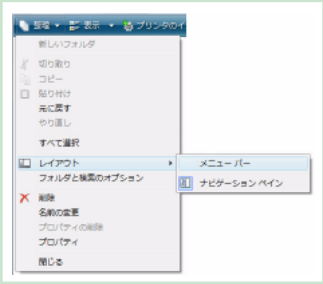


重要

- Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。
  表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または[続行]の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで[ファイル]メニューの配下にある[プロパティ]を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。[標準ユーザー]の場合は、[管理者として実行]から[プロパティ]を選択してください。

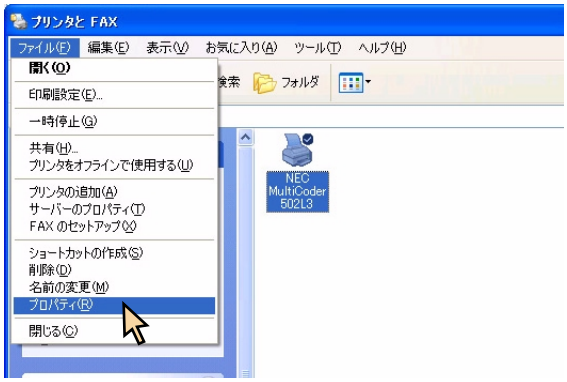
チェック

Windows 7/Vista/Server 2008をお使いのコンピューターで、[ファイル]メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理]メニューから[レイアウト]を選び、[メニューバー]をクリックしてチェックマークを付けてください。

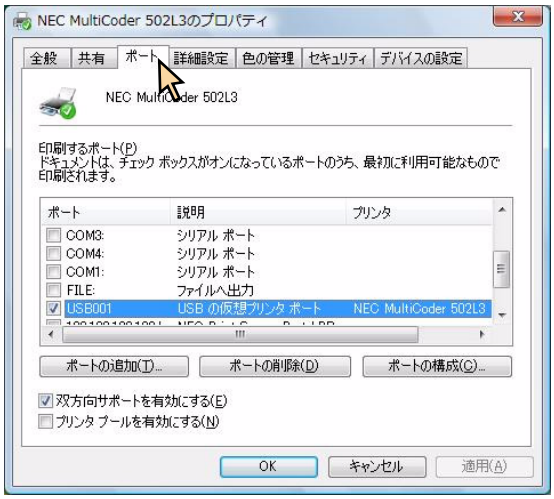


コンピューターのキーボードの<Alt>キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

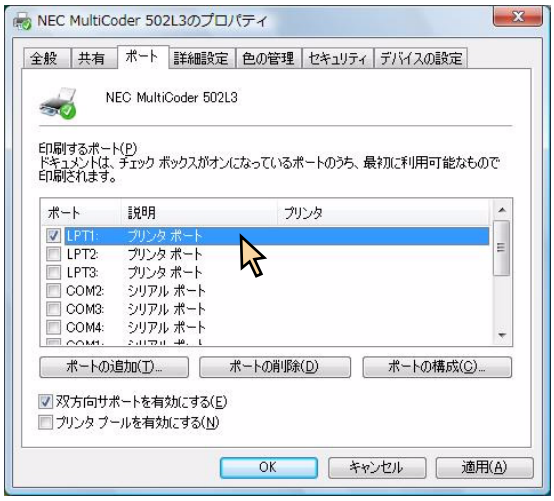
Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008以外では、[プリンタ]フォルダーまたは[プリンタとFAX]フォルダーの[NEC Multi Coder 502L3]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。



❷［ポート］シートを開きます。

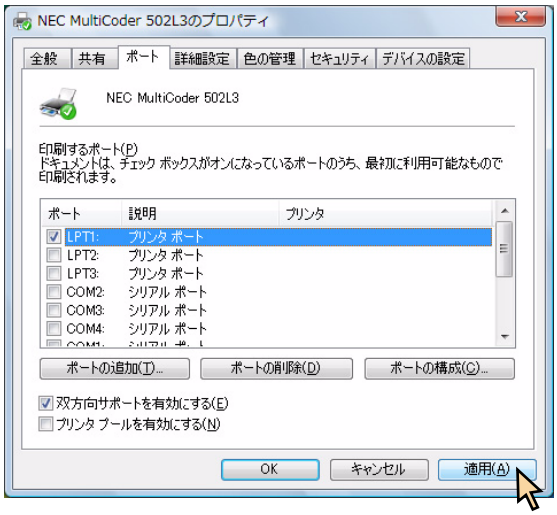


❸［ポート］の一覧から［LPT1］をクリックします。



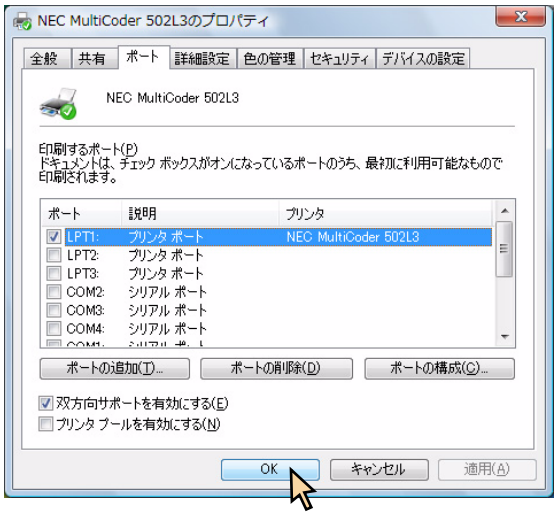
❹［適用］をクリックします。

［プリンタ］の欄にプリンタードライバーの名前が表示されます。



❺［OK］をクリックします。

印刷先の変更が完了しました。



RS-232Cインターフェースへの切り替え

プリンタードライバーをインストールする際に接続先をUSBにした設定をRS-232Cインターフェースに切り替える手順です。

チェック

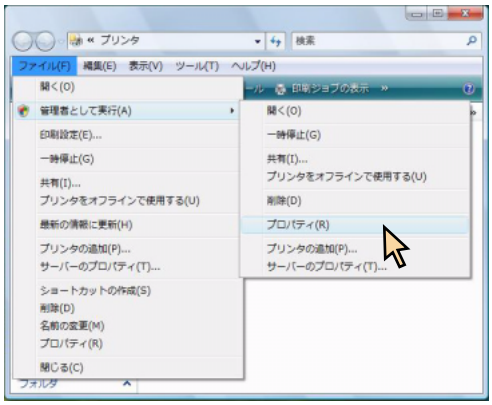
USB+RS-232CモデルのみRS-232Cインターフェースを使用することができます。

❶ [NEC MultiCoder 502L3のプロパティ]ダイアログボックスを表示させます。

Windows 8/Server 2012の場合は、[NEC MultiCoder 502L3]アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2の場合は、[ファイル]メニューの[プリンターのプロパティ]をクリックします。

Windows Vista/Server 2008の場合は、[ファイル]メニューの[管理者として実行]から[プロパティ]をクリックします。

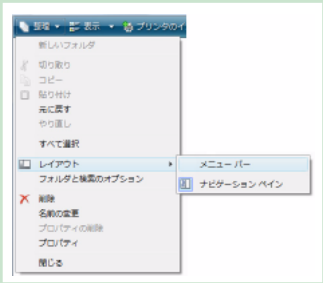


重要

- Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。
  表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または[続行]の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで[ファイル]メニューの配下にある[プロパティ]を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。[標準ユーザー]の場合は、[管理者として実行]から[プロパティ]を選択してください。

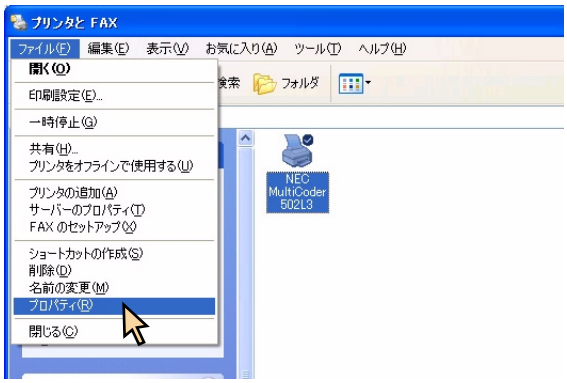
チェック

Windows 7/Vista/Server 2008をお使いのコンピューターで、[ファイル]メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理]メニューから[レイアウト]を選び、[メニューバー]をクリックしてチェックマークを付けてください。

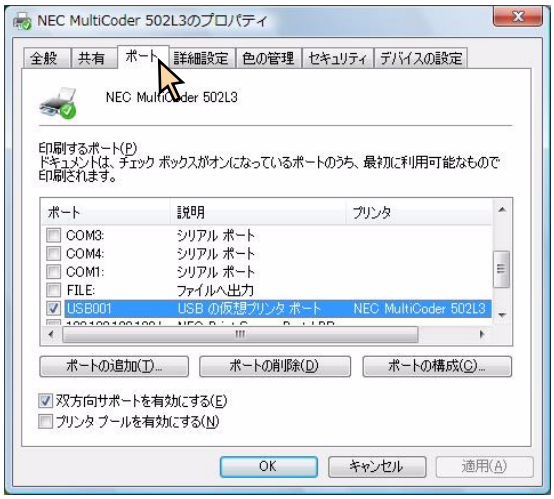


コンピューターのキーボードの<Alt>キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

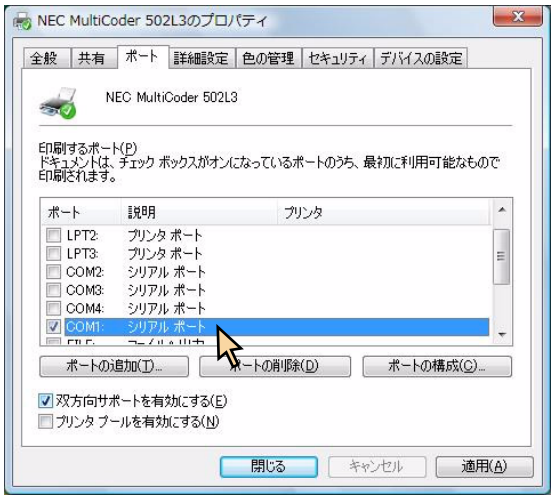
Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008以外では、[プリンタ]フォルダーまたは[プリンタとFAX]フォルダーの[NEC Multi Coder 502L3]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。



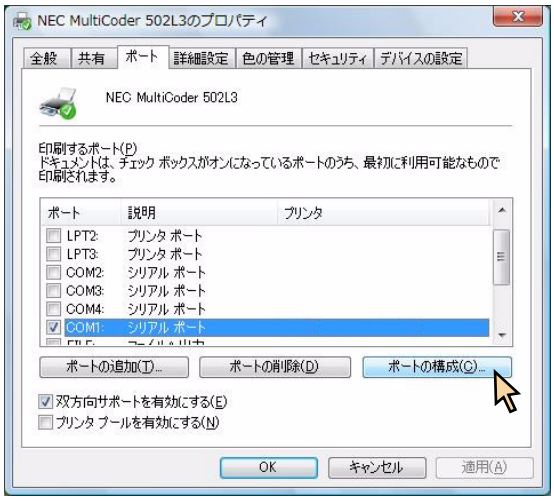
❷ ［ポート］シートを開きます。



❸ ［ポート］の一覧から［COMn］（n は任意の数字）をクリックします。



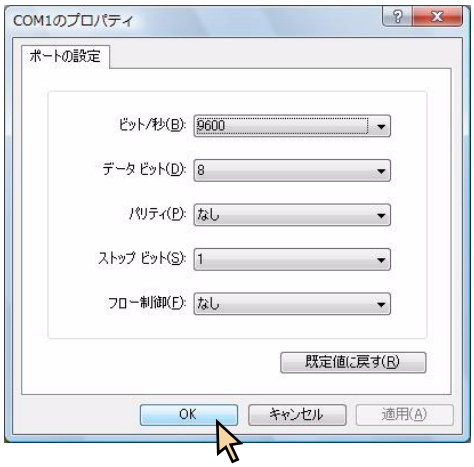
❹ ［ポートの構成］をクリックします。



❺ ［ポートの設定］にある各項目を RS-232C インターフェースボードのディップスイッチの設定に合わせます。

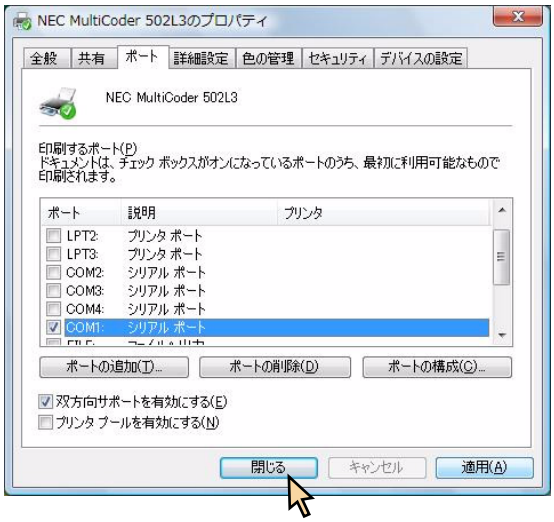
ディップスイッチの設定については付録の「DIP SW設定早見表（RS-232C）」（253ページ）を参照してください。

❻ ［OK］をクリックします。



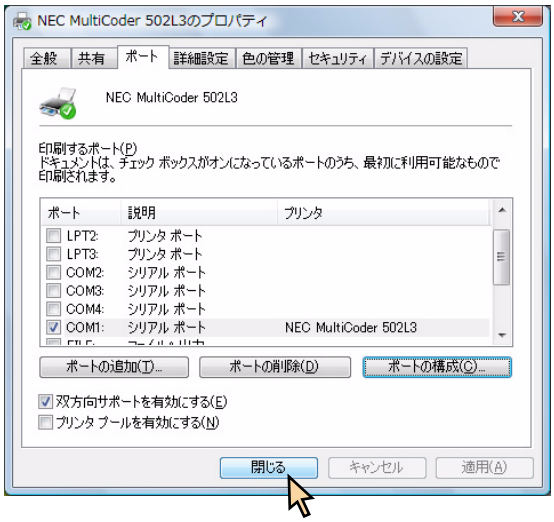
❼ ［適用］をクリックします。

［プリンタ］の欄にプリンタードライバーの名前が表示されます。



❽ ［閉じる］をクリックします。

印刷先の変更が完了しました。



共有プリンターに設定する

本プリンターをネットワークで共有する場合の設定について説明します。
ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

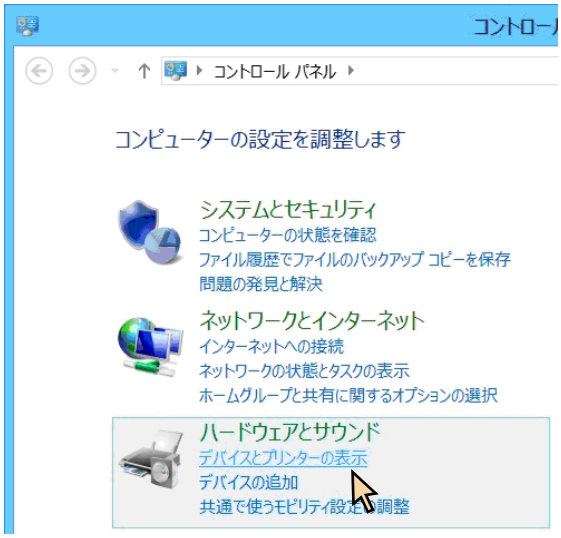
ここではWindows Vistaの環境で共有プリンターに設定する方法について説明します。その他のOSも同じ手順で変更できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

❶ [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーを開きます。

Windows 8/Server 2012の場合

① マウスポインタを画面右下隅に移動し、チャームを表示させます。表示されたチャームから[設定チャーム]→[コントロールパネル]をクリックします。

② [ハードウェアとサウンド] 項目内の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



Windows 7/Vista/Server 2008 R2/Server 2008の場合

① [スタート] から [コントロールパネル] をクリックします。

② Windows Vistaの場合は、[ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。



Windows 7、Windows Server 2008 R2の場合は、[デバイスとプリンター] をクリックします。

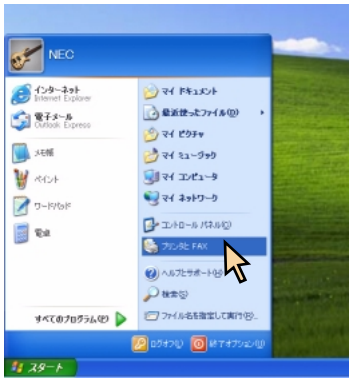
Windows Server 2008の場合は、[プリンタ] をクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003の場合

[スタート] の [プリンタとFAX] をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合

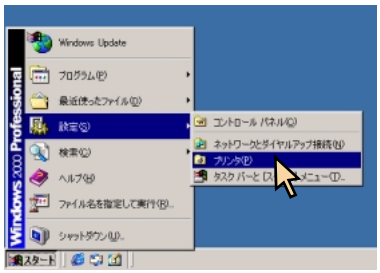
[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX] の順にクリックします。



Windows XP Professional 日本語版での画面例

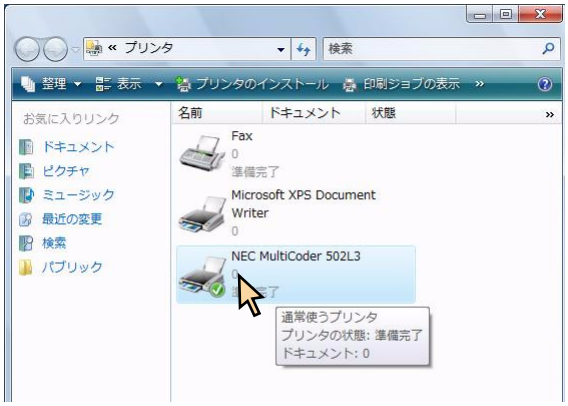
Windows 2000の場合

[スタート] の [設定] から [プリンタ] をクリックします。



❷ **「NEC MultiCoder 502L3」アイコンをクリックします。**

アイコン名は、プリンタードライバーのインストール時に付けた名前で表示されます。

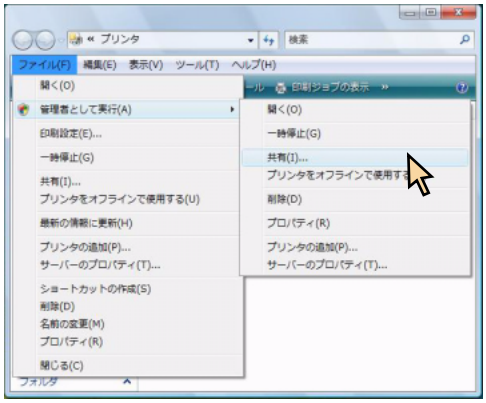


❸ **［NEC MultiCoder 502L3のプロパティ］ダイアログボックスの［共有］シートを表示します。**

Windows 8/Server 2012の場合は、[NEC MultiCoder 502L3]アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2の場合は、［ファイル］メニューの［プリンターのプロパティ］をクリックします。

Windows Vista/Server 2008の場合は、［ファイル］メニューの[管理者として実行]から[共有]をクリックします。

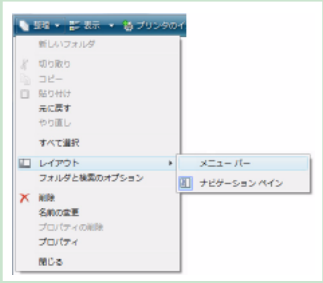


重要

- Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。
  表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または［続行］の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで［ファイル］メニューの配下にある［プロパティ］を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。[標準ユーザー]の場合は、［管理者として実行］から［プロパティ］を選択してください。

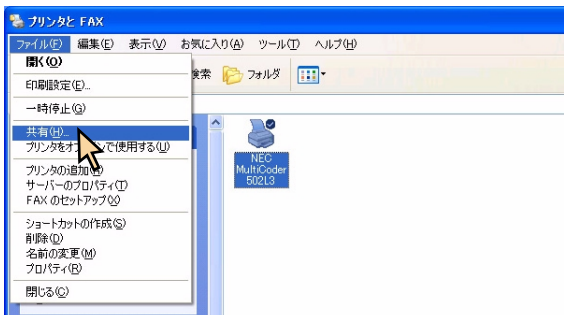
チェック

Windows 7/Vista/Server 2008をお使いのコンピューターで、［ファイル］メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理]メニューから［レイアウト］を選び、［メニューバー］をクリックしてチェックマークを付けてください。

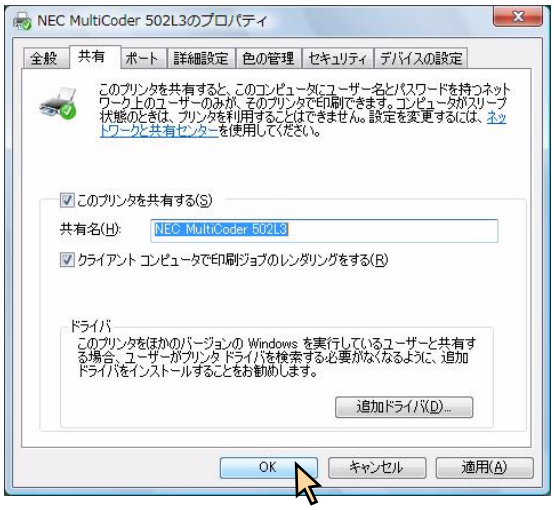


コンピューターのキーボードの＜Alt＞キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

Windows 7/Vista/Server 2008 R2/Server 2008以外をお使いのコンピューターの場合は、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。



❹ **［このプリンタを共有する］または［共有する］をチェックし、そのプリンターの共有名を入力し、［OK］をクリックします。**



これで共有プリンターの設定は完了です。

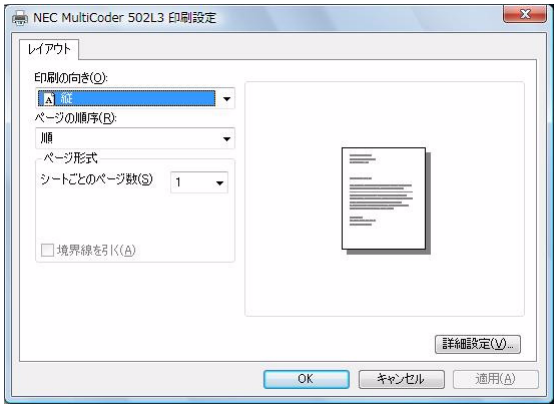
印刷の詳細設定

次のような2つの［プロパティ］ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。

ここではWindows Vista 日本語版のプリンタードライバーを中心に説明します。 その他のOSをお使いの場合は、画面の表示が多少異なりますが、プリンタードライバーが提供する機能はほとんど同じです。OSによって異なる機能やメニュー項目については該当の部分で説明を加えています。

［印刷設定］ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次のプロパティシートから構成されています。



［印刷設定］ダイアログボックスで詳細設定を行う（［レイアウト］シート）

［プロパティ］ダイアログボックス

プリンターのポートや共有などに関する設定をするダイアログボックスです。次の6枚のプロパティシートから構成されています。



- ［全般］シート
- ［共有］シート
- ［ポート］シート
- ［詳細設定］シート
- ［色の管理］シート（Windows　8/7/Vista/Server 2012/Server 2008のみ）
- ［セキュリティ］シート*
- ［デバイスの設定］シート

* Windows XP Home Editionの場合、表示されません。Windows XP Professionalの場合、設定によって表示されないことがあります。

チェック

アプリケーションによっては、ダイアログボックスの設定を変更するタイミングに関係なくアプリケーションからの設定が優先されるものがあります。また、［スタート］からの設定変更に合わせて、アプリケーションの設定も自動的に変わるなど、使用するアプリケーションによって異なりますのでアプリケーションのマニュアルを参照してください。

［プロパティ］ダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- デスクトップ上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法

  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定となります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示されないことがあります。

［スタート］ボタンを使って呼び出す

❶ ［プリンタ］フォルダーまたは［プリンタとFAX］フォルダーを開きます。

Windows 8/Server 2012の場合

① マウスポインタを画面右下隅に移動し、チャームを表示させます。表示されたチャームから[設定チャーム]→[コントロールパネル]をクリックします。

② ［ハードウェアとサウンド］項目内の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。



Windows 7/Vista/Server 2008 R2/Server 2008の場合

① ［スタート］から［コントロールパネル］をクリックします。

② Windows Vistaの場合は、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。



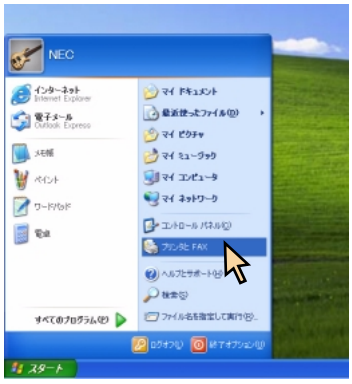
Windows 7/Server 2008 R2の場合は、［デバイスとプリンター］をクリックします。
Windows Server 2008の場合は、［プリンタ］をクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003の場合

［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合

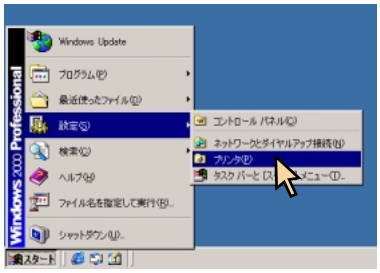
［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。



Windows XP Professional 日本語版での画面例

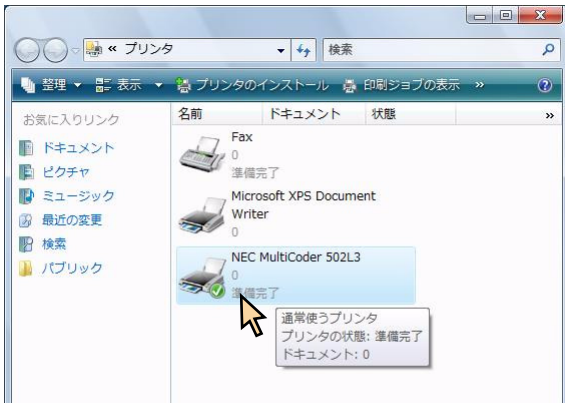
Windows 2000の場合

［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。



❷「NEC MultiCoder 502L3」アイコンをクリックします。

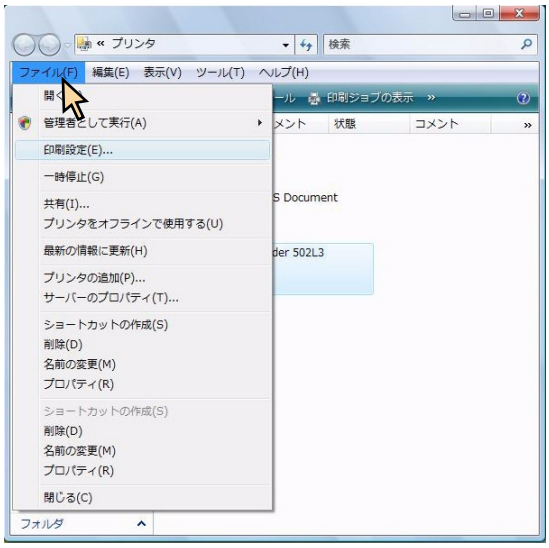
［印刷設定］ダイアログボックスを開きたいときは手順❸へ、［プロパティ］ダイアログボックスを開きたいときは手順❹へ進んでください。



❸ 印刷設定ダイアログボックスを表示させます。

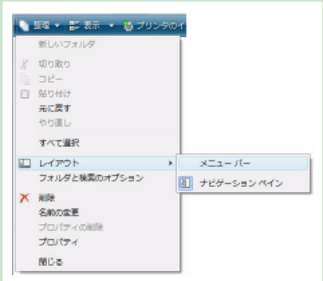
Windows 8/Server 2012の場合は、[NEC MultiCoder 502L3]アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]-[基本設定]をクリックします。

Windows 8/Server 2012以外の場合は、［ファイル］メニューの[印刷設定]をクリックします。



チェック

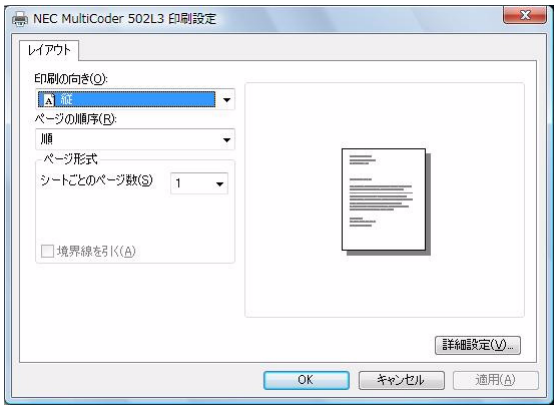
Windows 7/Vista/Server 2008をお使いのコンピューターで、［ファイル］メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、［整理］メニューから［レイアウト］を選び、［メニューバー］をクリックしてチェックマークを付けてください。



コンピューターのキーボードの＜Alt＞キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

［印刷設定］ダイアログボックスが開きます。

このプロパティシートについては、59ページからの「［印刷設定］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

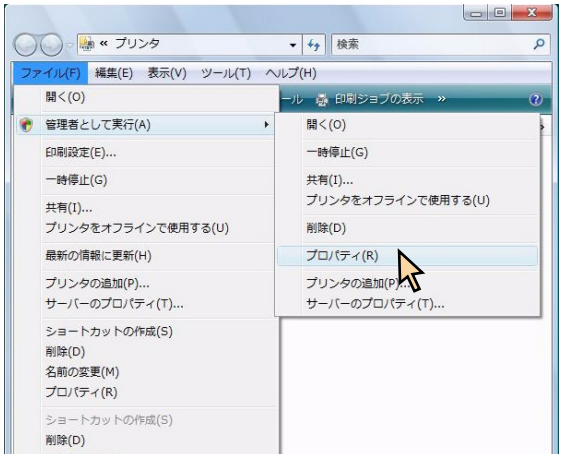


❹ プリンターのプロパティダイアログボックスを表示させます。

Windows 8/Server 2012の場合は、[NEC MultiCoder 502L3]アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2の場合は、[ファイル]メニューの[プリンターのプロパティ]をクリックします。

Windows Vista/Server 2008の場合は、[ファイル]メニューの[管理者として実行]から[プロパティ]をクリックします。

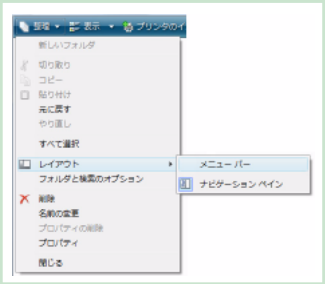


重要

- Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。
  表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または[続行]の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで[ファイル]メニューの配下にある[プロパティ]を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。[標準ユーザー]の場合は、[管理者として実行]から[プロパティ]を選択してください。

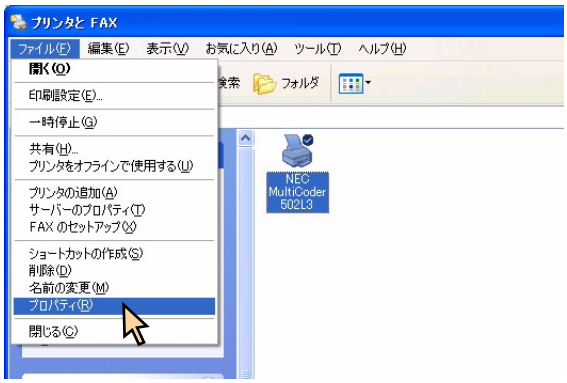
チェック

Windows 7/Vista/Server 2008をお使いのコンピューターで、[ファイル]メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理]メニューから[レイアウト]を選び、[メニューバー]をクリックしてチェックマークを付けてください。



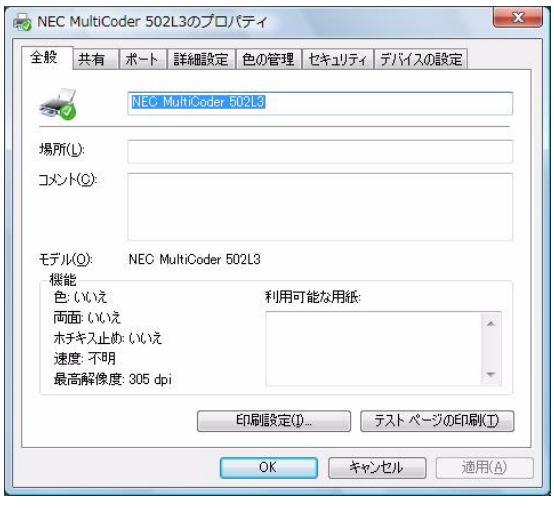
コンピューターのキーボードの<Alt>キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

Windows 7/Vista/Server 2008以外のコンピューターの場合は、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。



[プロパティ]ダイアログボックスが開きます。

各プロパティシートについては、69ページからの「[プロパティ]ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

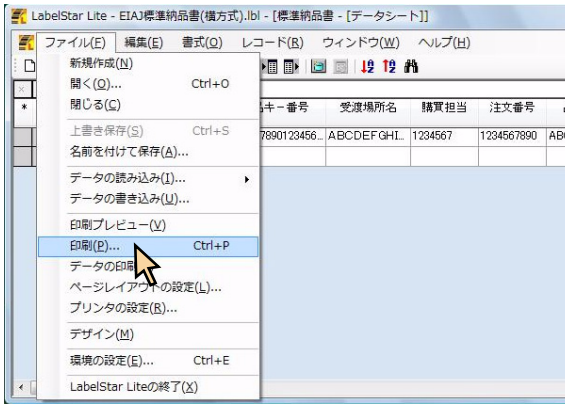


アプリケーションを使って呼び出す

アプリケーションからプロパティダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］または［プリンタの設定］を使います。（ほとんどの場合、［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。）
ここでは本プリンターに添付のソフトウェアCD-ROMに収録されている「LabelStar Lite」を使った例を示します。

❶［データシート］の表示状態で［ファイル］メニューの［印刷］を選びます。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。

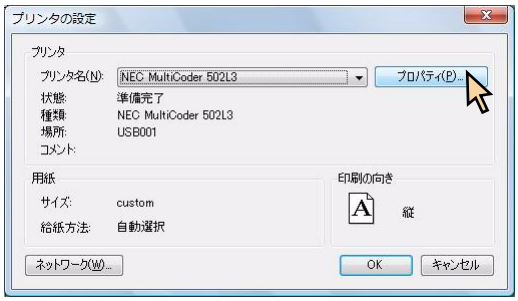


❷［設定］をクリックします。

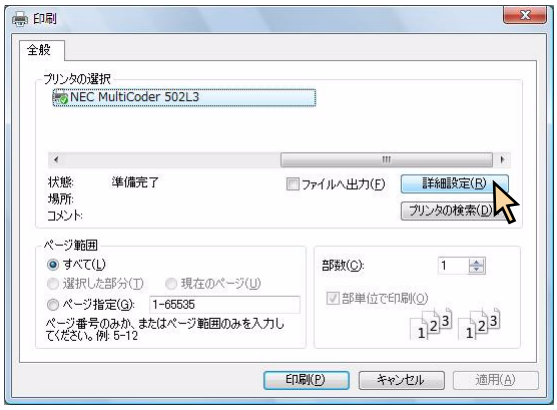


❸［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。

使用しているアプリケーションによってボタン名が異なることがあります。



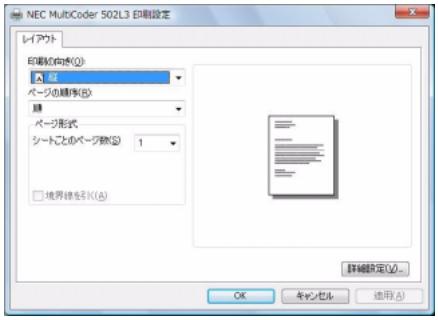
LabelStar Liteなどの場合



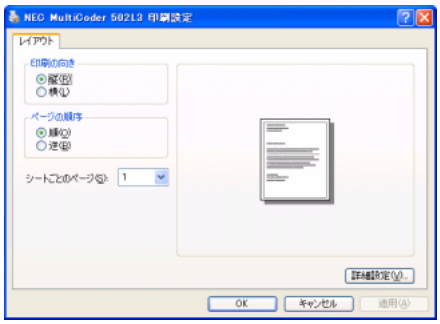
ワードパッドなどの場合

❹ 印刷の設定を行います。

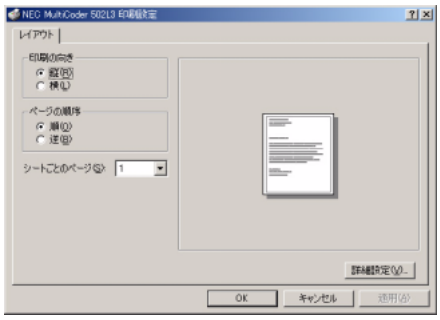
Windows 2000の場合は［レイアウト］シートおよび［用紙/品質］シートで、印刷の設定を行います。



Windows Vistaの場合



Windows XP/Server 2003の場合



Windows 2000の場合

チェック

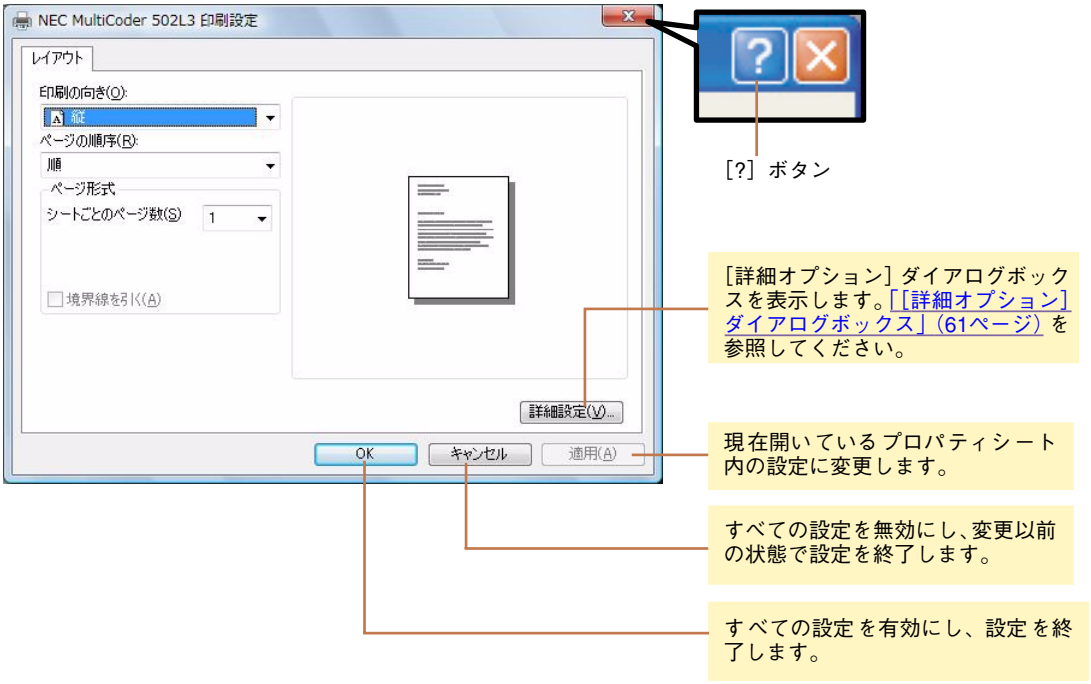
アプリケーションによっては、アプリケーション上からすべてのプロパティシートを開けなかったり、設定内容を変更できない場合があります。その場合は［スタート］から開くか、アプリケーションのヘルプや添付のマニュアルをご覧ください。

アプリケーションを使って呼び出した場合に設定した内容はそのアプリケーション内でのみ有効となります。プリンタードライバー自体の設定は変わりません。

[印刷設定] ダイアログボックスで詳細設定を行う（[レイアウト] シート）

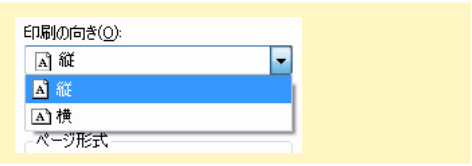
[印刷設定] ダイアログボックスは［レイアウト］シートの1枚のプロパティシートから構成されています。
このプロパティシートは印刷の向き、ページの順序など印刷のレイアウトに関する設定を行うものです。
印刷の向き、ページの順序などを設定すると右側に表示されているイラストが設定に応じて変化します。
以下にこのシート上の項目について説明します。右上の［?］ボタンをクリックした後、項目やボタンをクリックすることにより説明を表示させることもできます。

プロパティシートで共通に使用されているボタンには以下のような機能があります。



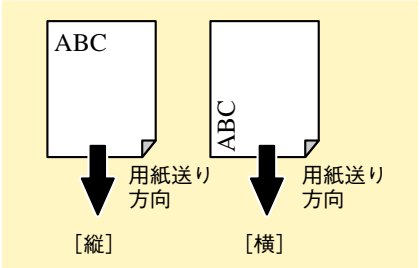
チェック

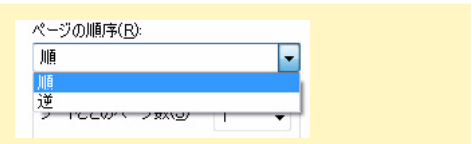
Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008では、プリンタードライバーのダイアログボックス上にヘルプボタン（[?] ボタン）はありません。



印刷の向き

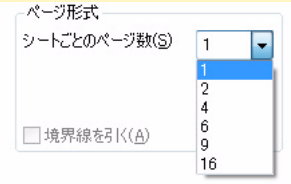
縦：　用紙を縦長に使って印刷します。
横：　用紙を横長に使って印刷します。





ページの順序

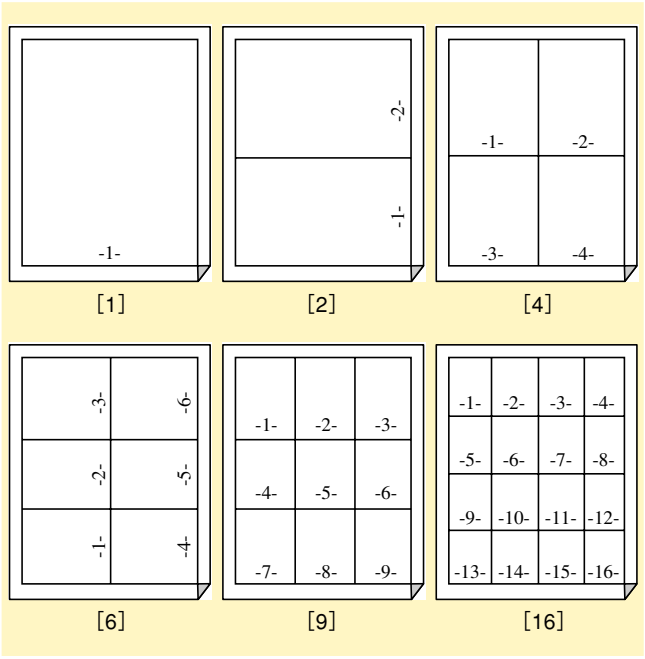
順：　用紙をページの始めから順に印刷します。
逆：　用紙をページの終わりから順に印刷します。



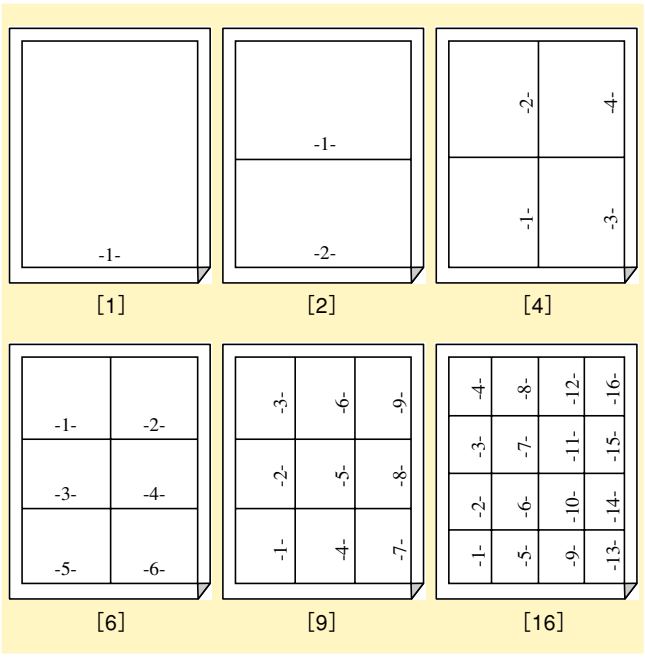
シートごとのページ

1枚の用紙にドキュメントの何ページ分（1～16ページ）を印刷するかを指定します。
設定している用紙サイズの幅と高さによって印刷結果は次のようになります。

- 用紙幅＜用紙高さの場合



- 用紙幅＝用紙高さ、または用紙幅＞用紙高さの場合



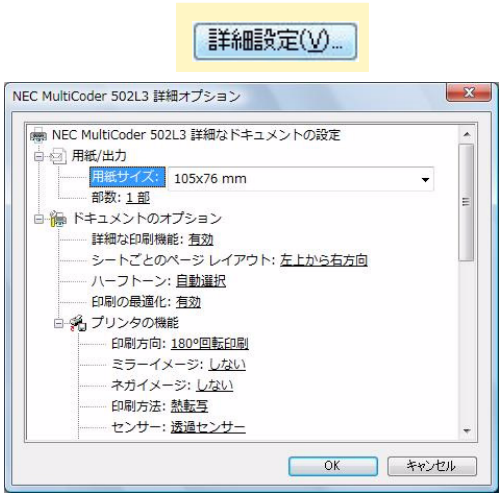
境界線を引く（Windows　8/7/Vista/Server　2012/Server 2008日本語版のみ）

Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008では［シートごとのページ］で1枚に複数ページを印刷する設定にした場合にページ間に境界線を引くかどうかを選択します。



[詳細オプション] ダイアログボックス

[印刷設定]ダイアログボックスの[詳細設定]をクリックすると、[詳細オプション]ダイアログボックスが表示されます。



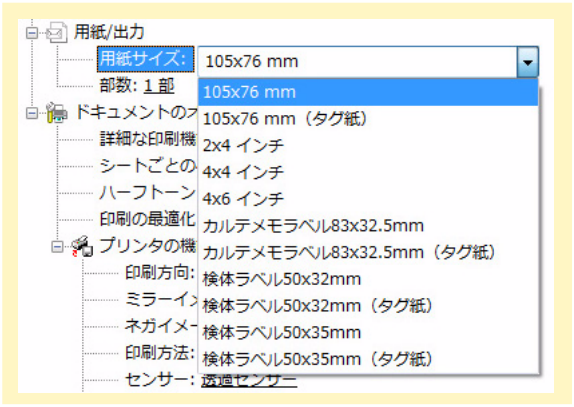
このダイアログボックスで印刷の詳細に関する以下の設定を行うことができます。

チェック

このダイアログボックスで右クリックすると、次のメニューを表示します。

- 変更したオプションを元に戻す
  変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します（設定を変更した場合にのみ表示します）。
- ヘルプ（Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 日本語版を除く）
  右クリックした項目に関する説明を表示します。
- バージョン情報
  本プリンターに関する情報を表示します。

[用紙出力]



用紙サイズ

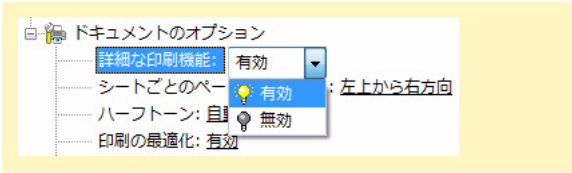
印刷用紙のサイズを選択します。
本プリンターがサポートする用紙サイズについては72ページを参照してください。



部数

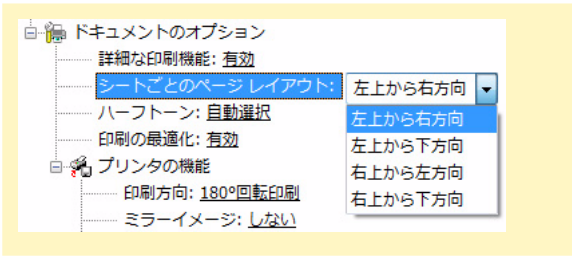
印刷部数を選択します。複数部数に設定すると、部単位に印刷するかどうかを選択することができます。

[ドキュメントのオプション]



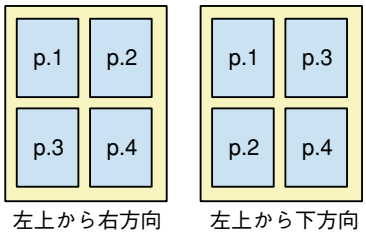
詳細な印刷機能

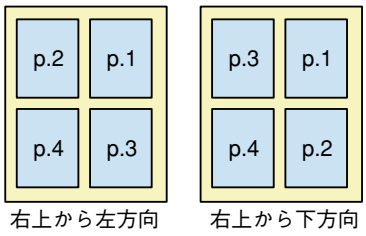
［詳細オプション］ダイアログボックスで設定した印刷機能を有効にするか、無効にするかを選択します。

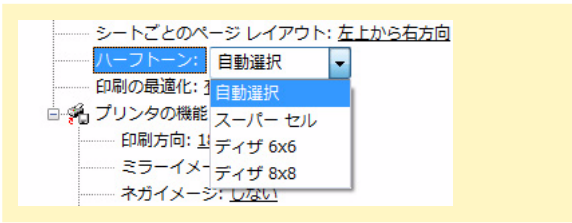


シートごとのページレイアウト（Windows　8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 日本語版のみ）

1枚（シート）に複数のページを印刷する際のページの配置（レイアウト）を指定します。
以下は、1枚に4ページ分を配置する場合での設定と印刷結果の例です。印刷結果のイメージは［レイアウト］シートの右側にも表示されます。

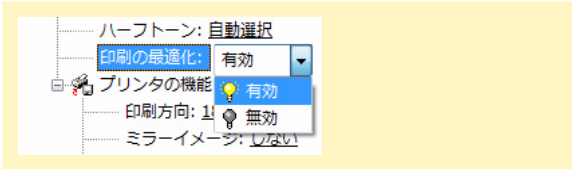






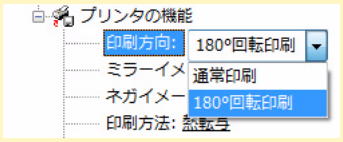
ハーフトーン

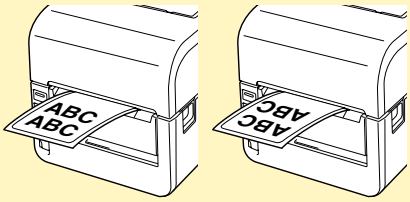
グラフィックスを印刷するときに使用するハーフトーンの設定方法を選択します。
プリンターによって最適なハーフトーンの品質を決定するには、「自動選択」を選択します。カラーのグラフィックスを印刷するときに、プリンターで対応していない色を使う場合は、ディザリングの設定をオンにしてください。



印刷の最適化

印刷の最適化機能を有効にするか、無効にするかを選択します。
有効にすると、TrueTypeフォントからデバイスフォントへの置き換えや文書内の横書き／縦書きのスキャンなどの印刷の最適化をプリンタードライバーが行います。ただし、ドキュメント内でテキストとグラフィックスが重なり合っている場合、グラフィックスの上に配置されたテキストが正しく印刷されないことがあります。



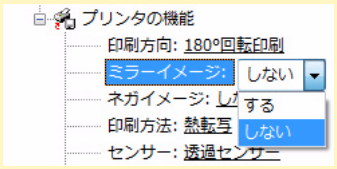


［180° 回転印刷］　［通常印刷］

印刷方向

印刷イメージを180度回転させて印刷するかどうかを指定します。出荷時の設定［180° 回転印刷］は印刷済みの印刷内容をプリンター前面から見て正しく読める向きで印刷します。［通常印刷］にすると印刷データの先頭から印刷するため、印刷結果を本プリンター前面から見ると、さかさまに見えます。

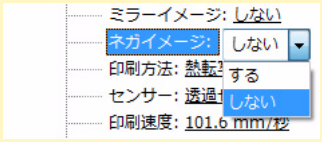
> **チェック**
>
> リモートパネルによる設定で［コマンド優先］（工場出荷時の設定）を指定している場合に有効となります。プリンタードライバーの設定に関わらず固定の印刷方向で使用したい場合はリモートパネルを使って設定します。詳しくは114ページを参照してください。



ミラーイメージ

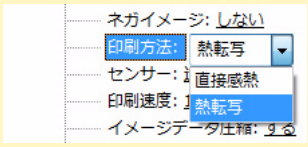
ミラーイメージで印刷するかどうかを指定します。

> **チェック**
>
> リモートパネルによる設定で［コマンド優先］（工場出荷時の設定）を指定している場合に有効となります。プリンタードライバーの設定に関わらず固定の印刷方向で使用したい場合はリモートパネルを使って設定します。詳しくは114ページを参照してください。



ネガイメージ

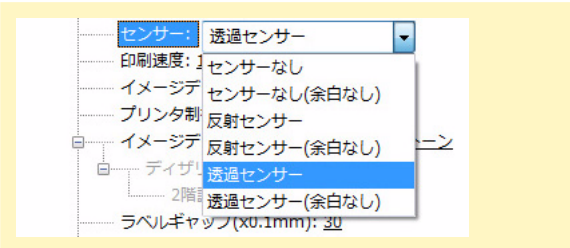
ネガイメージで印刷するかどうかを指定します。



印刷方法

用紙の印刷方式の種別を選択します。リボンを使った熱転写方式で印刷をする場合は［熱転写］を選択します。リボンを使わず感熱方式で印刷する場合は［直接感熱］を選択します。

> **チェック**
>
> - プリンター本体にあるスイッチ（DIP SW）のSW8を［OFF］（工場出荷時の設定）に設定している場合に有効となります。DIP SWを変更する場合はユーザーズマニュアルを参照してください。
> - ［熱転写］を選択するときはリボンをプリンターにセットしてください。［直接感熱］を選択するときは、リボンをプリンターから取り外してください。
>
> リボンの取り付け・取り外しについてはユーザーズマニュアルを参照してください。



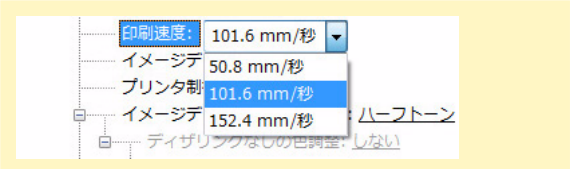
センサー

センサーの種別を選択します。
用紙の裏面の黒マークを使用して用紙位置を自動的に調整する場合は[反射センサー]を選択します。
ラベルとラベルの間（ラベル間ギャップ）を使用して用紙位置を自動的に調整する場合は[透過センサー]を選択します。

> **チェック**
> 設定を変更したら、プリンターのユーザーズマニュアルを参照してしきい値の調整を必ず行ってください。

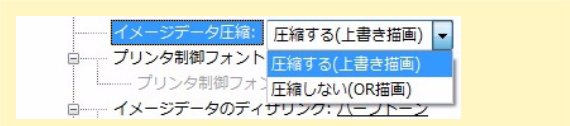
「センサーなし」は、プリンタードライバーで指定したラベルサイズに従い印刷を行います。
「センサーなし（余白なし）」は、データのあるところまで印刷を行います。余白は紙送りされません。
「反射センサー」は、プリンタードライバーで指定したラベルサイズに従い印刷を行います。ただし、タグの裏面に設けられた黒マークを反射センサーにて自動的に検出し1枚ごとに用紙位置を微調整します。
「反射センサー（余白なし）」は、データのあるところまで印刷を行います。印刷後は反射センサーにて黒マークを検出したところまで紙送りされます。この設定で印刷する場合は、[印刷方向」（63ページ）を［通常印刷］に設定してください。
「透過センサー」は、プリンタードライバーで指定したラベルサイズに従い印刷を行います。ラベルとラベルの間（ラベル間ギャップ）を透過センサーにて自動的に検出し、1枚ごとに用紙位置を微調整します。
「透過センサー（余白なし）」は、データのあるところまで印刷を行います。印刷後は透過センサーにてラベル間ギャップを検出したところまで紙送りされます。この設定で印刷する場合は、[印刷方向」(63ページ)を［通常印刷］に設定してください。

> **チェック**
> プリンター本体にあるスイッチ（DIP SW）のSW8を［OFF］（工場出荷時の設定）に設定している場合に有効となります。DIP SWを変更する場合はユーザーズマニュアルを参照してください。



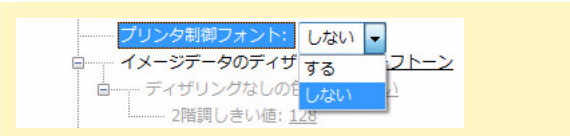
印刷速度

印刷速度を指定します。
50.6mm/秒・101.6mm/秒・152.4mm/秒



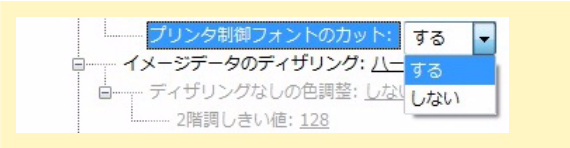
イメージデータ圧縮

イメージデータを圧縮するかどうかを指定します。



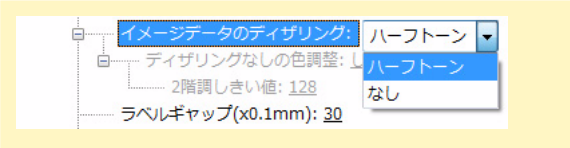
プリンタ制御フォント

印刷文書に埋め込まれたプリンター制御フォントを使用するかどうかを設定します。詳細は「プリンター制御フォントの使用方法」（93ページ）を参照してください。
「印刷の最適化」（62ページ）が有効の場合にのみ使用できます。



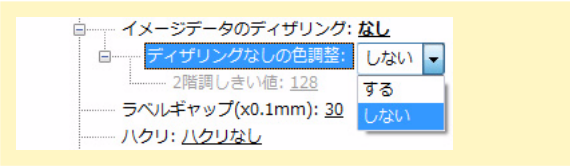
プリンタ制御フォントのカット

プリンタ制御フォントのカット指定を優先するかどうかを選択します。［する］を選択すると、プリンタ制御フォントで選択したカット設定に従いカットを行います。［しない］を選択すると、［カット］の設定に従いカットを行います。



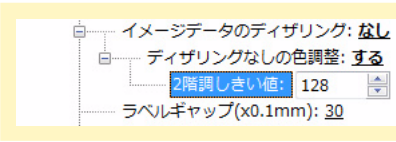
イメージデータのディザリング

イメージデータ内の黒（グレーは除く）と白以外の部分の表現方法の設定をします。本プリンタードライバーによるディザリングを使用する場合は［ハーフトーン］を選択します。この機能を利用せずに2階調（白黒）印刷をしたい場合は［なし］を選択すると、配下の設定ができるようになります。



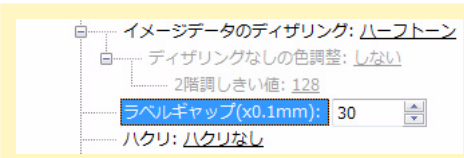
ディザリングなしの色調整

2階調で印刷する際のしきい値を標準の設定にするか手動で設定するかを選択します。［する］を選ぶとその配下の設定に従って2階調での印刷をします。［しない］を選ぶと標準の2階調しきい値（128）で印刷します。



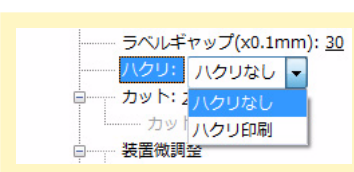
2階調しきい値

イメージデータ内の色調を2階調で印刷するためのしきい値を設定します。［0］に近くなるにつれてイメージデータは白く印刷され、［255］に近くなるにつれて黒く印刷されます。



ラベルギャップ

ラベル間ギャップの大きさを設定します。タグの場合は印刷しない領域を設定します。
0（0mm）～100（10.0mm）*1の間を0.1mm単位で設定できます。ラベル間の距離が2.0mmの場合は、「20」を指定します。

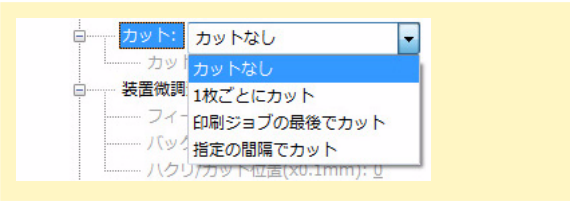


ハクリ

ハクリ印刷するかどうかを設定します。
ハクリモジュールを装着してハクリ印刷をする場合は「ハクリ印刷」を選択します。

> **チェック**
>
> プリンター本体にあるスイッチ（DIP SW）のSW8を［OFF］（工場出荷時の設定）に設定している場合に有効となります。DIP SWを変更する場合はユーザーズマニュアルを参照してください。

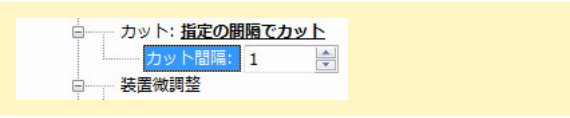
＊1　ラベルギャップは8 章の「用紙規格と印刷範囲」（219 ページ）を参照して設定してください。



カット

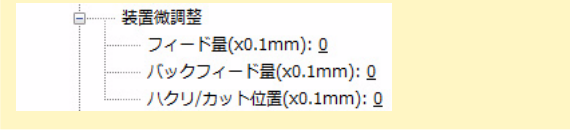
カット印刷するかどうかを指定します。
カット間隔は次の印刷ジョブには引き継がれません。また、複部数印刷や部単位印刷時でもカット間隔が優先されます。

> **チェック**
>
> プリンター本体にあるスイッチ（DIP SW）のSW8を［OFF］（工場出荷時の設定）に設定している場合に有効となります。DIP SWを変更する場合はユーザーズマニュアルを参照してください。



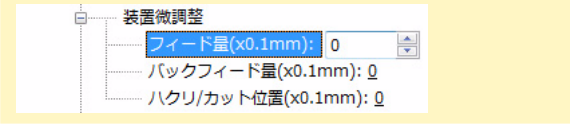
カット間隔

何枚ごとにカットするかを指定します。
前述の［カット］で［指定の間隔でカット］を選択した場合に指定できます。
1（枚）から100（枚）までを1枚単位で指定できます。



装置微調整

装置微調整は、フィード量、バックフィード量、ハクリ/カット位置の微調整を行う項目で構成されています。各項目の詳細は次のとおりです。

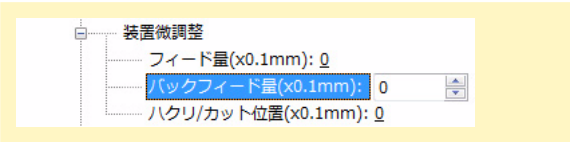


フィード量

自動的に位置決めされた印刷開始位置に対し、後方（プラス値）または前方（マイナス値）で止まる位置を指定します。
99（+9.9mm）～0～-99（-9.9mm）の間を1（0.1mm）単位で設定できます。

> **チェック**
>
> フィード量はリモートパネルによる設定値またはプリンター本体にある調整ボリュームによる設定値との合計値で表現されます*1（設定できる範囲を超えた場合は、プリンターが調整できる最大値の設定となります）。リモートパネルによる設定については「リモートパネル」（103ページ）を、プリンター本体の調整ボリュームによる設定についてはユーザーズマニュアルを参照してください。なお、リモートパネルと調整ボリュームの設定値はプリンター本体にあるスイッチ（DIP SW）のSW9によってどちらか一方が有効になります。

＊1　微調整の詳細は「リモートパネル」の「微調整設定」（118ページ）を参照してください。



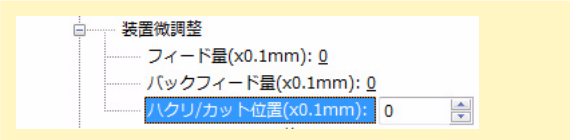
バックフィード量

剥離後またはカット後、用紙をホームポジションまでバックフィードする量を指定します。
99（+9.9mm）～0～-99（-9.9mm）の間を1（0.1mm）単位で設定できます。

チェック

フィード量はリモートパネルによる設定値またはプリンター本体にある調整ボリュームによる設定値との合計値で表現されます*1（設定できる範囲を超えた場合は、プリンターが調整できる最大値の設定となります）。リモートパネルによる設定については「リモートパネル」（103ページ）を、プリンター本体の調整ボリュームによる設定についてはユーザーズマニュアルを参照してください。なお、リモートパネルと調整ボリュームの設定値はプリンター本体にあるスイッチ（DIP SW）のSW9によってどちらか一方が有効になります。

*1　微調整の詳細は「リモートパネル」の「微調整設定」（118ページ）を参照してください。

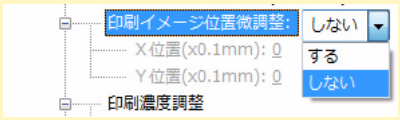


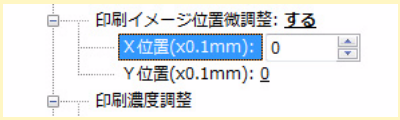
ハクリ/カット位置

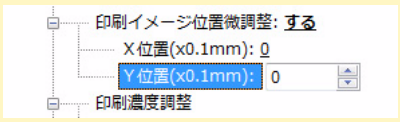
自動的に位置決めされたハクリ/カット位置に対し、後方または前方でハクリ/カットする位置を指定します。
99（+9.9mm）～0～-99（-9.9mm）の間を1（0.1mm）単位で設定できます。

チェック

ハクリ/カット位置はリモートパネルによる設定値またはプリンター本体にある調整ボリュームによる設定値との合計値で表現されます（設定できる範囲を超えた場合は、プリンターが調整できる最大値の設定となります）。リモートパネルによる設定については「リモートパネル」（103ページ）を、プリンター本体の調整ボリュームによる設定についてはユーザーズマニュアルを参照してください。なお、リモートパネルと調整ボリュームの設定値はプリンター本体にあるスイッチ（DIP SW）のSW9によってどちらか一方が有効になります。

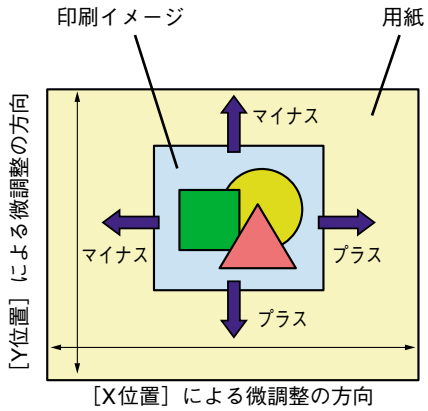




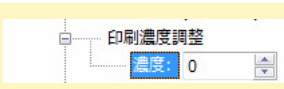


印刷イメージ位置微調整

印刷イメージ位置微調整を行うかどうかを設定します。
微調整を行う場合は、［する］を選択します。微調整を行わない場合は、［しない］を選択してください。
［する］を選択すると、［X位置］および［Y位置］に値を入力することができるようになります。



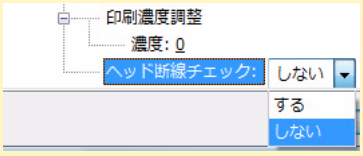
［X位置］の微調整は、印刷イメージをX軸方向に右（プラス）または左（マイナス）に位置を調整します。
［Y位置］の微調整は、印刷イメージをY軸方向に下（プラス）または上（マイナス）に位置を調整します。



印刷濃度調整

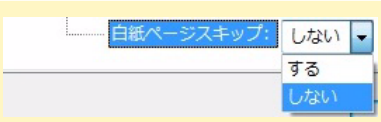
印刷濃度の微調整を10～0～-10の間を1単位で設定できます。[10]を選択すると最も濃く印刷され、[-10]を選択すると最も薄く印刷されます。

> **チェック**
>
> 印刷濃度はリモートパネルによる設定値またはプリンター本体にある調整ボリュームによる設定値との合計値で表現されます（設定できる範囲を超えた場合は、プリンターが調整できる最大値の設定となります）。リモートパネルによる設定については「リモートパネル」(103ページ)を、プリンター本体の調整ボリュームによる設定についてはユーザーズマニュアルを参照してください。なお、リモートパネルと調整ボリュームの設定値はプリンター本体にあるスイッチ（DIP SW）のSW9によってどちらか一方が有効になります。



ヘッド断線チェック

印刷ジョブごとにプリンターのサーマルヘッドの断線チェックを行うかどうかを設定します。
サーマルヘッドの断線を検出すると、プリンター前面のERRORランプと7セグメントLED（ E ）で知らせます。



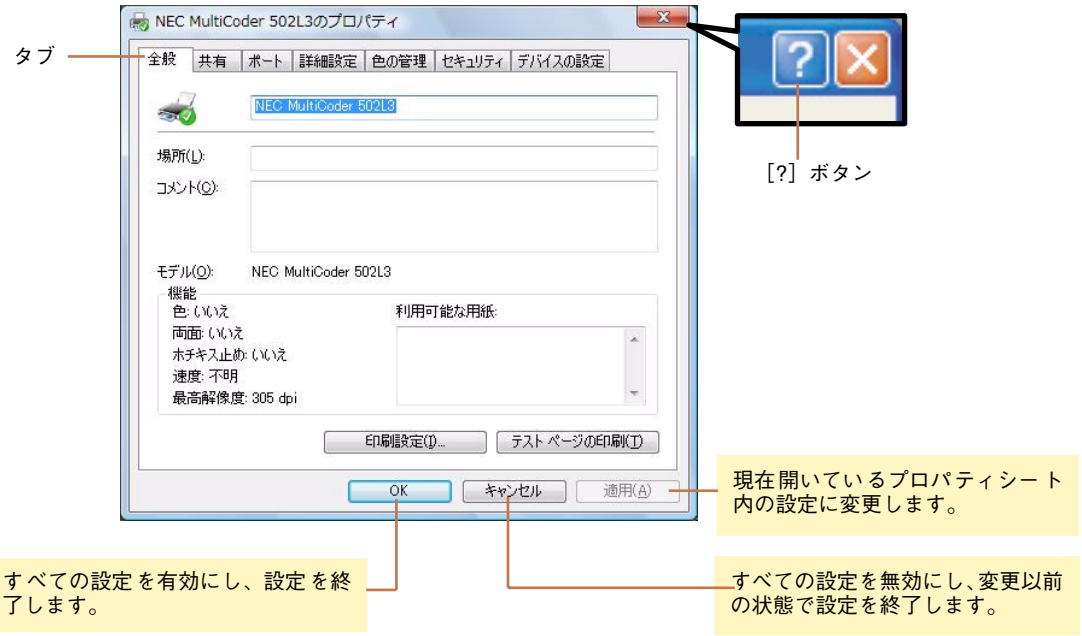
白紙ページスキップ

白紙ページをスキップする（出力しない）かどうかを選択します。白紙ページをスキップしない場合は［しない］を選択します。白紙ページをスキップする場合は［する］を選択します。

［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。
［プロパティ］ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細はダイアログボックス右上の［?］ボタンをクリックした後、続けて項目をクリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

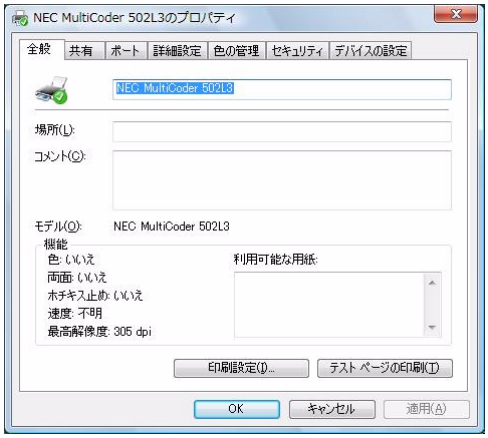
各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されているボタンには以下のような機能があります。



チェック

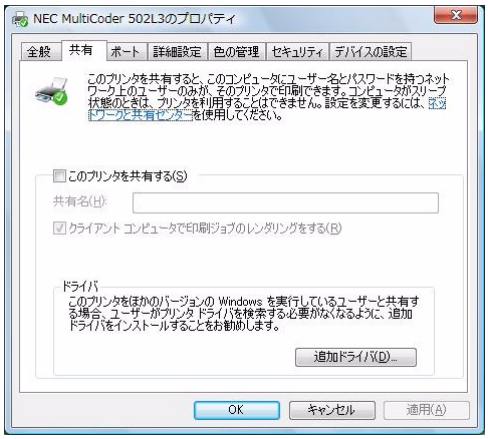
Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008では、プリンタードライバーのダイアログボックス上にヘルプボタン（［?］ボタン）はありません。

［全般］シート



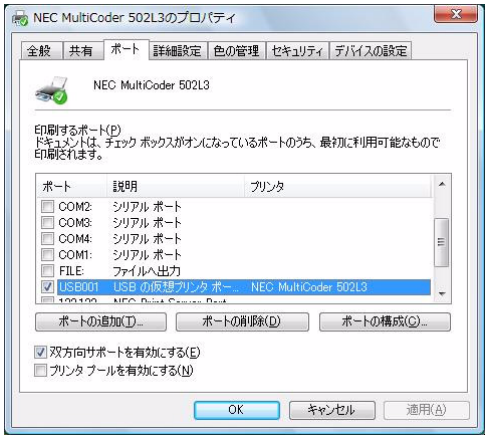
［場所］や［コメント］には印刷の際の参照となる情報を登録しておくことができます。また、プリンターの持つ機能の一覧や印刷設定ダイアログボックスの表示、テストページの印刷などもできます。

[共有] シート



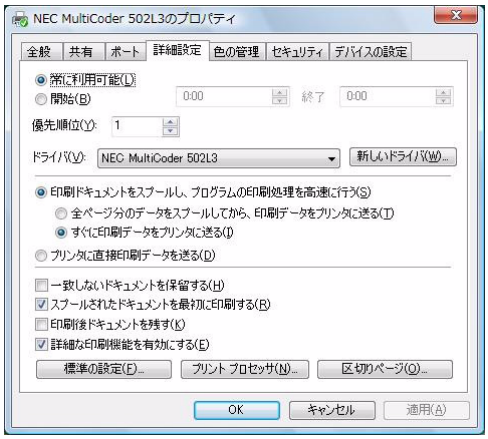
プリンターをネットワーク上の「共有プリンタ」として使用する際にこのシートで設定します。「共有プリンターに設定する」(50ページ) で詳しい手順を説明しています。

[ポート] シート



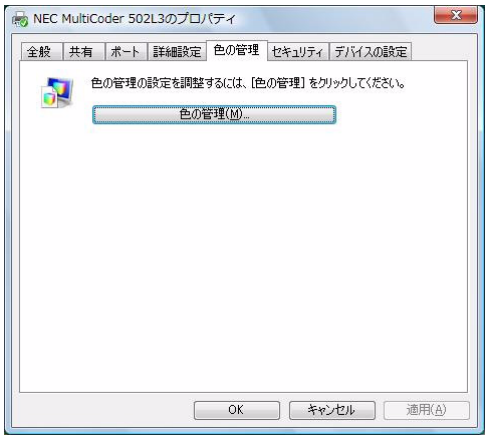
プリンターとコンピューターの接続方法（パラレルポートやUSB、ネットワーク）を変更した際などにこのシート で接続先（ポート）の指定をします。「印刷先の変更」(41ページ) で詳しい手順を説明しています。

[詳細設定] シート



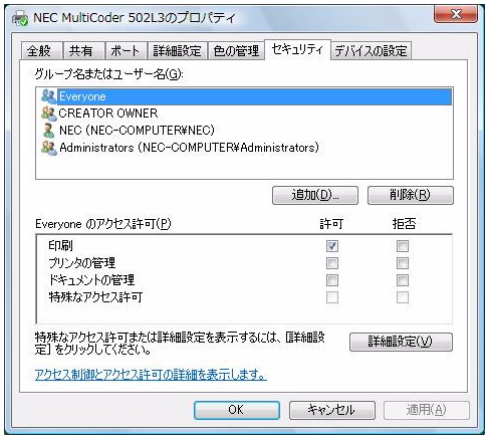
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。特に説明のない限り、初期状態の設定でご利用ください。

[色の管理] シート（Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008のみ）



通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません（MultiCoder 502Lシリーズはカラー印刷に対応していません）。

[セキュリティ] シート



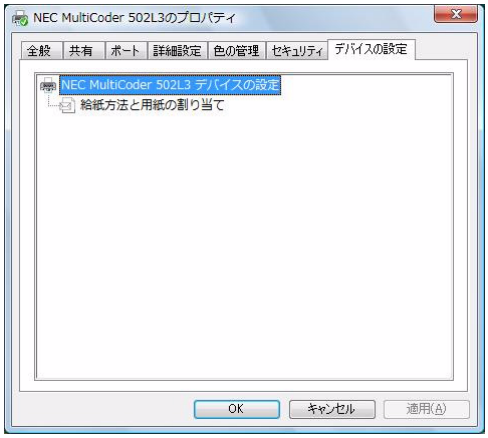
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

Windows XP Home Editionの場合、表示されません。
Windows XP Professionalの場合、設定によって表示されないことがあります。

重要

変更の内容によっては印刷の権限を失うことなどがあります。変更する前にシステム管理者にお問い合わせの上、設定してください。

[デバイスの設定] シート



このプロパティシートは使用しません。

ユーザー定義用紙サイズの登録

次の手順でユーザー定義用紙サイズを登録します。
ここではWindows Vista 日本語版の環境でユーザー定義用紙サイズを登録する方法について説明します。その他のOSも同じ手順で登録できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

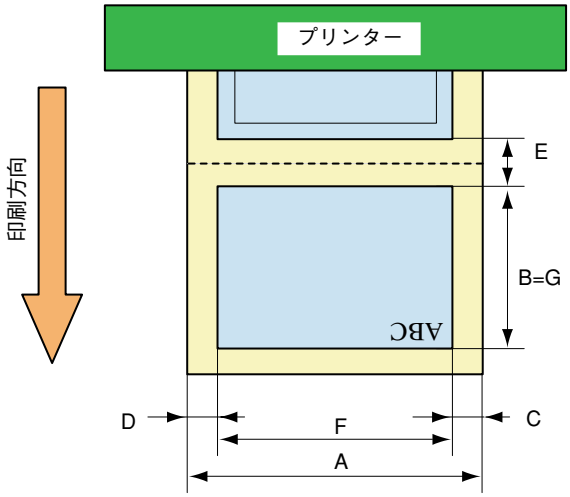
用紙サイズについて

本プリンタードライバーがサポートする用紙サイズは次のとおりです。用紙サイズは「用紙サイズ」（61ページ）で選択することができます。

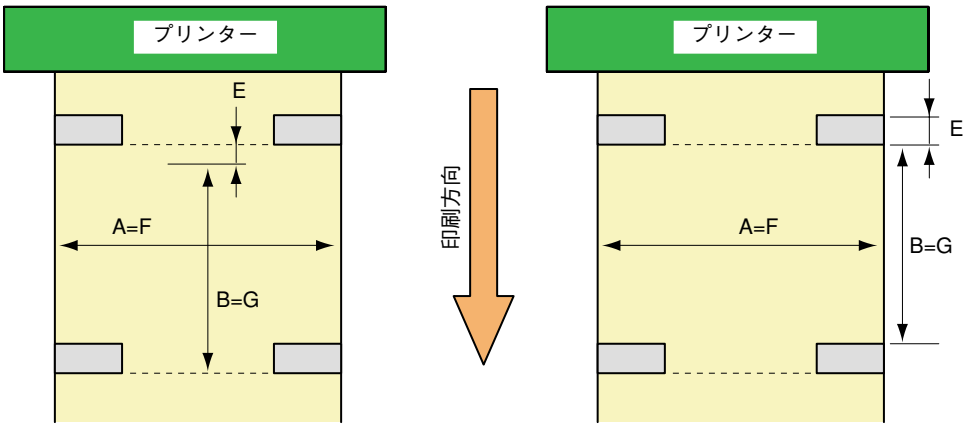
チェック

本プリンターで使用可能な用紙サイズは8章の「用紙規格と印刷範囲」（219ページ）または6章の「リストバンドの印刷方法」（183ページ）を参照してください。

ラベルの場合



タグ紙の場合



黒マーク上端で検出する場合　　黒マーク下端で検出する場合

チェック

- 黒マークの検出制御はリモートパネルで変更することができます（「黒マーク検出時の頭出し制御」（117ページ）を参照）。
- 印刷範囲の大きさは変わりません。印刷開始位置がラベルギャップ分異なります。

用紙サイズ		A（用紙幅）	B（用紙高さ）	C（右余白）	D（左余白）	E*1（ラベルギャップ）	F（印刷可能幅）	G（印刷可能高さ）
105×76mm	mm	108.00	76.00	1.50	1.50	3.00	105.00	76.00
	インチ	4.25	2.99	0.06	0.06	0.12	4.13	2.99
105×76mm（タグ紙）	mm	105.00	73.00	0.00	0.00	3.00	105.00	73.00
	インチ	4.13	2.87	0.00	0.00	0.12	4.13	2.87
2×4インチ	mm	53.80	101.60	1.50	1.50	3.00	50.80	101.60
	インチ	2.12	4.00	0.06	0.06	0.12	2.00	4.00
4×4インチ	mm	104.60	101.60	1.50	1.50	3.00	101.60	101.60
	インチ	4.12	4.00	0.06	0.06	0.12	4.00	4.00
4×6インチ	mm	104.60	152.40	1.50	1.50	3.00	101.60	152.40
	インチ	4.12	6.00	0.06	0.06	0.12	4.00	6.00
検体ラベル 50×32mm	mm	53.00	32.00	1.50	1.50	3.00	50.00	32.00
	インチ	2.09	1.25	0.06	0.06	0.12	1.97	1.25
検体ラベル 50×32mm（タグ紙）	mm	50.00	29.00	1.50	1.50	3.00	50.00	29.00
	インチ	1.97	1.14	0.06	0.06	0.12	1.97	1.14
検体ラベル 50×35mm	mm	53.00	35.00	1.50	1.50	3.00	50.00	35.00
	インチ	2.09	1.38	0.06	0.06	0.12	1.97	1.38
検体ラベル 50×35mm（タグ紙）	mm	50.00	32.00	1.50	1.50	3.00	50.00	32.00
	インチ	1.97	1.25	0.06	0.06	0.12	1.97	1.25
カルテメモラベル 83×32.5mm	mm	86.00	32.50	1.50	1.50	3.00	83.00	32.50
	インチ	3.39	1.28	0.06	0.06	0.12	3.25	1.28
カルテメモラベル 83×32.5mm（タグ紙）	mm	83.00	29.50	1.50	1.50	3.00	83.00	29.50
	インチ	3.25	1.16	0.06	0.06	0.12	3.25	1.16
ユーザー定義サイズ（最小）	mm	25.00	3.00	0.00	0.00	2.00	25.00	3.00
	インチ	0.98	0.12	0.00	0.00	0.12	0.98	0.12
ユーザー定義サイズ（最大）*2	mm	118.00	996.90	6.15	6.15	2.00	105.70	996.90
	インチ	4.65	39.25	0.25	0.25	0.12	4.16	39.25

＊1　ラベルの場合、ラベルギャップはラベルとラベルの間の長さとなります。タグ紙の場合は、黒マークの長さとなります。センサーを使用しない場合も、最少2.0mm以上を設定してください。

＊2　ユーザー定義サイズの最大は、用紙高さとラベルギャップを合わせて999.0mmです。

登録手順

❶ [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーを開きます。

Windows 8/Server 2012の場合

① マウスポインタを画面右下隅に移動し、チャームを表示させます。表示されたチャームから[設定チャーム]→[コントロールパネル]をクリックします。

② [ハードウェアとサウンド] 項目内の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



Windows 7/Vista/Server 2008 R2/Server 2008の場合

① [スタート] から [コントロールパネル] をクリックします。

② Windows 7/Server 2008 R2の場合は、[デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows Vista/Server 2008の場合は、[ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。

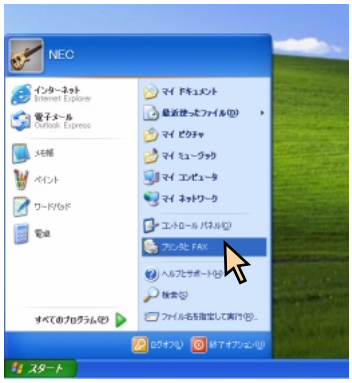


Windows XP Professional/Server 2003の場合

[スタート] の [プリンタとFAX] をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合

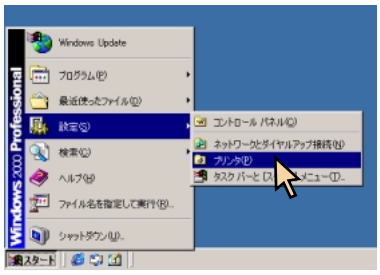
[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX] の順にクリックします。



Windows XP Professional 日本語版での画面例

Windows 2000の場合

[スタート] の [設定] から [プリンタ] をクリックします。

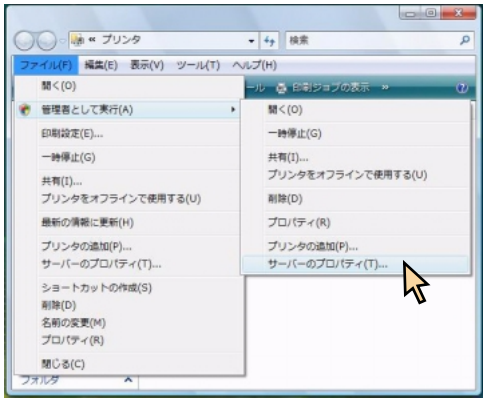


❷ **［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスを開きます。**

Windows 8/Server 2012の場合は、[NEC MultiCoder 502L3]アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2の場合は、プリンターを選択し、メニューバーの［プリントサーバープロパティ］をクリックします。

Windows Vista/Server 2008の場合は、［ファイル］メニューの［管理者として実行］から［サーバーのプロパティ］をクリックします。

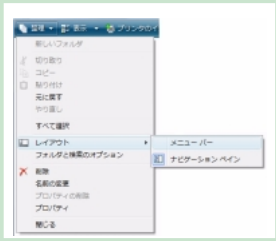


重要

- Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。
  表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または［続行］の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで［ファイル］メニューの配下にある［プロパティ］を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。[標準ユーザー]の場合は、[管理者として実行]から［プロパティ］を選択してください。

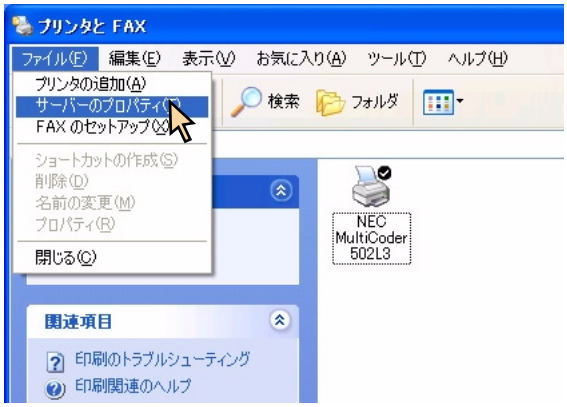
チェック

Windows 7/Vista/Server 2008をお使いのコンピューターで、［ファイル］メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理]メニューから［レイアウト］を選び、［メニューバー］をクリックしてチェックマークを付けてください。



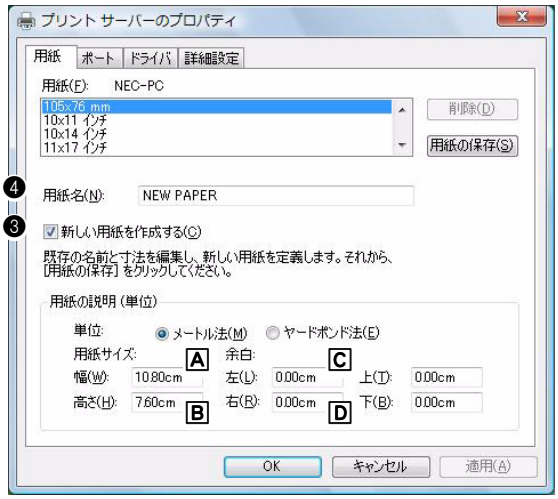
コンピューターのキーボードの＜Alt＞キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

Windows 7/Vista/Server 2008 R2/Server 2008以外の場合は、［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックします。



❸ **［用紙］シートにおいて［新しい用紙を作成する］をチェックします。**

❹ **［用紙名］に用紙の名前を設定します。**

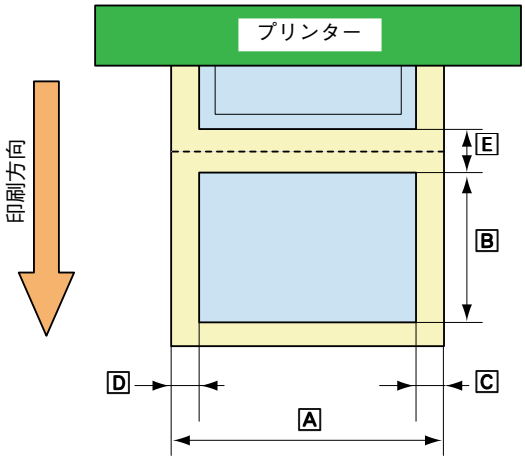


チェック

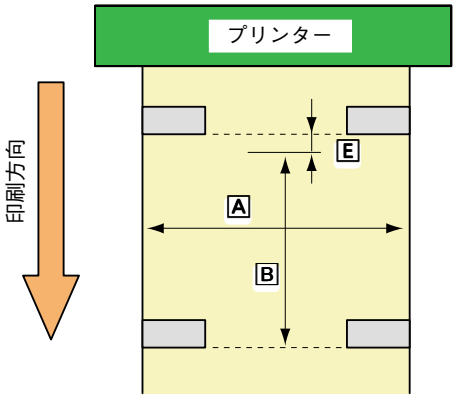
すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

❺［単位］を指定して［用紙サイズ］と［余白］を設定します。

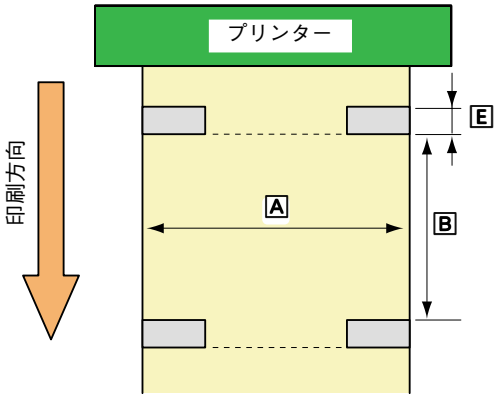
幅はラベルの台紙を含む大きさになります（A）。
高さはラベルの台紙を含まない大きさになります（B）。
左右の余白は台紙とラベルの間になります（Cと D）。
上下の余白は“0”としてください。Eはプリンタードライバーの［詳細オプション］ダイアログボックスの［ラベルギャップ］で設定してください。



ラベルの場合

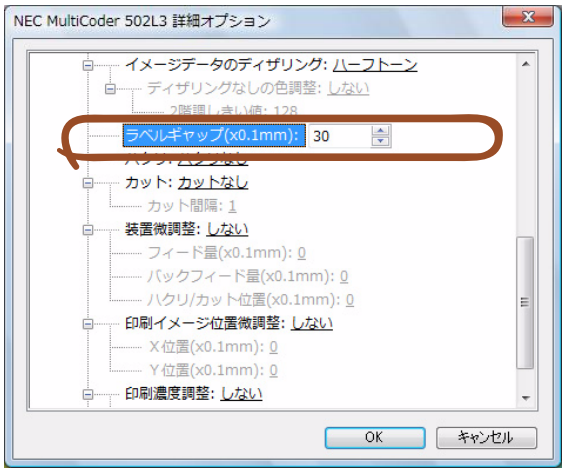


タグ紙（黒マーク上端で検出）の場合



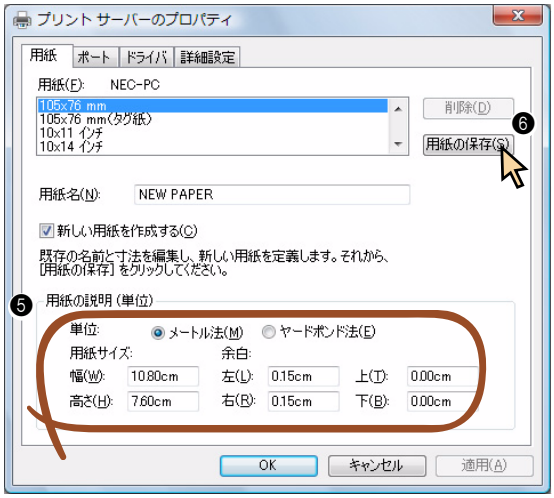
タグ紙（黒マーク下端で検出）の場合

Eの値を［ラベルギャップ（x0.1mm）］で設定



タグ紙の場合、ラベルギャップは黒マークの長さとなります。

❻［用紙の保存］をクリックします。

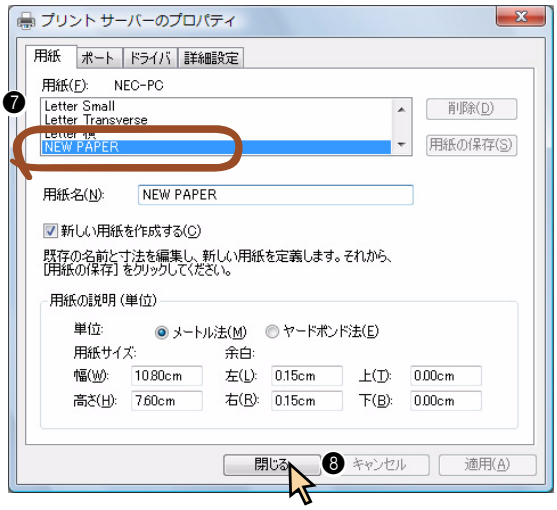


チェック

- すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。
- 本プリンタードライバーで設定できる用紙サイズについては「用紙サイズについて」（72ページ）を参照してください。

❼［用紙］一覧に新しい用紙が表示されたことを確認します。

❽［閉じる］をクリックします。



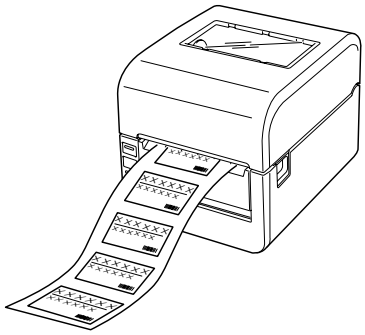
印刷の指示

コンピューターで作成したデータを本プリンターに対して印刷する方法について説明します。印刷はコンピューターのアプリケーションから行います。印刷の詳しい手順についてはお使いのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

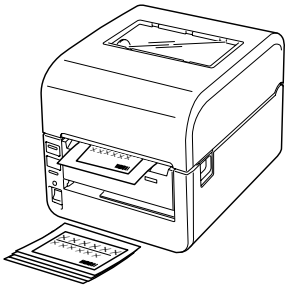
印刷の種類と方法

本プリンターは次の印刷方法をサポートしています。

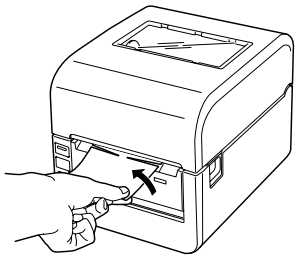
- **連続印刷（自動カット送り対応）**.....79ページ
  印刷データを連続して用紙に印刷します。
  印刷終了後、印刷された用紙を手動で切り離せる位置まで排出します（2章の「リモートパネル」（103ページ）により機能の有効／無効を切り替えることができます）。



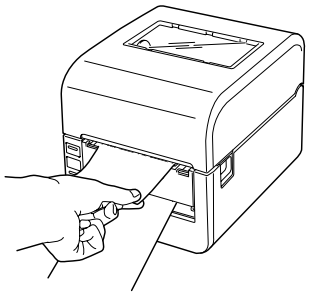
- **カット印刷（フルカット）**.....82ページ
  印刷された用紙を1枚ごとに切り離す方法です。
  この機能を使うためにはカッターモジュールが装着されている必要があります。対応モデルについてはユーザーズマニュアルを参照してください。
  また、カッターモジュールはオプションとしても用意しています。
  2章の「リモートパネル」（103ページ）フルカットとパーシャルカットを切り替えることができます。



- **カット印刷（パーシャルカット）**.....84ページ
  紙の中央を切らない方法です。
  この機能を使うためにはカッターモジュールが装着されている必要があります。対応モデルについてはユーザーズマニュアルを参照してください。
  また、カッターモジュールはオプションとしても用意しています。
  PR-T500L-11（カッターモジュール）は、パーシャルカットはできません。
  2章の「リモートパネル」（103ページ）フルカットとパーシャルカットを切り替えることができます。



- **ハクリ印刷**.....87ページ
  印刷された用紙を台紙から剥離します。この機能を使うためにはハクリモジュールが装着されている必要があります。対応モデルについてはユーザーズマニュアルを参照してください。また、ハクリモジュールはオプションとしても用意しています。



チェック

リストバンドへの印刷方法については、6章の「リストバンドの印刷方法」（183ページ）を参照してください。

連続印刷

連続印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。
ここでは例として、感熱方式で用紙裏側に黒マークが印刷されているタグ紙を連続印刷する方法について説明します。
カッターモジュールおよびハクリモジュールを装着している場合に連続印刷したい場合もこの設定になります。
ハクリモジュール装着時は用紙のセット方法がハクリ印刷のときと異なります。7章の「用紙のセット」(214ページ) を参照してください。
また、リストバンドは連続印刷のみで行えます。

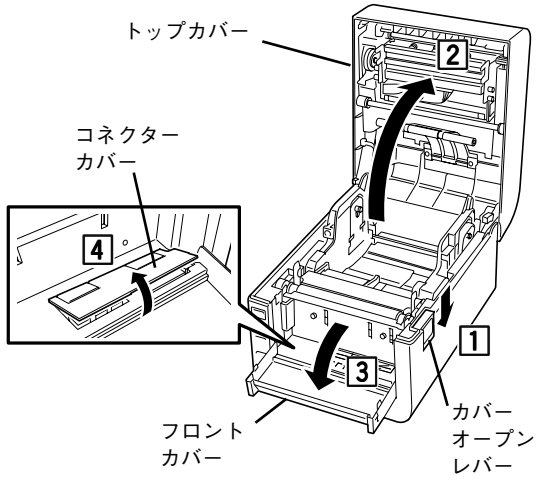
チェック

プリンターを動作させる際はユーザーズマニュアルの1章「8 用紙をセットする」を参照して必ず用紙をセットしてください。

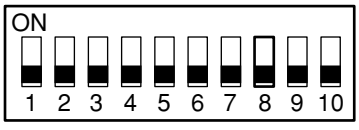
プリンタードライバーの設定を使用する場合

❶ **電源をOFFにします。**

❷ **カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。**



❸ **装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SW8をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。**



❹ **コネクターカバーを取り付けます。**

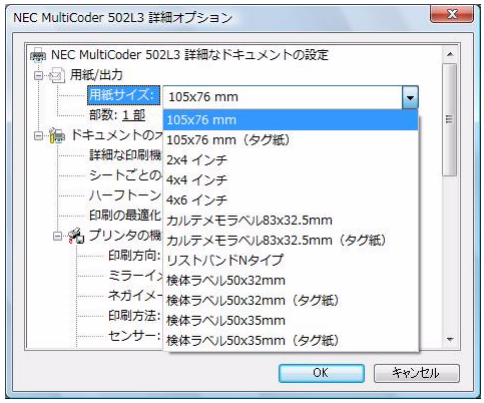
❺ **プリンターの電源スイッチをONにします。**

❻ **用紙をセットします。**

❼ **フロントカバーを閉じます。**

❽ **トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。**

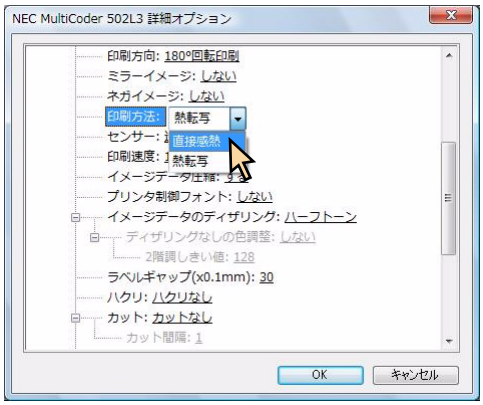
❾ **プリンタードライバーの［用紙サイズ］を使用する用紙サイズにします。**



⑩ プリンタードライバーの［印刷方式］を［直接感熱］にします。

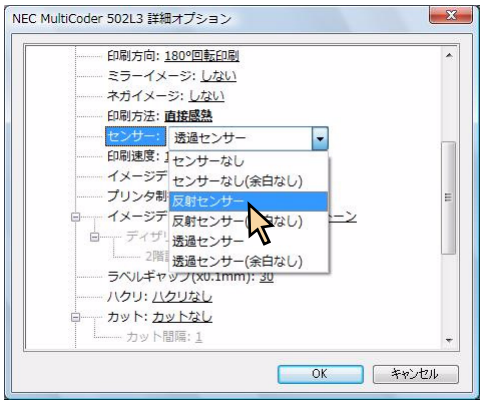
リボンを使用する場合は［熱転写］を選択します。

> **チェック**
>
> ［直接感熱］を選択した場合は、リボンをプリンターから取り外してください。
> ［熱転写］を選択する場合はプリンターにリボンが取り付けられていないと印刷を実行したときにエラーが起きます。

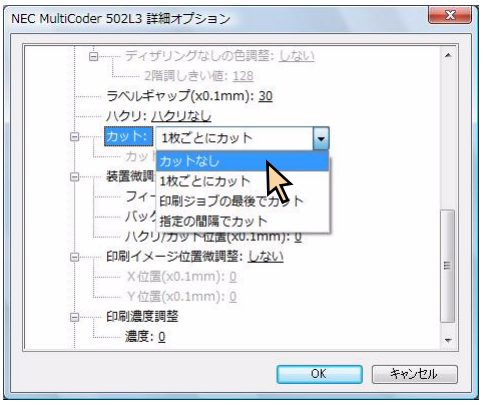


⑪ プリンタードライバーの［センサー］を［反射センサー］にします。

ラベルとラベルの間のギャップを検出する場合は、［透過センサー］を選択します。



⑫ 〈カッターモジュール装着時のみ〉
プリンタードライバーで［カット］を［カットなし］に設定します。

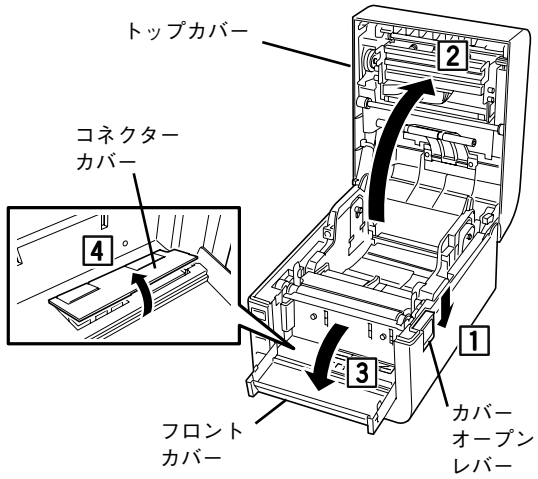


⑬ コンピューターから印刷を行います。

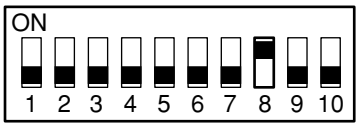
プリンタードライバーの設定を使用しない場合

❶ 電源をOFFにします。

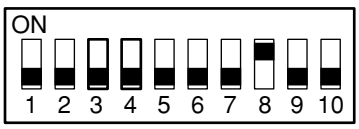
❷ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



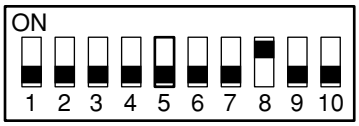
❸ DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



❹ DIP SW3と4をOFFにして連続印刷モードにします。



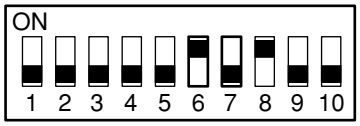
❺ DIP SW5をOFFにして感熱方式にします。
リボンを使用する場合はONにしてください。



チェック

MultiCoder 502L3Dタイプ（感熱タイプ）はON/OFFの機能を無視して感熱方式で動作します。

❻ DIP SW6をON、SW7をOFFにして反射センサーにします。



❼ コネクターカバーを取り付けます。

❽ プリンターの電源スイッチをONにします。

❾ 用紙をセットします。

❿ フロントカバーを閉じます。

⓫ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

⓬ コンピューターから印刷を行います。

カット印刷

カッターモジュールを使用するときは次の方法でプリンターの設定を変更してください。
印刷方法には、カット印刷をする方法と連続印刷をする方法があります。また、それぞれの設定には「プリンタードライバー設定」を使用する方法と使用しない方法があります。
ここでは例として、熱転写方式でラベルに印刷し、1枚ごとにカットする方法について説明します。カッタースタッカーを装着している場合は、取り外してから設定してください。

チェック

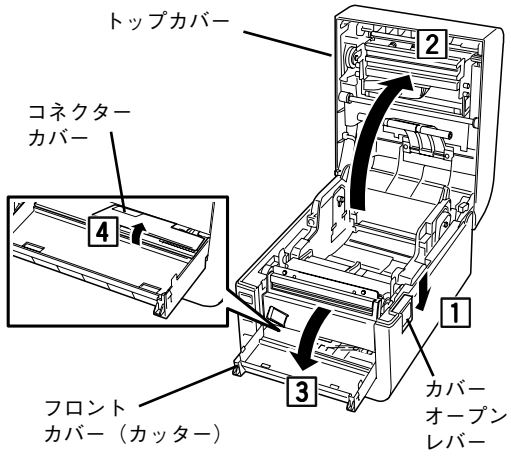
- プリンターを動作させる際はユーザーズマニュアルの1章「8用紙をセットする」を参照して必ず用紙をセットしてください。
- リストバンドはカット印刷をすることはできません。

カット印刷をする

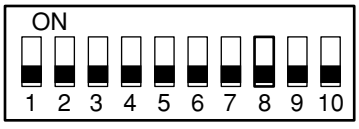
プリンタードライバーの設定を使用する場合

❶ **電源をOFFにします。**

❷ **カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（カッター）を開き、コネクターカバーを取り外します。**



❸ **DIP SW8をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。**



❹ **コネクターカバーを取り付けます。**

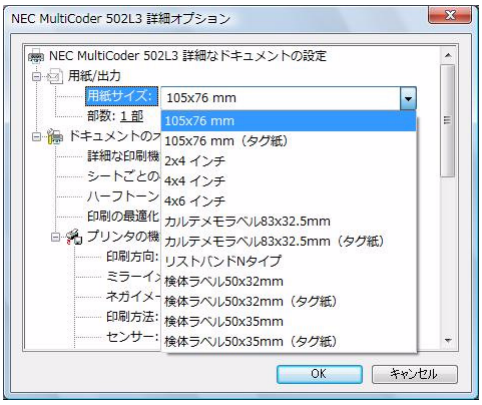
❺ **プリンターの電源スイッチをONにします。**

❻ **用紙をセットします。**

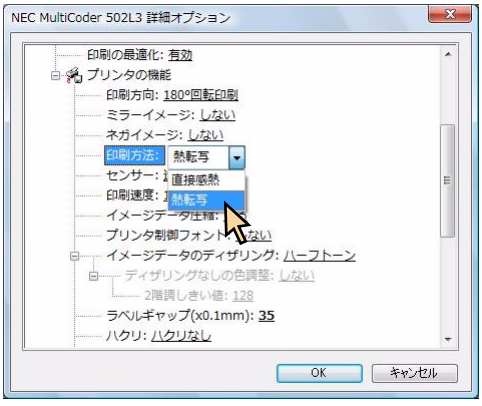
❼ **フロントカバー（カッター）を閉じます。**

❽ **トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。**

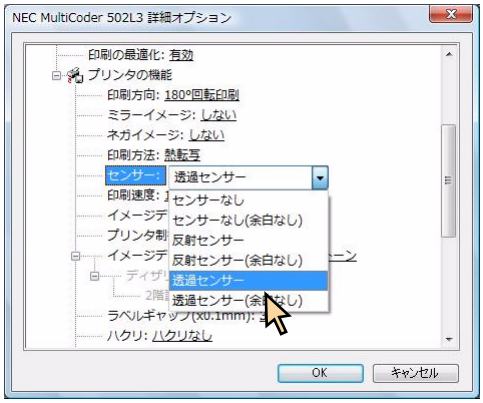
❾ **プリンタードライバーの［用紙サイズ］を使用する用紙サイズにします。**



❿ **プリンタードライバーの[印刷方式]を[熱転写]にします。**

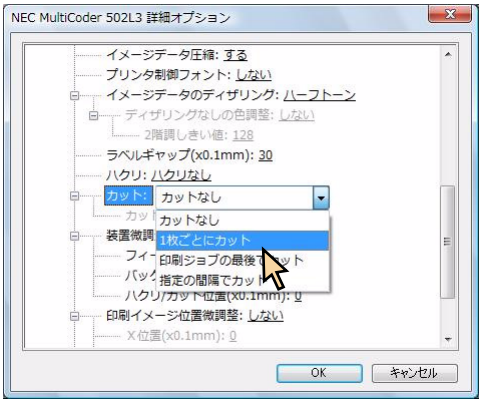


⓫ プリンタードライバーの［センサー］を［透過センサー］にします。



⓬ プリンタードライバーの［カット］を［1枚ごとにカット］にします。

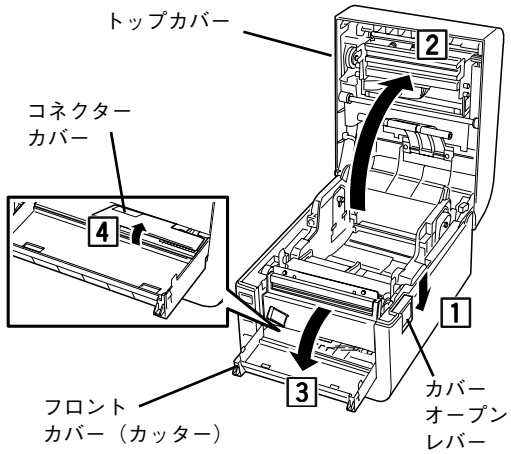
詳細は1章の「カット」（66ページ）を参照してください。



プリンタードライバーの設定を使用しない場合

❶ 電源をOFFにします。

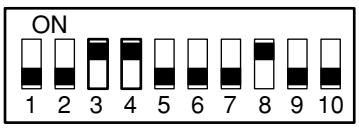
❷ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（カッター）を開き、コネクターカバーを取り外します。



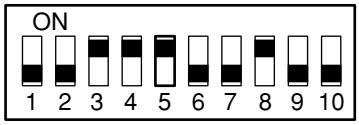
❸ DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



❹ DIP SW3と4をONにしてカット印刷モードにします。



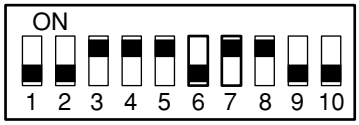
❺ DIP SW5をONにして熱転写方式にします。



チェック

MultiCoder 502L3Dタイプ（感熱タイプ）はON/OFFの機能を無視して感熱方式で動作します。

❻ DIP SW6をOFF、SW7をONにして透過センサーにします。



❼ コネクターカバーを取り付けます。

❽ プリンターの電源スイッチをONにします。

❾ 用紙をセットします。

❿ フロントカバー（カッター）を閉じます。

⓫ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

⓬ コンピューターから印刷を行います。

チェック

プリンターのDIP SW3と4で「印刷モード」を“カット印刷”に設定した場合は、1枚ごとにカットされます。指定の間隔でカット、または印刷ジョブの最後でカットを行いたい場合は、プリンタードライバーの設定を使用してください。

パーシャルカットを使用する場合

「パーシャルカット」とは、用紙をすべて切らずに中央部分を少し残して切る方式のことです。用紙がばらばらにならないため、印刷の前ページと次ページを見るときなどに利用できます。印刷済みの用紙どうしは手で簡単に離すことができます。設定はリモートパネルで行います。詳細は2章の「パーシャルカット」（115ページ）を参照してください。

チェック

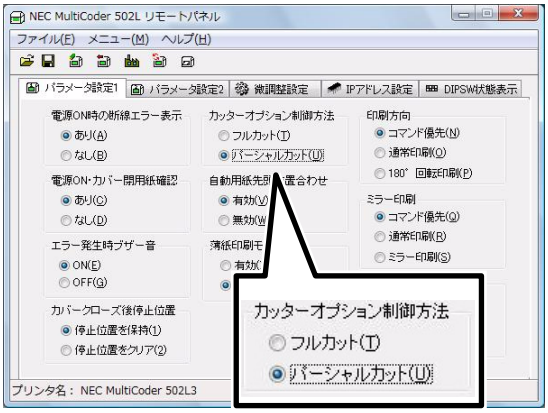
PR-T500L-11（カッターモジュール）はパーシャルカットはできません。

❶ コンピューターとプリンターを接続し、リモートパネルを起動します。

チェック

リモートパネルを使用するには、プリンタードライバーとリモートパネルのインストールが必要です。

❷ リモートパネルで［カッターオプション制御方法］を［パーシャルカット］に設定します。

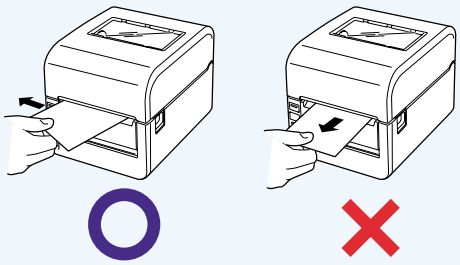


❸ プリンターに設定値を送信します。

リモートパネルの使用方法は2章の「リモートパネル」（103ページ）を参照してください。

用紙のカット方法

パーシャルカットをした用紙を切る場合は、用紙を横方向に引いて切ってください。
用紙を手前に引いて切ると、次の用紙の印刷位置がずれる場合があります。
また、厚い用紙も印刷位置がずれる場合がありますので、薄い用紙をご使用ください。



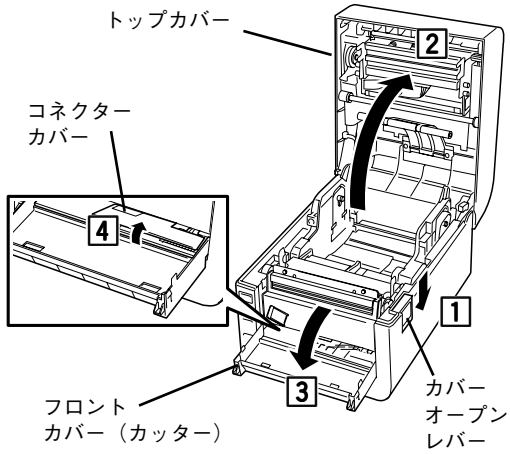
カッターモジュールを付けたまま連続印刷をする

連続印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。
ここでは例として、感熱方式で用紙裏側に黒マークが印刷されているタグ紙を連続印刷する方法について説明します。
また、リストバンドは連続印刷でのみ行えます。

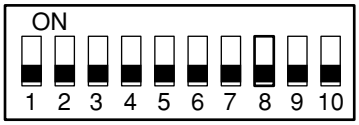
プリンタードライバーの設定を使用する場合

❶ 電源をOFFにします。

❷ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（カッター）を開き、コネクターカバーを取り外します。



❸ 装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SW8をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。



❹ コネクターカバーを取り付けます。

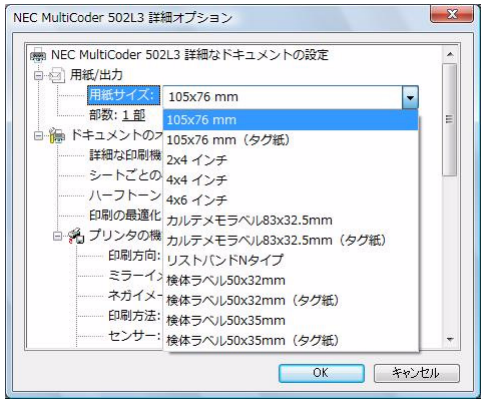
❺ プリンターの電源スイッチをONにします。

❻ 用紙をセットします。

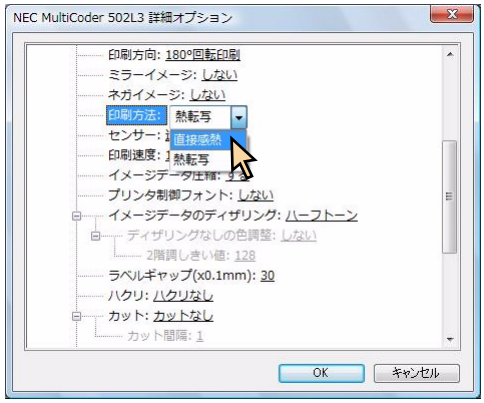
❼ フロントカバー（カッター）を閉じます。

❽ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

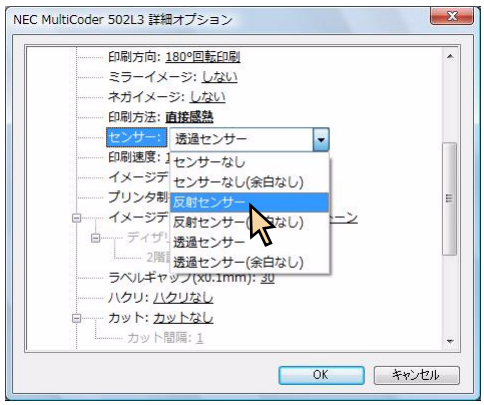
❾ プリンタードライバーの［用紙サイズ］を使用する用紙サイズにします。



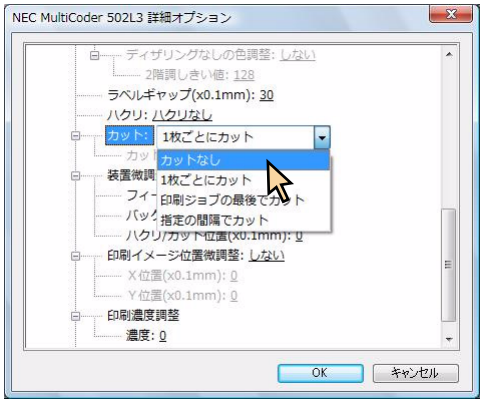
❿ プリンタードライバーの［印刷方式］を［直接感熱］にします。



⓫ プリンタードライバーの［センサー］を［反射センサー］にします。



⓬ プリンタードライバーで［カット］を［カットなし］にします。

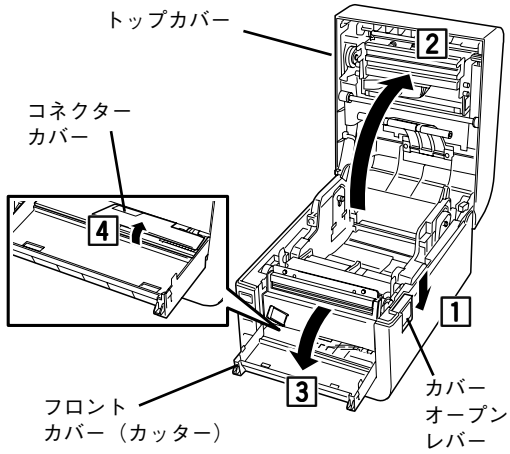


⓭ コンピューターから印刷を行います。

プリンタードライバーの設定を使用しない場合

❶ 電源をOFFにします。

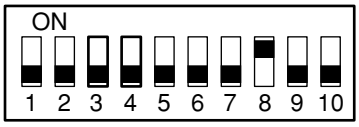
❷ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（カッター）を開き、コネクターカバーを取り外します。



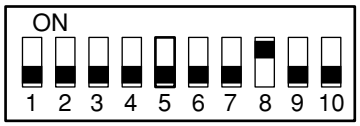
❸ DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



❹ DIP SW3と4をOFFにして連続印刷モードにします。



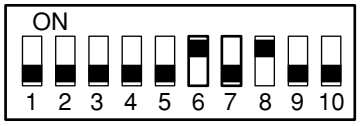
❺ DIP SW5をOFFにして感熱方式にします。



チェック

MultiCoder 502L3Dタイプ（感熱タイプ）はON/OFFの機能を無視して感熱方式で動作します。

❻ DIP SW6をON、SW7をOFFにして反射センサーにします。



❼ コネクターカバーを取り付けます。

❽ プリンターの電源スイッチをONにします。

❾ 用紙をセットします。

❿ フロントカバー（カッター）を閉じます。

⓫ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

⓬ コンピューターから印刷を行います。

ハクリ印刷

次の方法でプリンターの設定を変更してください。
印刷方法には、ハクリ印刷をする方法と連続印刷をする方法があります。また、それぞれ設定には「プリンタードライバー設定」を使用する方法と使用しない方法があります。
ここでは例として、熱転写方式でラベルに印刷する方法について説明します。ハクリガイドを装着している場合は、取り外してから設定してください。

ハクリ印刷をする

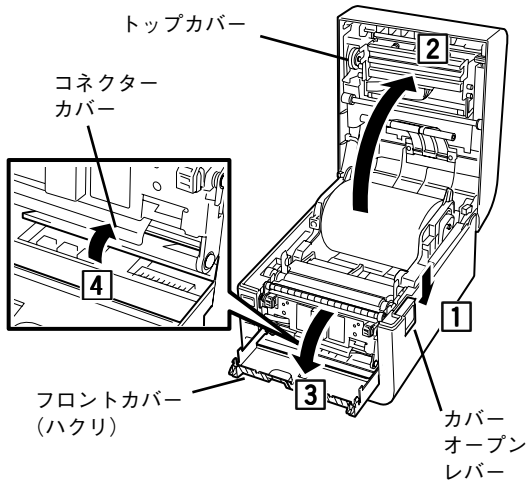
チェック

- プリンターを動作させる際はユーザーズマニュアルの1章「8用紙をセットする」を参照して必ず用紙をセットしてください。
- リストバンドはハクリ印刷をすることはできません。

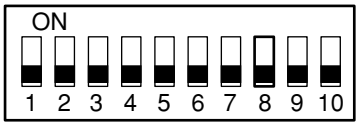
プリンタードライバーの設定を使用する場合

❶ **電源をOFFにします。**

❷ **カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（ハクリ）を開き、コネクターカバーを取り外します。**



❸ **装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SW8をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。**



❹ **コネクターカバーを取り付けます。**

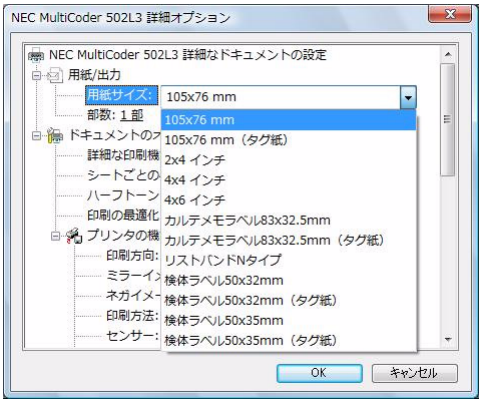
❺ **プリンターの電源スイッチをONにします。**

❻ **用紙をセットします。**

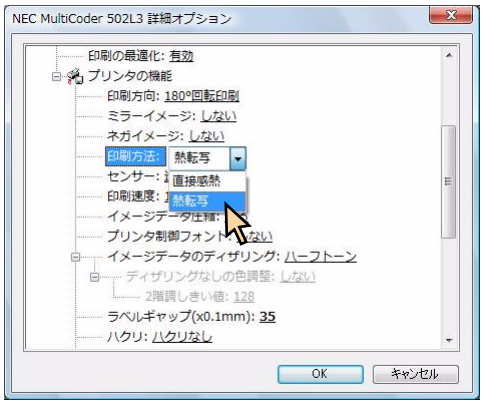
❼ **フロントカバー（ハクリ）を閉じます。**

❽ **トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。**

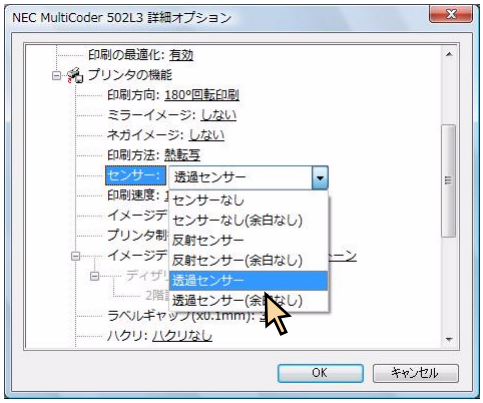
❾ **プリンタードライバーの［用紙サイズ］を使用する用紙サイズにします。**



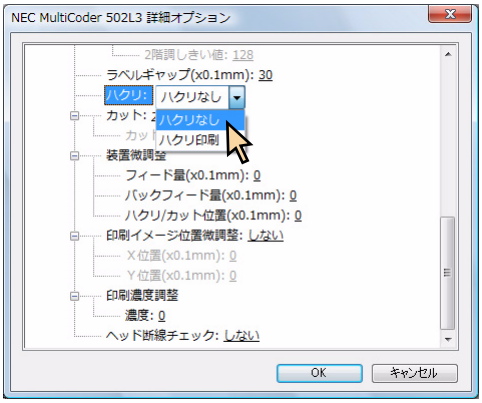
⑩ プリンタードライバーの[印刷方式]を[熱転写]にします。



⑪ プリンタードライバーの［センサー］を［透過センサー］にします。



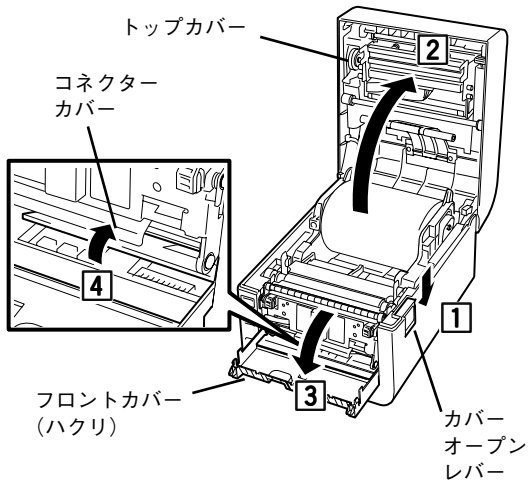
⑫ プリンタードライバーの［ハクリ］を［ハクリ印刷］に設定し、コンピューターから印刷を行います。



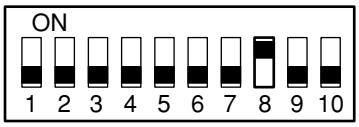
プリンタードライバーの設定を使用しない場合

❶ 電源をOFFにします。

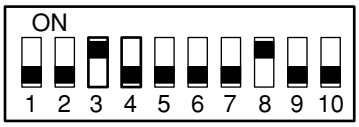
❷ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（ハクリ）を開き、コネクターカバーを取り外します。



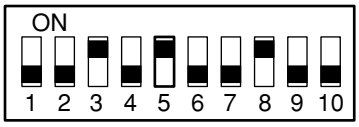
❸ DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



❹ DIP SW3をON、SW4をOFFにしてハクリ印刷モードにします。



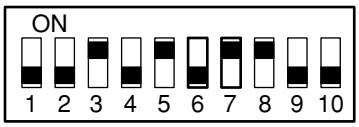
❺ DIP SW5をONにして熱転写方式にします。



チェック

MultiCoder 502L3Dタイプ（感熱タイプ）はON/OFFの機能を無視して感熱方式で動作します。

❻ DIP SW6をOFF、SW7をONにして透過センサーにします。



❼ コネクターカバーを取り付けます。

❽ プリンターの電源スイッチをONにします。

❾ 用紙をセットします。

❿ フロントカバー（ハクリ）を閉じます。

⓫ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

⓬ コンピューターから印刷を行います。

ハクリモジュールを付けたまま連続印刷をする

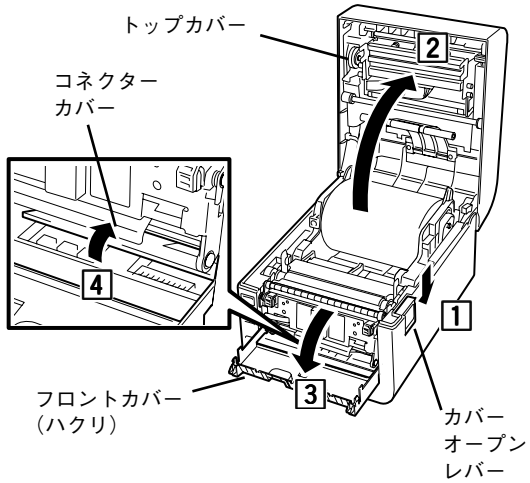
連続印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。

ここでは例として、感熱方式で用紙裏側に黒マークが印刷されているタグ紙を連続印刷する方法について説明します。また、リストバンドは連続印刷でのみ行えます。

プリンタードライバーの設定を使用する場合

❶ **電源をOFFにします。**

❷ **カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（ハクリ）を開き、コネクターカバーを取り外します。**



❸ **DIP　SW8をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。**



❹ **コネクターカバーを取り付けます。**

❺ **プリンターの電源スイッチをONにします。**

❻ **用紙をセットします。**

❼ **フロントカバー（ハクリ）を閉じます。**

❽ **トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。**

❾ **リモートパネルを起動して、［自動カット位置送り機能］を［無効］にして、設定内容をプリンターに送信します。**

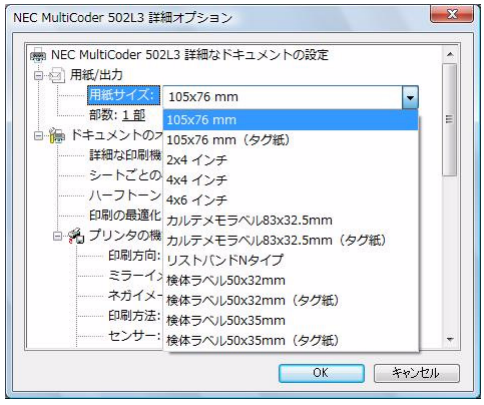
リモートパネルについては、［2章　リモートパネル］（103ページ）を参照してください。



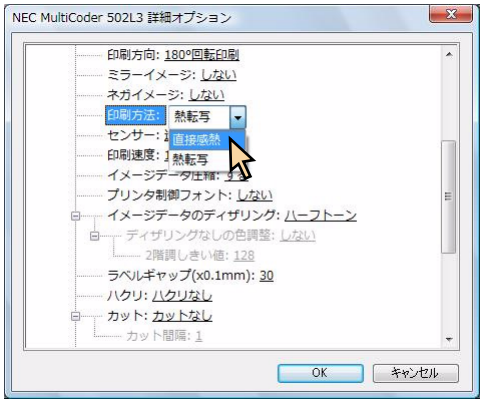
チェック

自動カット位置送り機能を有効にして使用することはできません。有効な状態で使用した場合、紙づまりになることがあります。

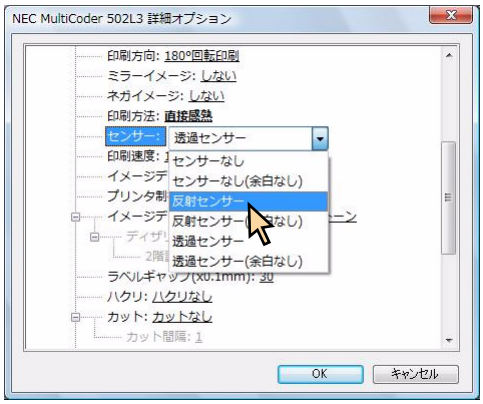
❿ **プリンタードライバーの［用紙サイズ］を使用する用紙サイズにします。**



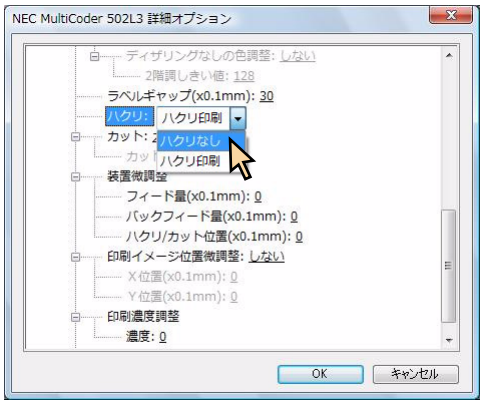
⓫ プリンタードライバーの［印刷方式］を［直接感熱］にします。



⓬ プリンタードライバーの［センサー］を［反射センサー］にします。



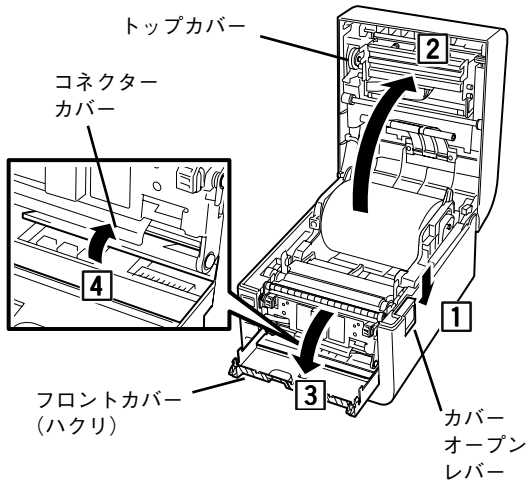
⓭ プリンタードライバーの［ハクリ］を［ハクリなし］にしてコンピューターから印刷を行います。



プリンタードライバーの設定を使用しない場合

❶ 電源をOFFにします。

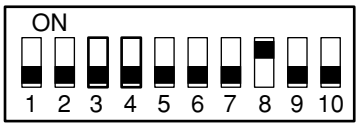
❷ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（ハクリ）を開き、コネクターカバーを取り外します。



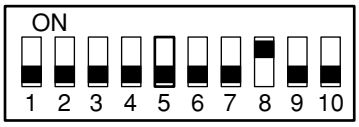
❸ DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



❹ DIP SW3と4をOFFにして連続印刷モードにします。



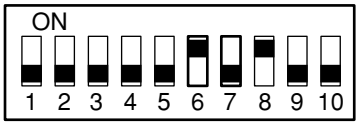
❺ DIP SW5をOFFにして感熱方式にします。



チェック

MultiCoder 502L3Dタイプ（感熱タイプ）はON/OFFの機能を無視して感熱方式で動作します。

❻ DIP SW6をON、SW7をOFFにして反射センサーにします。



❼ コネクターカバーを取り付けます。

❽ プリンターの電源スイッチをONにします。

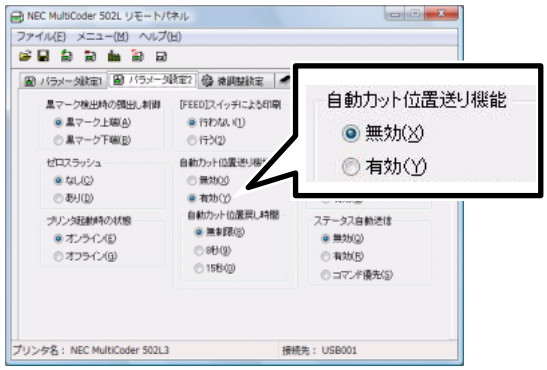
❾ 用紙をセットします。

❿ フロントカバー（ハクリ）を閉じます。

⓫ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

⓬ リモートパネルを起動して、［自動カット位置送り機能］を［無効］にして、設定内容をプリンターに送信します。

リモートパネルについては、「2章　リモートパネル」（103ページ）を参照してください。



チェック

自動カット位置送り機能を有効にして使用することはできません。有効な状態で使用した場合、紙づまりになることがあります。

⓭ コンピューターから印刷を行います。

プリンター制御フォントの使用方法

プリンター制御フォントとは、アプリケーション内の任意のページでカットを指定するためのフォントです。アプリケーション内に記載されたプリンター制御フォントは印刷されません。
様式には「CT」と「~」の2種類があり、それぞれカットの動作が異なります。

プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーに対してプリンター制御フォントを有効にする方法を以下に示します。

❶ [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーを開きます。

Windows 8/Server 2012の場合

① マウスポインタを画面右下隅に移動し、チャームを表示させます。表示されたチャームから[設定チャーム]→[コントロールパネル]をクリックします。

② [ハードウェアとサウンド] 項目内の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



Windows 7/Vista/Server 2008 R2/Server 2008の場合

① [スタート] から [コントロールパネル] をクリックします。

② Windows 7/Server 2008 R2の場合は、[デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows Vista/Server 2008の場合は、[ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。

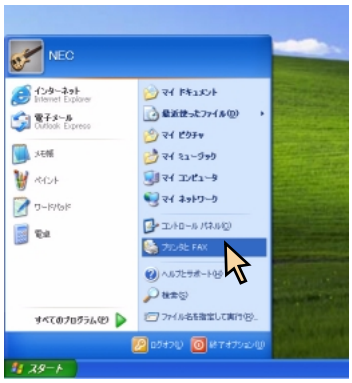


Windows XP Professional/Server 2003の場合

［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合

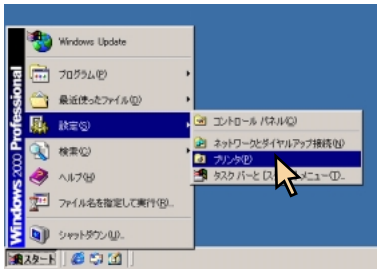
［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。



Windows XP Professional 日本語版での画面例

Windows 2000の場合

［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

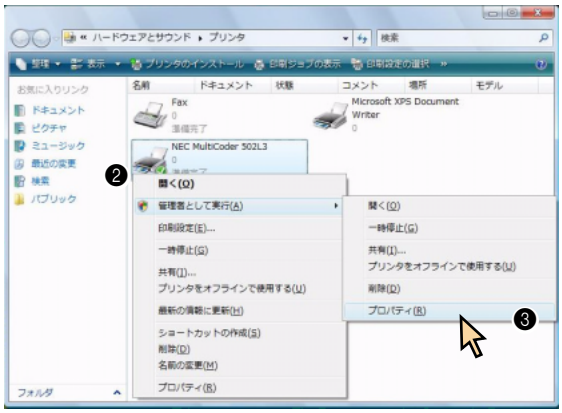


❷「NEC MultiCoder 502L3」アイコンをクリックします。

❸ プリンターのプロパティダイアログボックスを表示させます。

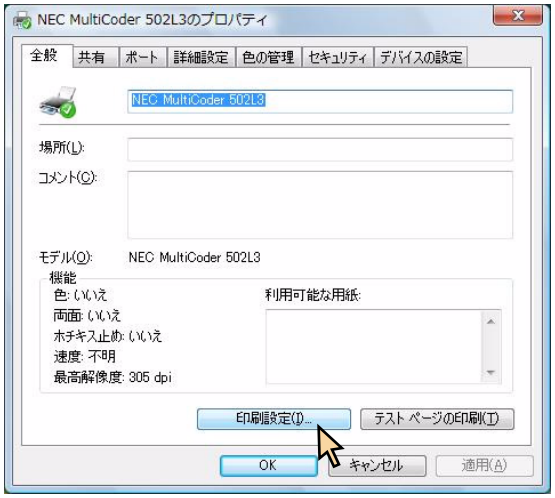
Windows 8/7/Server 2012/Server 2008 R2の場合は、プリンターを選択し、アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。

Windows Vista/Server 2008の場合は、［ファイル］メニューの［管理者として実行］から［サーバーのプロパティ］をクリックします。



❹［全般］シートの［印刷設定］をクリックします。

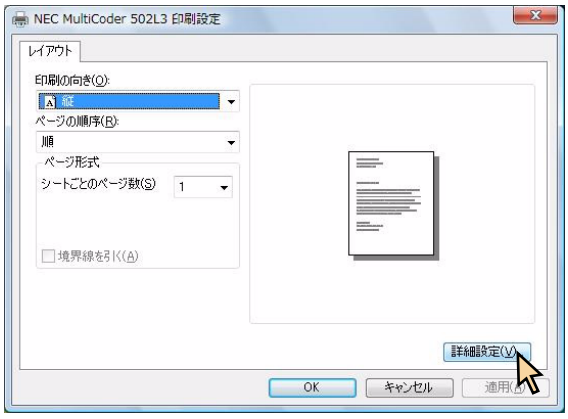
［NEC MultiCoder 502L3印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。



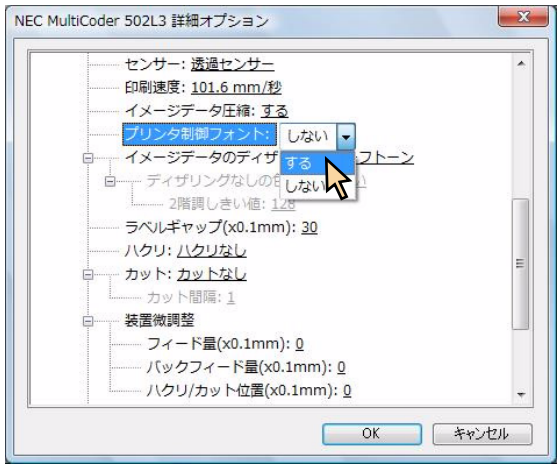
Windows 8/7/Server 2012/Server 2008 R2の場合は、[基本設定]をクリックします。

❺ **［詳細設定］をクリックします。**

［NEC MultiCoder 502L3詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。



❻ **［プリンタ制御フォント］を［する］に設定して、［OK］をクリックします。**



チェック

「印刷の最適化」(62ページ) が有効の場合のみ使用できます。

❼ **［NEC MultiCoder 502L3印刷設定］ダイアログボックスおよび［NEC MultiCoder 502L3のプロパティ］ダイアログボックスでそれぞれ［OK］をクリックしてダイアログボックスを閉じます。**

以上でプリンタードライバー側の設定は完了です。

アプリケーションでの指定方法

アプリケーション上の文字列をプリンター制御フォントで記載することで、プリンタードライバーは記載された文字列をプリンタードライバーに対する命令として解釈します。
プリンター制御フォントで記載された文字列は印刷されません。

プリンター制御フォントには、文書内に直接命令を埋め込むものと、外部ファイルに記載された命令を取り込むための2種類のフォントがあり、それぞれに横書き用と縦書き用があります。
フォント名は次のとおりです（「@」が付いたフォントは縦書き用です）。

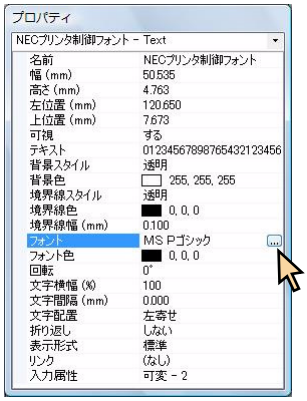
フォント名	説　明	受付可能な命令	入力例
NEC プリンタ制御	文書内に埋め込む場合に使用する横書き用フォント	• CTn（n=0～9999までの半角数字） • ~n（n=0～9999までの半角数字）	CT2
@NEC プリンタ制御	文書内に埋め込む場合に使用する縦書き用フォント	• CTn（n=0～9999までの半角数字） • ~n（n=0～9999までの半角数字）	C T 2
NEC プリンタ制御（ファイル）	外部ファイルを参照する場合の横書き用フォント	ファイル名（パスを含む） 外部ファイル内の受付可能な命令 • CTn（n=0～9999までの半角数字） • ~n（n=0～9999までの半角数字）	C:¥cmd.dat
@NEC プリンタ制御（ファイル）	外部ファイルを参照する場合の縦書き用フォント	ファイル名（パスを含む） 外部ファイル内の受付可能な命令 • CTn（n=0～9999までの半角数字） • ~n（n=0～9999までの半角数字）	C : ¥ c m d . d a t

ここではLabelStar Liteを例に説明します。

❶ LabelStar Liteを起動して、任意のファイルを開きます。

❷ ［プロパティ］ウィンドウで目的のテキストボックスを選択して、［フォント］の参照ボタンをクリックします。

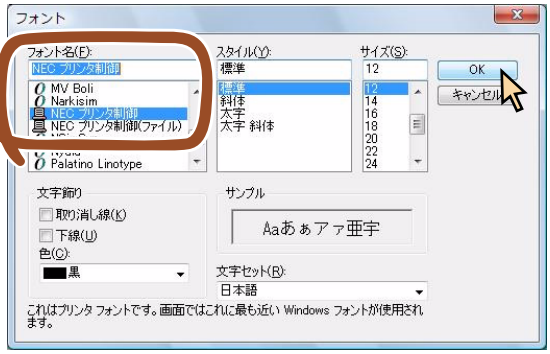
［フォント］ダイアログボックスを表示します。
他のアプリケーションの場合は、アプリケーションのヘルプを参照してフォントを変更するための手順を確認し、ダイアログボックスを表示をさせてください。



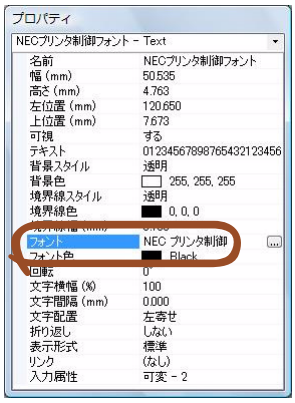
チェック

プリンター制御フォントに修飾しようとしているテキストボックス内の文字列は、「「NECプリンタ制御」フォントを使ったカット指定」（98ページ）および「「NECプリンタ制御（ファイル）」フォントを使ったカット指定」（100ページ）で説明する命令またはファイル名であることを確認してください。

❸ **フォントの一覧から、プリンター制御フォントを選択して［OK］をクリックします。**



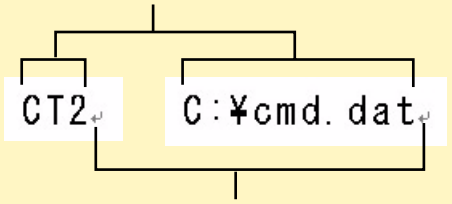
［プロパティ］ウィンドウの［フォント］に設定されます。



重要

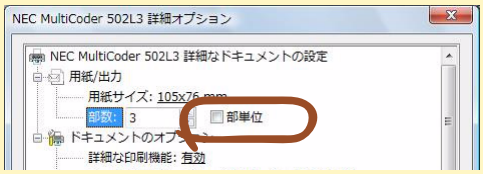
フォント指定時の注意事項

- プリンター制御フォントを記述する場合は、文字列をすべて同じプリンター制御フォントおよびフォントサイズで記述してください。
- 記述後に改行する際、プリンター制御フォントで改行しないようにしてください。



部数の設定について

部数印刷を指定する場合は、［部単位］のチェックを外してください。［部単位］がオンの場合は、毎ページカットされます。



「NECプリンタ制御」フォントを使ったカット指定

「NECプリンタ制御」フォントまたは「@NECプリンタ制御」フォントで修飾された文字列について、プリンタードライバーは次の2種類の記述を命令として受け付けます。

チェック

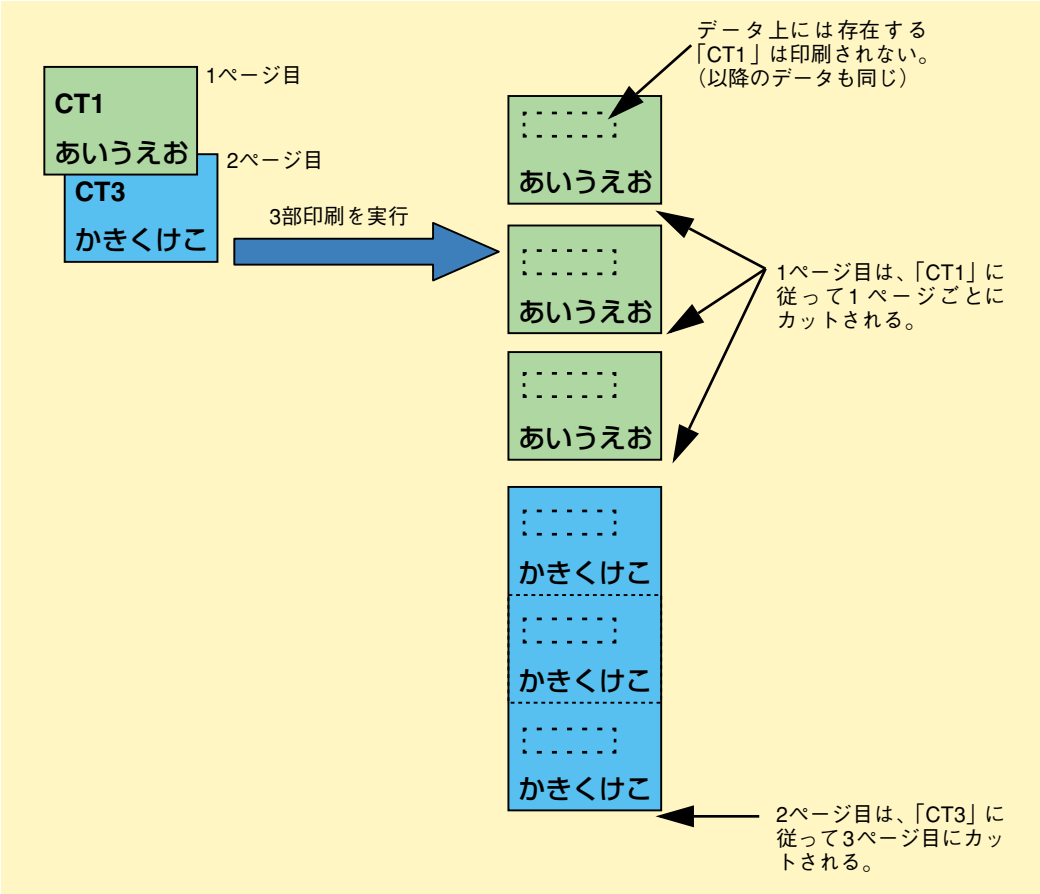
- 文書中にプリンター制御フォントによるカット指定がない、または無効な記述がされている場合は、1枚ごとにカットを行います。
- 記述をプリンター制御フォントに指定していない場合は、文字列として印刷されます。
- 記述の入力上の注意事項については「フォント指定時の注意事項」（97ページ）を参照してください。
- 印刷時の部数指定については「部数の設定について」（97ページ）を参照してください。

CT（任意のページでカットする）

「CT」に続く数字で指定されたページ数を印刷後にカットします。

指定方法　　CT*n*　「*n*」は0～9999までの半角の数値です。
*n*に0を指定した場合、指定したページではカットしません。
*n*に1を指定した場合、指定したページを1枚印刷するごとにカットします。
*n*に2を指定した場合、指定したページを2枚印刷するごとにカットします。

使用例（2ページ、3部印刷の場合）

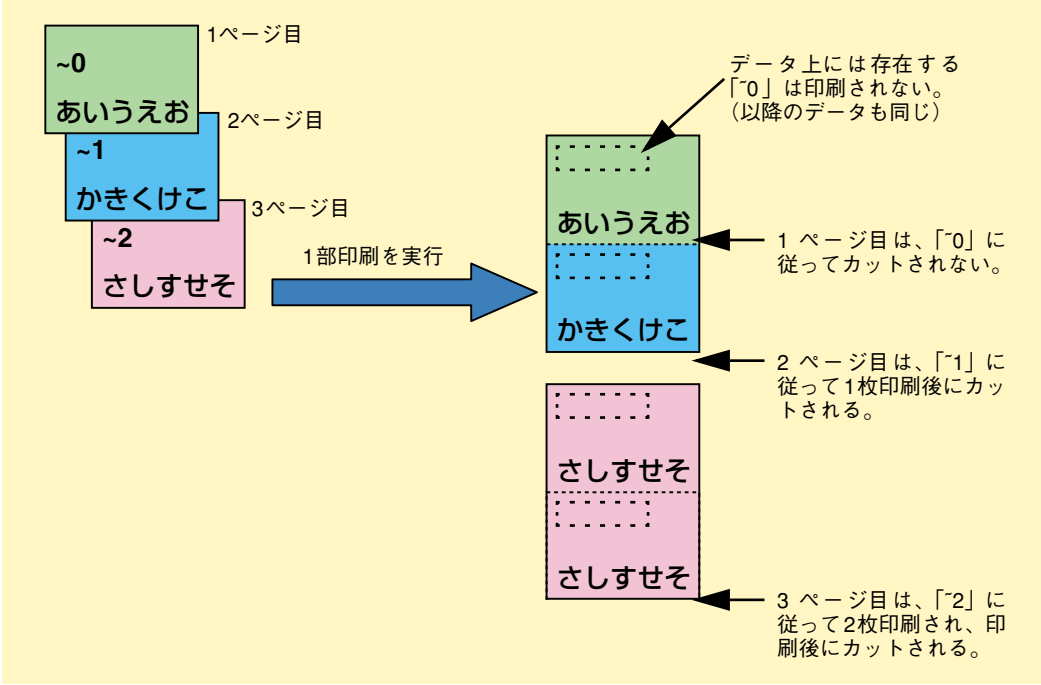


~（任意ページの複部数印刷後にカットする）

「~」に続く数字で指定された枚数だけ同じページを印刷し、カットします。

指定方法　　~ *n*　　「*n*」は0～9999までの半角の数値です。
*n*に0を指定した場合、指定したページを1ページ印刷後にカットしません。
*n*に1を指定した場合、指定したページを1ページ印刷後にカットします。
*n*に2を指定した場合、指定したページを2ページ印刷後にカットします。

使用例（3ページ、1部印刷の場合）

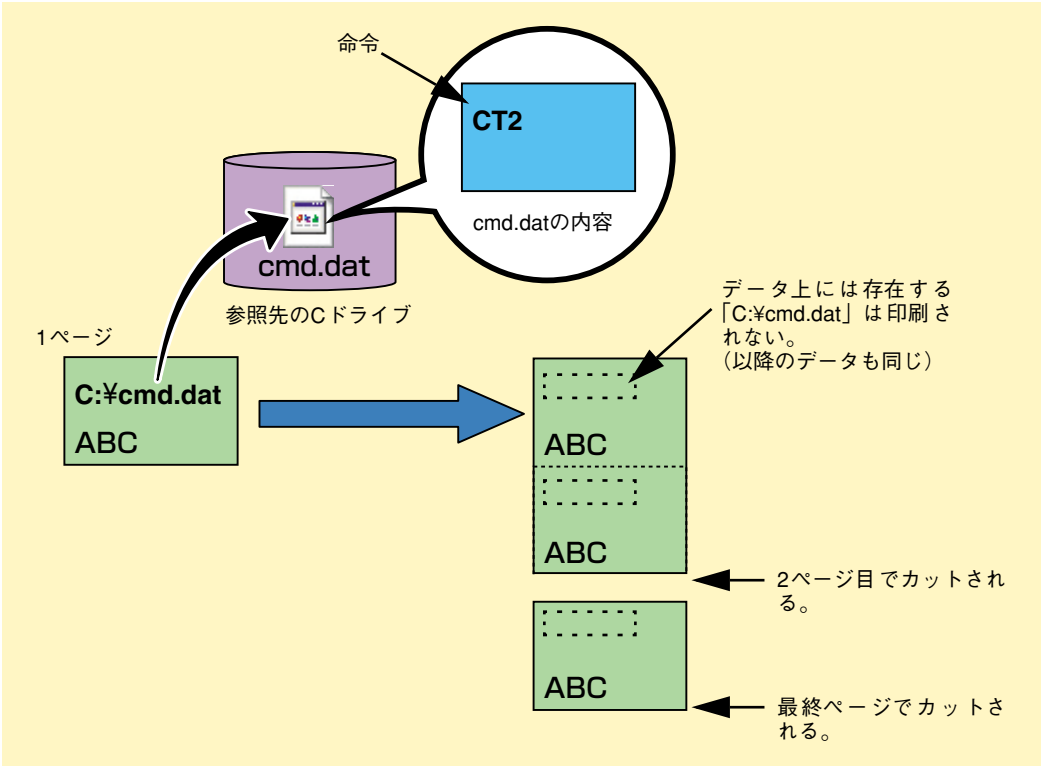


「NECプリンタ制御（ファイル）」フォントを使ったカット指定

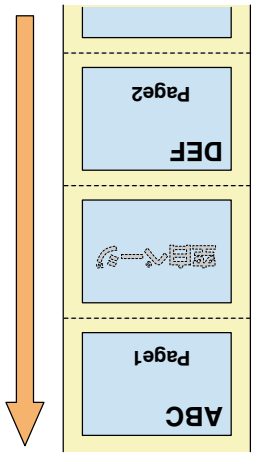
「NECプリンタ制御（ファイル）」フォントまたは「@NECプリンタ制御（ファイル）」フォントで修飾された文字列をプリンタードライバーは外部ファイルへの参照パスとして受け付けます。
外部ファイルは「「NECプリンタ制御」フォントを使ったカット指定」(98ページ)で示す記述が記載されたデータファイルで、データファイル内の記述を変更することで一括してカット動作を変更させることができるようになります。

指定方法　〈コマンドファイルパス〉　命令が記述されたデータファイルのファイルパスを指定します。
ファイル内に記述された文字列を命令として出力します。
テキスト形式のデータファイルのパスを指定してください。
指定されたデータファイルに記載されている内容を出力します。

使用例（1ページを「C:¥cmd.dat」ファイルに従って3部印刷の場合）



プリンタードライバーに関する問題一覧

現　象	原　因	処　置
プリンタードライバーの設定ができない。	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。
プリンタードライバーに使用したい用紙サイズが登録されていない。	Windows OSおよびプリンタードライバーが用意した用紙サイズ以外の用紙を使用したい場合は、ユーザー定義サイズを設定することができます。	ユーザー定義サイズの設定方法については、「ユーザー定義用紙サイズの登録」（72ページ）を参照してください。
用紙サイズのユーザー定義サイズが設定できない。	Windows OSおよびプリンタードライバーが用意した用紙サイズ以外の用紙を使用したい場合は、ユーザー定義サイズを設定することができます。	ユーザー定義サイズの設定方法については、「ユーザー定義用紙サイズの登録」（72ページ）を参照してください。
印刷されない。	ポートの設定が正しくない。	接続を確認し、ポートの設定を確認してください。
	プリンターでエラーが発生している。	オンライン状態でないと印刷できません。エラーを解除してオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
用紙送りエラーが発生する。（プリンターの7セグLEDに“”が表示される。）	ラベルのギャップを検出できませんでした。	• ラベルギャップを検出するときは、「透過センサー」を選択してください（「センサー」（64ページ）を参照）。 黒マークを検出するときは、反射センサーを選択してください（「センサー」（64ページ）を参照）。 • ユーザーズマニュアルの1章を参照して「しきい値の調整」を行ってください。
	黒マークが検出できませんでした。	
	センサーのしきい値の設定が用紙に合っていません。	
白紙のページができる（用紙抜けが発生する）。	用紙長が合っていません。	• 「用紙サイズ」（61ページ）を参照して用紙を選択してください。 • 「ユーザー定義用紙サイズの登録」（72ページ）を参照して用紙を作成してください。
リボンエラーが発生する。（プリンターの7セグLEDに“”が表示される。）	リボンがセットされていません。	［熱転写］を選択するときはリボンをセットしてください。［直接感熱］を選択するときは、リボンを取り外してください（「印刷方法」（63ページ）を参照）。

メ　モ

2章 リモートパネル

リモートパネルは、本プリンターの各種機能をご使用のコンピューターの画面上で設定できるように作成されたソフトウェアです。
ここではリモートパネルのインストール（アンインストール）方法、起動方法、およびリモートパネルの使い方について説明します。なお、リモートパネルのヘルプも併せて参照してください。

チェック

- リモートパネルが動作するOSは次のとおりです。
  - Microsoft Windows 8 日本語版*1
  - Microsoft Windows 7 日本語版*1
  - Microsoft Windows Vista 日本語版*1
  - Microsoft Windows XP 日本語版*1
  - Microsoft Windows 2000 日本語版*1
  - Microsoft Windows Server 2012 日本語版*1
  - Microsoft Windows Server 2008 日本語版*1
  - Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*1
  - Microsoft Windows Server 2003 日本語版*1
  - Microsoft Windows Server 2003 R2 日本語版*1

  *1: 64ビットバージョンにも対応しています。
- リモートパネルを動作させるためにはプリンタードライバーが必要です。
- パラレルインターフェースまたは RS-232C インターフェースで接続されている本プリンターの状態を取得することはできません。設定のみ可能です。

リモートパネルのインストールとアンインストール

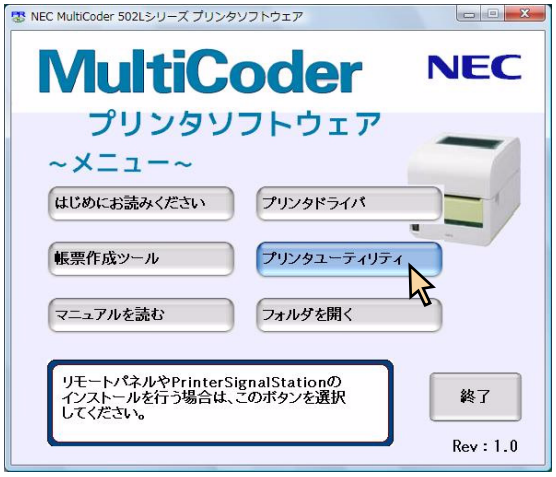
お使いのコンピューターでリモートパネルをご使用になる場合、コンピューターにリモートパネルをインストールしてください。

リモートパネルのインストール

リモートパネルのインストール手順は次のとおりです。

❶ **ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。**
［プリンタソフトウェア］ダイアログボックスが起動します。

❷ **［プリンタユーティリティ］ボタンをクリックします。**



❸ **［リモートパネル］ボタンをクリックします。**

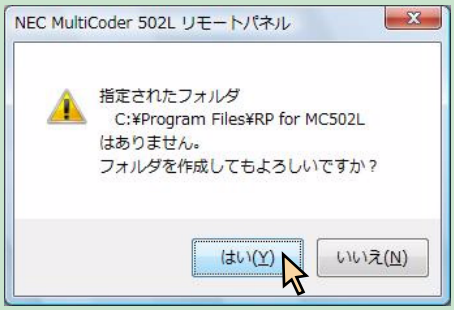


❹ **インストール先のフォルダを指定し、［OK］をクリックします。**

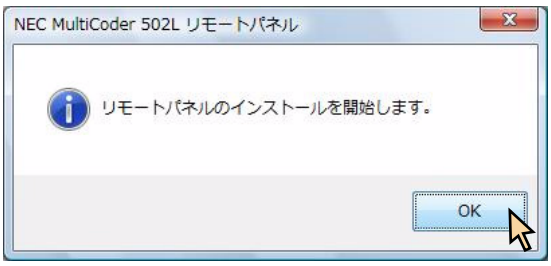


チェック

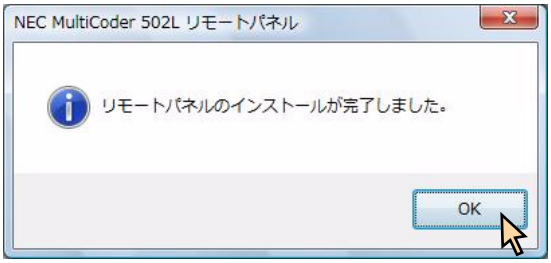
下の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。フォルダーが作成されます。



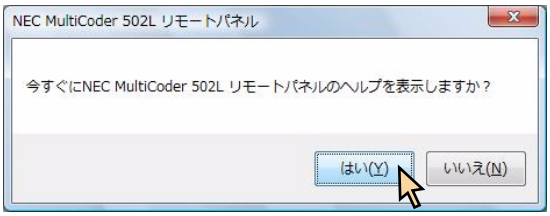
❺ **［OK］をクリックします。**



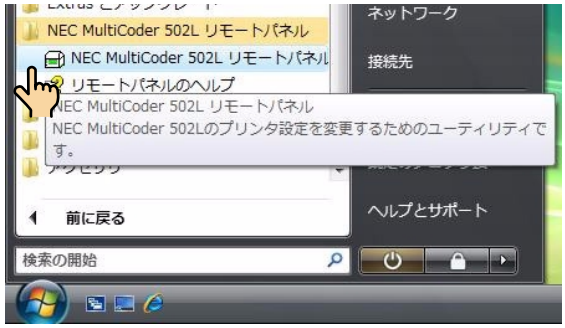
❻ ［OK］をクリックします。



❼ リモートパネルのヘルプを表示する場合は［はい］を、表示しない場合は［いいえ］をクリックします。



［スタート］メニューの［すべてのプログラム］または［プログラム］に「NEC MultiCoder 502Lリモートパネル」の表示が出ていればインストール完了です。



リモートパネルの削除（アンインストール）

次の手順で削除（アンインストール）を行ってください。

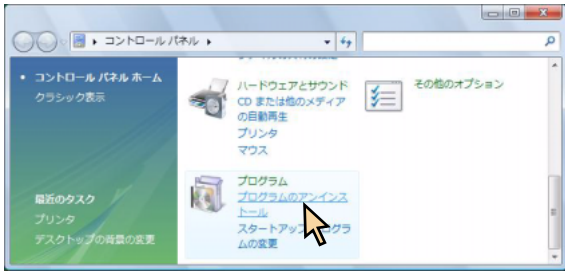
❶ ［コントロールパネル］フォルダーを開きます。

Windows 8/Server 2012の場合、マウスポインタを画面右下隅に移動してチャームを表示し、[設定]ー[コントロールパネル]をクリックします。

Windows 7/Vista/XP/Server 2008 R2/Server 2008/Server 2003の場合、［コントロールパネル］フォルダーは、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、［コントロールパネル］フォルダーは、［スタート］から［設定］ー［コントロールパネル］をクリックすると開きます。

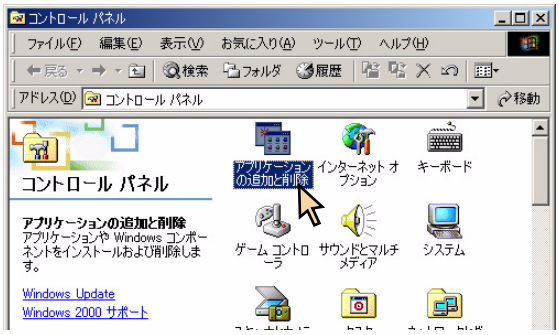
❷ ［プログラムのアンインストール］をクリックします。（Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008の場合）



［プログラムの追加と削除］をクリックします。（Windows XP/Server 2003の場合）



［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。（Windows 2000の場合）

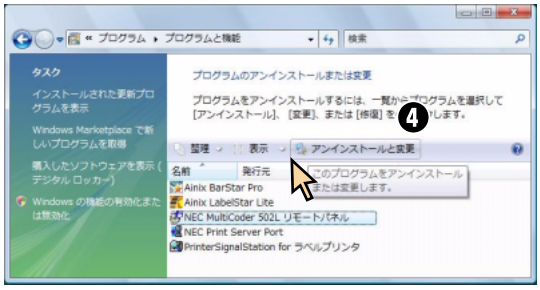


❸［プログラムの変更と削除］をクリックします。

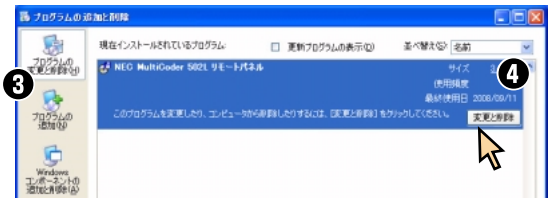
Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008の場合はこの手順は不要です。次へ進んでください。

❹「NEC MultiCoder 502Lリモートパネル」を選択し、次の操作をします。

- Windows 8/Server 2012の場合
「NEC MultiCoder 502L リモートパネル」を右クリックし、[アンインストールと変更]をクリック
- Windows 7/Server 2008 R2の場合
［プログラムのアンインストール］をクリック
- Windows Vista/Server 2008の場合
［アンインストールと変更］をクリック
- Windows XP/Server 2003の場合
［プログラムの追加と削除］をクリック
- Windows 2000の場合
［アプリケーションの追加と削除］をクリック

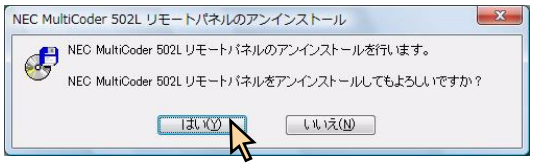


Windows Vistaの場合の表示例



Windows XPの場合の表示例

❺［はい］をクリックします。



❻［OK］をクリックします。



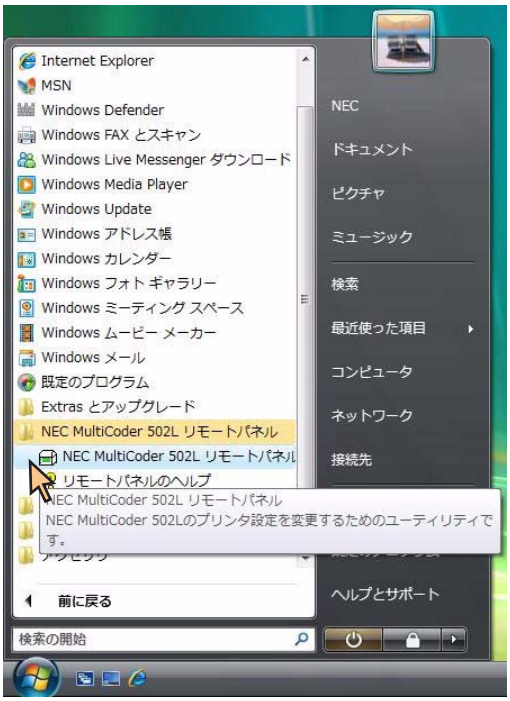
アンインストールの完了です。

リモートパネルの起動

［リモートパネル］は以下の方法で開きます。

［スタート］の［すべてのプログラム］から、［NEC MultiCoder 502Lリモートパネル］フォルダの［NEC MultiCoder 502Lリモートパネル］をクリックします。

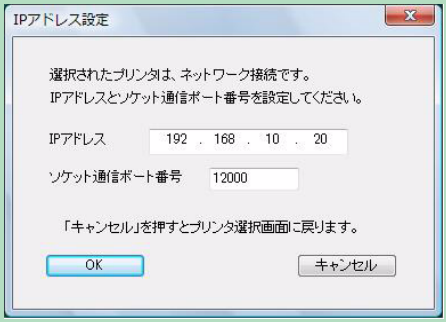
Windows 8/Server 2012の場合、スタート画面から、「NEC MultiCoder 502L リモートパネル」をクリックします。



Windows Vistaの場合の表示例

チェック

リモートパネルはネットワーク接続プリンターを選択した場合、「IPアドレス」と「ソケット通信ポート番号」設定画面が表示されます。



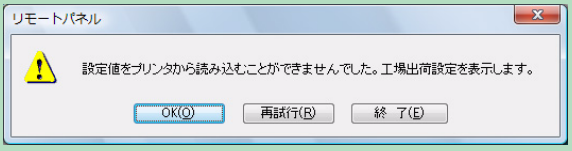
右のようなリモートパネルが表示されます。



Windows 8の場合の表示例

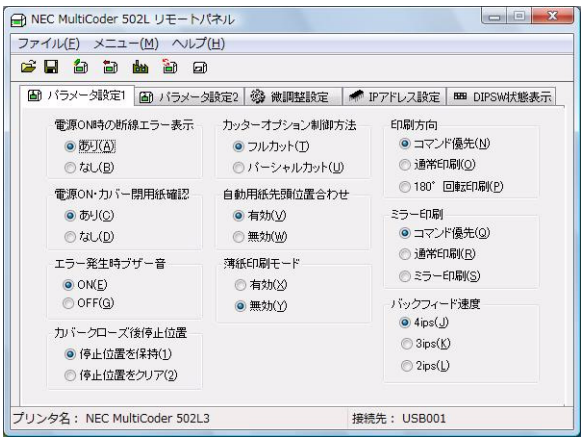
チェック

- リモートパネルは起動時にプリンター本体の設定値を取得し、画面に表示します。設定値の取得に失敗した場合は、工場出荷設定の値を表示します。
  また、パラレルインターフェースおよびRS-232Cインターフェースで接続されている場合も工場出荷設定の値を表示します。



- 複数のMultiCoder 502L3のプリンタードライバーをインストールしているコンピューターではリモートパネルを表示する前にプリンターの選択画面が表示されます。プリンターを選択するとそのプリンター用のリモートパネルが表示されます。

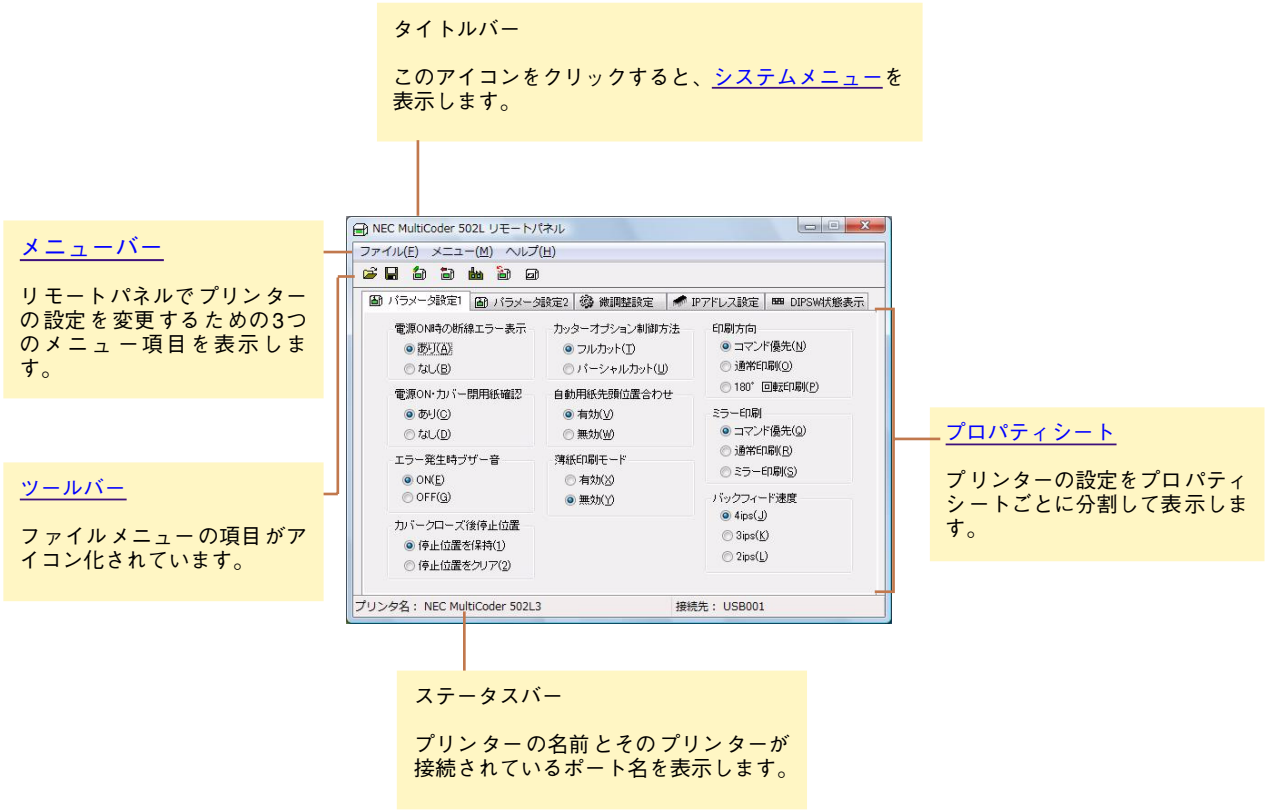




リモートパネルの表示例

リモートパネルの使い方

リモートパネルを起動すると次のような［リモートパネル］メインダイアログボックスが表示されます。



システムメニュー



- **元のサイズに戻す**
  アイコン化されているリモートパネルをウィンドウ状態に戻します。アイコン化されていないときはグレー表示されます。
- **移動**
  リモートパネルのウィンドウを移動します。リモートパネルがアイコン表示されているときは移動できないため、グレー表示されます。
- **サイズ変更**
  使用できないためグレー表示されます。
- **最小化**
  リモートパネルをアイコン表示します。すでにアイコン表示されているときはグレー表示されます。
- **最大化**
  使用できないためグレー表示されます。
- **閉じる**
  リモートパネルを終了します。

メニューバー

リモートパネルでプリンターの設定を変更するための3つのメニュー項目を表示します。

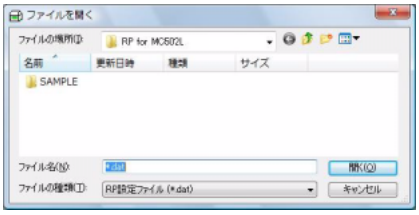
ファイル

［ファイル］をクリックすると、リモートパネルで設定した値を書き込んだり、工場出荷時の設定値に戻して表示させたりすることができます。



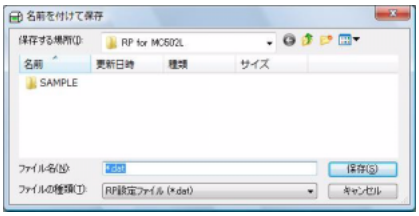
設定ファイルの読み込み

この項目をクリックすると［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。



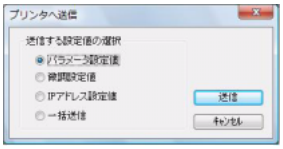
設定ファイルへの書き込み

この項目をクリックするとリモートパネル設定ファイルを保存するための右のダイアログボックスが表示されます。



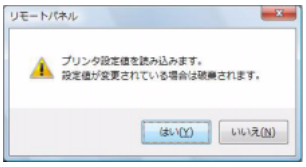
設定値をプリンタへ送信

選択されているプリンターにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。



プリンタの設定値読み込み

プリンターから現在の設定値を読み込んで画面に表示します。

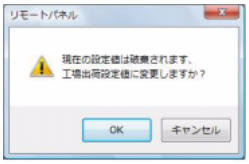


チェック

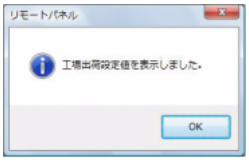
設定値の取得に失敗した場合は、工場出荷設定の値を表示します。
また、パラレルインターフェースおよびRS-232Cインターフェースで接続されている場合も工場出荷設定の値を表示します。

工場出荷設定値を表示

リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき右のダイアログボックスが表示されます。



このとき［キャンセル］をクリックすると工場出荷設定値には戻さず、メインダイアログボックスに戻ります。［OK］をクリックすると右のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。



チェック

この項目を選択すると工場出荷設定値に戻して表示されますが、プリンター本体の設定値は変更されません。［設定値をプリンタに送信］を実行してはじめて設定値は変更されます。

プリンタの選択

リモートパネルで設定変更したいプリンターを選択することができます。ご使用のコンピューターに複数のMultiCoder 502L3プリンタードライバーがインストールされている場合のみ、プリンターを選択するため右のダイアログボックスが表示されます。
設定を変更または表示したいプリンターをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンター名および接続先が表示されます。



［OK］をクリックするとリストビュー上で選択されているプリンターの設定を表示/設定するリモートパネルが起動します。

チェック

ご使用のコンピューターにMultiCoder 502L3プリンタードライバーが1つしかインストールされていない場合は、［プリンタの選択］はグレー表示され、選択できません。

終了

リモートパネルを終了することができます。

メニュー

リモートパネルで設定変更したい項目またはプリンターの設定状態の表示を選択することができます。



項目を選択することで各種機能設定の画面または設定状態の画面に切り替わります。メニュー上の仕切り線より上にある5つの項目の詳細については、「2章　プロパティシート」(114ページ) またはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

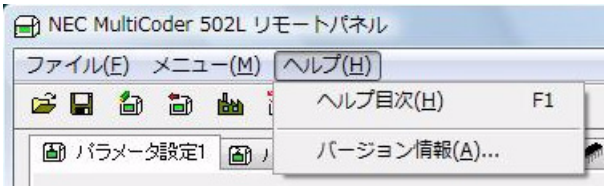
テスト印刷

選択しているプリンターに対してテスト印刷を実行します。添付のテスト用ラベルをプリンターにセットしてください。テスト印刷の印刷結果例を以下に示します。



ヘルプ

ヘルプをクリックすると、リモートパネルのヘルプやバージョン情報を表示することができます。



ヘルプ目次

リモートパネルのヘルプを表示します。

バージョン情報

リモートパネルのバージョン情報を表示します。

ツールバー



- **［設定ファイルの読み込み］ボタン**
  このボタンをクリックすると、［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。



- **［設定ファイルへの書き込み］ボタン**
  このボタンをクリックすると、リモートパネル設定ファイルを保存するためのダイアログボックスが表示されます。



- **［設定値をプリンタへ送信］ボタン**
  このボタンをクリックすると、プリンターにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。

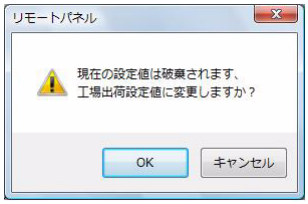


- **［プリンタ設定値読み込み］ボタン**
  このボタンをクリックすると、プリンターの設定値を読み取り、画面に表示することができます。

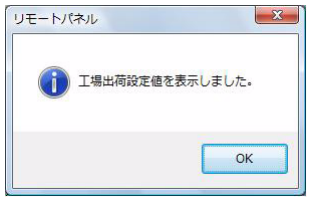
> **チェック**
> パラレルインターフェースまたはRS-232Cインターフェースで接続されている場合、現在のプリンターの設定値は表示されません。



- **［工場出荷設定を表示］ボタン**
  リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき次のダイアログボックスが表示されます。



このとき［キャンセル］を選択すると工場出荷設定値には戻さず、メインダイアログボックスに戻ります。
［OK］を選択すると次のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。



> **チェック**
> この項目を選択すると工場出荷設定値に戻して表示されますが、プリンター本体の設定値は変更されません。［設定値をプリンタに送信］を実行してはじめて設定値は変更されます。



- **［プリンタの選択］ボタン**

このボタンをクリックすると、リモートパネルで設定変更したいプリンターを選択することができます。ご使用のコンピューターに複数のMultiCoder 502L3プリンタードライバーがインストールされている場合のみ、プリンターを選択するため次のダイアログボックスが表示されます。設定または表示したいプリンターをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンター名および接続先が表示されます。



［OK］をクリックすると、リストビュー上で選択されているプリンターの設定を表示および変更するリモートパネルが起動します。

> **チェック**
>
> ご使用のコンピューターにMultiCoder 502L3プリンタードライバーが1つしかインストールされていない場合は、［プリンタの選択］はグレー表示され、選択できません。



- **［テスト印刷］ボタン**

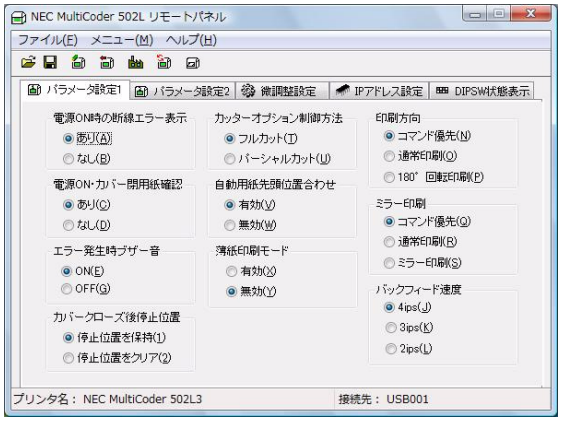
このボタンをクリックすると、テスト印刷を実行します。詳しくは「テスト印刷」(111ページ)を参照してください。

プロパティシート

リモートパネルは次の5つのプロパティシートを持っています。プロパティシートの切り替えは4つのタブまたは［メニュー］の中から切り替えることができます。

パラメータ設定1

用意されているパラメーターからプリンターが行う動作や処理を指定するプロパティ（その1）です。



項目名	説　明	パラメーター【既定値】
電源ON時の断線エラー表示	電源ON時に自動でサーマルヘッドの断線チェックをするかどうかを設定します。［あり］に設定しているときに断線チェックエラーを検出すると、プリンターのERRORランプを点滅させ、7セグメントLEDにはエラーコードを表示します。	【あり】・なし
電源ON・カバー閉用紙確認	電源ON時、またはカバークローズ動作時に用紙の有無を確認するかどうかを切り替えます。	【あり】・なし
エラー発生時ブザー音	エラーが発生したときにブザーを鳴らすかどうかを設定します。	【ON（鳴らす）】・OFF
カバークローズ後停止位置	用紙の停止位置を制御する方法を切り替えます。	【停止位置を保持】・停止位置をクリア
カッターオプション制御方法	カッター制御方法を切り替えます。［フルカット］にした場合、用紙を完全に切り離します。［パーシャルカット］は用紙の中央部分を少しだけ残してカットします（115ページの説明を参照してください）。	【フルカット】・パーシャルカット
自動用紙先頭位置合わせ	自動用紙位置合わせをするかどうかを切り替えます。［有効］にした場合、用紙位置合わせをします。	【有効】・無効
薄紙印刷モード	カット位置からの用紙戻し動作を行うかどうかを切り替えます（詳しい説明は、116ページを参照してください）。 無効の場合は、用紙戻し動作を行います。 有効の場合は、カット位置からの用紙戻し動作を行いません。また、センサーの設定に関わらず、センサー無し設定時の動作となります。	有効・【無効】
印刷方向	印刷の向きを切り替えます。［コマンド優先］にした場合、プリンタードライバーの設定に従います。	【コマンド優先】・通常印刷・180° 回転印刷
ミラー印刷	ミラー印刷をするかどうかを切り替えます。［コマンド優先］にした場合、プリンタードライバーの設定に従います。	【コマンド優先】・通常印刷・ミラー印刷
バックフィード速度	用紙をプリンター内へ戻す（後ろに送る）速度（ips：インチ/秒）を切り替えます。印刷結果に汚れが目立つ場合は速度を落としてください。	【4ips】・3ips・2ips

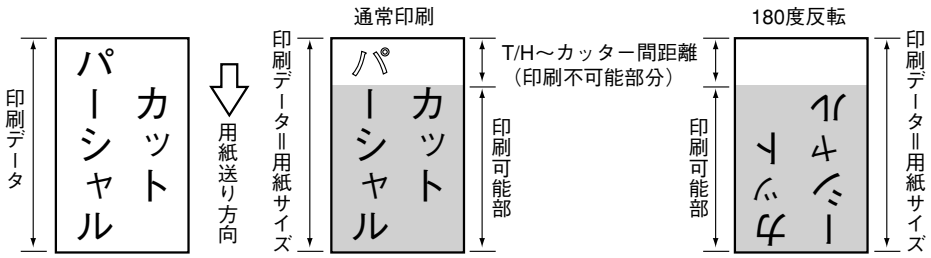
- **パーシャルカット**

  この機能はカッターモデルまたはカッターモジュール（PR-T500L-01）を装着時に有効な機能です。糊カッターモデルまたはカッターモジュール（PR-T500L-11）はパーシャルカットができません。
  パーシャルカットとは用紙の中央部分を少しだけ残してカットすることです。
  ただし、カット後にバックフィードすると紙が切れてしまうため、以下の動作となります。

  ー　カット直後は、次ページの用紙先頭が「18mm±カット／ハクリ微調整量」分送り出された状態となります。バックフィードできないため、次頁の印刷では、この送り出された分の印刷イメージを自動で削除します。

  ー　このため、パーシャルカットで運用の際は、上余白に18mm±カット／ハクリ微調整量を付加する必要があります。

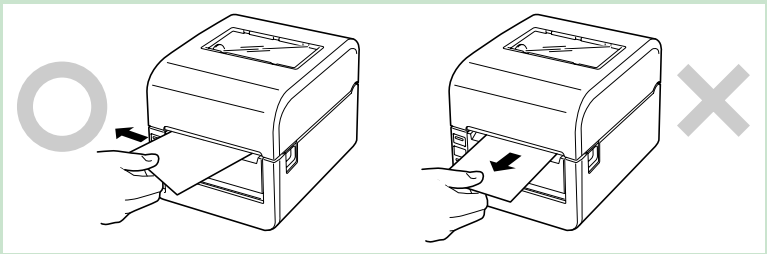
  ー　正転、逆転とも自動カット位置送りおよび自動正転待機は行いません。



チェック

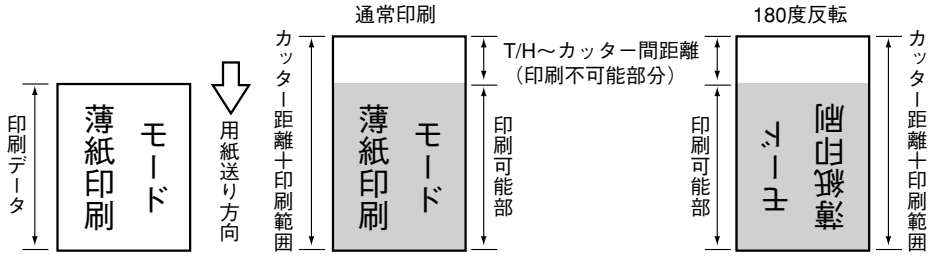
用紙のカット方法

パーシャルカットをした用紙を切る場合は、用紙を横方向に引いて切ってください。用紙を手前に引いて切ると、次の用紙の印刷位置がずれる場合があります。
また厚い用紙も印刷位置がずれる場合がありますので薄い用紙をご使用ください。



- **薄紙印刷モード**
  このモードは厚さ80μm以下（75μm程度）の用紙を印刷するときに使用する機能です。
  印刷後のカット位置や、自動カット送り位置よりバックフィード動作を行いません。
  ー　用紙はタグ紙を使用してください。透過／反射センサーは動作しません。
  ー　ハクリモジュール装着時は薄紙印刷モードの動作は行いません。

  印刷範囲は通常印刷（フルカット時）と同じです。ただし、上部に18mm±カット／ハクリ微調量の余白が付加されます。

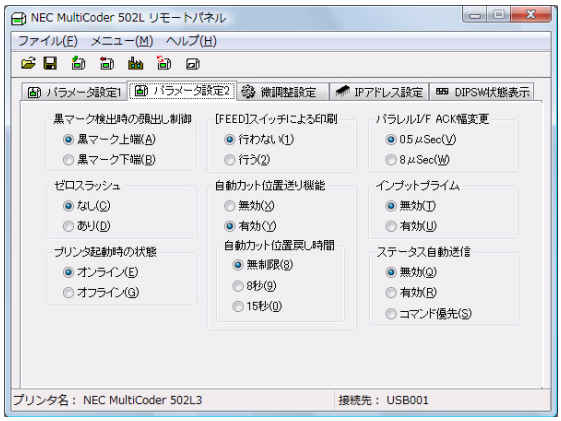


チェック

レシートのような可変長のデータの場合は、プリンタードライバーの用紙を十分な長さに設定し、センサー種別を「センサーなし（余白なし）」に設定することで、可変長の印刷を行うことができます。

パラメータ設定2

用意されているパラメーターからプリンターが行う動作や処理を指定するプロパティ（その2）です。



項目名	説　明	パラメーター【既定値】
黒マーク検出時の頭出し制御	黒マークを検出する制御を切り替えます。用紙サイズの設定など詳細については、72ページを参照してください。	【黒マーク上端】・黒マーク下端
ゼロスラッシュ	内蔵フォントの半角の“0（ゼロ）”（JISコード0x30）に対して、スラッシュを付けて印刷するかどうかを切り替えます。	【なし】・あり
プリンタ起動時の状態	電源投入時、本プリンターをオンライン状態で起動させるかオフライン状態で起動させるかを切り替えます。	【オンライン】・オフライン
［FEED］スイッチによる印刷	オンライン状態で、［FEED］スイッチを押したときにフィード動作のみを行うか、再印刷を行うかを切り替えます。	【（再印刷を）行わない】・行う
自動カット位置送り機能	自動カット位置送り機能の有効／無効を切り替えます。 印刷終了後に自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。連続印刷のときのみにこの機能を使うと用紙をプリンターの外で切ることができます。ただし、用紙長が27mm未満の場合は使用できません。	【有効*1】・無効
自動カット位置戻し時間	自動カット位置から元の位置に戻す時間の長さを切り替えます。印刷したラベルを取り出しやすくするためにいったん用紙を排出口へ送ります。指定した時間を超えるとプリンターは次の印刷をするために用紙を印刷部へ引き戻します。 ［無制限］に設定している場合は、次の印刷データを受信すると用紙を印刷部へ戻します。	【無制限】・8秒・15秒
パラレルI/F ACK幅変更	パラレルインターフェース使用時、データ受信に対するACK応答の幅を指定します。	【0.5μsec】・8μsec
インプットプライム	パラレルインターフェース使用時、インプットプライム信号を受信した場合、本プリンターをリセットするかどうかを切り替えます。	【無効】・有効
ステータス自動送信*2	ステータスの自動送信を行うかどうかを切り替えます。	【無効】・有効・コマンド優先

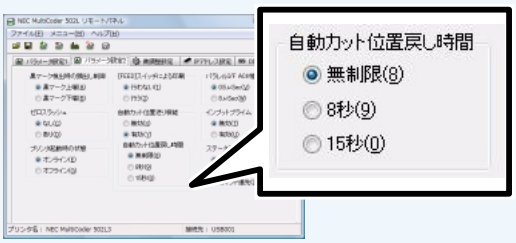
＊1　「連続印刷」を指定しているときのみ機能します。

＊2　RS-232C インターフェース、LAN インターフェース、および無線 LAN インターフェース接続時に有効な機能です。

カット位置から印刷開始位置へ戻る時間の設定方法

❶ リモートパネルで自動カット位置戻し時間を選びます。

工場設定値は「無制限」となっているため、余裕を持って用紙の切り取りができます。



❷ コンピューターから印刷を行います。

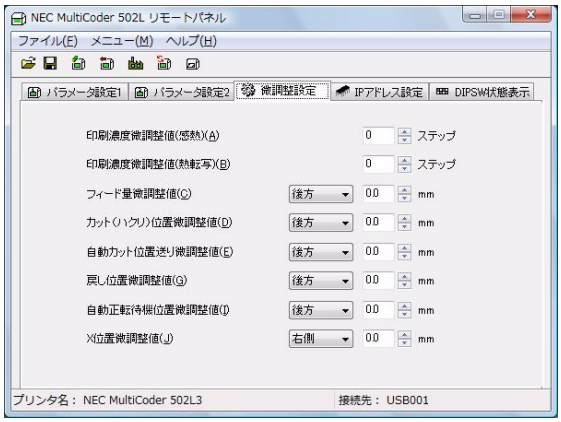
しばらくすると、用紙がフロントパネルまで送られます。ここで用紙を切り取ります。

❸ 設定時間が経過すると、用紙が印刷開始位置まで戻ります。

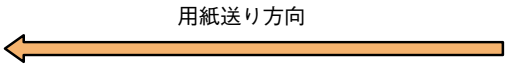
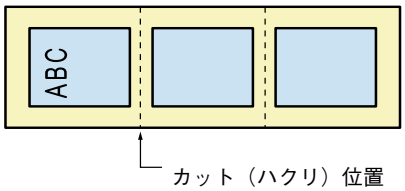
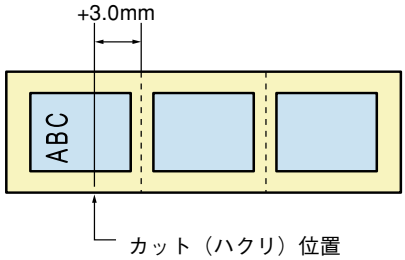
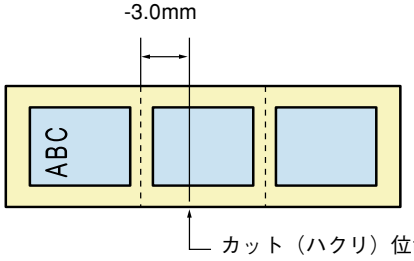
設定時間が経過する前に次の印刷データを受信すると、用紙が印刷開始位置まで戻ってから印刷を行います。

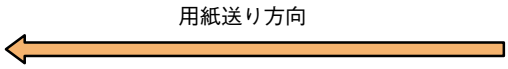
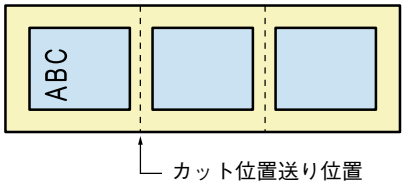
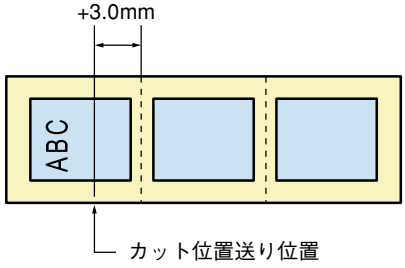
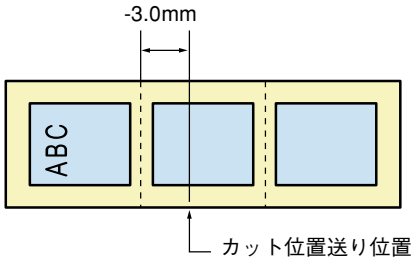
微調整設定

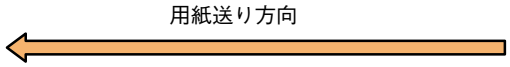
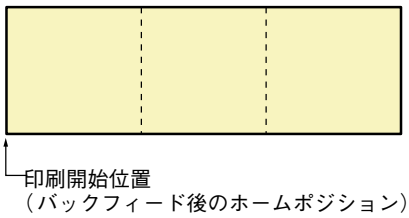
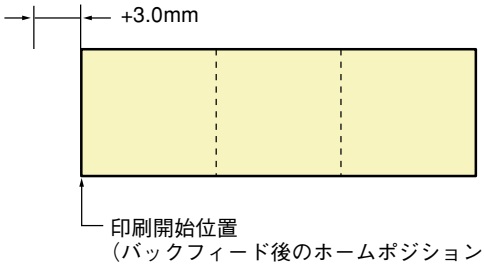
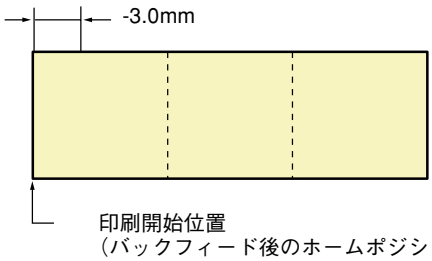
プリンター本体のフィード量やカット位置など印刷のための微調整をするプロパティです。

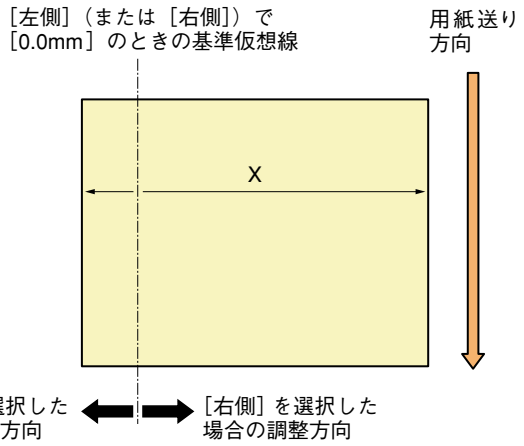


項目名	説　明	パラメーター【既定値】
印刷濃度微調整 （感熱）	感熱印刷での印刷濃度を設定します（1ステップ単位）。	-10～【0】～10
印刷濃度微調整 （熱転写）	リボンを使った熱転写印刷での印刷濃度を設定します（1ステップ単位）。	-10～【0】～10
フィード量微調整値*1	プリンターのスイッチまたはソフトウェアのコマンドによってラベル1枚分を送った（フィード）後の印刷開始位置を微調整します。設定は用紙送り方向に対して［前方］と［後方］へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。 用紙送り方向 1　［前方］（または［後方］）の［0.0mm］での印刷結果例 ABC ラベル1枚 印刷開始位置 2　1から［後方］の［3.0mm］にした場合の印刷結果例 +3.0mm ABC 印刷開始位置 2　1から［前方］の［3.0mm］にした場合の印刷結果例 -3.0mm ABC 印刷開始位置	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9

項目名	説　明	パラメーター【既定値】
カット（ハクリ）位置微調整値*1	カット位置（ハクリ位置）を微調整します。設定は用紙送り方向に対して［前方］と［後方］へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。  1 ［前方］（または［後方］）の［0.0mm］での印刷結果例  2 1から［後方］の［3.0mm］にした場合の印刷結果例  2 1から［前方］の［3.0mm］にした場合の印刷結果例  	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9

項目名	説　明	パラメーター【既定値】
自動カット位置送り微調整値	手動でカットをする場合に印刷済みの用紙を排出する位置を微調整します。設定は用紙送り方向に対して［前方］と［後方］へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。  1　［前方］（または［後方］）の［0.0mm］での印刷結果例  2　1から［後方］の［3.0mm］にした場合の印刷結果例  2　1から［前方］の［3.0mm］にした場合の印刷結果例 	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9

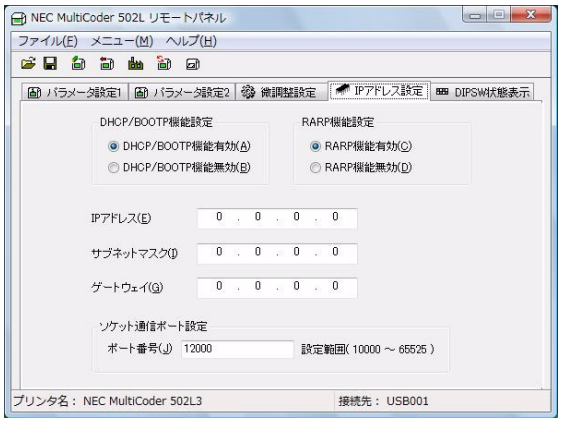
項目名	説　明	パラメーター【既定値】
戻し位置微調整値*1	カット、ハクリ、自動カット位置送り、または自動正転待機動作後、印刷開始位置（ホームポジション）まで用紙を戻す位置を微調整します。設定は用紙送り方向に対して［前方］と［後方］へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。 バックフィード動作は、条件によって正転した距離と同じ距離だけバックフィードしても、元の位置まで戻らない場合があります。バックフィードして元の位置まで戻らないことによるエラーを起こさないよう微調整してください。  1　［前方］（または［後方］）の［0.0mm］での印刷結果例  2　1から［後方］の［3.0mm］にした場合の印刷結果例  2　1から［前方］の［3.0mm］にした場合の印刷結果例 	方向：【後方】· 前方 微調整値：【0.0】～9.9
自動正転待機位置微調整値	自動正転待機の際の停止位置の微調整をします（カッターモジュールを装着している場合にのみ有効です）。「自動正転待機」とはジョブの最終ラベルを印刷終了後、2秒間経っても次のジョブを受信しない時に自動で数mm（装置カッター部まで）の正転フィードを行う動作です。これにより長時間放置した後に印刷したとき、カッターユニット部への巻き込みを防ぎます。 設定は用紙送り方向に対して［前方］と［後方］へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。	方向：【後方】· 前方 微調整値：【0.0】～9.9

項目名	説　明	パラメーター【既定値】
X位置微調整値	横方向位置の微調整をします。微調整は0.1mm単位で設定できますが、用紙の印刷幅の範囲内で調整してください。  	方向：【右側】・左側 微調整値：【0.0】～105.7

＊1　カット印刷／ハクリ印刷時は設定可能な微調量が制限されるため、設定値どおりの位置決めができない場合があります。十分な試し印刷をした上でご利用ください。

IPアドレス設定

プリンターをネットワークプリンターとして使用する場合のIPアドレスやゲートウェイアドレスなどを設定するプロパティです。



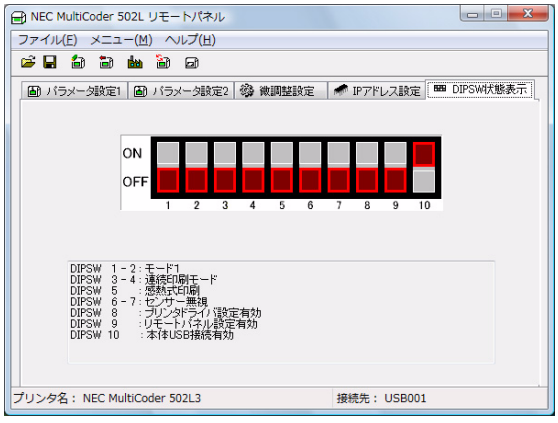
項目名	説　明	パラメーター【既定値】
DHCP/BOOTP機能設定	DHCP/BOOTP機能の無効／有効を設定します。	DHCP/BOOTP機能無効・【DHCP/BOOTP機能有効】
RARP機能設定	RARP機能の無効／有効を設定します。	RARP機能無効・【RARP機能有効】
IPアドレス	プリンターのIPアドレスを設定します。	【0.0.0.0】～255.255.255.255
サブネットマスク	プリンターのサブネットマスクを設定します。	【0.0.0.0】～255.255.255.255
ゲートウェイ	プリンターのゲートウェイアドレスを設定します。	【0.0.0.0】～255.255.255.255
ソケット通信ポート設定	使用する通信ポート番号を設定します。	10000～【12000】～65525

DIPSW状態表示

プリンター本体のスイッチ（DIP SW）の設定状態を表示します。設定の変更はできません。変更したい場合は、プリンター本体のスイッチを操作してください。

チェック

USBインターフェース、LANインターフェース、および無線LANインターフェース接続で、双方向通信が可能な状態の場合に現在の設定状態を表示することができます。



設定変更手順

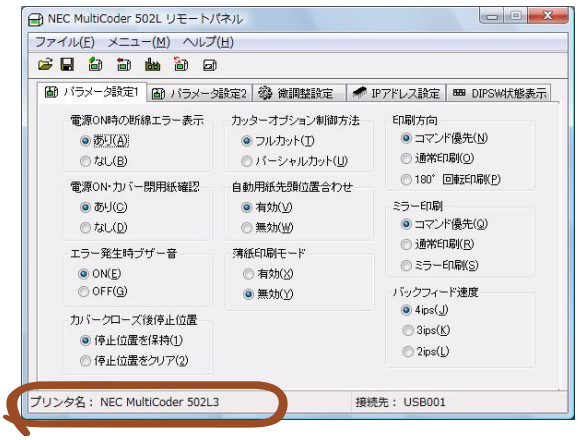
リモートパネルを使った設定変更は以下の手順で行います。

チェック

- リモートパネルは、対応機種のプリンタードライバーがインストールされていない場合、起動できません。対応機種のプリンタードライバーをインストールしてから、再度リモートパネルを起動してください。
- 設定を変更するには、プリンターとコンピューターがケーブルまたはネットワーク上で正しく接続されている必要があります。また、プリンタードライバーのポートが正しく設定されている必要があります（「1章　印刷先の変更」（41ページ）を参照）。
- リモートパネルから設定値を送信する場合、接続先を確認し、正しい接続先になっていることを確認してから送信してください。また、コンピューターと送信先プリンターが正しく接続されていることを確認し、誤って他のプリンターに送信しないように注意してください。

❶ 設定を変えたいプリンターかどうか確認します。

ステータスバーでプリンター名を確認してください。もし希望のプリンターでない場合はツールバーの［プリンタの選択］ボタンをクリックするか［ファイル］メニューから［プリンタの選択］を選んで変更します。

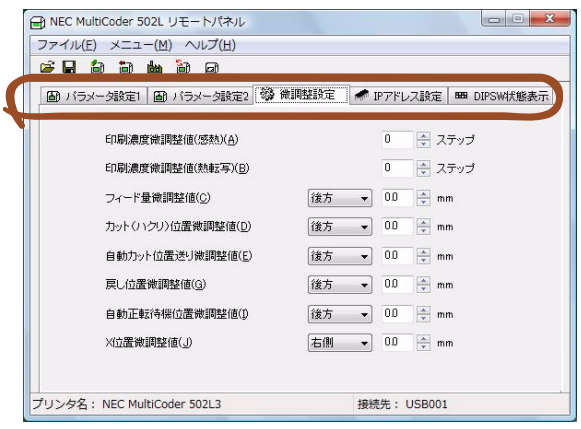


チェック

プリンターの変更はMultiCoder 502L3プリンタードライバーが複数インストールされている場合のみ可能です。

❷ 設定をしたいプロパティを表示します。

表示したいプロパティのタブをクリックするか、［メニュー］から選択してください。

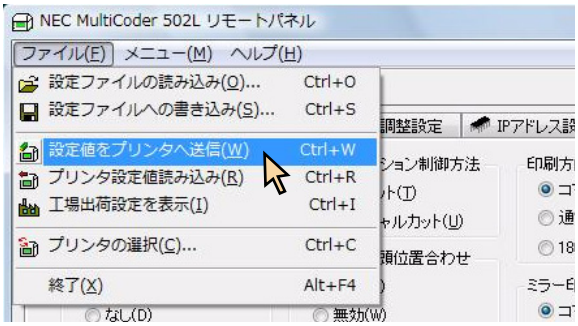


❸ プロパティシートで設定を変更します。

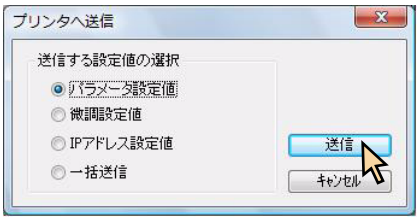
設定項目の詳細については、［プロパティシート］（114ページ）またはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

❹ 変更した設定内容をプリンターに書き込みます。

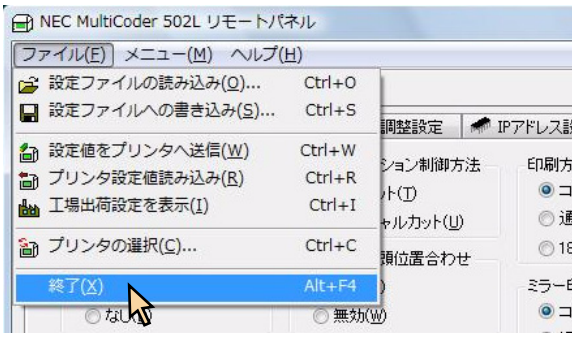
ツールバーの［設定値をプリンタへ送信］ボタンをクリックするか［ファイル］メニューから［設定値をプリンタへ送信］を選択します。



❺ 送信したい設定項目を選択して、［送信］をクリックします。



❻ ［ファイル］メニューから［終了］を選択し、リモートパネルを終了します。



これでリモートパネルの設定変更は終了です。

アプリケーションプログラムインターフェース（API）

リモートパネルはプリンター設定機能をアプリケーションから使用するためのアプリケーションプログラムインターフェース（API）を提供します。
APIの仕様についてはCD-ROMに収録されている「リモートパネルアプリケーションインターフェース仕様書」を参照してください。また、Visual C++で作成されたサンプルがCD-ROM内に収録されています。併せて参照してください。

リモートパネルが正しく動作しないときは

次の表にリモートパネルが正しく動作しないときの症状とその原因、対処方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

症　状	原　因	対処方法
リモートパネルが起動しない。	プリンターフォルダーに必要なプリンタードライバーが登録されていません。	プリンタードライバーをインストールしてください。
	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。
リモートパネルでプリンターへの設定ができない。	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。
	プリンターがポーズ状態です（ディセレクト状態）。	ONLINE状態でないとプリンターの設定ができません。ONLINEスイッチを押してください。
	プリンターが印刷中です。	印刷中の場合はプリンターに設定できません。印刷終了をお待ちください。
	プリンターと接続されていません。	インターフェースケーブルでコンピューターとプリンターを接続し、プリンタードライバーのポートを設定してください。
リモートパネルでプリンターから設定値を読み込むことができない。	プリンターと接続されていません。	インターフェースケーブルでコンピューターとプリンターを接続し、プリンタードライバーのポートを設定してください。
	プリンターが印刷中です。	印刷中の場合はプリンターに設定できません。印刷終了をお待ちください。
	使用しているインターフェースでは読み込みはできません。	パラレルインターフェースおよびRS-232Cインターフェースによる接続では設定値を読み込むことはできません（プリンターへの送信（設定）はできます）。

3章 PrinterSignalStation for ラベルプリンタ

この章では、PrinterSignalStation for ラベルプリンタ（以下、「PrinterSignalStation」）を正常に機能させるための注意事項、およびPrinterSignalStationが提供する各機能の設定方法を説明します。PrinterSignalStationのヘルプを併せて参照してください。また、説明はWindows Vistaの画面を使用していますが、Windows 8/7/XP/Server 2012/Server 2008/Server 2003/2000でも同様です。

PrinterSignalStationの使用できる環境

PrinterSignalStationをインストールできる環境は、次のとおりです。それ以外ではご使用になれません。

- Microsoft Windows 8 日本語版*1
- Microsoft Windows 7 日本語版*1
- Microsoft Windows Vista 日本語版*1
- Microsoft Windows XP 日本語版*1
- Microsoft Windows Server 2012 日本語版*1
- Microsoft Windows Server 2008 日本語版*1
- Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*1
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版*1
- Microsoft Windows Server 2003 R2 日本語版*1
- Microsoft Windows 2000 日本語版

*1: 64ビットバージョンにも対応しています。

PrinterSignalStationを正しく動作させるには、次のいずれかが必要となります。

- プリントサーバー（PR-NP-08・LAN）
- プリントサーバー（PR-NP-09・LAN+無線LAN）
- USBケーブル

チェック

- プリンターとPrinterSignalStationがインストールされているコンピューターがパラレルインターフェースまたはRS-232Cインターフェースで接続されている場合は、PrinterSignalStationは使用できません。
- 上記以外のLAN接続製品およびプリンター切替器、プリンターバッファー等を接続した場合、PrinterSignalStationは正しく動作しない場合があります。
- プリンターの動作モードが“モード1”のときのみ使用することができます。モードについては、付録の「DIP SW設定早見表」（252ページ）またはプリンターに添付の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

PrinterSignalStationのインストールとアンインストール

PrinterSignalStationのインストールおよびアンインストールの方法を説明します。

PrinterSignalStationのインストール

PrinterSignalStationは次の手順でインストールしてください。

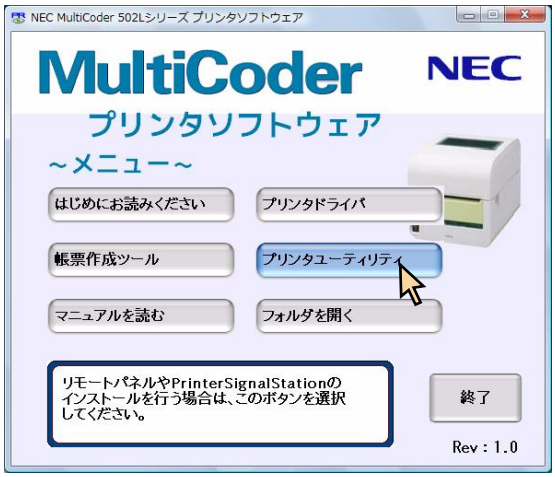
チェック

PrinterSignalStationを動作させるためにはプリンタードライバーが必要です。

❶ ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

［プリンタソフトウェア］ダイアログボックスが起動します。

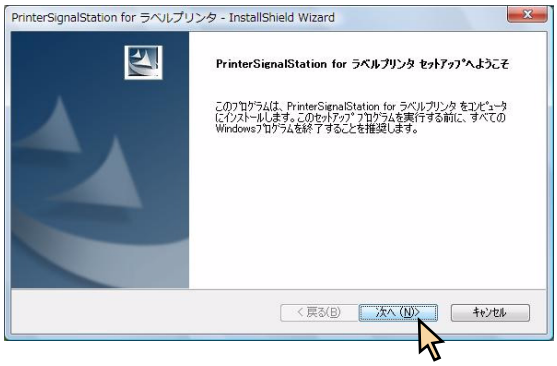
❷［プリンタユーティリティ］ボタンをクリックします。



❸［PrinterSignalStation］ボタンをクリックします。

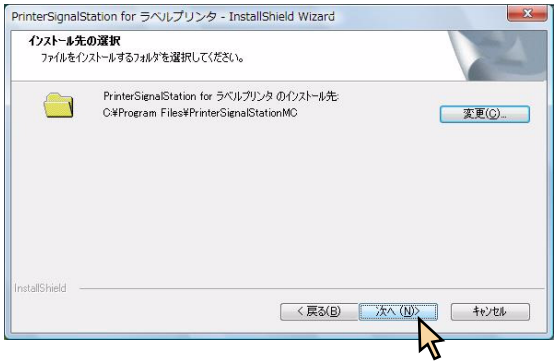


❹［次へ］をクリックします。

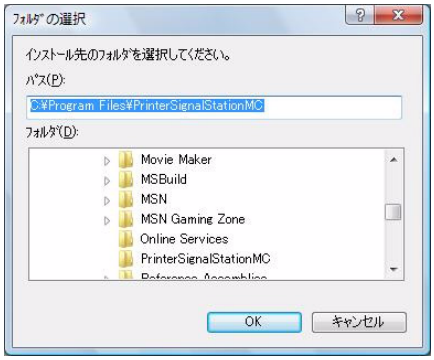


❺ 次の画面が表示された場合は、［次へ］をクリックします。

表示されなかった場合は、次の手順へ進んでください。

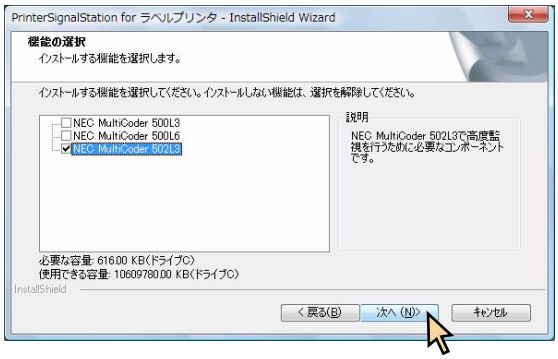


インストール先の初期設定はWindowsの起動ドライブの「¥Program Files¥PrinterSignalStationMC」です。インストール先を変更したい場合は、[変更]をクリックして、インストール先を設定してください。

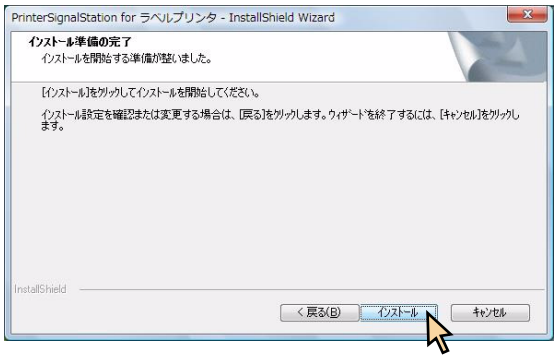


❻ インストールするコンポーネントを選択し、[次へ]をクリックします。

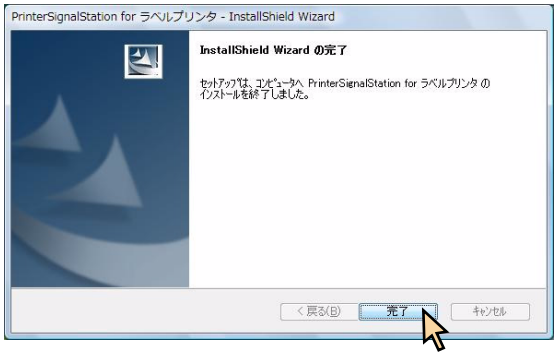
高度監視を行う場合に選択してください。



❼ [インストール]をクリックします。



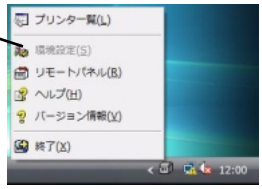
❽ [完了]をクリックします。



インストールが完了し、PrinterSignalStationが起動します。

PrinterSignalStationのインストール後、Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008ではPrinterSignalStationの[環境設定]メニューを使用できるようにするための設定を行ってください。ここではWindows Vistaを例にして説明します。

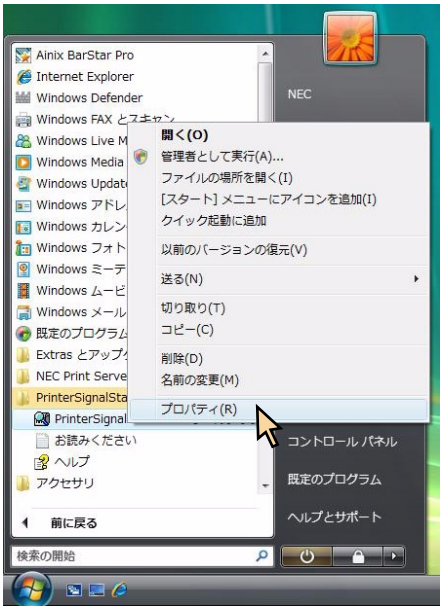
インストール直後の状態では[環境設定]を使用できません



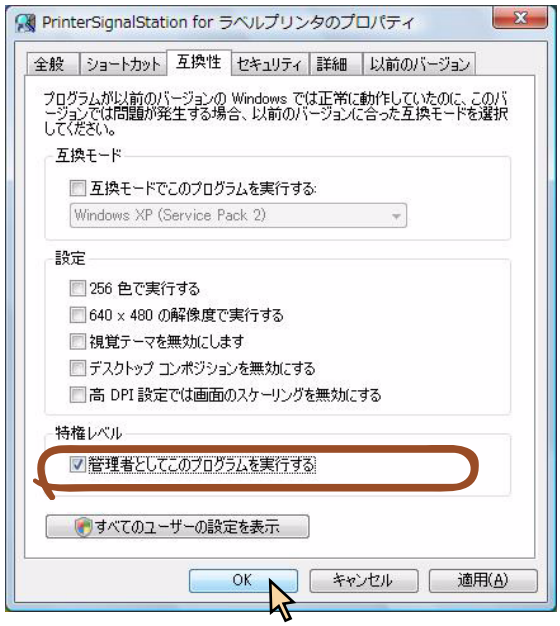
❶ Administrators（コンピューターの管理者）権限でWindows Vistaを起動します。

❷ [スタート]メニューから、[すべてのプログラム]、[PrinterSignalStation for ラベルプリンタ]の順にクリックして[PrinterSignalStation for ラベルプリンタ]を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をクリックします。

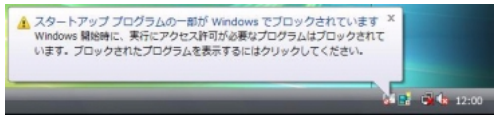
[PrinterSignalStation for ラベルプリンタ]のプロパティダイアログボックスが表示されます。



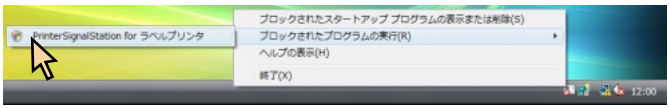
❸ **［互換性］シートで、［特権レベル］グループの［管理者としてこのプログラムを実行する］にチェックを入れて［OK］をクリックします。**



以上で設定は完了です。Windows Vistaの起動時に右のメッセージが表示されます。



この場合、タスクトレイのアイコン“”をクリックして、［ブロックされたプログラムの実行］から［PrinterSignalStation for ラベルプリンタ］をクリックしてください。



PrinterSignalStationの削除（アンインストール）

次の手順で削除（アンインストール）を行ってください。

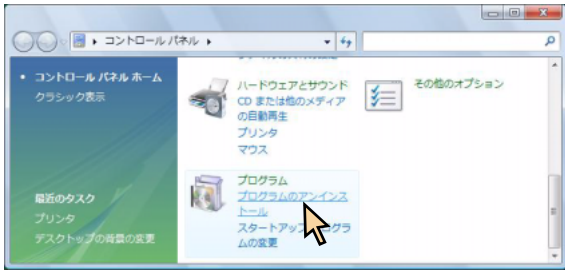
❶［コントロールパネル］フォルダーを開きます。

Windows 8/Server 2012の場合、マウスポインタを画面右下隅に移動してチャームを表示し、[設定]ー[コントロールパネル]をクリックすると開きます。

Windows 7/Vista/XP/Server 2008 R2/Server 2008/Server 2003の場合、［コントロールパネル］フォルダーは、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、［コントロールパネル］フォルダーは、［スタート］から［設定］ー［コントロールパネル］をクリックすると開きます。

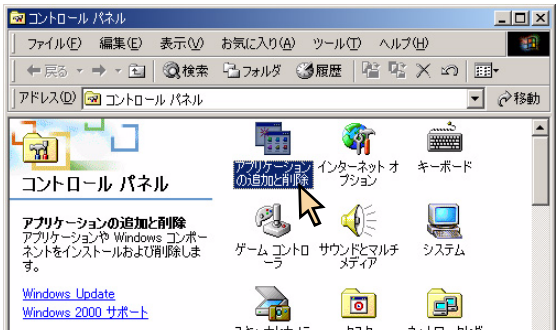
❷［プログラムのアンインストール］をクリックします。（Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008の場合）



［プログラムの追加と削除］をクリックします。（Windows XP/Server 2003の場合）



［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。（Windows 2000の場合）



❸［プログラムの変更と削除］をクリックします。

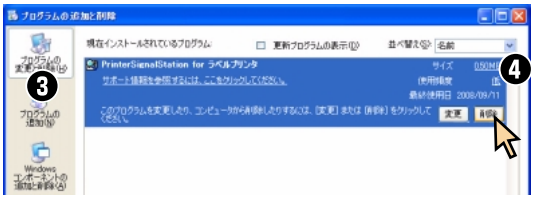
Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008の場合はこの手順は不要です。次へ進んでください。

❹「PrinterSignalStation for ラベルプリンタ」を選択し、次の操作をします。

- Windows 8/7/Server 2012/Server 2008 R2の場合
  ［プログラムのアンインストール］をクリック
- Windows Vista/Server 2008の場合
  ［アンインストールと変更］をクリック
- Windows XP/Server 2003の場合
  ［プログラムの追加と削除］をクリック
- Windows 2000の場合
  ［アプリケーションの追加と削除］をクリック

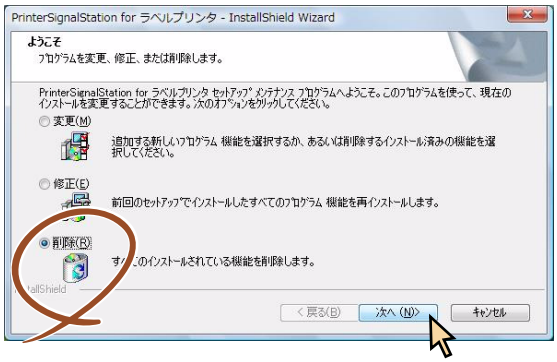


Windows Vistaの場合の表示例



Windows XPの場合の表示例

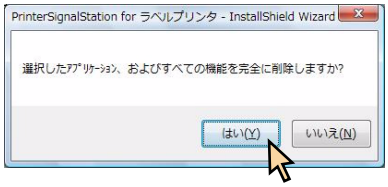
❺［削除］を選択し、［次へ］をクリックします。



［変更］を選択した場合は、コンポーネントの追加と削除を行います（プリンタソフトウェアCD-ROMが必要です）。

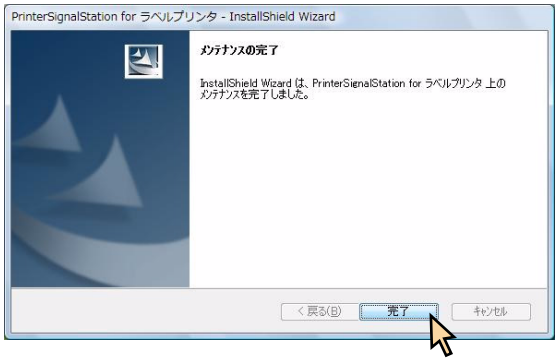
［修正］を選択した場合は、コンポーネントの再インストールを行います。

❻ 以下のメッセージボックスが表示されたら、[はい]をクリックします。



❼ [完了]をクリックします。

PrinterSignalStationの削除（アンインストール）が完了します。



PrinterSignalStationに関する注意事項

ここでは、PrinterSignalStationを正常に機能させるための注意事項について説明します。

PrinterSignalStationを動作させる前に

PrinterSignalStationを動作させる前に、以下の項目を確認してください。

- PrinterSignalStationを正しく動作させるためには、プリンターのプロパティの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］をチェックし、プリンターとの双方向通信機能を有効にする必要があります。
- コンピューター本体とプリンターの接続で、NEC指定以外のプリンターケーブルやプリンターインターフェース変換アダプターまたは、プリンターバッファー、プリンター切替器、プリンター共有器、プリンターセレクターなどを使用している環境では、PrinterSignalStationは、正しく動作しない場合があります。
- PrinterSignalStationは、ローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上の共有プリンターで使用される場合、PrinterSignalStationソフトウェアおよびPrinterSignalStation対応のプリンタードライバーが、サーバー、クライアントの両者にインストールされている必要があります。
- PrinterSignalStationは、プリンタープールをサポートしていません。プリンターのプロパティの［ポート］シートの［プリンタプールを有効にする］がチェックされている場合は、PrinterSignalStationはプリンターの状態を正しく表示できません。チェックをはずしてご使用ください。
- PrinterSignalStationとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティを同時に使用すると、PrinterSignalStationが正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じてプリンターの監視を行わないように設定してください。
- ネットワーク接続の場合は、NEC Print Server Portを使用してください。LANボードに添付のCD-ROMより［NEC Print Server Port］をインストールしてください。

転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境についてのご注意

転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrinterSignalStationを使用している場合に、PrinterSignalStationの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。考慮すべきネットワーク環境の例として、以下のケースがあります。

- ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- ローカルネットワークの通信自体が従量課金ネットワークの場合

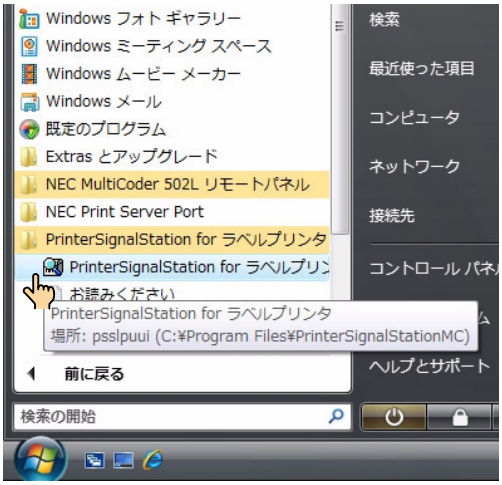
これらを避けたい場合は、以下のように設定してください。

- プリンターのプロパティの［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］のチェックをはずして、PrinterSignalStationの双方向通信機能を無効にしてください。
- PrinterSignalStationの［環境設定］ダイアログボックスを開き、［監視するプリンタの選択］シートにおいて、課金されるネットワークに接続しているプリンターのチェックをはずし、PrinterSignalStationの監視対象からはずしてください。

ソフトウェアの起動

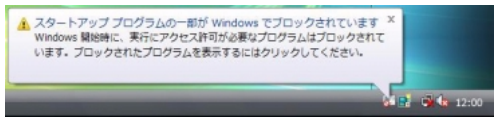
PrinterSignalStationは、ローカルプリンターの印刷、管理に加え、ネットワークで印刷される方、ネットワークプリンターを管理する方のために、さまざまな機能を提供します。
また、PrinterSignalStationは一度起動するとタスクトレイに常駐するので、PrinterSignalStationを終了させない限り、再度起動させる必要はありません。

PrinterSignalStationはインストール後、自動的に起動します。
いったんPrinterSignalStationを終了させた後に、再度起動する場合は、［スタート］ボタンから起動します。
Windows 8/Server 2012の場合は、スタート画面から起動します。

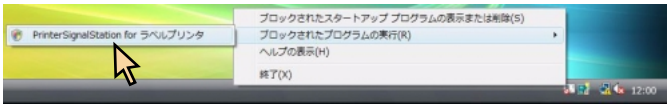


[PrinterSignalStation for ラベルプリンタフォルダ]

Windows 7/Vistaの場合､コンピュータの起動時に右のメッセージが表示されます。



この場合、タスクトレイのアイコン“ ”をクリックして、［ブロックされたプログラムの実行］から［PrinterSignalStation for ラベルプリンタ］をクリックしてください。



タスクトレイアイコン

PrinterSignalStationは起動後、タスクトレイに常駐することにより、次のようなことが可能となります。

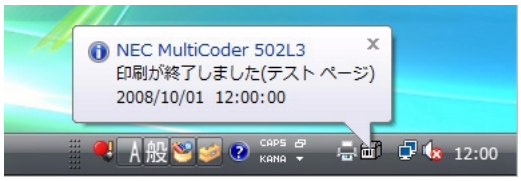
- タスクトレイからメニュー画面を容易に開くことができる
- プリンタードライバーの［プロパティ］や［プリンタフォルダ］などを開くことができる
- リモートパネルを起動することができる

* 別途、お使いのプリンターに対応したリモートパネルをインストールする必要があります。

PrinterSignalStationが提供するこれらの機能により、従来［スタート］ボタンから行っていた作業を容易に行えるようになります。また、プリンターの状態によってアイコンの表示が変化したり、バルーンのポップアップによってプリンターの状態通知をするため、プリンターの状態監視がタスクトレイでも行えます。



バルーンポップアップ



PrinterSignalStationは右図のようなバルーンポップアップを使用してプリンターの状態を通知します。
また、Windows XP以降のOSをお使いの場合は、ポップアップされた表示内容によって、バルーンをクリックすると［状態］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは142ページを参照してください）。
バルーンポップアップは次の情報を表示します。

- ［プリンタフォルダ］で設定したプリンター名
- 印刷したファイル名（印刷終了時）
- プリンターの状態
- 日付／時刻

同時に複数のプリンターを監視している場合は、次のようなバルーンポップアップを使用してプリンターの状態を通知します。
また、Windows XP以降のOSをお使いの場合はポップアップされた表示内容によって、バルーンをクリックすると［プリンター覧］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは142ページを参照してください）。



［複数プリンター監視時のバルーンポップアップ］

また、プリンターの状態監視以外にも、次のような場合にバルーンを表示します。

- 監視中のプリンターが削除された
  以下のバルーンポップアップを表示します。

＜プリンター名＞
プリンタが削除されたため、監視を中止しました
＜日付＞　＜時刻＞



［プリンター削除警告バルーン］

- 監視中にプリンターの印刷ポートが変更され、監視不可能な印刷ポートになった
  以下のバルーンポップアップを表示します。

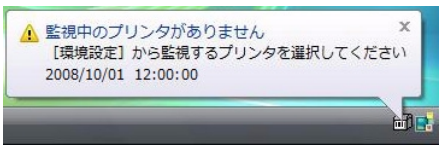
＜プリンター名＞
印刷ポートが変更されたため、監視を中止しました
＜日付＞　＜時刻＞



［印刷ポート変更警告バルーン］

- PrinterSignalStation起動時に、監視可能なプリンタードライバーがインストールされているが、監視設定されていない場合は、以下のバルーンポップアップを表示します。Windows XP以降のOSをお使いの場合、バルーンをクリックすると、［環境設定］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは143ページを参照してください）。

監視中のプリンタがありません
［環境設定］から監視するプリンタを選択してください
＜日付＞　＜時刻＞



［監視中のプリンターなし警告バルーン］

チェック

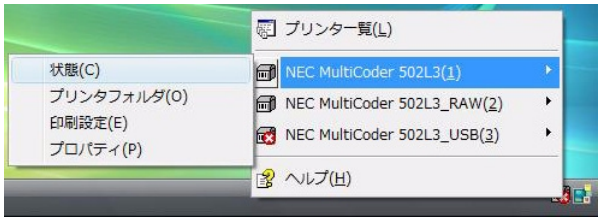
バルーンポップアップが表示されている時間の設定は、［環境設定］―［通知の設定］で変更可能です（詳しくは144ページを参照してください）。複数プリンターを監視する場合は、プリンターエラー＞プリンター警告＞プリンター通常の優先度でバルーンポップアップを表示します。

メニューの起動

タスクトレイからアイコンをクリックすることによって、以下のメニューを表示させることができます。

[左クリック]

PrinterSignalStationが監視しているプリンターの一覧を表示させたり、監視しているプリンターの［印刷設定］や［プロパティ］を開くためのメニューを表示することができます。



［トレイアイコン（左クリック）］

左クリックメニューを開くと以下のメニューを表示します。

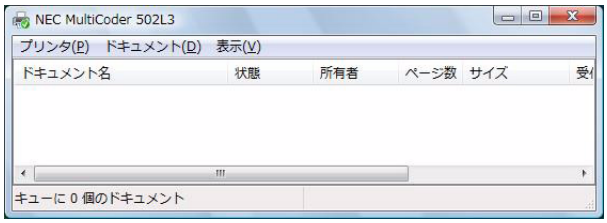
［プリンター覧］

監視しているプリンターの一覧を表示する［プリンター覧］ダイアログボックスを開きます（詳しくは142ページを参照してください）。

［プリンタ名］

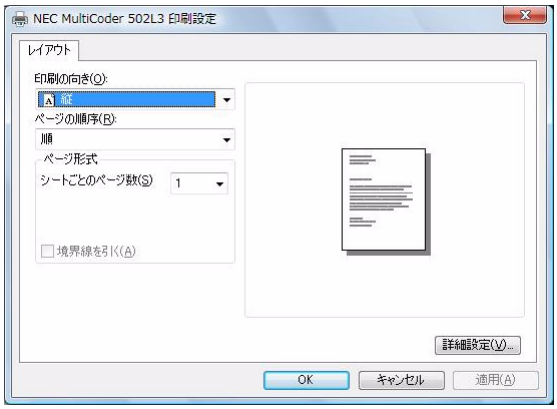
- 状態
  クリックしたプリンターの詳細な状態を表示する［状態］ダイアログボックスを開きます（詳しくは142ページを参照してください）。

- プリンタフォルダ
  クリックしたプリンターフォルダーを開きます。



［プリンターフォルダー］

- 印刷設定
  クリックしたプリンターの印刷設定を開きます。



- プロパティ
  クリックしたプリンターのプロパティを開きます。

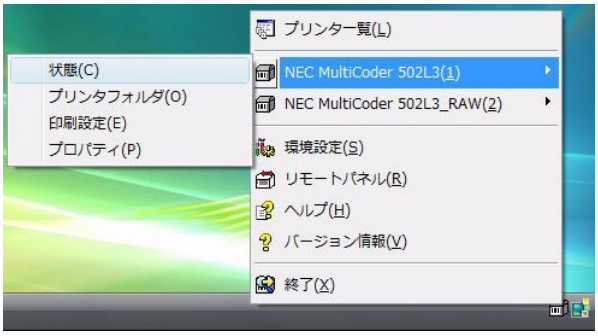


［ヘルプ］

PrinterSignalStationのヘルプを開きます（詳しくは149ページを参照してください）。

[右クリック]

PrinterSignalStationの環境設定やリモートパネルの起動など、詳細な設定ができるメニューを表示することができます。また、PrinterSignalStationを終了させることができます。



［トレイアイコン（右クリック）］

右クリックメニューを開くと、以下のメニューを表示します。

［プリンター覧］

［プリンター覧］ダイアログボックスを開いて、監視しているプリンターを一覧表示します（詳しくは142ページを参照してください）。

［プリンタ名］

- 状態（詳しくは142ページを参照してください）。
- プリンタフォルダ
- 印刷設定
- プロパティ

［環境設定］

［環境設定］ダイアログボックスを開いて、プリンターの監視内容、通知内容を設定します（詳しくは143ページを参照してください）。管理者権限がない場合は、設定できません。

［リモートパネル］

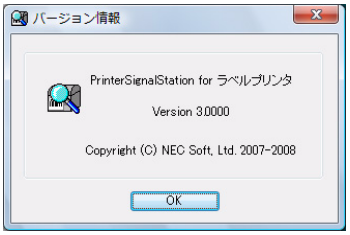
［リモートパネル］ダイアログボックスを開いて、リモートパネルを起動します（詳しくは148ページを参照してください）。

［ヘルプ］

PrinterSignalStationのヘルプを開きます（詳しくは149ページを参照してください）。

［バージョン情報］

［バージョン情報］ダイアログボックスを開いて、PrinterSignalStationのバージョン情報を表示します。



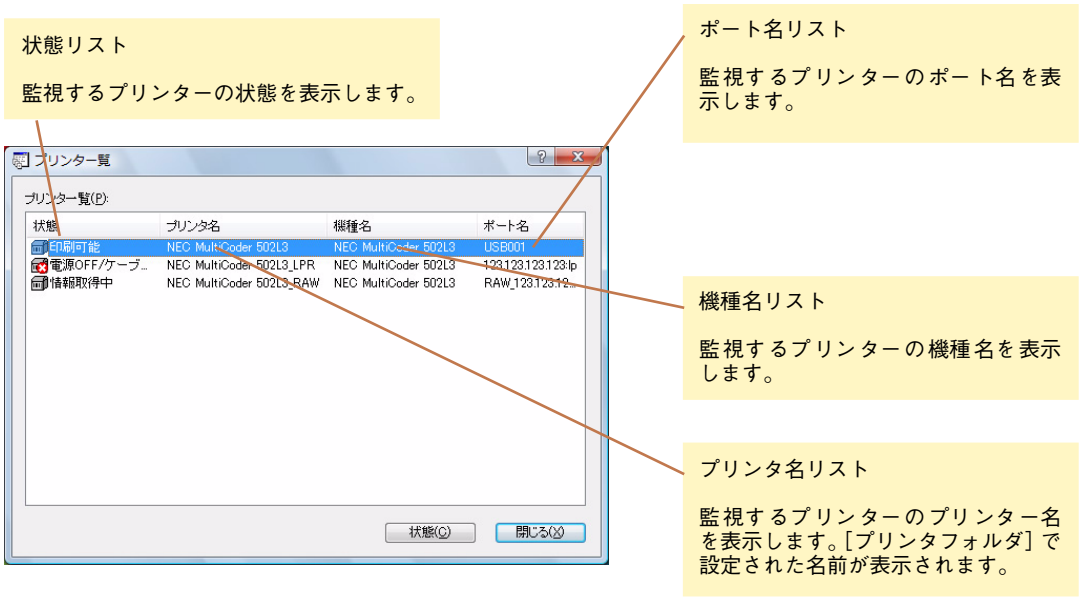
［バージョン情報］

［終了］

PrinterSignalStationを終了します。

プリンター一覧

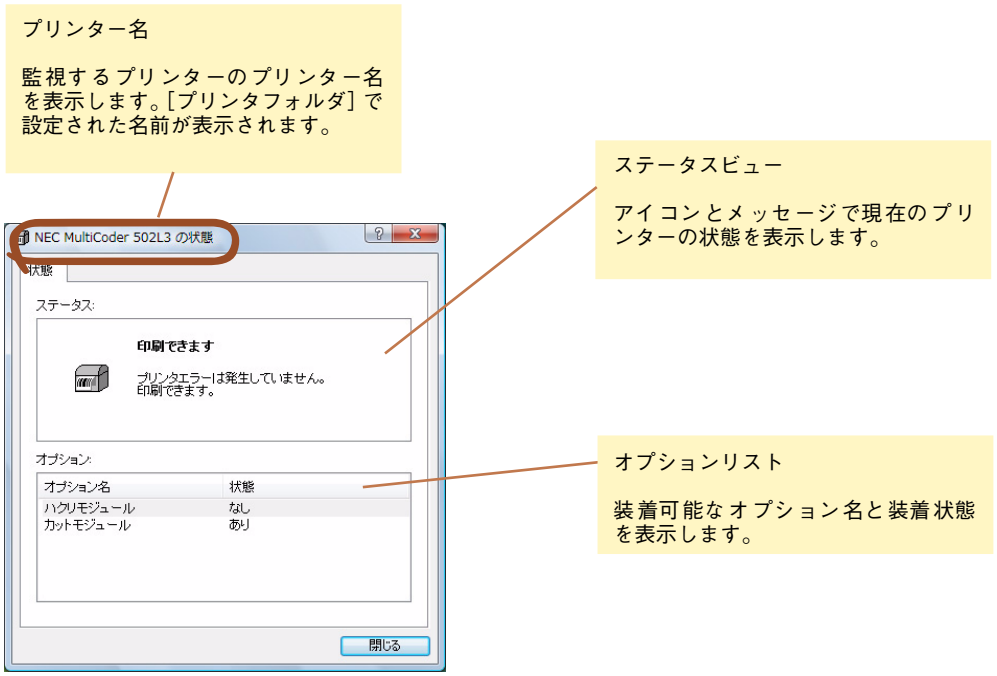
プリンター一覧ダイアログボックスでは、次のような画面を使用して、監視しているプリンターを一覧表示することができます。



[プリンター一覧]

状　態

状態ダイアログボックスでは、次のような画面を使用して、プリンターの状態をより詳細に参照することができます。

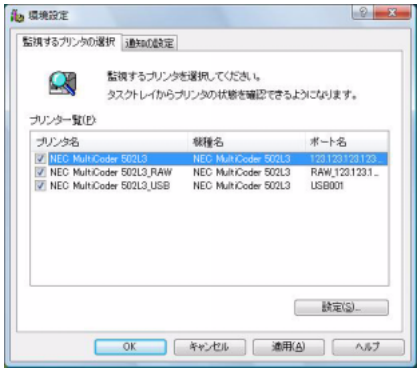


[状態]

環境設定

環境設定ダイアログボックスでは、監視するプリンターの選択やバルーンポップアップで表示する内容を設定することができます。管理者権限のない場合は、［環境設定］を表示できません。

- ［監視するプリンタの選択］タブ
  次の画面でPrinterSignalStationで監視するプリンターを選択します。
  PrinterSignalStationでは、ここでチェックボックスにチェックを付けたプリンターを監視します。
  また、チェックを付けたプリンターは、タスクトレイのメニューにプリンター名が追加され、プリンターの［印刷設定］や［プロパティ］を開くことができるようになります（詳しくは140ページを参照してください）。
  監視するプリンターは同時に複数選択することができます。

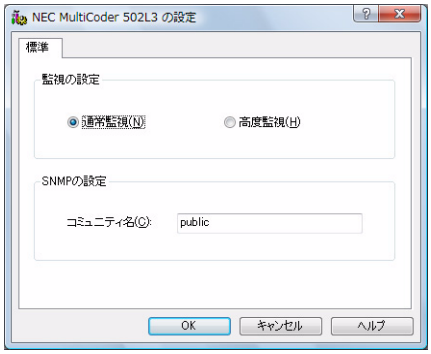


［監視するプリンターの選択］

チェック

チェックを付けないとプリンター一覧などに表示されません。プリンタードライバーのポートは、USB、NEC Print Server Port、またはStandard TCP/IP Portを選択してください。また、［双方向サポートを有効にする］にチェックが付いていることを確認してください。

監視するプリンターの選択タブで、［設定］ボタンをクリックすると、プリンター一覧で選択されたプリンターの環境設定ができます。



［プリンターの設定］

- 監視の設定
  プリンタードライバーで設定されているポートの状態監視方法を設定します。

［通常監視］

プリンターのSelect、Busy、PE状態により、高速にプリンターを監視します。

［高度監視］

プリンターのSelect、Busy、PE状態に加え、双方向通信機能により、詳細なプリンターの監視を行います。ただし、プリンターの状態変化を検出するまで、数秒の時間がかかる場合があります。

チェック

プリンターによって高度監視ができない場合があります。高度監視は、USB、NEC Print Server Port、またはStandard TCP/IP Port使用時のみ設定できます。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。

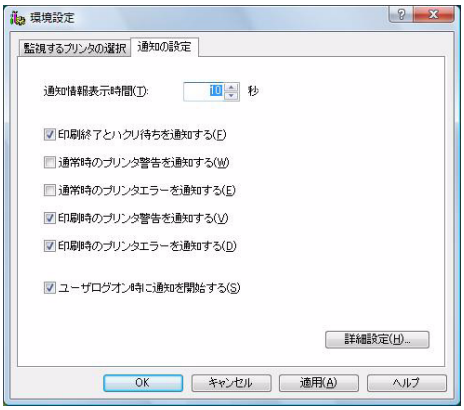
高度監視を使用する場合は、PR-NP-08/09の「Print Port Mode」を「Enable」に設定してください。PR-NP-08/09の設定についてはPR-NP-08/09のオンラインマニュアルをご覧ください。

- ネットワークポートの設定
  プリンターの印刷ポートがネットワークポートである場合のSNMPコミュニティ名を設定します。プリンターに装着されたプリントサーバーに設定されているSNMPコミュニティ名を設定します。

チェック

入力できる文字数は、0～32文字です。入力できる文字は、英数字、ハイフン（ - ）、アンダーバー（_）です。設定変更する場合は、管理者権限が必要となります。

- ［通知の設定］タブ
  プリンターの状態を通知するバルーンポップアップの表示設定を行います。



［通知の設定］

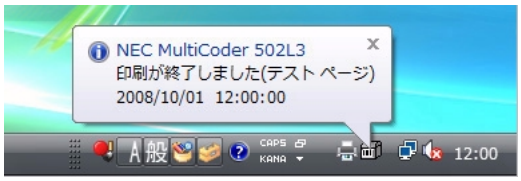
［通知情報表示時間］

バルーンポップアップの表示時間を示します。バルーンのポップアップは設定時間が経過すると自動的に閉じます。設定値は、1～60秒の間で設定することができます。初期設定では10秒に設定されています。

プリンターの状態がチェックボックスの内容と一致した場合、チェックが付いているとバルーンポップアップ表示するようになります。チェックボックスの設定により、以下のタイミングでプリンターの状態をバルーンでポップアップ表示します。

- 印刷終了とハクリ待ちを通知する

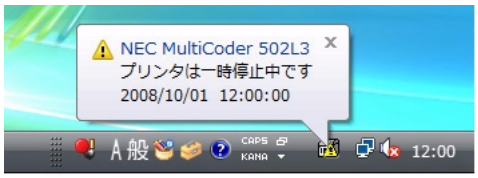
  プリンターの印刷終了時（およびハクリ待ちのとき）に、次のようなバルーンをポップアップし、印刷終了を通知します。



[印刷終了]

- 通常時のプリンター警告を通知する

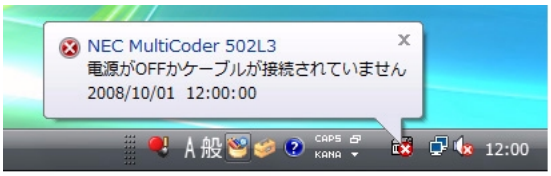
  プリンターが印刷を行っていない時に、プリンター警告が通知された場合、次のようなバルーンをポップアップし、プリンター警告を通知します。



[プリンター警告]

- 通常時のプリンターエラーを通知する

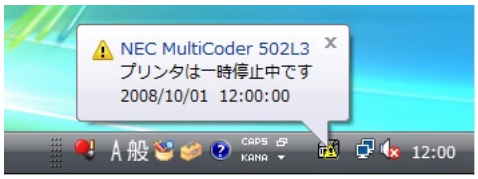
  プリンターが印刷を行っていない時に、プリンタエラーが通知された場合、次のようなバルーンをポップアップし、プリンターエラーを通知します。



[プリンターエラー]

- 印刷時のプリンター警告を通知する

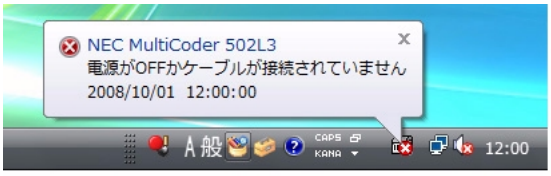
  プリンターが印刷中にプリンター警告を通知された場合に、次のようなバルーンをポップアップし、プリンター警告を通知します。



[プリンター警告（印刷中）]

- 印刷時のプリンターエラーを通知する

  プリンターが印刷中にプリンターエラーを通知された場合に、次のようなバルーンをポップアップし、プリンターエラーを通知します。



[プリンターエラー（印刷中）]

［ユーザログオン時に通知を開始する］

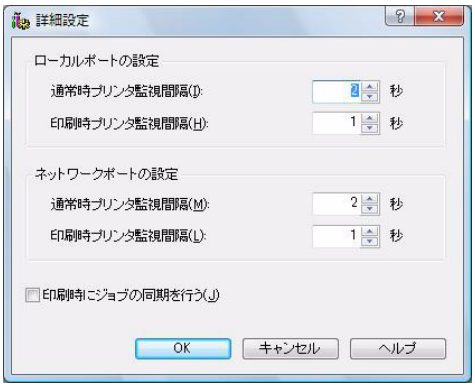
ユーザーがWindowsにログオンすると、自動的にPrinterSignalStationを起動しプリンターの状態通知を開始します。PrinterSignalStationを手動で起動したい場合は、チェックボックスのチェックを外してください。チェックを外している場合は、Windowsにログオンしてから、［スタート］メニュー―［すべてのプログラム］―［PrinterSignalStation for ラベルプリンタ］の［PrinterSignalStation for ラベルプリンタ］をクリックしてください。

チェック

チェックボックスのチェックをすべて外すと、PrinterSignalStationを起動してもバルーンのポップアップはされません。サーバー／クライアントによる共有プリンターでご使用の場合は、クライアントの設定が有効となります。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。

［詳細設定ボタン］

PrinterSignalStationがプリンターの状態を監視する間隔を設定します。



［詳細設定］

- ローカルポートの設定

［通常時プリンタ監視間隔］

プリンタードライバーで設定されているポートがUSBで、印刷を行っていない場合のプリンターの状態監視間隔を設定します。プリンターの監視間隔は、1～5秒の間で設定できます。初期設定は2秒です。

［印刷時プリンタ監視間隔］

プリンタードライバーで設定されているポートがUSBで、印刷中のプリンターの状態監視間隔を設定します。プリンターの監視間隔は、0.5～5秒の間で設定できます。初期設定は1秒です。

- ネットワークポートの設定

［通常時プリンタ監視間隔］

プリンタードライバーで設定されているポートが、NEC Print Server PortまたはStandard TCP/IP Portで、印刷を行っていない場合のプリンターの状態監視間隔を設定します。プリンターの監視間隔は、1～5秒の間で設定できます。初期設定は2秒です。

［印刷時プリンタ監視間隔］

プリンタードライバーで設定されているポートが、NEC Print Server PortまたはStandard TCP/IP Portで、印刷中のプリンターの状態監視間隔を設定します。プリンターの監視間隔は、0.5～5秒の間で設定できます。初期設定は1秒です。

チェック

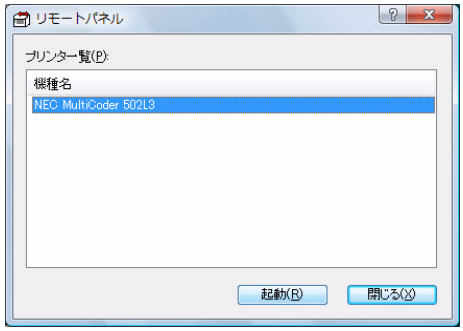
サーバー／クライアントによる共有プリンターでご使用の場合は、サーバーの設定が有効となります。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。

- 印刷時にジョブの同期を行う

  プリンターでの印刷動作が完全に終了してから、次の印刷を開始します。連続印刷の場合などでも、各ジョブの印刷動作が終了したことを確実に通知するようになります。

リモートパネルの起動

インストールされているリモートパネルを表示します。また、リモートパネルを起動することができます。



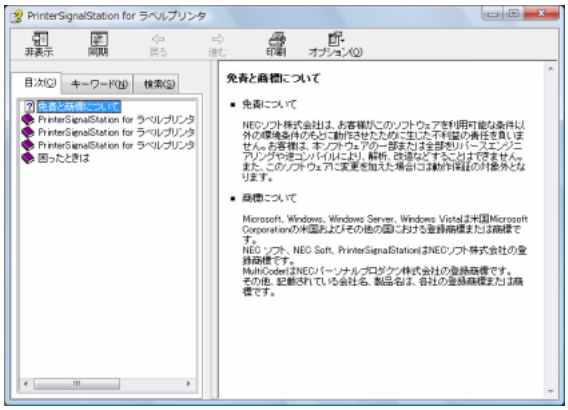
［リモートパネル］

チェック

- リモートパネルがインストールされていない場合は何も表示されません。お使いのプリンターに対応したリモートパネルをインストールしてから開き直してください。
- リモートパネルを異なるプリンターに対して使用すると、プリンターの設定が正しく行われず、正しく印刷できなくなる場合があります。

ヘルプを見る

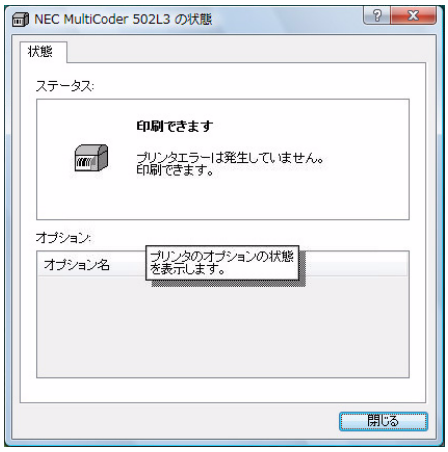
PrinterSignalStationのヘルプを見るためには、タスクトレイのアイコンをクリック（左ボタン、右ボタンのいずれか）し、メニューから［ヘルプ］を開くか、［？］ボタンをクリックし、そのままポインタを移動させウィンドウ内の各部分をクリックしてください。



［メニューから開くヘルプ］

チェック

Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008では、プリンタードライバーのダイアログボックス上にヘルプボタン（[?] ボタン）はありません。



［？ボタンから表示するヘルプ］

トレイアイコン

PrinterSignalStationでは、タスクトレイに次の3種類のアイコンを使用してプリンターの状態を表示します。

　プリンター通常…プリンターの状態に問題がなく、印刷可能な状態

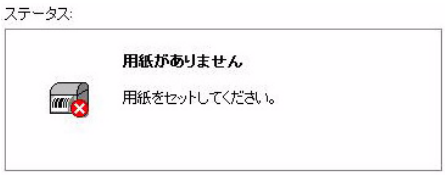
　プリンター警告…プリンターの状態に問題があり、印刷できないが容易に回避可能な状態

　プリンターエラー…プリンターの状態に問題があり、印刷できない状態

ステータス

タスクトレイと同様のアイコンを使用してプリンターの状態を表示し、文字によるメッセージを付随します。

－ ［状態］



－ ［プリンター覧］



PrinterSignalStationが正しく動作しないときは

次の表にPrinterSignalStationが正しく動作しないときの症状とその原因、対処方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

症　状	原因と対処方法
インストール／起動	
PrinterSignalStation がインストールできない	PrinterSignalStationが対応していないOSにはできません。 → PrinterSignalStationのサポートOSは、Windows 8/7/Vista/XP/2000、およびWindows Server 2012/2008/2003です。ご使用になっているOSをご確認ください。
	インストール先のハードディスクの空き容量がありません。 → PrinterSignalStation は約 2MB の容量を使用します。2MB 以上の空き容量があるハードディスクにインストールしてください。
PrinterSignalStationが起動しない	PrinterSignalStationが正しくインストールされていません。 → PrinterSignalStationが正しくインストールされていない可能性があります。いったんアンインストールし、再度インストールしてください。
PrinterSignalStationが自動起動してしまう／自動起動されない	PrinterSignalStationが自動起動する、または、自動起動しないに設定されています。 → ［環境設定］ダイアログボックスの［通知の設定］シートで、［ユーザログオン時に通知を開始する］の設定をご確認ください。 → チェックされていない場合は、OSにログオンしても起動されません。
起動時に「PrinterSignalServiceが開始されません」と表示され、終了してしまう	PrinterSignalStationのサービスが正しく起動していません。 ① コンピューターを再起動し、PrinterSignalStationが正しく起動するかどうかをご確認ください。 ② PrinterSignalStationをいったんアンインストールし、再度インストールし直すことで正しく起動するかどうかをご確認ください。
設　定	
［環境設定］ダイアログボックスが表示できない	環境設定を行うためのアクセス権がありません。 → ［環境設定］ダイアログボックスにより、PrinterSignalStation の動作設定を変更するためには、「コンピュータの管理者」および「Administrators」といった管理者権限が必要です。管理者権限で環境設定を行うか、システム管理者に連絡してください。 Windows 8/7/Vistaの場合はプログラムの実行ができる「特権レベル」を与えてください（134ページ参照）。
使用したいプリンターが［監視するプリンタの選択］リストに表示されない	PrinterSignalStationに対応したプリンタードライバーがインストールされていません。 → PrinterSignalStation をご使用になる場合は、PrinterSignalStation に対応したプリンタードライバーが必要です。PrinterSignalStation対応のMultiCoderに添付されているソフトウェアCD-ROMから、PrinterSignalStation対応のプリンタードライバーをインストールしてご使用ください。 → ネットワーク共有プリンターでPrinterSignalStationをご使用になる場合は、クライアントPC側にもPrinterSignalStation対応のプリンタードライバーをインストールする必要があります。
	インストールされているプリンタードライバーの双方向通信の設定が有効になっていません。 → インストールされているプリンタードライバーのプロパティの［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。
	ご使用になるプリンタードライバーが、PrinterSignalStationでサポートしているポートに接続されていません。 → PrinterSignalStationでは、「USBxxx」、NEC Print Server Port、またはStandard TCP/IP Portをサポートしています。ご使用になるプリンターの接続先をご確認ください。 → プリンターに装着されているパラレルインターフェースまたは RS-232C インターフェースを使用している場合は、PrinterSignalStationを使用できません。
高度監視設定で動作しない	高度監視設定を行うために必要なコンポーネントがインストールされていません。 → 高度監視を行う場合は、ご使用になるプリンター用のコンポーネントが必要です。コンポーネントのインストールについては、ソフトウエアマニュアルをご覧ください。
	PR-NP-08/09で「Print Port Mode」設定がDisableになっています。 → 高度監視設定で動作させるにはPR-NP-08/09の「Print Port Mode」設定をEnableに設定してください。PR-NP-08/09の設定についてはPR-NP-08/09のマニュアルをご覧ください。高度監視と通常監視の違いについては、154～156ページをご覧ください。

症状	原因と対処方法
設定	
［双方向サポートを有効にする］がチェックできない。または「グレー」で表示されている	PrinterSignalStationに対応したプリンタードライバーがインストールされていません。 → PrinterSignalStation をご使用になる場合は、PrinterSignalStation に対応したプリンタードライバーが必要です。PrinterSignalStation対応のMultiCoderに添付されているソフトウェアCD-ROMから、PrinterSignalStation対応のプリンタードライバーをインストールしてご使用ください。
	プリンタードライバーの設定を変更するためのアクセス権がありません。 → プリンタードライバーの［双方向サポートを有効にする］の設定を変更する場合は、「コンピュータの管理者」および「Administrators」といった管理者権限が必要となります。管理者権限で環境設定を行うか、システム管理者に連絡してください。
TerminalService での運用で、ユーザーの権限にかぎらず、［環境設定］が変更できてしまう	TerminalServiceの設定で「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」が設定されています。 → Terminal Serviceの動作設定として、「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」が設定されている場合、OSの仕様により、Terminal Serviceすべてのユーザーに対して［環境設定］の変更が許可されます。システム管理者以外のユーザーが環境設定を設定変更できないようにするには、「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」を設定しないでください。
プリンター監視	
［プリンター覧］ダイアログボックスにプリンターが表示されない	プリンターが監視対象として設定されていません。 → ［環境設定］―［監視するプリンタの選択］で、ご使用になるプリンターを監視対象に設定してください。
プリンターエラーあるいは印刷完了が通知されない	［環境設定］―［通知の設定］の各チェックボックスが正しく設定されていません。 → PrinterSignalStationは、この設定に応じてプリンターステータスの通知を行います。ご覧になりたい内容に従って各項目を設定してください。
	ご使用になっているプリンターとプリンタードライバーの機種名が一致していません。 → PrinterSignalStationは、接続されているプリンターがサポート外のプリンターであることを認識すると、プリンターのステータス通知内容を「通常監視」と同等の内容に変更します。ご使用になるプリンターに対応したPrinterSignalStation対応のプリンタードライバーをご使用ください。
	［環境設定］―［監視するプリンタの選択］で、ご使用になっているプリンターの設定が「通常監視」に設定されています。 → 設定が「通常監視」の場合、通知内容は「高度監視」よりも簡易的な内容となります。詳細な情報を表示させるには「高度監視」に設定してください。高度監視と通常監視の違いについては、154～156ページをご覧ください。
	「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」の［タスクバー］シートの［カスタマイズ］でPrinterSignalStationの動作が「常に非表示」に設定されています。 → 設定が「常に非表示」の場合は、バルーン表示による通知は行われません。「アクティブでないときに非表示」または「常に表示」に設定してください。
状態ダイアログボックスの「オプション」がグレーのまま表示されない	［環境設定］―［監視するプリンタの選択］で、ご使用になっているプリンターの設定が「通常監視」に設定されています。 → 設定が「通常監視」の場合、「オプション」は表示されません。高度監視と通常監視の違いについては、154～156ページをご覧ください。
状態ダイアログボックスの「オプション」が「不明」と表示される	プリンターの電源が入っていません。 → 接続されているプリンターの電源が入っていない場合、PrinterSignalStationは、オプションをすべて「不明」と表示します。プリンターの電源を入れてください。
	ご使用になっているプリンターとプリンタードライバーの機種名が一致していません。 → PrinterSignalStationは、接続されているプリンターがサポート外のプリンターであることを認識すると、給紙装置をすべて「不明」と表示します。プリンターに対応したプリンタードライバーをご使用ください。
	PR-NP-08/09で「Print Port Mode」設定がDisableになっています。 → 高度監視設定で動作させるにはPR-NP-08/09の「Print Port Mode」設定をEnableに設定してください。PR-NP-08/09の設定についてはPR-NP-08/09のオンラインマニュアルをご覧ください。高度監視と通常監視の違いについては、154～156ページをご覧ください。

症状	原因と対処方法
プリンター監視	
「ネットワークエラー」が表示されたままになる	ネットワーク共有プリンターをご使用の場合、プリントサーバーを装着したプリンターの電源が入っていないか、ネットワークケーブルが正しく接続されていません。 → プリントサーバーを装着したプリンターの電源を入れてください。 → ネットワークケーブルを正しく接続してください。
	ネットワークの設定が正しく行われていません。 → PrinterSignalStationは、SNMPプロトコルを使用してプリンターの監視を行います。ネットワークエラーが発生しているプリンターに印刷を行って、印刷が正しく行えない場合は、NEC Print Server Portの設定を正しく行ってください。 → PrinterSignalStationを再起動してください。 → コンピューターを再起動してください。
「電源OFF／ケーブル断」が表示されたままになる	ご使用になっているプリンターの電源が入っていません。 → プリンターの電源を入れてご使用ください。
	ご使用になっているコンピューターとプリンターが正しく接続されていません。 → プリンターケーブル、ネットワークケーブルを正しく接続してください。
	接続ポートが「USBxxx」の場合、プリンターやプリンターケーブルが正しく設定されていません。 → PC側のケーブルをいったん抜いた後、再度接続し直すことで正しく動作する場合があります。
	ネットワークポートで接続している場合は、[環境設定] ― [監視するプリンタの選択] の「コミュニティ名」の設定と、ご使用になっているLANアダプタの設定が一致していません。 → PrinterSignalStationは、SNMPプロトコルを使用してプリンターの監視を行います。SNMPプロトコルによって、正しくネットワーク通信を行うためには、PrinterSignalStationに設定されているコミュニティ名と、ご使用になっているLANボードのコミュニティ名に同じ文字列を設定してください。
「情報取得中」が表示されたままとなる	ご使用になっているプリンターに正しく印刷できることをご確認ください。 → ご使用になっているプリンターに正しく印刷できる場合は、印刷が完了したことを確認した後、PrinterSignalStationを再起動してください。印刷できない場合は、PCとプリンターの接続が正しく行われていることをご確認ください。
印刷完了の通知が「遅い」または「早い」	[環境設定] ― [通知の設定] の [詳細設定] の設定をご確認ください。 ① プリンターが印刷完了したことを確認したい場合 → [印刷時にジョブの同期を行う] をチェックしてください。この設定により、PrinterSignalStationはプリンターが印刷を終了したことを確認してから印刷完了を通知するようになります。 ② プリンターの印刷完了確認が遅い場合 → [印刷時にジョブの同期を行う] がチェックされていて、印刷完了の通知が遅い場合は、ご使用になるポートの [印刷時プリンタ監視間隔] を変更してください。プリンターの監視間隔を短く設定することで、印刷完了の通知をより速く行えるようになります。 ③ プリンターの印刷完了確認が不要の場合 → プリンターの印刷完了を確認する必要がない場合は [印刷時にジョブの同期を行う] のチェックを外してください。この設定によりPrinterSignalStationはプリンターに対して印刷データを送信し終わったことを確認した時点で印刷完了を通知するようになります。
	Standard TCP/IP Portで接続している場合、ポートの設定 [標準TCP/IPポートモニタの構成] で [SNMPステータスを有効にする] が有効になっています。 → プリンタードライバーのプロパティまたはサーバーのプロパティの [ポート] シート [ポートの構成] の [SNMPのステータスを有効にする] のチェックを外してください。
その他機能	
リモートパネルが起動できない	PrinterSignalStationに対応したプリンターのリモートパネルがインストールされていません。 → PrinterSignalStation に対応したプリンターのリモートパネルをインストールしてください。
	リモートパネルに対応したプリンタードライバーがインストールされていません。 → リモートパネルに対応したプリンタードライバーをインストールしてください。

- アイコン一覧
  以下は、プリンターの状態通知のアイコンです。

アイコン	アイコン	プリンターの状態
	プリンター通常	印刷可能
		ドキュメント準備中
		印刷中
		ハクリ待ち*1
		ドキュメント削除中
		ドキュメント削除終了
		印刷終了
		情報取得中
	プリンター警告	ドキュメント一時停止
		プリンター時停止
		オフライン
	プリンターエラー	コマンドエラー*1
		ヘッド断線エラー*1
		用紙なし
		紙づまり*1
		リボンエラー*1
		カバーオープン*1
		プリンタ装置エラー*1
		電源OFF/ケーブル断
		ネットワークエラー
		情報取得エラー

*1 高度監視時のみ表示

チェック

複数のプリンターを監視している場合は、プリンターエラー>プリンター警告>プリンター通常の優先度でアイコンを表示します。

- バルーンポップアップ一覧

  以下は、バルーンポップアップの状態通知一覧です。

アイコン	バルーンポップアップ表示内容	プリンターの状態
アイコンなし	バルーンポップアップなし	印刷可能
		ドキュメント準備中
		印刷中
		ドキュメント削除中
		情報取得中
	＜プリンター名＞ 印刷が終了しました（＜ドキュメント名＞） ＜日付＞＜時刻＞	印刷終了
	＜プリンター名＞ プリンタはハクリ待ちです ＜日付＞＜時刻＞	ハクリ待ち*1
	＜プリンター名＞ ドキュメントの印刷を一時停止中です（＜ドキュメント名＞） ＜日付＞＜時刻＞	ドキュメント一時停止
	＜プリンター名＞ プリンタは一時停止中です ＜日付＞＜時刻＞	プリンター一時停止
	＜プリンター名＞ プリンタはオフラインです ＜日付＞＜時刻＞	オフライン
	＜プリンター名＞ コマンドが正しくありません ＜日付＞＜時刻＞	コマンドエラー*1
	＜プリンター名＞ ヘッドが断線しています ＜日付＞＜時刻＞	ヘッド断線エラー*1
	＜プリンター名＞ 用紙がありません ＜日付＞＜時刻＞	用紙なし
	＜プリンター名＞ 紙づまりです ＜日付＞＜時刻＞	紙づまり*1
	＜プリンター名＞ リボンを確認してください ＜日付＞＜時刻＞	リボンエラー*1
	＜プリンター名＞ カバーが開いています ＜日付＞＜時刻＞	カバーオープン*1
	＜プリンター名＞ プリンタで障害が発生しています ＜日付＞＜時刻＞	プリンターエラー*1
	＜プリンター名＞ 電源がOFFかケーブルが接続されていません ＜日付＞＜時刻＞	電源OFF/ケーブル断
	＜プリンター名＞ ネットワークエラーが発生しています ＜日付＞＜時刻＞	ネットワークエラー
	＜プリンター名＞ プリンタの情報が取得できません ＜日付＞＜時刻＞	情報取得エラー

*1 高度監視時のみ表示

チェック

複数のプリンターを監視している場合は、プリンターエラー＞プリンター警告＞プリンター通常の優先度でアイコンを表示します。

- ステータス一覧

  以下はプリンターの状態通知の文字の一覧（アイウエオ順）です。[状態] ダイアログボックスでは、アイコンと下記の文字を合わせてプリンターの状態を表示します。

表示内容	プリンターの状態
印刷しています。 印刷ドキュメントをプリンタへ送信し、印刷しています。	印刷中
印刷できます。 プリンタエラーは発生していません。印刷できます。	印刷可能
印刷ドキュメント準備中です。 プリンタに印刷ドキュメントを送信する準備をしています。（スプール中）	ドキュメント準備中
印刷ドキュメントを削除中です。 プリンタに送信中の印刷ドキュメントを削除しています。	ドキュメント削除中
カバーが開いています。 カバーをきちんと閉じてください。	カバーオープン*1
紙づまりです。 つまった用紙を取り除いてからカバーを閉じてください。	紙づまり*1
コマンドが正しくありません。 コマンド解析中にコマンドエラーが発見されました。	コマンドエラー*1
電源がOFFかケーブルが接続されていません。 プリンタの電源とケーブル接続を確認してください。	電源OFF/ケーブル断
ドキュメントの印刷を一時停止中です。 プリンタフォルダでドキュメントの一時停止を解除してください。プリンタのアクセス権がない場合はシステム管理者に連絡してください。	ドキュメント一時停止
ネットワークエラーが発生しています。 ネットワークの接続を確認してください。	ネットワークエラー
プリンタで障害が発生しています。 プリンタの電源を入れ直してください。	プリンターエラー*1
プリンタの情報が取得できません。 このプリンタに対応していないプリンタドライバを使用して印刷中かもしれません。しばらくお待ちください。	情報取得エラー
プリンタの情報を取得中です。 プリンタの現在の情報を取得しています。	情報取得中
プリンタは一時停止中です。 プリンタフォルダでプリンタの一時停止を解除してください。プリンタのアクセス権がない場合はシステム管理者に連絡してください。	プリンター一時停止
プリンタはオフラインです。 プリンタの状態を確認し、印刷可スイッチを押してください。	オフライン
ヘッドが断線しています。 サーマルヘッドに断線エラーが発生しました。	ヘッド断線エラー*1
用紙がありません。 用紙をセットしてください。	用紙なし
ラベルのハクリ待ちです。 ラベルをハクリしてください。	ハクリ待ち*1
リボンエラーです。 リボンを確認してください。	リボンエラー*1

*1 高度監視時のみ表示

チェック

複数のプリンターを監視している場合は、プリンターエラー>プリンター警告>プリンター通常の優先度でアイコンを表示します。

アプリケーションプログラムインターフェース（API）

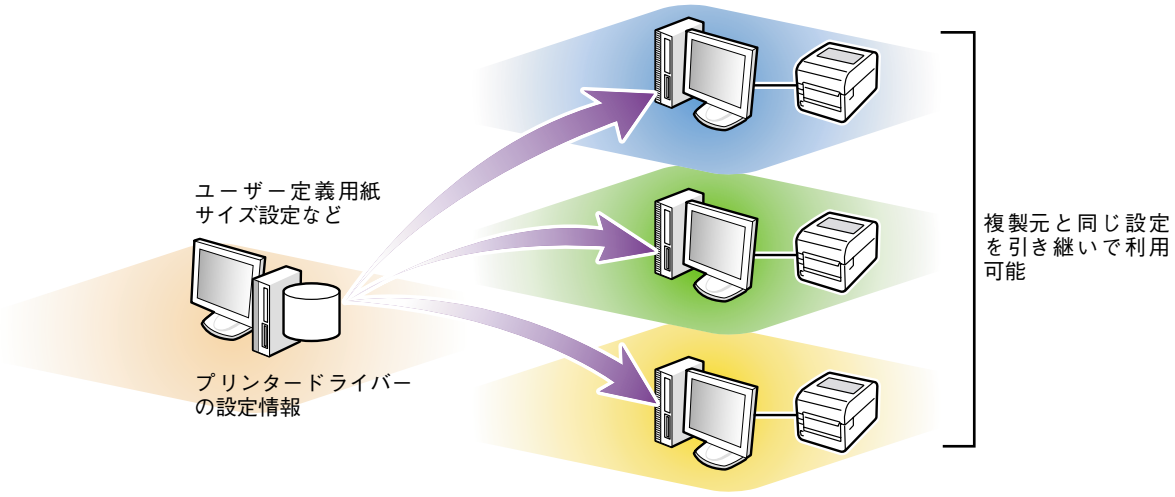
PrinterSignalStationはプリンターの状態監視をアプリケーションから使用するためのアプリケーションプログラムインターフェース（API）を提供します。
APIの仕様についてはCD-ROMに収録されている「PrinterSignalStationアプリケーションインターフェース仕様書」を参照してください。

メ　モ

4章 プリンタドライバー括設定ツール

この章では、ソフトウェアCD-ROMに収録されている「プリンタドライバー括設定ツール」の使用方法について説明します。

プリンタドライバー括設定ツールは複数のプリンタードライバーのインストール、設定内容の保存、および展開を一括で行うことのできるツールです。コンピューターの買い換えによる再セットアップや複数台のコンピューターをセットアップする時間を短縮するとともに、同じ設定内容を間違えることなく別のコンピューターへ複製することができます。



動作環境

プリンタドライバー括設定ツールが使用できる環境は次のとおりです。

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 8 日本語版*1
- Microsoft Windows 7 日本語版*1
- Microsoft Windows Vista 日本語版*1
- Microsoft Windows XP 日本語版*1
- Microsoft Windows Server 2012 日本語版*1
- Microsoft Windows Server 2008 日本語版*1
- Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*1
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版*1
- Microsoft Windows Server 2003 R2 日本語版*1
- Microsoft Windows 2000 日本語版

*1:　64ビットバージョンにも対応しています。

なお、ツールを実行するには管理者権限が必要です。

ハードウェア環境

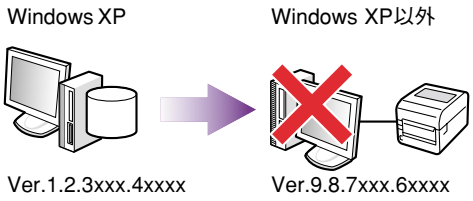
OSの動作環境に準じます。

制限事項・注意事項

プリンタドライバー括設定ツールの使用上の制限事項や注意事項は次のとおりです。

- 異なるOSへの情報展開はできません。
  また、ユニバーサルドライバーのバージョンが異なる場合も展開することはできません。
  バージョンはプリンターのプロパティの［デバイスの設定］シート上で右クリックすることで表示されます。

（例）

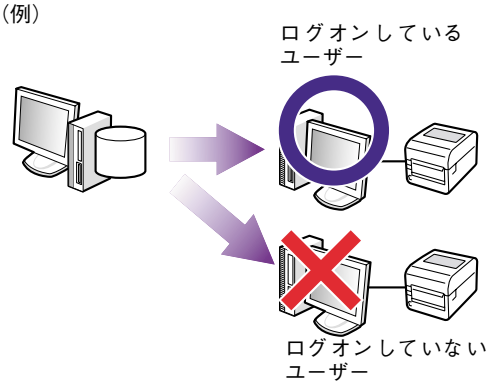






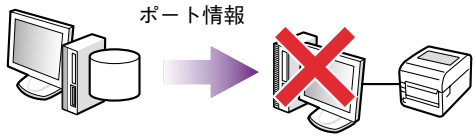
- 現在ログオンしているユーザーの設定に対して情報を展開します。別のユーザーについてはそれぞれログオンし直して、情報展開を行ってください（［プリンタ設定取得］も同様です）。（「標準の設定」（すべてのユーザーの既定のプロパティ）を設定することは可能です。）

（例）



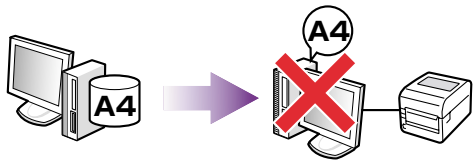
- プリンターのポートの設定は展開されません。別途設定してください。
  なお、［プリンタ追加］で新規にプリンタードライバーをインストールする場合、ローカルポートの［LPT1］でインストールされます。

（例）



- ［用紙の追加］で同じ名前の用紙が存在する場合、その用紙は登録されません。

（例）



起動方法

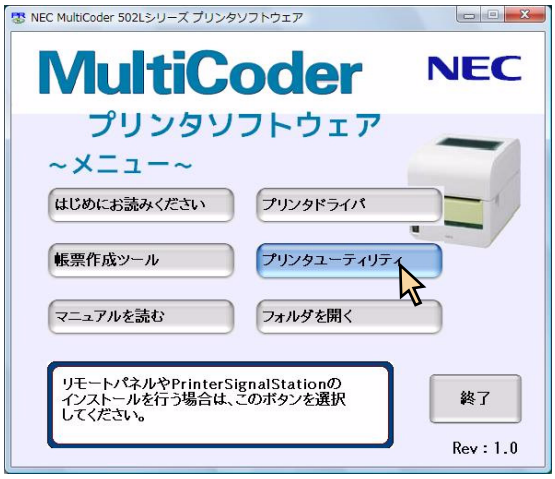
❶ **OS を起動し、情報を取得または展開したいユーザーアカウントでログオンします。**

ユーザー権限について、160ページを参照してください。

❷ **ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。**

［プリンタソフトウェア］ダイアログボックスが起動します。

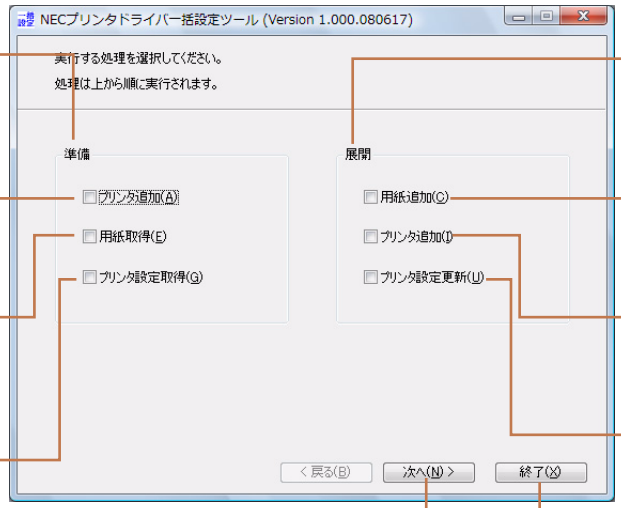
❸ **［プリンタユーティリティ］ボタンをクリックします。**



❹ **［ドライバー括設定ツール］ボタンをクリックします。**



プリンタドライバー括設定ツールが起動します。



元になるコンピューター（プリンタードライバー）からデータの保存を行うグループです。
→163ページ

プリンタードライバーを追加インストールします。
→163ページ

コンピューターに登録されている用紙サイズ情報の保存をします。
→165ページ

指定したプリンタードライバーの設定情報を保存します。
→166ページ

保存したデータを別のコンピューターに展開を行うグループです。
→168ページ

保存した用紙サイズ情報の展開をします。
→168ページ

プリンタードライバーを追加インストールします。
→169ページ

指定したプリンタードライバーの設定情報に更新します。
→170ページ

選択した処理の画面に移ります。

ツールを終了します。

チェック

複数の処理にチェックをつけることができますが、「準備」と「展開」グループ内の処理を同時にチェックすることはできません。

準　備

別のコンピューターに情報を展開するため、はじめに元となる設定情報が保存されているコンピューターから情報を取り出して準備をします。

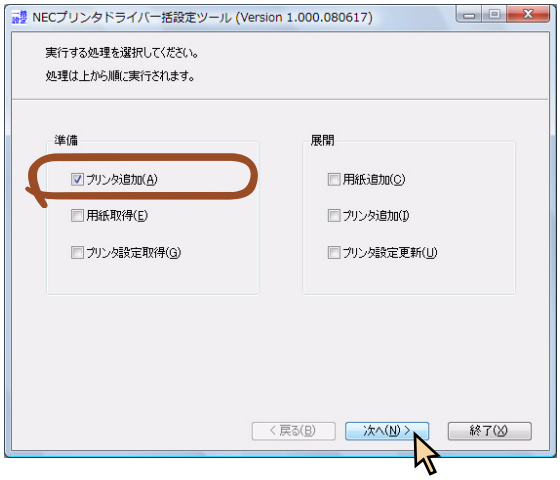
プリンターの追加

Windowsのインストーラー（［プリンタ］*1 フォルダーから行うプリンターの追加ウィザード）に代わってローカルのコンピューターにプリンターを追加します。一度に複数のプリンターをインストールすることができます。

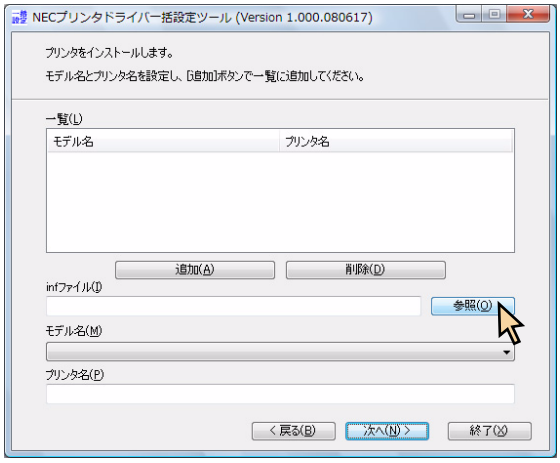
チェック

追加したプリンタードライバーの印刷先ポートは、［LPT1］に固定で設定されます。インストール完了後、必要に応じてポートを変更してください。

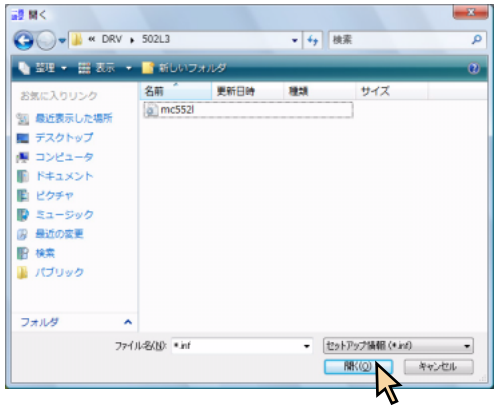
❶ **［準備］の［プリンタ追加］にチェックされていることを確認して［次へ］をクリックします。**



❷ **［参照］をクリックします。**



❸ **インストールしたいプリンタードライバーのセットアップ情報ファイル（.inf）が保存されている場所を指定します。**



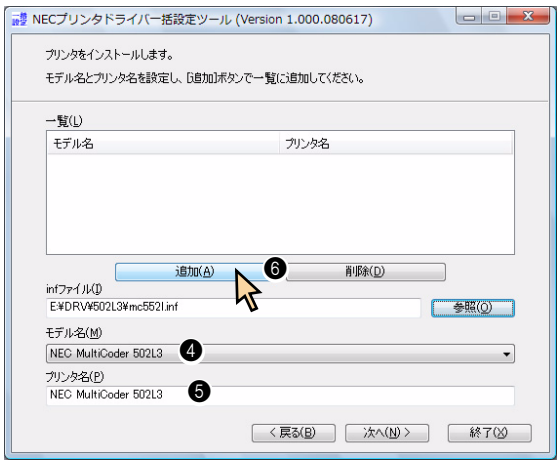
*1　Windows XPの場合は、［プリンタとFAX］フォルダーです。

❹ **［モデル名］のリストボックスからインストールしたいプリンタードライバーのモデルを選択します。**

❺ **プリンター名を変更したい場合は［プリンタ名］の入力ボックスに入力します。**

❻ **［追加］をクリックします。**

追加したプリンタードライバーが［一覧］に表示されます。

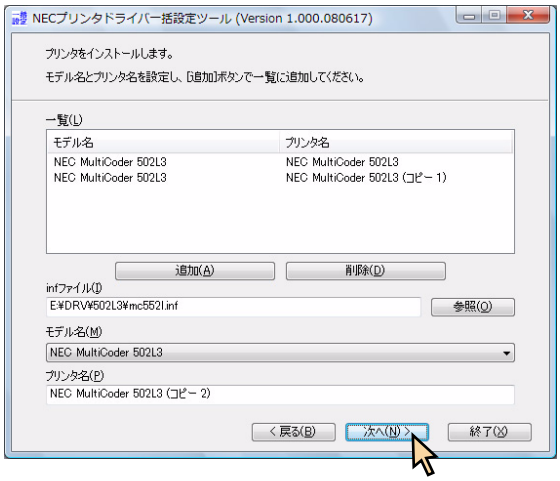


チェック

- 複数のプリンタードライバーをインストールする場合は再度、［参照］をクリックして手順❸から繰り返してください。
- 一覧から削除したいプリンタードライバーがある場合は、該当のプリンタードライバーを一覧から選択して［削除］をクリックしてください。

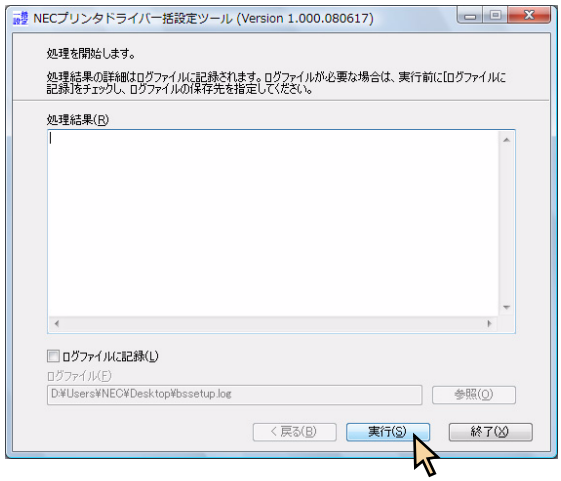
❼ **［次へ］をクリックします。**

追加したプリンタードライバーが［一覧］に表示されます。



❽ **［実行］をクリックします。**

プリンタードライバーの追加を実行します。［処理結果］には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。

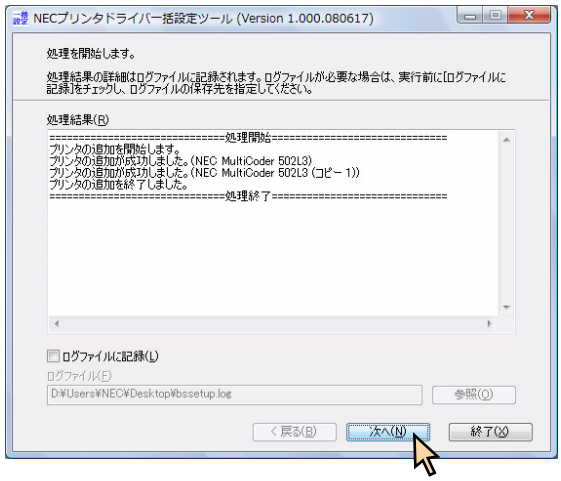


チェック

- ［ログファイルに記録］にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- ［処理結果］に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、［制限事項・注意事項］(161ページ) に記載の内容を確認してください。

❾ **［次へ］をクリックします。**

起動時の画面に戻ります。

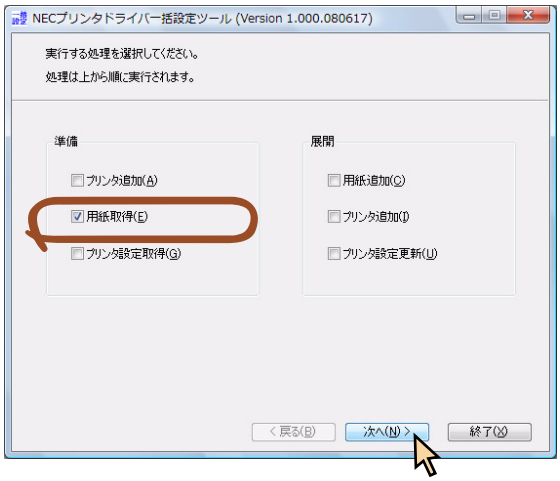


用紙情報の取得

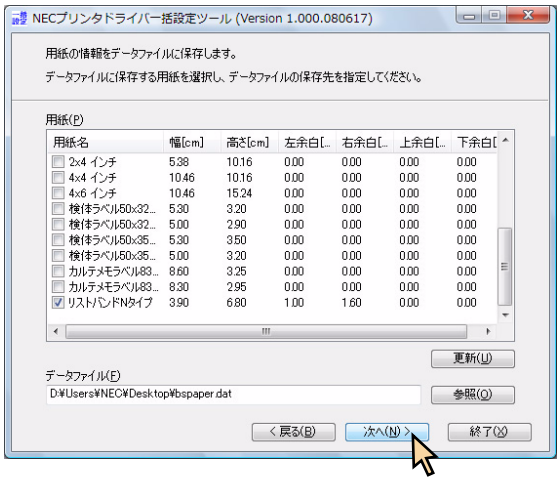
チェック

展開先のコンピューターに同じ名前の用紙が存在する場合、その用紙は登録（上書き）されません。

❶［準備］の［用紙取得］にチェックされていることを確認して［次へ］をクリックします。



❷ 取得したい用紙情報にチェックを付けて［次へ］をクリックします。

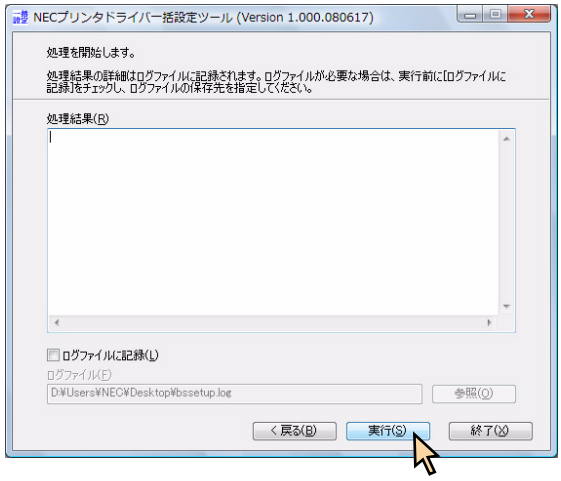


チェック

保存するファイル名と保存先は［参照］をクリックして変更することができます。

❸［実行］をクリックします。

プリンタードライバーの追加を実行します。［処理結果］には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。

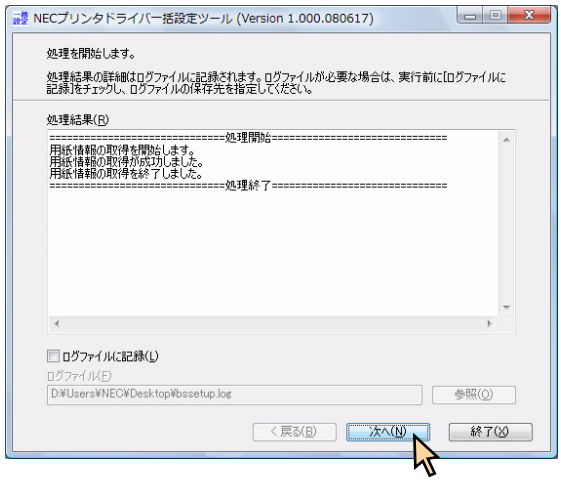


チェック

- ［ログファイルに記録］にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- ［処理結果］に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、［制限事項・注意事項］（161ページ）に記載の内容を確認してください。

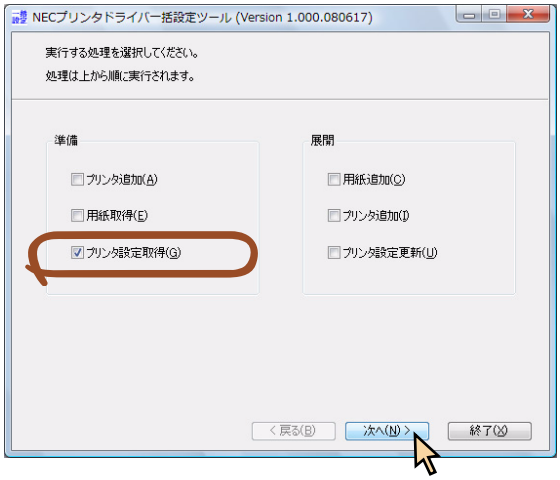
❹［次へ］をクリックします。

起動時の画面に戻ります。



プリンター設定の取得

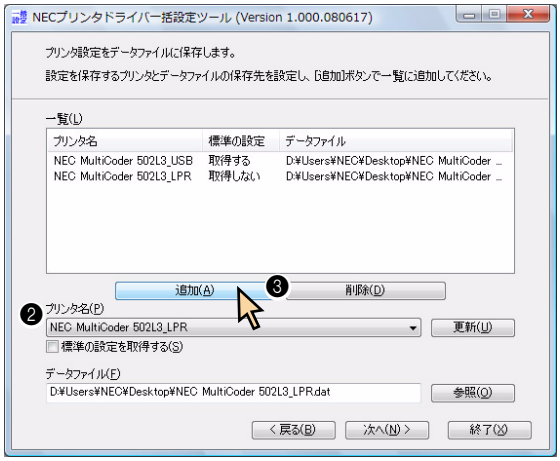
❶［準備］の［プリンタ設定取得］にチェックされていることを確認して［次へ］をクリックします。



❷［プリンタ名］のリストから情報を取得したいプリンタードライバーのモデル名を選択します。

❸［追加］をクリックします。

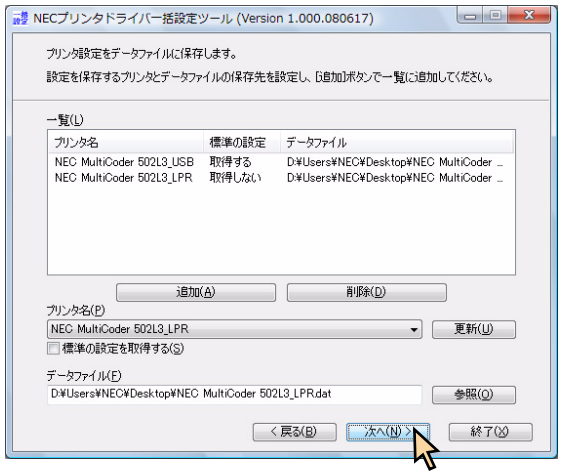
選択したプリンタードライバーが［一覧］に表示されます。［標準の設定を取得する］にチェックを付けると、プリンタードライバーの「標準の設定」も取得します。



チェック

- 「標準の設定」とは、すべてのユーザーの規定のプロパティです。プリンターを共有している場合は、この設定がほかのユーザーの規定のプロパティになります。
- 複数のプリンタードライバーをインストールする場合は再度、［プリンタ名］のリストから選択して［追加］をクリックしてください。
- 一覧から削除したいプリンタードライバーがある場合は、該当のプリンタードライバーを一覧から選択して［削除］をクリックしてください。

❹［次へ］をクリックします。

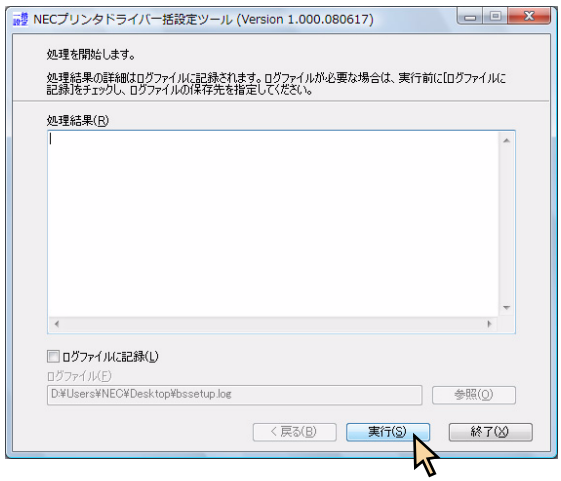


チェック

保存するファイル名と保存先は［参照］をクリックして変更することができます。

❺［実行］をクリックします。

プリンタードライバーの追加を実行します。［処理結果］には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。

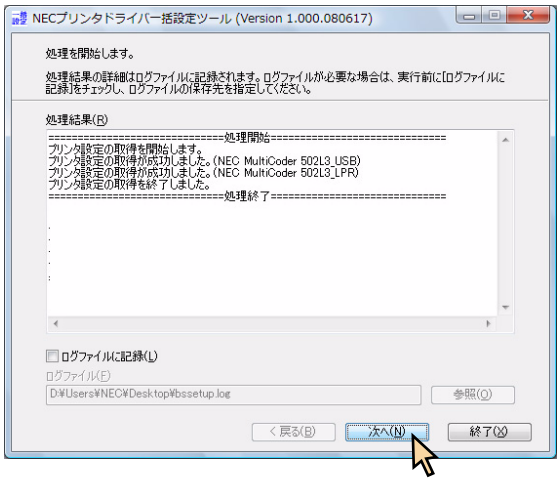


チェック

- ［ログファイルに記録］にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- ［処理結果］に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、［制限事項・注意事項］(161ページ)に記載の内容を確認してください。

❻ ［次へ］をクリックします。

起動時の画面に戻ります。

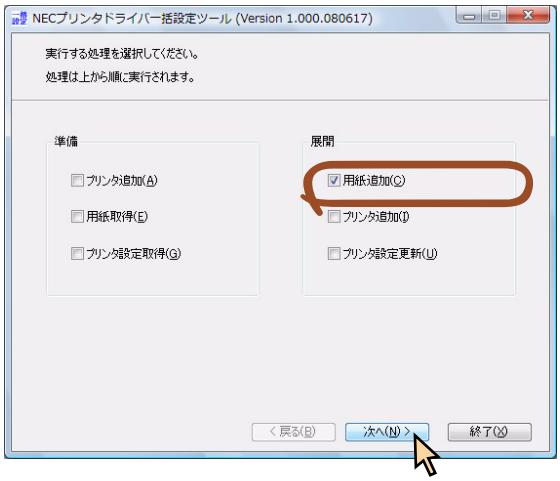


展　開

「準　備」(163ページ) で取得した情報を別のコンピューターへ展開します。

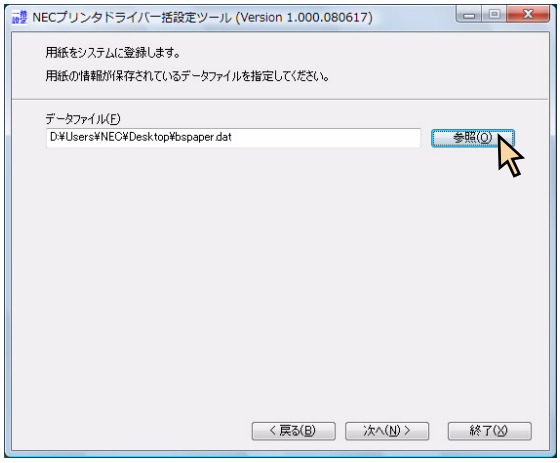
用紙の追加

❶ ［展開］の［用紙追加］にチェックされていることを確認して［次へ］をクリックします。

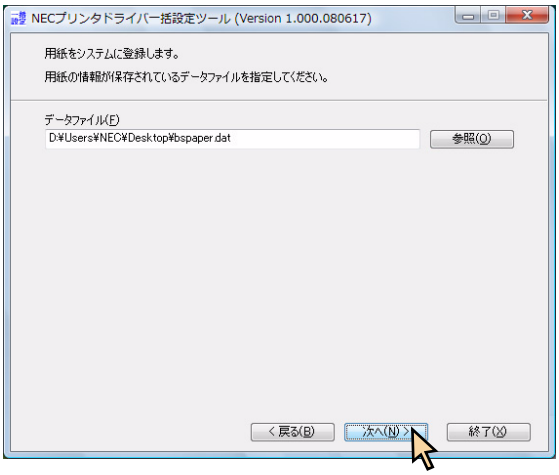


❷ ［参照］をクリックして、「用紙情報の取得」(165ページ) で保存したファイルを指定します。

［データファイル］の入力ボックスにファイルをドラッグ・アンド・ドロップで指定することもできます。

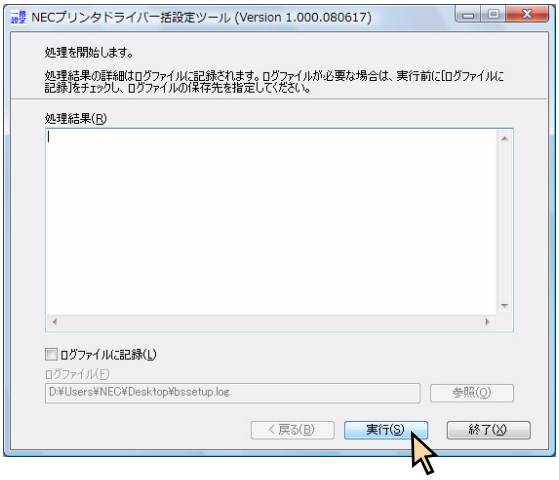


❸ ［次へ］をクリックします。



❹ ［実行］をクリックします。

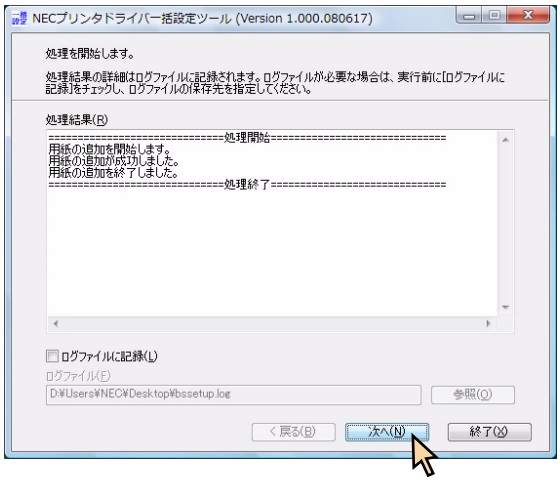
プリンタードライバーの追加を実行し ます。［処理結果］には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。



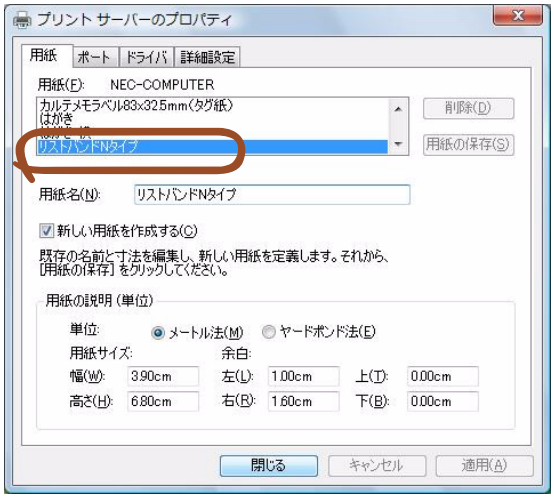
チェック

- ［ログファイルに記録］にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- ［処理結果］に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、［制限事項・注意事項］(161ページ) に記載の内容を確認してください。

❺［次へ］をクリックします。
起動時の画面に戻ります。



❻［プリントサーバーのプロパティ］で指定した用紙が追加されていることを確認ます。



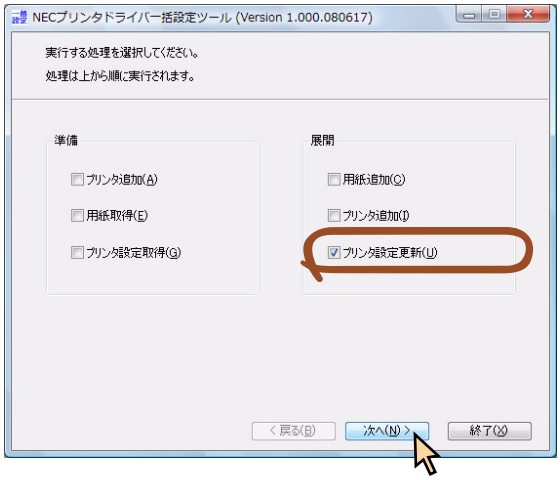
プリンターの追加

操作方法は準備の「プリンターの追加」(163ページ)と同じです。

起動時の画面で［プリンタ追加］と［プリンタ設定更新］の両方にチェックをつけた場合、プリンターの追加と設定を一度に行うことが可能です。

プリンター設定の更新

❶ ［展開］の［用紙追加］にチェックされていることを確認して［次へ］をクリックします。



❷ ［参照］をクリックして、[「プリンター設定の取得」(166ページ)](#) で保存したファイルを指定します。

［データファイル］の入力ボックスにファイルをドラッグ・アンド・ドロップで指定することもできます。

❸ ［プリンタ名］のリストから情報を取得したいプリンタードライバーのモデル名を選択します。

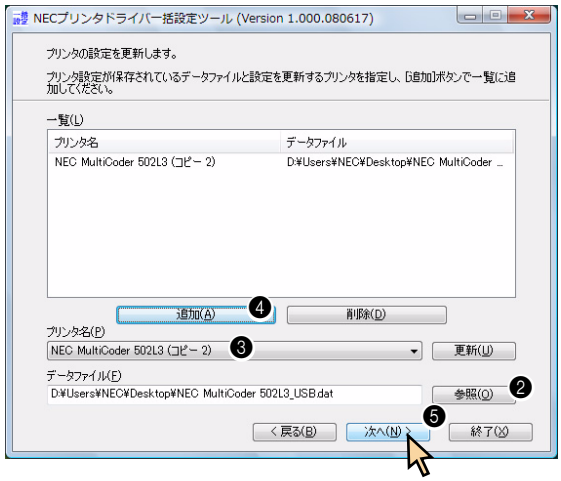
❹ ［追加］をクリックします。

選択したプリンタードライバーが［一覧］に表示されます。

チェック

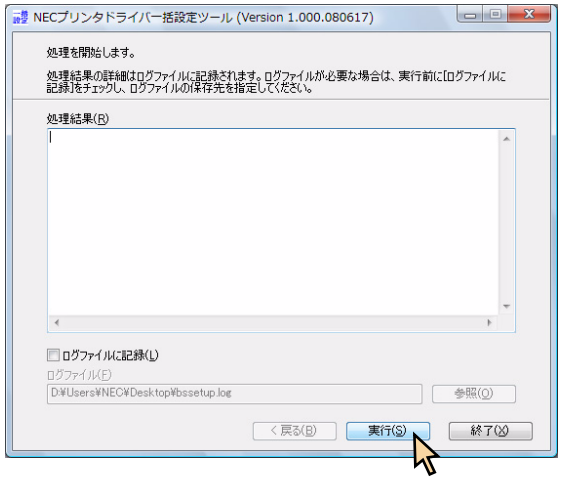
- 複数のプリンター設定を取得する場合は、該当するファイルを［データファイル］で指定して［プリンタ名］のリストから選び、［追加］をクリックしてください。
- 一覧から削除したいプリンタードライバーがある場合は、該当のプリンタードライバーを一覧から選択して［削除］をクリックしてください。

❺ ［次へ］をクリックします。



❻ ［実行］をクリックします。

プリンタードライバーの追加を実行します。［処理結果］には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。

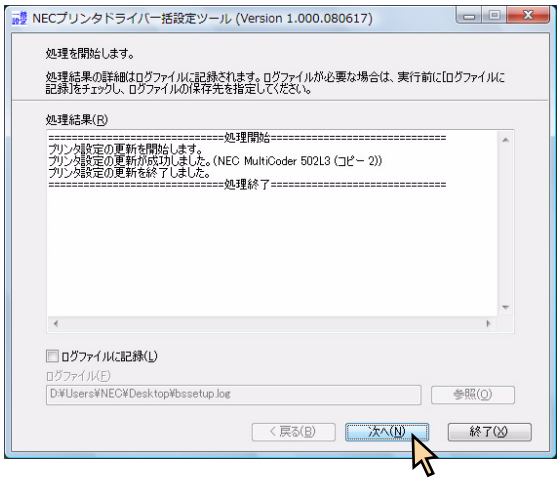


チェック

- ［ログファイルに記録］にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- ［処理結果］に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、[「制限事項・注意事項」(161ページ)](#) に記載の内容を確認してください。

❼［次へ］をクリックします。

起動時の画面に戻ります。



チェック

印刷先のポートの設定は取り込めません。別途ポートの追加または印刷先の変更を行ってください。

メ　モ

5章
バンドルソフトウェア

この章では、プリンターに添付のソフトウェアCD-ROMに収録されているバンドルソフトウェア（帳票作成ツール）のインストールとアンインストールの方法について説明、およびソフトウェアディベロップメントキットの紹介をします。

- BarStar Pro.....174ページ
- LabelStar Lite.....177ページ
- MultiCoder SDK 182ページ

BarStar Pro

「バーコード作成ソフトウェア(Ainix BarStar Pro for Windows)」(以下、BarStar Pro)は、Windows上で動作するバーコード作成専用のソフトウェアです。
リニアバーコード、スタック型二次元コード、マトリックス型二次元コード、郵便コード、省スペースシンボルRSSファミリー(GS1 DataBar と呼ばれています)、および次世代省スペース標準流通シンボル「GS-1 Composite（EAN.UCC Composite）など多彩なバーコードを生成することができます。

BarStar Proをインストールできる環境は、次のとおりです。それ以外ではご使用になれません。

- Microsoft Windows 8 日本語版
- Microsoft Windows 7 日本語版
- Microsoft Windows Vista 日本語版
- Microsoft Windows XP 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版

BarStar Proのインストール

BarStar Proのインストール手順について以下に手順を説明します。

❶ ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

［プリンタソフトウェア］ダイアログボックスが起動します。

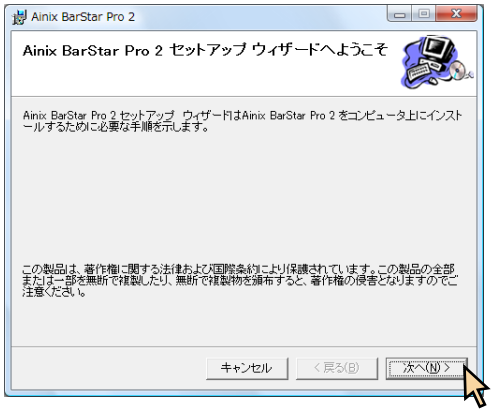
❷［帳票作成ツール］ボタンをクリックします。



❸［BarStar Pro］ボタンをクリックします。

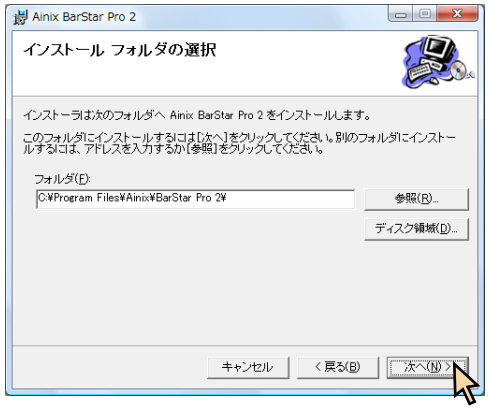


❹［次へ］をクリックします。



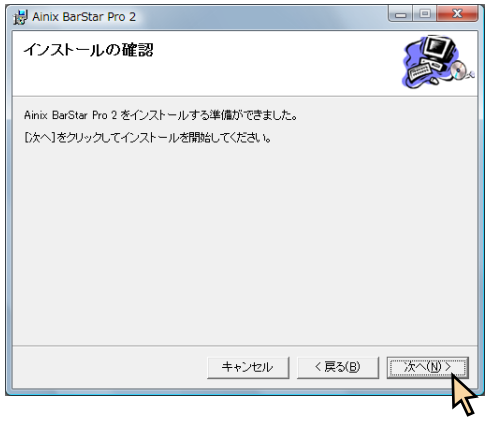
❺ インストール先のフォルダーを確認して［次へ］をクリックします。

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックしてインストール先のフォルダーを選択してください。［ディスク領域］をクリックすると、インストール先のハードディスクドライブの空き容量を調べることができます。

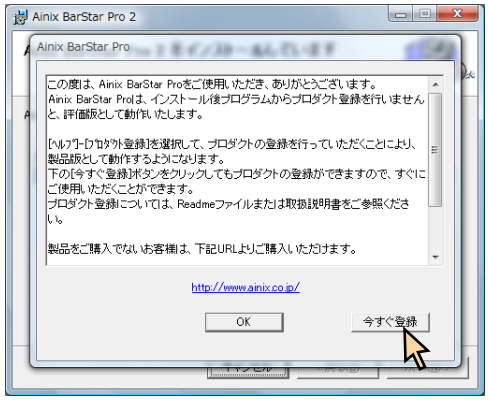


❻［次へ］をクリックします。

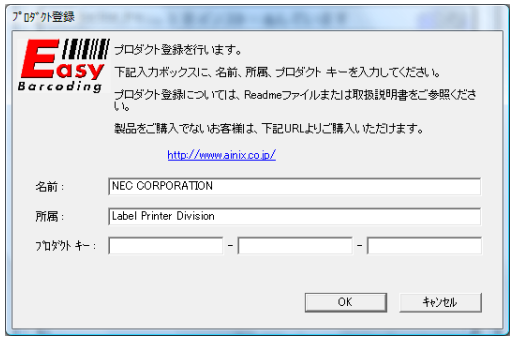
［次へ］をクリックするとインストールを開始します。



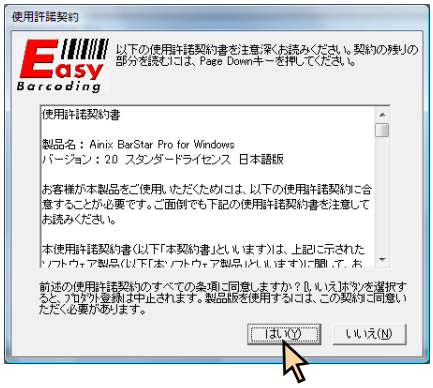
❼［今すぐ登録］をクリックします。



プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているBarStar Proは「プロダクト登録」をするまで評価版として動作します。プロダクト登録を行うには、［名前］、［所属］の欄に入力し、プロダクトキーを入力してください。

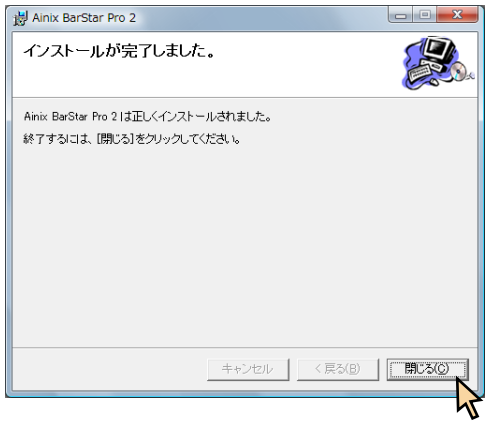


❽［はい］をクリックします。



❾［閉じる］をクリックします。

以上でインストールは完了です。



BarStar Proはプロダクト登録を完了するまで、起動時に以下のメッセージを表示します。［OK］をクリックすると評価版として起動します。



チェック

BarStar Proの取り扱いを詳しく説明している取扱説明書がソフトウェアCD-ROMの「¥APP¥BARSTAR」内にあります。ご覧ください。

BarStar Proの削除（アンインストール）

次の手順で削除（アンインストール）を行ってください。

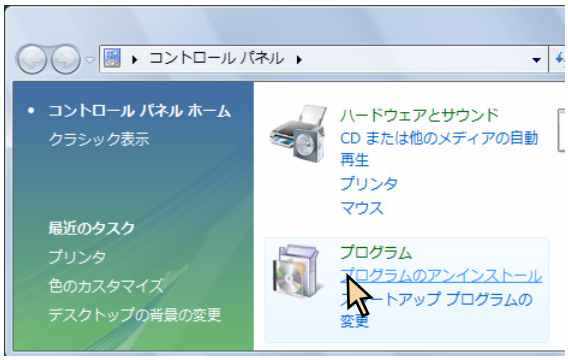
❶［コントロールパネル］フォルダーを開きます。

Windows 8の場合、マウスポインタを画面右下隅に移動してチャームを表示し、[設定]ー[コントロールパネル]をクリックすると開きます。

Windows 7/Vista/XPの場合、［コントロールパネル］フォルダーは、[スタート]から[コントロールパネル]をクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、［コントロールパネル］フォルダーは、［スタート］から［設定］ー［コントロールパネル］をクリックすると開きます。

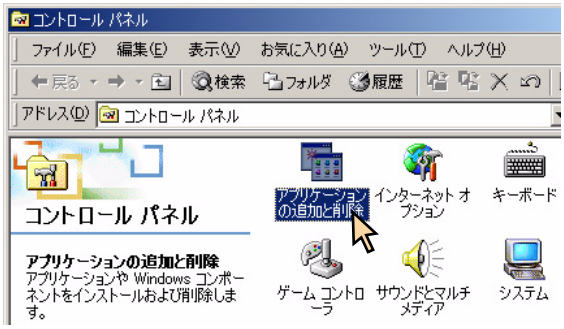
❷［プログラムのアンインストール］をクリックします。（Windows 8/7/Vistaの場合）



［プログラムの追加と削除］をクリックします。（Windows XPの場合）



［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。（Windows 2000の場合）

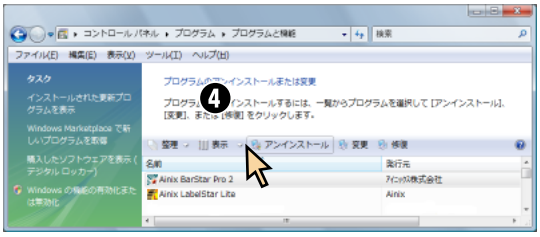


❸［プログラムの変更と削除］をクリックします。

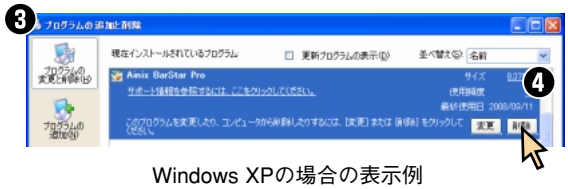
Windows 8/7/Vistaの場合はこの手順は不要です。次へ進んでください。

❹「Ainix BarStar Pro2」を選択し、次の操作をします。

- Windows 8の場合
「Ainix BarStar Pro2」を右クリックし、[アンインストール]をクリック
- Windows 7/Vistaの場合
[アンインストール]をクリック
- Windows XP/2000の場合
[変更と削除]または[変更／削除]をクリック



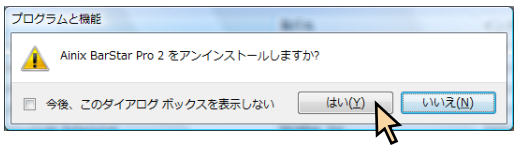
Windows Vistaの場合の表示例



Windows XPの場合の表示例

❺［はい］をクリックします。

BarStar Pro2の削除（アンインストール）が完了します。



LabelStar Lite

「バーコードラベル作成ソフトウェア(LabelStar Lite for Windows)」(以下、「LabelStar Lite」)は、Microsoft Windowsで動作するラベル作成専用のソフトウェアです。
LabelStar Liteでは、ラベルに印刷する文字列、およびバーコード化する文字列をキーボードを使って入力、設定することはもちろん、外部のテキストファイルを入力し、設定することができます。
また、ラベルのデザインに必要なさまざまなデザインツールを備えており、効率的なラベルの作成を可能にします。

チェック

LabelStar LiteはLabelStar Proのオートメーションサーバー機能を制限したソフトウェアです。オートメーションサーバー機能を利用する場合は、LabelStar Proを購入してください。

LabelStar Liteをインストールできる環境は、次のとおりです。それ以外ではご使用になれません。

- Microsoft Windows 8 日本語版
- Microsoft Windows 7 日本語版
- Microsoft Windows Vista 日本語版
- Microsoft Windows XP 日本語版

LabelStar Liteのインストール

LabelStar Liteのインストール手順について以下に手順を説明します。

❶ **ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。**
［プリンタソフトウェア］ダイアログボックスが起動します。

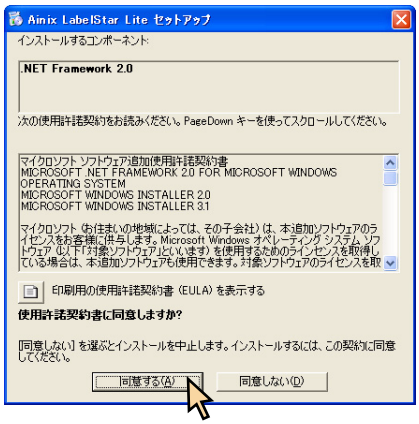
❷ **［帳票作成ツール］ボタンをクリックします。**



❸ **［LabelStar Lite］ボタンをクリックします。**



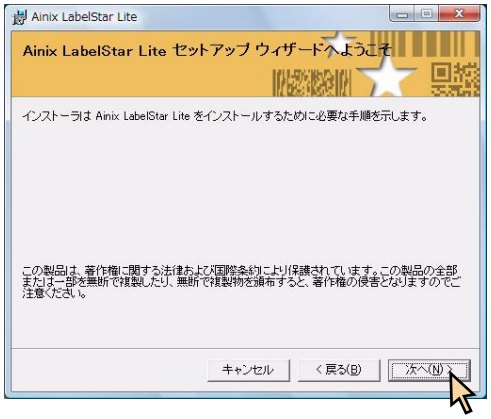
❹ LabelStar Liteが動作するためには.NET Framework 2.0以上が必要です。
.NET Frameworkがインストールされていない環境では、次の画面が表示されますので、使用許諾契約の記載内容をよく読んでから[同意する]をクリックし、.NET Frameworkのインストールを行ってください。



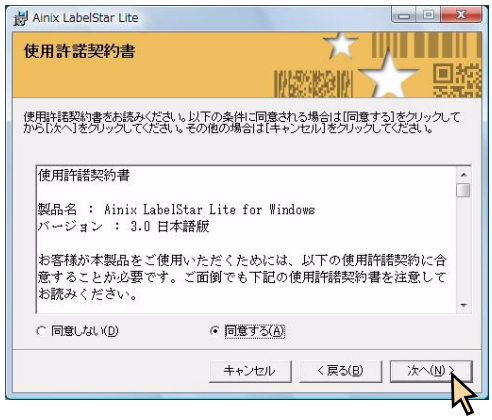
❺［次へ］をクリックします。



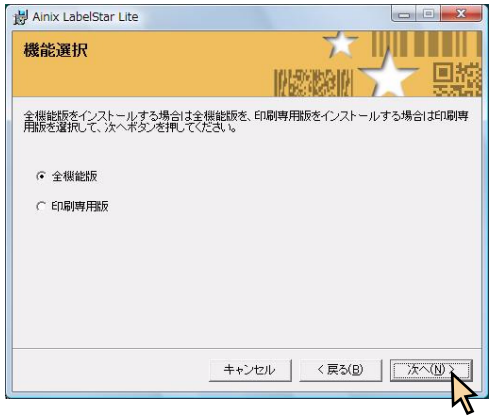
❻［次へ］をクリックします。



❼ 使用許諾契約の記載内容をよく読んでから［同意する］を選択し、［次へ］をクリックします。



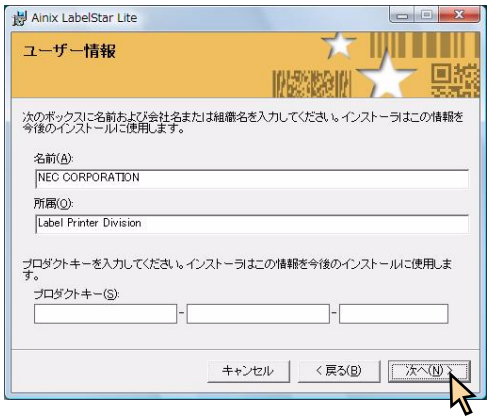
❽「全機能版」を選択し、［次へ］をクリックします。



チェック

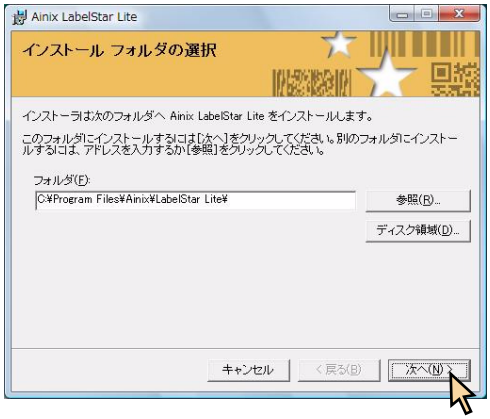
LabelStar Liteでは印刷専用版は使用できません。

❾ **[名前]、[所属]の欄を入力し、[プロダクトキー]の欄にプロダクトキーを入力してください。**



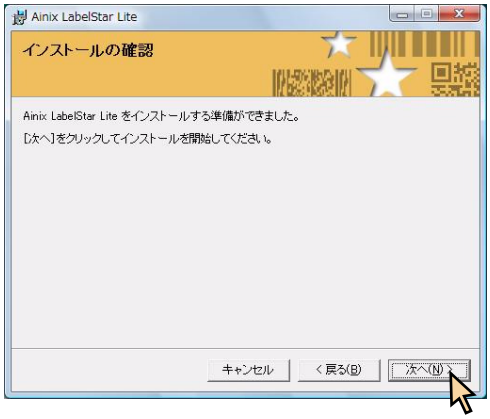
❿ **インストール先のフォルダーを確認して[次へ]をクリックします。**

インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックしてインストール先のフォルダーを選択してください。

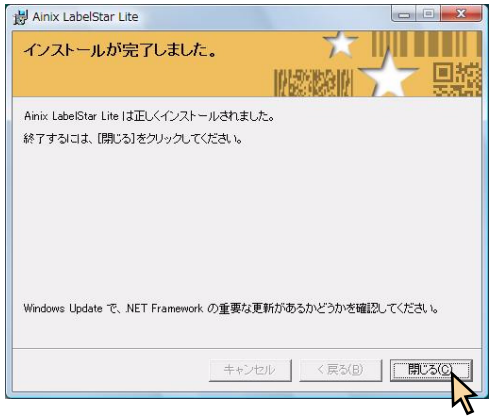


⓫ **[次へ]をクリックします。**

インストールを開始します。



⓬ **[閉じる]をクリックします。**



以上でインストールは完了です。

[スタート]メニューの[すべてのプログラム]に[Ainix LabelStar Lite]の項目が追加されます。また、デスクトップにもショートカットアイコンが追加されます。



チェック

LabelStar Liteを初めて使う場合の解説書（ファーストステップガイド）や取り扱いを詳しく説明している取扱説明書がソフトウェアCD-ROM内の以下の場所にあります。ご覧ください。

「¥APP¥LABELSTAR¥Docs」

LabelStar Liteの削除（アンインストール）

次の手順で削除（アンインストール）を行ってください。

❶［コントロールパネル］フォルダーを開きます。

［コントロールパネル］フォルダーは、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックすると開きます。

Windows 8の場合、マウスポインタを画面右下隅に移動してチャームを表示し、［設定］ー［コントロールパネル］をクリックすると開きます。

❷［プログラムのアンインストール］をクリックします。（Windows 8/7/Vistaの場合）



［プログラムの追加と削除］をクリックします。（Windows XPの場合）

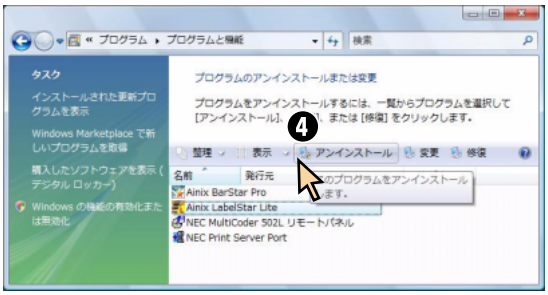


❸［プログラムの変更と削除］をクリックします。

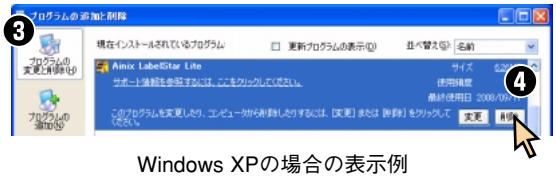
Windows 8/7/Vistaの場合はこの手順は不要です。次へ進んでください。

❹「Ainix LabelStar Lite」を選択し、次の操作をします。

- Windows 8の場合
「Ainix LabelStar Lite」を右クリックし、［アンインストール］をクリック
- Windows 7/Vistaの場合
［アンインストール］をクリック
- Windows XPの場合
［変更と削除］または［変更／削除］をクリック

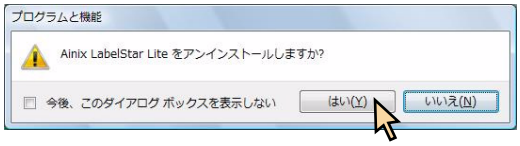


Windows Vistaの場合の表示例

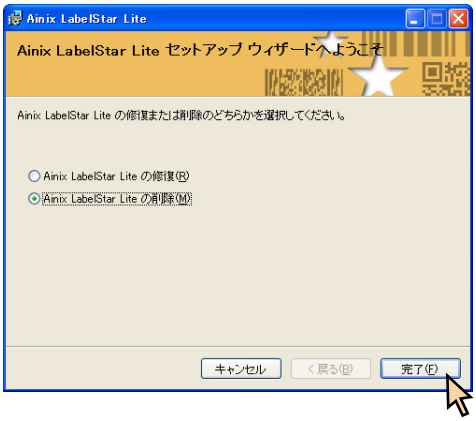


Windows XPの場合の表示例

❺［はい］をクリックします。

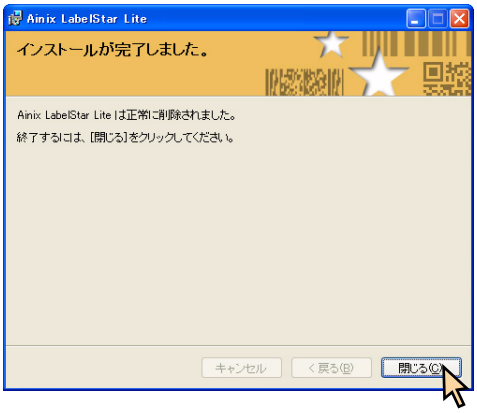


下記の画面が表示された場合は、「Ainix LabelStar Liteの削除」を選択して、［完了］をクリックします。



［閉じる］をクリックします。

LabelStar Liteの削除（アンインストール）が完了します。



MultiCoder SDK

「MultiCoder SDK」はVisualBasicやVisual C++などからMultiCoderシリーズに印刷するためのソフトウェア開発キット（Software Development Kit）です。
Windows環境で印刷するためのソースコードやNLPL（NEC Label Printer Language）コマンド送信ライブラリーを用意し、効率的な印刷アプリケーションの設計を行うことができます。

NLPLコマンド送信ライブラリーの詳細はソフトウェアCD-ROMに収録されている「MultiCoder SDK説明書」を参照してください。

6章 リストバンドの印刷方法

この章ではリストバンドの印刷方法を説明します。

リストバンドは病院などで患者さんの腕に着けるなどさまざまな用途で使用することができます。詳細はNECコーポレートサイト（http://jpn.nec.com）を参照するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

リストバンドに印刷できるモデルとリストバンドの種類

リストバンドに印刷できるモデルは次のとおりです。

モデル名	型　番
MultiCoder 502L3T	PR-T502L3T
MultiCoder 502L3TL	PR-T502L3TL
MultiCoder 502L3TW	PR-T502L3TW
MultiCoder 502L3TP	PR-T502L3TP
MultiCoder 502L3TR	PR-T502L3TR

その他のモデルについては、お買い求めの販売店にご相談ください。

リストバンドの種類は次のとおりです。最新対応リストバンドの情報はNECコーポレイトサイト（http://jpn.nec.com）をご確認ください。

セット*1	内　容	品　名	型　番	リストバンド仕様（1本）	説　明
Bセット	リストバンドリボン（2本）*2	リストバンド・リボンセットB	PR-T500-SAAA001	（印刷部幅×印刷部長さ） 26*3 ×70mm （バンド部幅×全体の長さ） 13×288mm	リボンと印刷部が太いバンドのセットです。 リストバンドを留めるホック（白）も同梱しています。
	リストバンドBタイプ（10ロール（500本））				
Nセット	リストバンドリボン（2本）*2	リストバンド・リボンセットN	PR-T500-SAAA002	（印刷部幅×印刷部長さ） 13*3×70mm （バンド部幅×全体の長さ） 13×288mm	リボンと印刷部が細いバンドのセットです。 リストバンドを留めるホック（白）も同梱しています。
	リストバンドNタイプ（10ロール（500本））				

*1　セットでの販売の他、リストバンドB タイプ／ N タイプ、リボン、ホックをそれぞれ個別で販売しています。詳しくはNEC コーポレートサイト（http://jpn.nec.com）を参照するか、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

*2　リボン 1 本に対してリストバンドは 5 ロールが使用目安です。

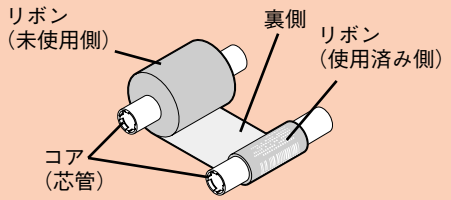
*3　印刷部の幅です。印刷内容を保証する幅ではありません。

リストバンドの印刷方法

リストバンドへの印刷方法について説明します。

警告

- リストバンドはカッターモジュールでカットすることはできません。カッターモデルやオプションのカッターモジュールでカットしないでください。リストバンドがカッター部でつまったり、カッターモジュールを破損させたりするおそれがあります。
- リストバンドセット用のリボンのみ使用することができます。それ以外のリボンを使用した場合は印刷品質の保証はできません。
- 本プリンターは NEC 指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、リボンはNEC指定品を使用することを推奨します。
- リボンには裏と表（インク面）があります（右図を参照）。注意して取り付けてください。逆に取り付けて印刷すると、印刷できないばかりか、サーマルヘッドの交換（有償）が必要になります。
- 途中まで使用したリボンの未使用側／使用済み側の見分け方は、右図を参照してください。新しいリボンの場合は、径の太い方が未使用側です。



- 使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。
- リボンを使用した後は、リボンに個人情報が残ります。お客様の判断において廃棄してください。リボンに残る印刷内容について、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

注意

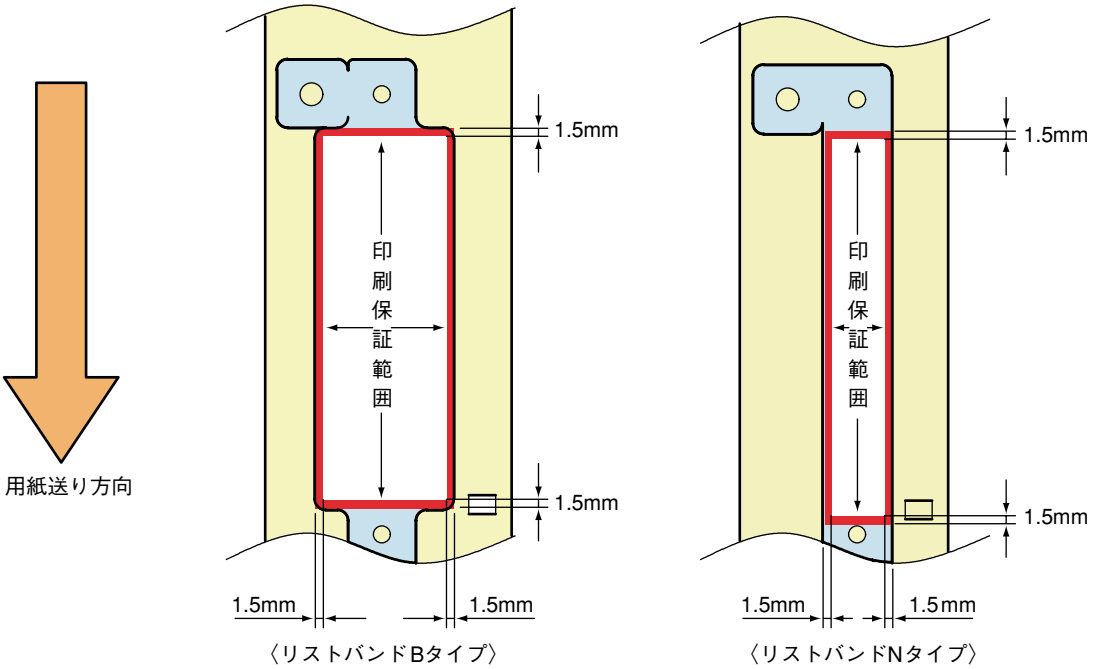
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。
- トップカバーを開けたときプリンター背面とトップカバーの間に指を挟まないように注意してください。
- インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。

チェック

- NEC指定以外のリボンを取り付けて印刷した場合、 その結果に対しては責任を負いかねます。
- リボンからリストバンドに転写される面積が大きく、濃度が高い場合は、リボンが切れるおそれがあります。特にプリンタードライバーの［ネガイメージ］を選択して印刷する際はご注意ください。
- ご使用になるリストバンドの厚さに合わせてセンサーの感度調整を行ってください。「センサーしきい値を調整する」（193ページ）を参照して補正設定を行ってください。
- リストバンドに印刷する場合は、リモートパネルを使用して「自動カット位置送り機能」（117ページ）を［無効］に設定してください。

リストバンドの有効印刷部

下図において網かけ部（■）での印刷品質は保証できません。この部分に印刷すると、印刷保証範囲の領域での印刷品質も損なわれるおそれがあります。



ユーザー定義用紙サイズの登録

ユーザー定義の用紙サイズで印刷するには、本プリンターのプリンタードライバーがインストールされている必要があります。リストバンドの用紙サイズは、Windowsには登録されていないため、「ユーザー定義用紙サイズ」として事前に登録します。
ここではWindows Vista 日本語版の環境でユーザー定義用紙サイズを登録する方法について説明します。その他のOSも同じ手順で登録できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

❶ ［デバイスとプリンター］フォルダー、［プリンタ］フォルダーまたは［プリンタとFAX］フォルダーを開きます。

Windows 8/Server 2012の場合、マウスポインタを画面右下隅に移動してチャームを表示し、[設定]ー[コントロールパネル]をクリックすると開きます。

Windows 7/Server 2008 R2の場合、［デバイスとプリンター］フォルダーは、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックすると開きます。

Windows Vista/Server 2008の場合、［プリンタ］フォルダーは、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタ］の順にクリックすると開きます。

Windows XP ProfessionalまたはWindows Server 2003の場合、［プリンタとFAX］フォルダーは、［スタート］から［プリンタとFAX］をクリックすると開きます。

Windows XP Home Editionの場合、［プリンタとFAX］フォルダーは、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックすると開きます。

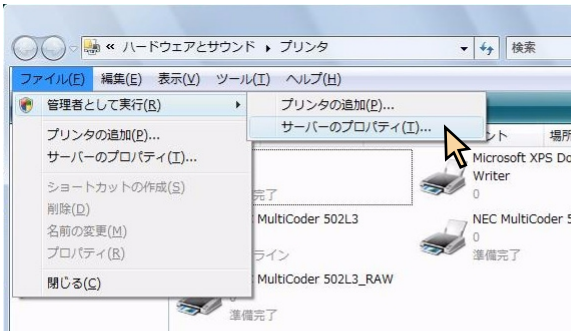
Windows 2000の場合、［プリンタ］フォルダーは、［スタート］から［設定］ー［プリンタ］をクリックすると開きます。

❷ ［サーバーのプロパティ］画面を表示させます。

Windows 8/7/Server 2012/Server 2008 R2の場合は、プリンターを選択し、メニューバーの［プリントサーバープロパティ］をクリックすると開きます。

Windows Vista/Windows Server 2008の場合は［ファイル］メニューから［管理者として実行］ー［サーバーのプロパティ］の順にクリックします。

Windows XP、Windows 2000、またはWindows Server 2003の場合は［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックすると開きます。



重要

- Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 R2/Server 2008の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または［続行］の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで［ファイル］メニューの配下にある［サーバーのプロパティ］を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、用紙サイズの定義（追加・削除・変更）は変更できません。［標準ユーザー］の場合は、［管理者として実行］から［プロパティ］を選択してください。

❸ ［用紙］シートで［新しい用紙を作成する］をチェックします。

❹ ［用紙名］に用紙の名前を設定します。

ここでは、例として「リストバンドNタイプ」という名前で設定します。

チェック

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

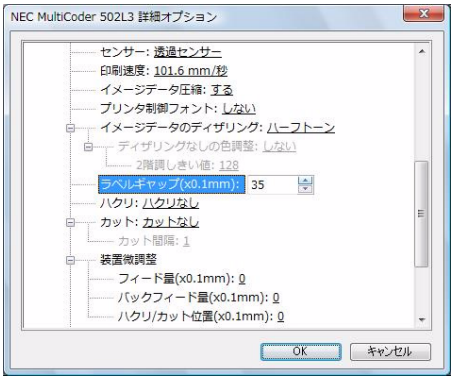
❺ ［単位］を指定して［用紙サイズ］と［余白］を設定します。



下図と合わせて以下の表の説明を参考に設定してください。

項　目	説　明
幅（A）	ラベルの台紙を含む大きさ
高さ（B）	ラベルの台紙を含まない大きさ
左右の余白（Cと D）	台紙とラベルの間
上下の余白	“0” としてください。
ラベルギャップ（下図E）	プリンタードライバーの［詳細オプション］ダイアログボックスの「ラベルギャップ」(65ページ)で設定してください（詳細はオンラインマニュアル参照）。

リストバンドBタイプ／Nタイプに印刷する場合は、ラベルギャップは［35］（3.5mm）に設定します。



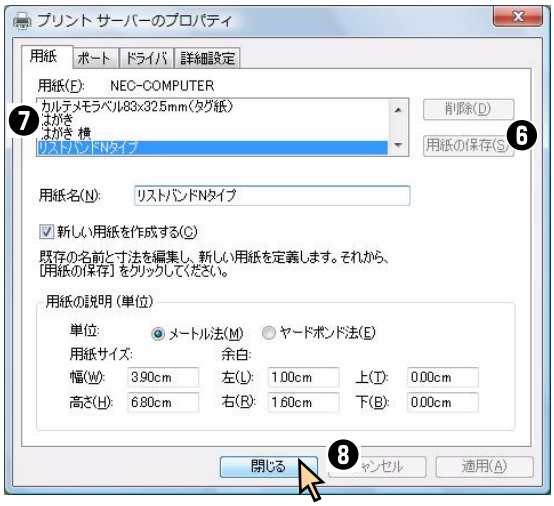
❻［用紙の保存］をクリックします。

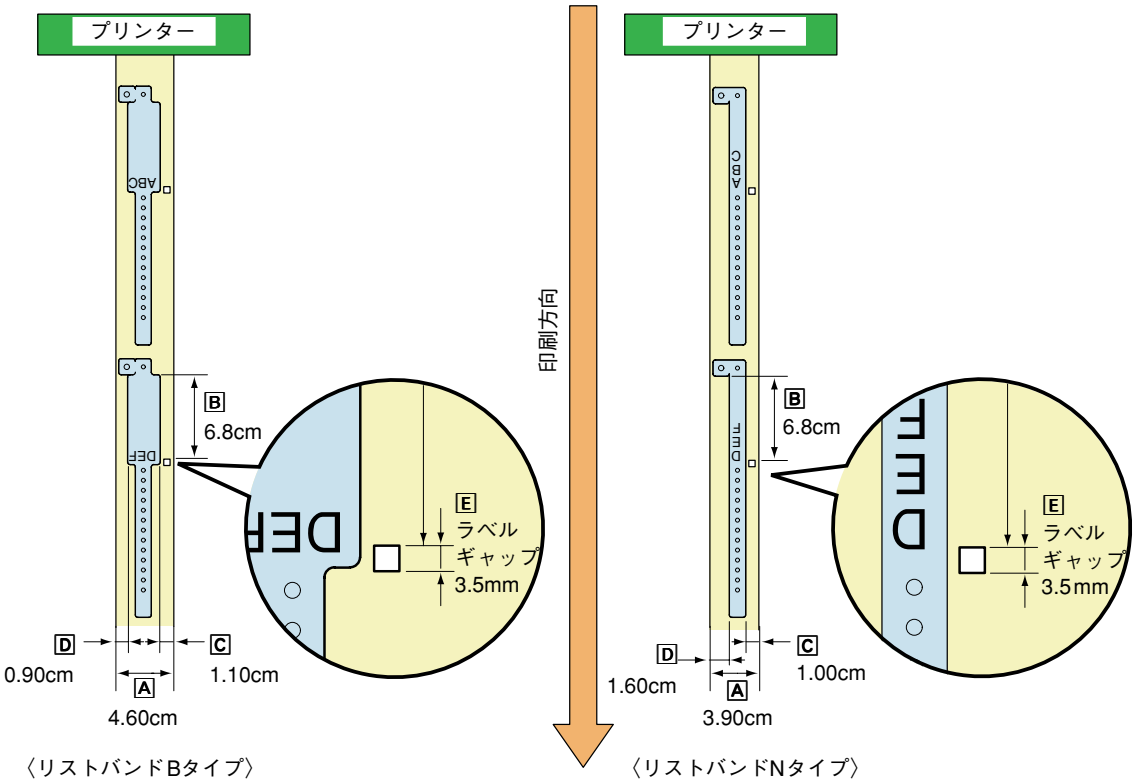
チェック

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

❼［用紙］一覧に新しい用紙が表示されたことを確認します。

❽［閉じる］をクリックします。



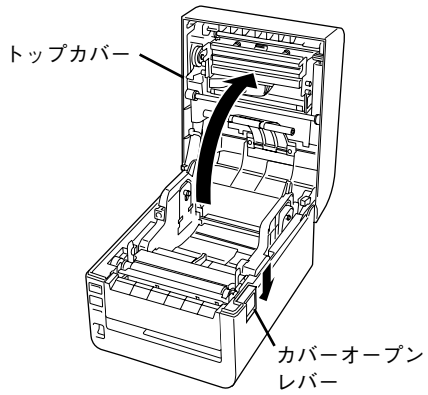


〈リストバンドBタイプ〉　〈リストバンドNタイプ〉

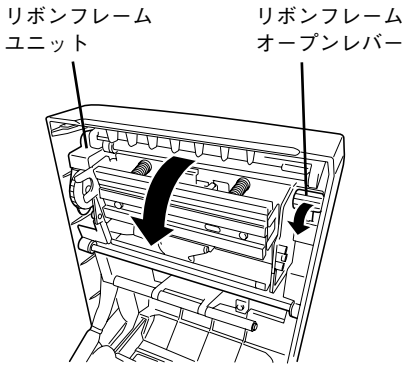
本プリンターがサポート（2011年7月現在）しているリストバンドでの設定例です。サポートしているその他のリストバンドについても上図を参考に登録してください。

リボンを取り付ける

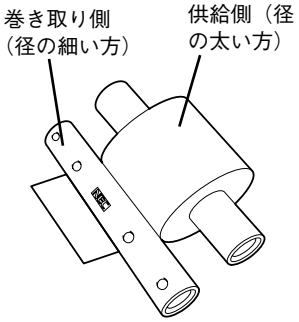
❶ カバーオープンレバーを押して、トップカバーを開きます。



❷ リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



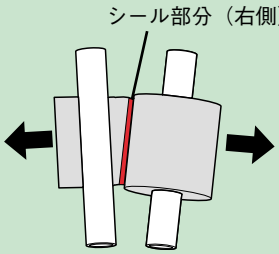
❸ リボンを袋から取り出します。



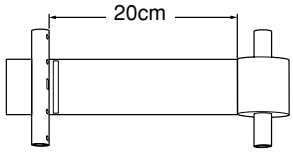
❹ 両手で供給側のシール部分（右側）を離します。

チェック

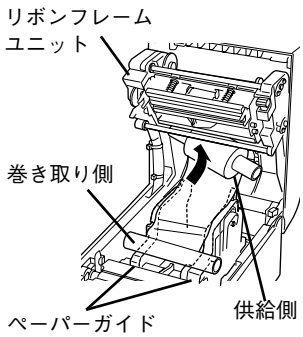
巻き取り側のシール部分は離さないでください。

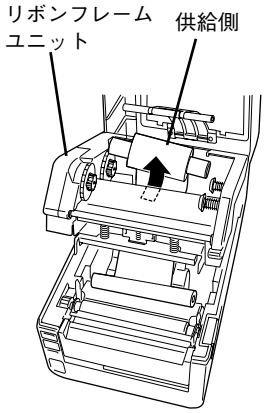


❺ 透明な部分を20cm位広げます。



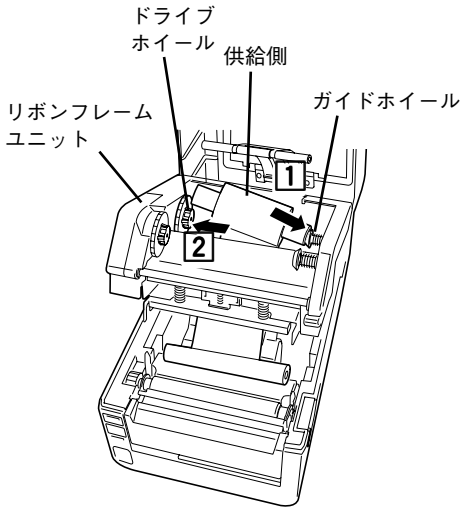
❻ 巻き取り側をペーパーガイド手前の上に仮置きして、供給側をリボンをリボンフレームユニットの下をくぐらせます。





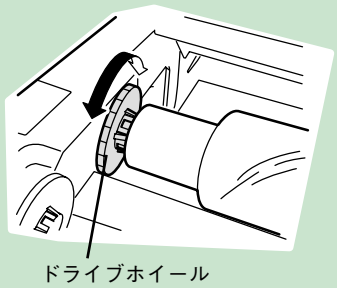
❼ **右側のガイドホイールにリボンを取り付けます。**

❽ **左側のドライブホイールにリボンを取り付けます。**



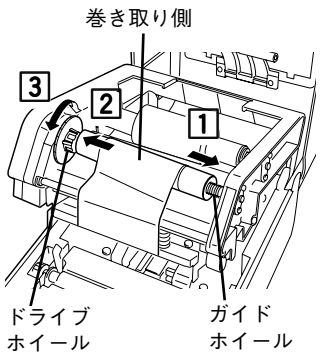
チェック

ドライブホイールに入らないときは前後に回しながら入れます。

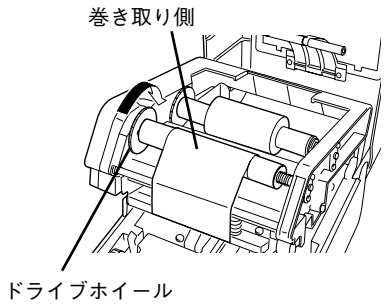


❾ **リボンの巻き取り側をガイドホイールに取り付けた後、ドライブホイールに取り付けます。**

前述の「チェック」と同じようにドライブホイールに入れづらいときは前後に回しながら入れてください。



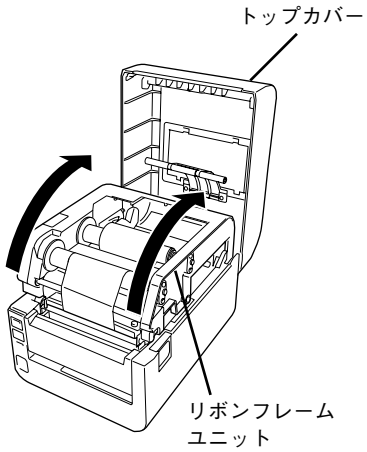
❿ **ドライブホイールをプリンター奥側へ回して印刷できる部分（黒い部分）までリボンを巻き取ります。**



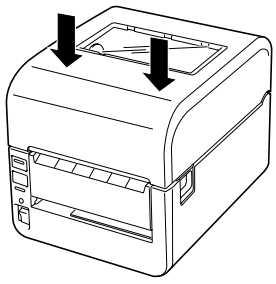
チェック

途中まで使用していたリボンを取り付ける場合は、たるみがなくなるまで巻き取ってから使用してください

⓫ **リボンフレームユニットをトップカバーにロックします。**



⓬ **トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。**

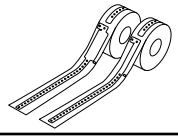
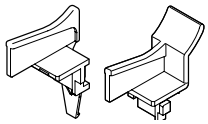


以上で完了です。

リストバンド（用紙）をセットする

センターリブの確認

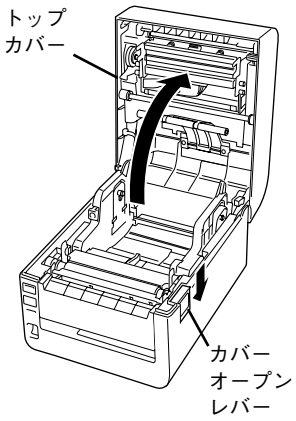
リストバンドは外巻き用のセンターリブを使用します。下表を参照してプリンターに取り付けているセンターリブを確認してください。

用　紙	センターリブ	色	説　明
外巻き 		ブラック または ホワイト	装置にどちらかが装着されています。

リストバンドのセット

❶ プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。

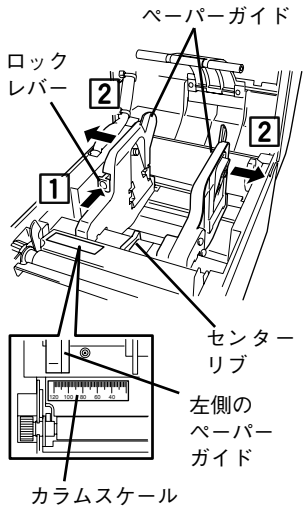
❷ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



❸ ロックレバーを押しながらペーパーガイドを広げます。

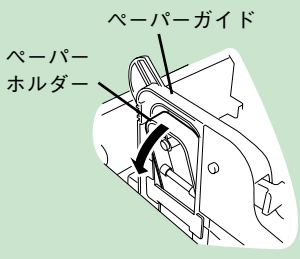
カラムスケールを参照して、左側のペーパーガイドの内側をセットするリストバンドの幅と同じ値のメモリに合わせます。

左右のガイドは中央にあるセンターリブを基準に両側に伸縮します。



チェック

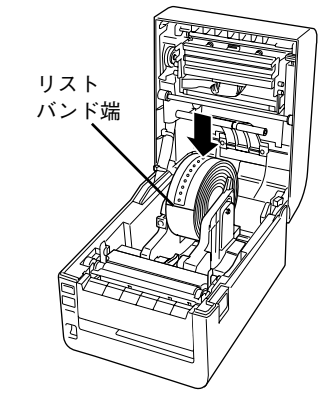
左右のペーパーガイドにあるペーパーホルダーを手で外側に倒します。

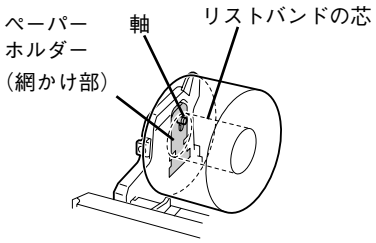


❹ **リストバンド端が手前側にくるようにしてリストバンドを持ちます。**

❺ **リストバンドをそのまま垂直に下ろしてペーパーホルダーの軸がリストバンドの芯に入るようにセットします。**

ペーパーホルダーが内側に格納されます。格納されなかったり、軸から外れたりした場合はもう一度やり直してください。

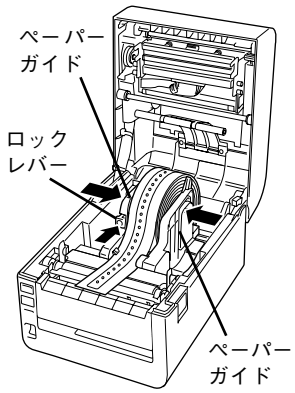




チェック

〈リストバンドのロール外径が小さい場合〉
ロールの芯にペーパーホルダーの軸が入らない場合はペーパーホルダーを外側から押してセットしてください。

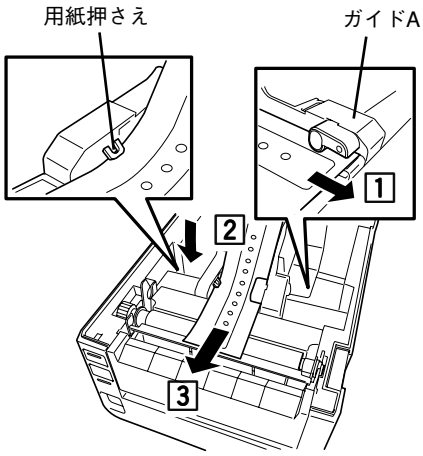
❻ **ロックレバーを押しながらペーパーガイド内側とリストバンドがぴったりと付くように幅を合わせます。**



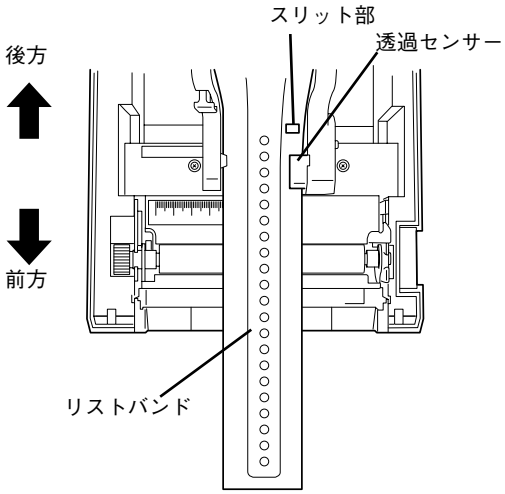
チェック

リストバンドが左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

❼ **リストバンドをガイドAの下にくぐらせた後（1）、用紙押さえの上からリストバンドを押して（2）、用紙押さえの下にリストバンドが通るようにセットします（3）。**



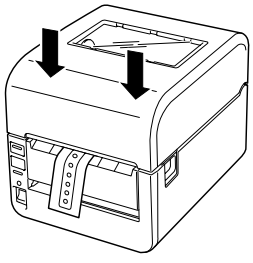
❽ **リストバンドのスリット部が透過センサーの位置より後方になるように位置を調整します。**



チェック

- スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1枚損失します。
- リストバンドが左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

❾ **トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。**



以上でリストバンドのセットは完了です。

センサーしきい値を調整する

リストバンドを印刷する際、印刷位置を一定に保つために透過センサーを使用します。透過センサーによりリストバンドのスリット部でリストバンドの頭出し位置を検出します。

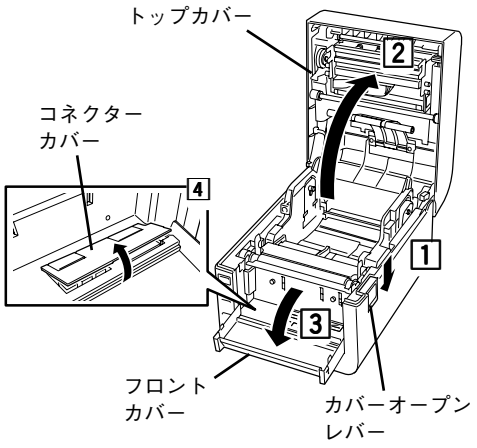
チェック

- NEC推奨のリストバンドBタイプまたはNタイプを交換した場合は、初めに使用するタイプを1回センサーしきい値調整するだけでリストバンドを交互に使用することができます。
- リストバンドの種類によってスリット部の位置や厚さが異なる場合があります。使用するリストバンドを変更した場合は、センサーしきい値の調整をしてください。

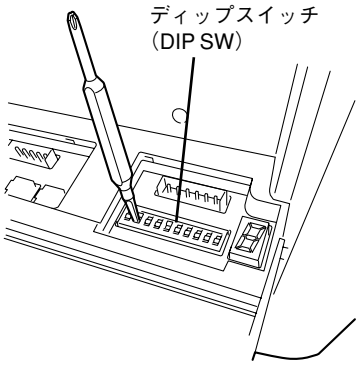
ここでは、使用するリストバンドに合わせたセンサーのしきい値調整をする手順を説明します。

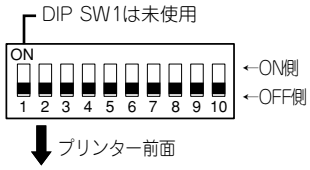
❶ プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

❷ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



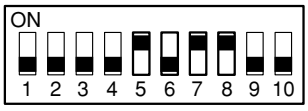
本体内部には、プリンターの設定を変更するディップスイッチ（DIP SW）があります。装置に添付の調整ドライバーを使ってスイッチを変更してください。





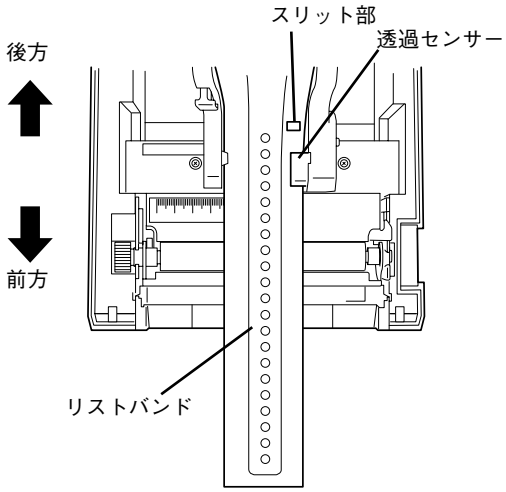
❸ 装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SWの設定を変更します。

DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。
DIP SW3と4をOFFにして連続印刷に設定します。
DIP SW5をONにして熱転写方式にします。
DIP SW6をOFF、DIP SW7をONにして透過センサーにします。



❹ リストバンドをセットします。

リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するよう調整してください。

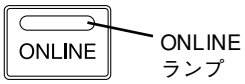


❺ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

❻ プリンターの電源スイッチをONにします。

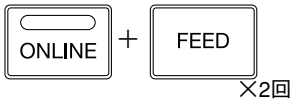
❼ ONLINEスイッチを押してプリンターをオフライン状態にします。

ONLINEランプが消灯した状態です。



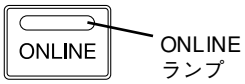
❽ ONLINEスイッチを押しながらFEEDスイッチを2回押して調整します。

リストバンドがフィードされます。フィード中にしきい値が調整されます。



❾ フィードが止まったら、ONLINE　スイッチを押してONLINE状態にします。

ONLINEランプが点灯した状態です。

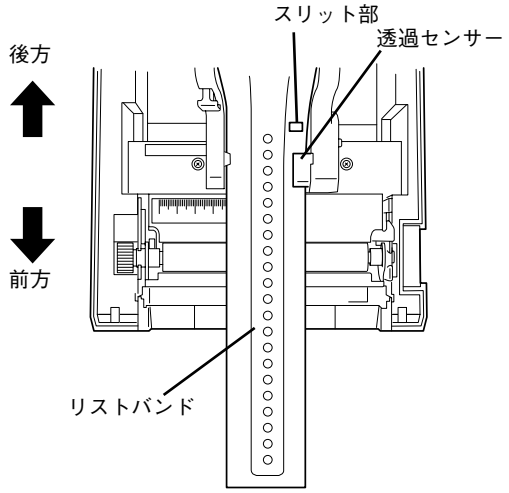


❿ フィードしたリストバンドを巻き取ります。

手で巻き取る場合は、電源をONにしたままトップカバーを開きます（ブザーが鳴ります）。その後、リストバンドを巻き取ります。

リストバンドを巻き取る際、リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するよう調整してください。

> **チェック**
>
> スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1枚損失します。



⓫ プリンターの電源をOFFにします。

⓬ DIP SWの設定を使用する前の設定に戻します。

センサーしきい値を調整する前の状態に戻す場合は、195ページを参照してください。

⓭ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

以上で設定は完了です。

コンピューターから印刷を実行すると、自動用紙先頭位置合わせ機能により、リストバンドの先頭から印刷を行うことができます。

> **チェック**
>
> しきい値が設定できなかった場合は、7セグLEDに“E”を表示し、ERRORランプが点滅します（ブザーを鳴らす設定をしている場合はブザーも鳴ります）。

連続印刷でリストバンドに印刷する

リストバンドはカッターモジュールでカットできません。カッターモデルやオプションのカッターモジュールでカットしないでください。リストバンドがカッター部に入り込んだり、カッターモジュールを破損したりするおそれがあります。
連続印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。

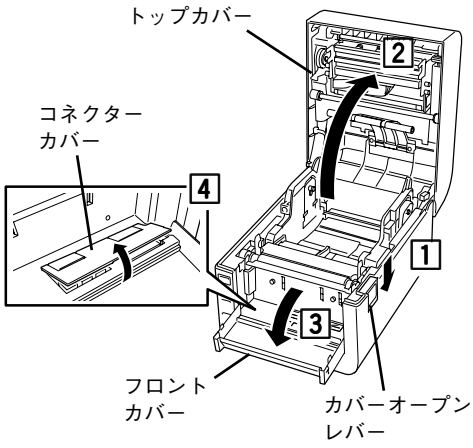
チェック

プリンターを動作させる際は必ずリストバンドをセットしてください。

プリンタードライバーの設定を使用する場合

❶ **電源をOFFにします。**

❷ **カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。**



❸ **DIP SWの設定を変更します。**

DIP SW8をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。
DIP SW10はお使いの環境に合わせて設定してください。



OFF：インターフェースボードを使用する
ON：USBインターフェースを使用する

❹ **コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。**

❺ **プリンターの電源スイッチをONにします。**

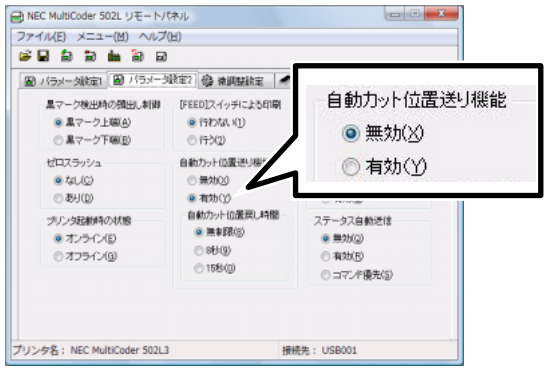
❻ **リストバンドをセットします。**

リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するよう調整してください（192ページの手順❽参照）。

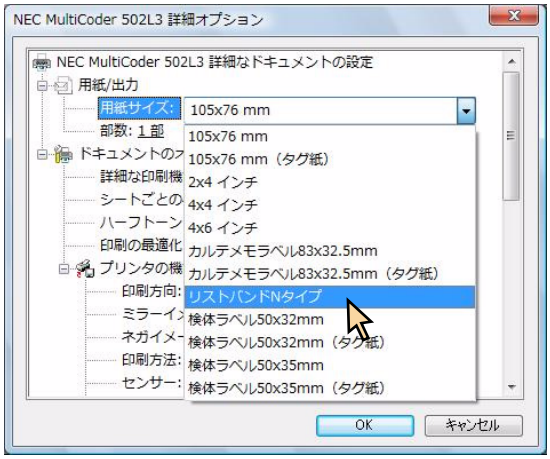
❼ **トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。**

❽ **リモートパネルを起動して、［自動カット位置送り機能］を［無効］にして、設定内容をプリンターに送信します。**

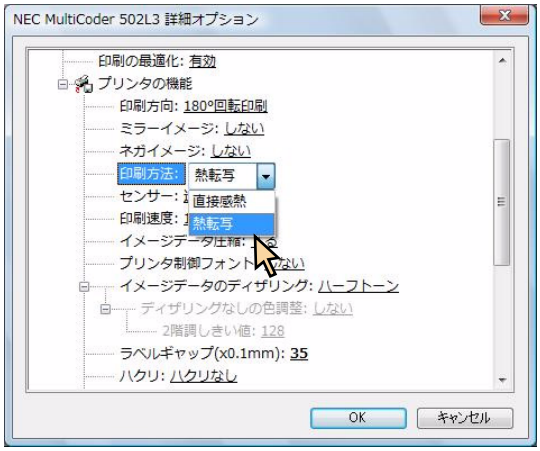
リモートパネルについては、「2章　リモートパネル」（103ページ）を参照してください。



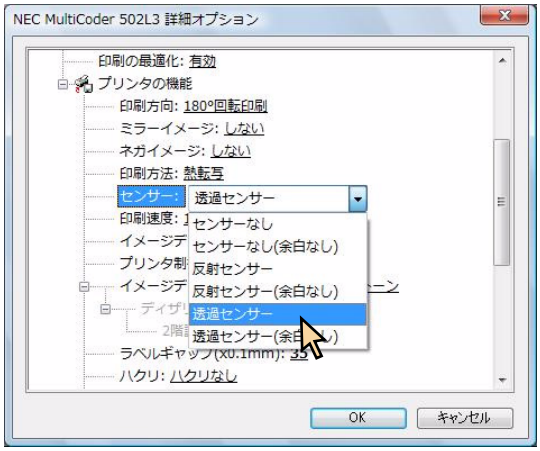
❾ **プリンタードライバーの［用紙サイズ］から使用するリストバンドに合ったユーザー定義用紙サイズを選択します。**



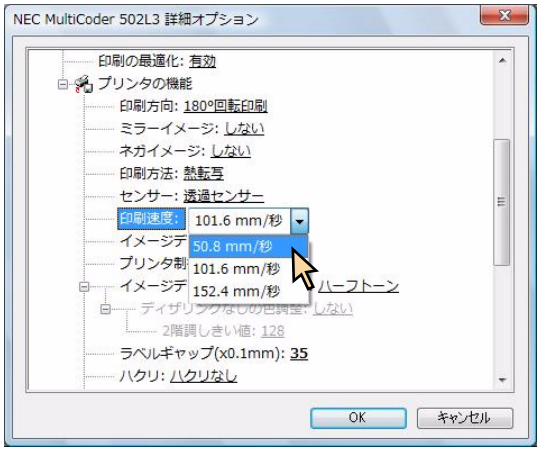
❿ **プリンタードライバーの[印刷方式]を[熱転写]にします。**



⓫ **プリンタードライバーの［センサー］を［透過センサー］にします。**

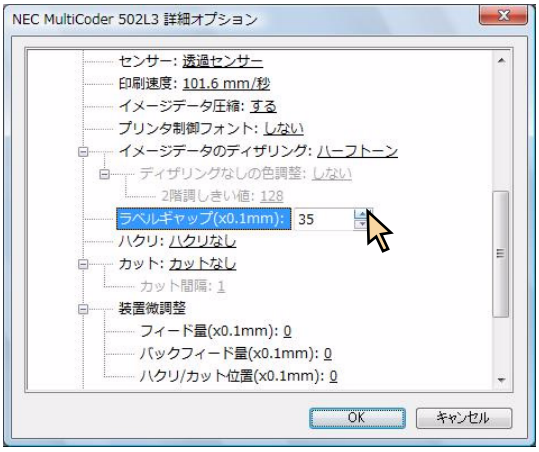


⓬ **プリンタードライバーの［印刷速度］は［50.8 mm/秒］に設定することを推奨します。**



⓭ **ラベルギャップの値を指定します。**

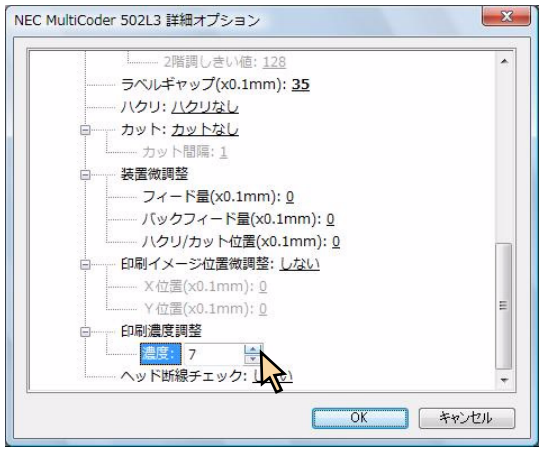
ラベルギャップの説明は、187ページの表の説明と図を参照してください。
なお、187ページのリストバンドへ印刷する場合のラベルギャップは［35］（3.5mm）に設定します。



⓮ **必要に応じて印刷濃度を設定します。**

推奨設定値は「7」です。
設定値はプリンタードライバーでの値と、リモートパネルまたは操作盤の調整ボリュームでの値の合計値です。

〈プリンタードライバーでの設定画面〉



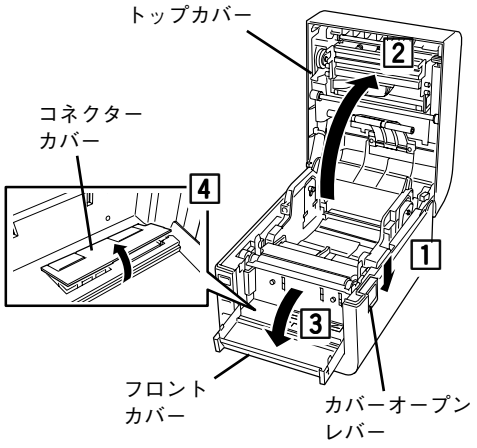
⓯ **コンピューターから印刷を行います。**

プリンタードライバーの設定を使用しない場合

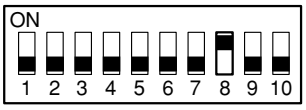
DIP SWで設定できる項目は、「印刷モード」「印刷方式」「センサー種別」です。その他の設定はプリンタードライバーで行ってください。

❶ **電源をOFFにします。**

❷ **カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。**



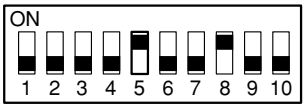
❸ **DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。**



❹ **DIP SW3と4をOFFにして連続印刷モードにします。**



❺ **DIP SW5をONにして熱転写方式にします。**



❻ **DIP SW6をOFF、SW7をONにして透過センサーにします。**



❼ **DIP SW10をお使いの環境に合わせて設定します。**



OFF：インターフェースボードを使用する
ON：USBインターフェースを使用する

❽ **コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。**

❾ **プリンターの電源スイッチをONにします。**

❿ **リストバンドをセットします。**

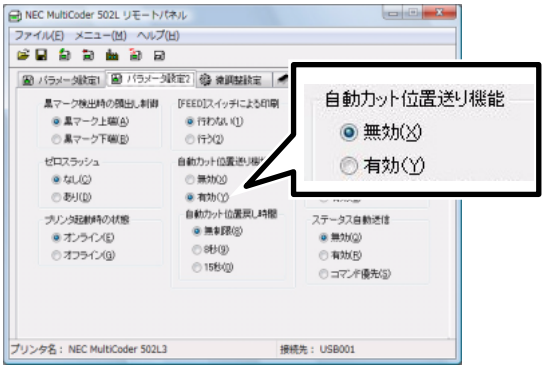
リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するよう調整してください（192ページの手順❽参照）。

⓫ **トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。**

用紙サイズとラベルギャップはプリンタードライバーで設定します。

⓬ **リモートパネルを起動して、［自動カット位置送り機能］を［無効］にして、設定内容をプリンターに送信します。**

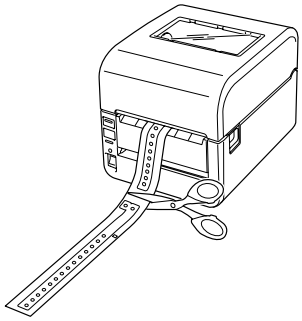
リモートパネルについては、「2章　リモートパネル」（103ページ）を参照してください。



⓭ **コンピューターから印刷を行います。**

必要に応じて印刷濃度を設定してください。

⓮ 印刷した後は、はさみで切り取ってください。



リストバンドの印刷濃度推奨設定

重要

「リストバンド」と「リストバンドリボン」の組み合わせでの推奨設定は「7」です。

印刷濃度はプリンタードライバーの「印刷濃度調整」（68ページ）で設定することができます。また、プリンター本体の基本設定をリモートパネル（118ページ）または操作部のボリュームによって変更することができます。

- 上記推奨設定は目安であり、リストバンドの表面加工やご使用条件により一致しない場合があります。十分な試し印刷をして、その印刷結果により印刷濃度の微調整を行ってください。
- 印刷結果がかすれる場合には印刷濃度を+方向に、つぶれる場合にはー方向に微調整を行ってください。
- 印刷速度などの設定値や、印刷パターンの変更により印刷結果が変わることがありますので、そのような場合には再度印刷濃度の微調整を行ってください。

チェック

「印刷濃度」の調整は、プリンターの「調整ボリューム」、プリンタードライバー、および装置に添付のソフトウェアCD-ROMにある「リモートパネル」からも設定できます。プリンタードライバーおよびリモートパネルの設定値と本ボリュームによる設定値の関係は次のとおりです。

- **調整ボリュームとプリンタードライバー**
  調整ボリュームとプリンタードライバーで設定したそれぞれの値の合計が設定値となります。切り替えはDIP SW9（ON）で行います。値はDIP SW8（プリンタードライバー設定の有効／無効）の設定に関係なく合算されます。
- **リモートパネルとプリンタードライバー**
  リモートパネルとプリンタードライバーで設定した値を加えた合計が設定値となります。切り替えはDIP SW9（OFF）で行います。値はDIP SW8（プリンタードライバー設定の有効／無効）の設定に関係なく合算されます。

メ　モ

7章 オプション

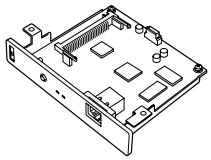
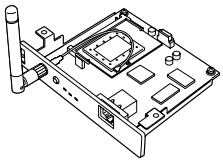
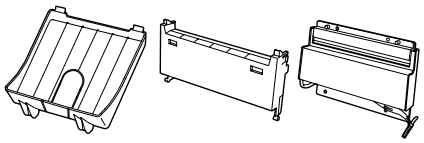
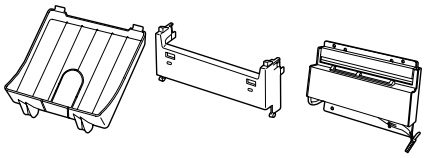
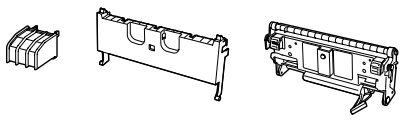
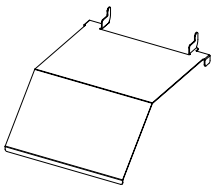
本プリンター用として提供される別売品（オプション）により、本プリンターの機能を拡張させることができます。

オプションを装着できる装置と標準でオプションが装着済みの装置があります。各モデルについてはユーザーズマニュアルを参照してください。

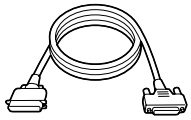
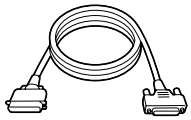
オプションの取り付け、取り外しをお客様ご自身で行わない場合はお買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。有償で対応します。

オプションのプリントサーバー（LANボード、無線+LANボード）、カッターモジュール、およびハクリモジュールの取り付け／取り外しをお客様ご自身で行わない場合はお買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。有償で対応します。

オプションの紹介

形　状	品　名	説　明	参照ページ
	PR-NP-08 プリントサーバー （LANボード）	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース。 TCP/IPのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバーです。	プリントサーバーに添付のマニュアル
	PR-NP-09 プリントサーバー （無線+LANボード）	IEEE 802.11b/g準拠Ethernet（無線LAN）インターフェース。 TCP/IPなどのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバー（無線LAN）です。 有線 LAN のポートも装備しています。IEEE 802.3準拠Ethernet（有線LAN）インターフェース。TCP/IPのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバーです。	プリントサーバーに添付のマニュアル
	PR-T500L-01 カッターモジュール	ラベル紙を適切な位置で自動的にカットするユニットです。ラベルのカットは、連続用紙から切り離す方法と、完全に切り離さずに中央をつなげておく方法があります。 ラベル糊（のり）部のカットには適していません。 MultiCoder 502L3シリーズ用。 （リストバンドはカッターモジュールではカットできません。印刷した後、はさみで切ってください。） 寿命（目安）：薄紙30万カット*1	204ページ
	PR-T500L-11 カッターモジュール	ラベル紙を適切な位置で自動的にカットし、連続用紙から切り離します。 ラベル糊（のり）部をカットするための専用カッターユニットです。 MultiCoder 502L3シリーズ用。（リストバンドはカッターモジュールではカットできません。印刷した後、はさみで切ってください。） 寿命（目安）： ラベル糊（のり）部13万カット*1	204ページ
	PR-T500L-02 ハクリモジュール	ラベルを自動的に台紙から剥離させます。 MultiCoder 502L3シリーズ用。 寿命（目安）：15km*1	210ページ
	PR-T500L-04 ペーパーテーブル（L）	ファンフォールド紙を送るときや接続しているケーブルを保護するための部品です。	216ページ

*1　寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

形　状	品　名	説　明	参照ページ
	PC-PRCA-01 プリンタケーブル	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）用パラレルインターフェースケーブルです。D-Sub25ピン・1.5m。	プリンターケーブルに添付の説明書
	PC-CA205 プリンタケーブル	PC98-NXシリーズ用パラレルインターフェースケーブルです。D-Sub25ピン・4m。	プリンターケーブルに添付の説明書

プリンターに内蔵することができるオプションには装置との組み合わせにより次の制限があります。

- カッターモジュールとハクリモジュールは同時に装着することはできません。
- プリントサーバー（LANボード）、プリントサーバー（無線LANボード）、パラレルインターフェース、またはRS-232Cインターフェースは同時に装着することはできません。

カッターモジュール

カッターの切れ具合が悪くなった場合はカッターモジュールが寿命に達した事を示します(カッターモジュールは有償交換部品です)。
取り付け取り外しなどの説明イラストはPR-T500L-01ですが、PR-T500L-11も同じです。
リストバンドはカッターモジュールでカットできません。カッターモデルやオプションのカッターモジュールでカットしないでください。リストバンドがカッター部に入り込んだり、カッターモジュールを破損したりするおそれがあります。

⚠警告

電源コードを抜くときはぬれた手で電源プラグを持たないでください。感電のおそれがあります。

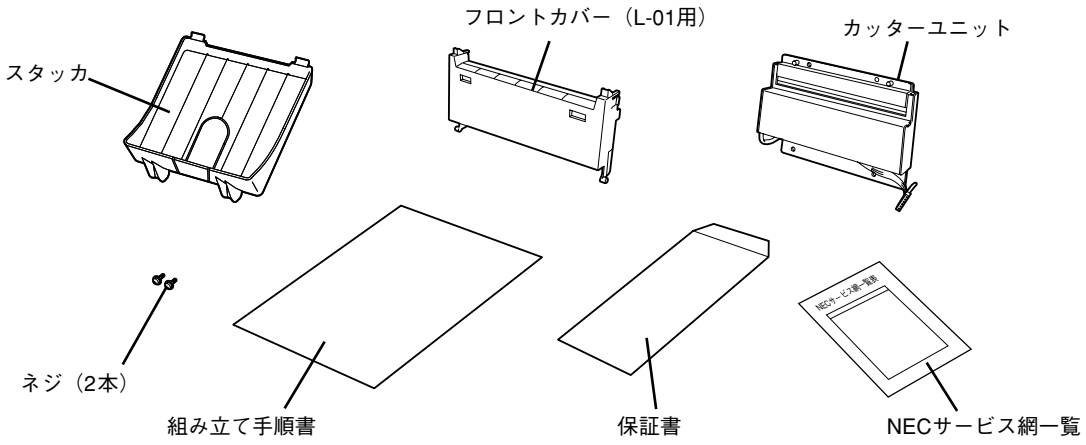
⚠注意

- 取り付け前にプリンターの電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。
- プリンターの動作中に子供が近づかないよう注意してください。誤って手を入れるおそれがあります。
- カッターモジュールには鋭い刃が組み込まれています。取り付けの際、カッターに直接触れないでください。手を切るなどのけがのおそれがあります。
- カバーで指や手を挟まないよう注意して作業してください。
- 印刷直後はサーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷をするおそれがあります。
- トップカバーは静かに開いてください。勢いをつけて開くと、プリンターが転倒してけがや周囲のものを破損するおそれがあります。
- 長時間印刷した後は、カッターユニットが高温になっています。カッターユニットなどプリンター内部には手を触れないでください。

付属品

カッターモジュールの梱包箱の中には次の部品が入っています。すべてがそろっていること、また破損などがないことを確認してください。万一、不足している場合や破損がある場合は、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。

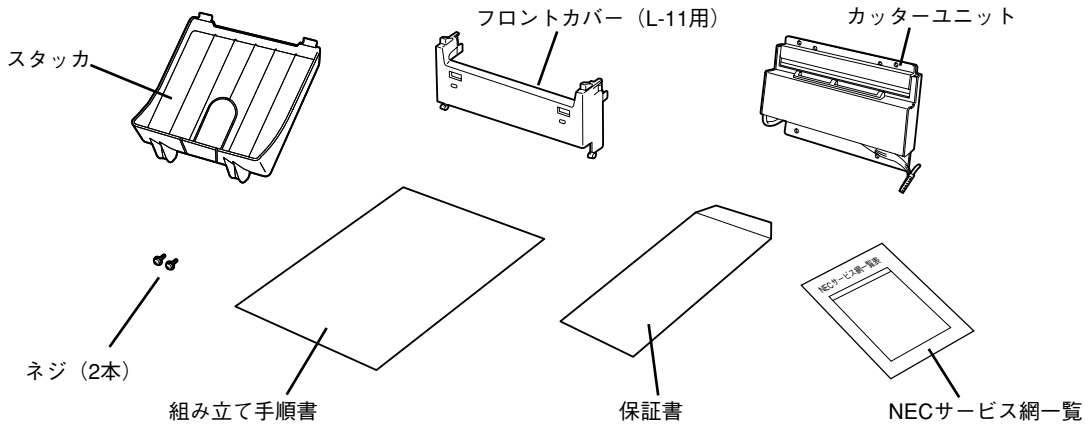
- PR-T500L-01
  本プリンターにカッターモジュールを取り付けると印刷済みのラベルを自動的にカットすることができます。ラベルのカットには連続用紙から切り離す方式（フルカット方式）と完全にカットせず中央部分をつなげてカットする方式（パーシャルカット方式）があります。また、カットせずに連続印刷としてもご利用いただける専用オプションです。ラベルの糊（のり）部をカットしないでください。



- PR-T500L-11
  ラベル糊（のり）部をカットするための専用カッターユニットです。フルカット方式を採用しているこのカッターモジュールを取り付けることで、プリンターは連続用紙から印刷済みのラベルを自動的にカットします。また、カットせずに連続印刷としてもご利用いただけます。パーシャルカットはできません。

  ＜仕様＞

切断方式：	スライド式／フルカット	用紙種類：	ラベル白紙
切断用紙幅：	28～110mm	寿命：	約13万カット（使用環境や使用状況により、多少異なる場合があります。）
用紙厚：	0.08～0.20mm		



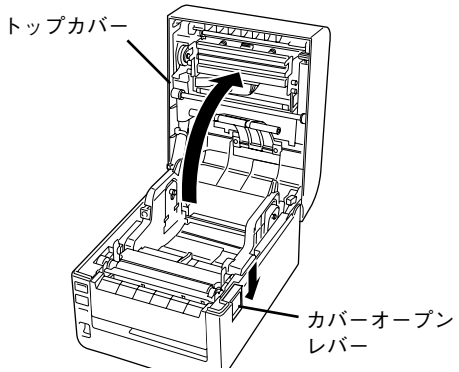
取り付け／取り外し手順

取り付け／取り外しの手順は次のとおりです。

❶ プラスドライバーを用意します。

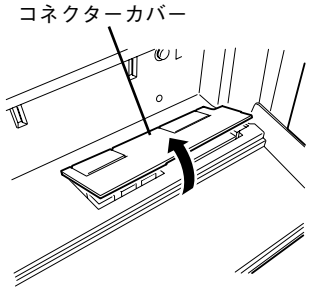
❷ プリンターの電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜きます。

❸ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

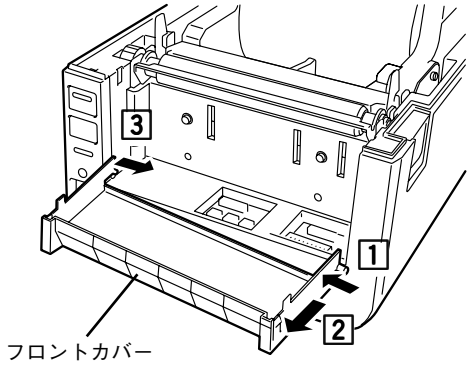


❹ 本体前面のフロントカバーを開きます。

❺ コネクターカバーを取り外します。



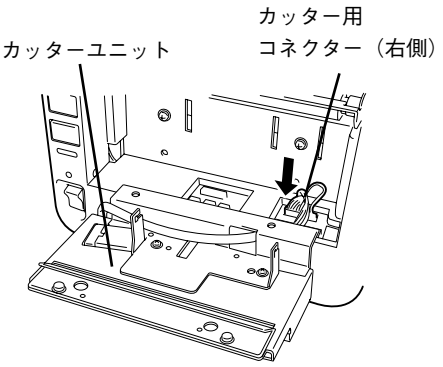
❻ 右側のフロントカバーの根元を内側に押して手前に引き出し、左側の突起部を右にずらして取り外します。



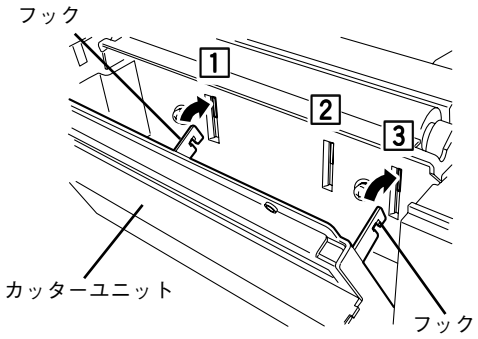
❼ カッターユニットのケーブルをプリンターのカッター用コネクター（右側）に接続します。

チェック

コネクターを逆向きに差さないでください。

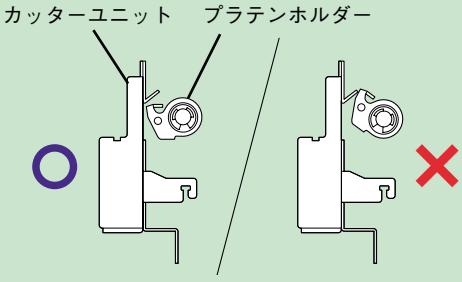


❽ フックをプリンターの1・3のフック穴に差し込みます。

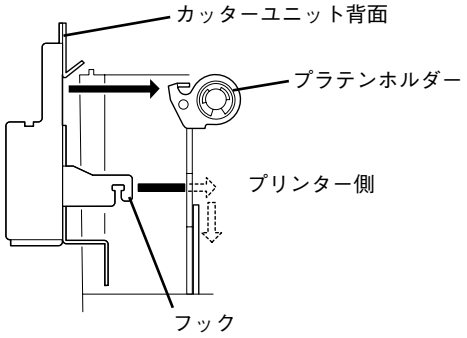


チェック

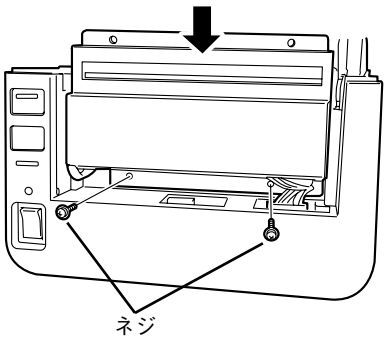
カッターユニットを取り付ける際は、プラテンホルダーが下がっていることを確認してください。プラテンホルダーが上がったままカッターユニットを取り付けると、トップカバーを正常に閉じることができません。



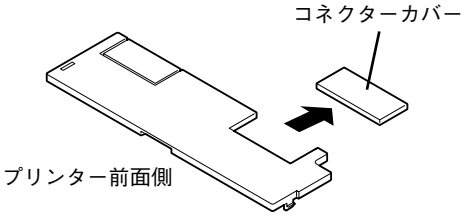
❾ **カッターユニット背面がプラテンホルダーに突き当たるまでフックを水平に差してから垂直に下げて取り付けます。**



❿ **カッターユニットを上から押さえ、ネジ2本をカッターユニット両端の穴に取り付けてカッターユニットを固定します。**

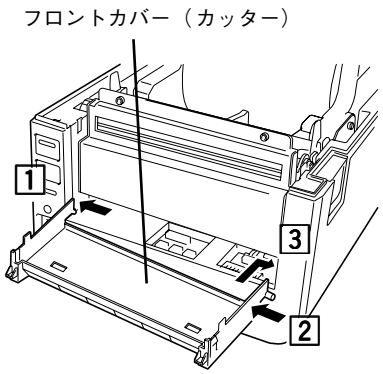


⓫ **コネクターカバーのカッターユニット用の溝を手ではぎ取り、ケーブル用穴を作ります。**

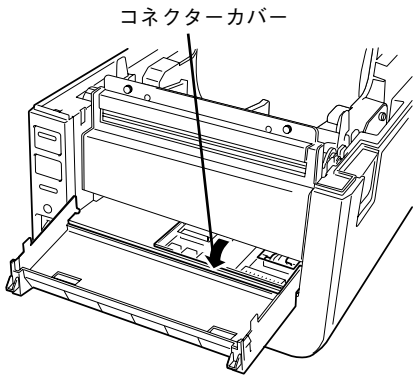


⓬ **フロントカバー（カッター）を取り付けます。**

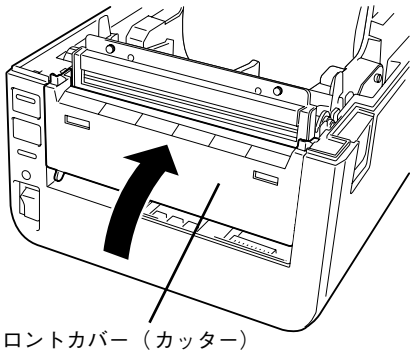
左側突起部をプリンターの穴に差し、右側の根元を内側に押しながら右側の突起部を差し込みます。



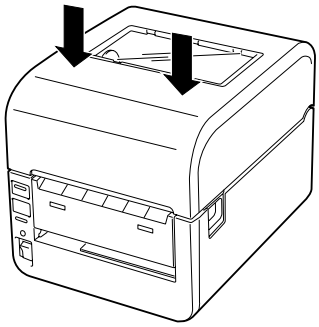
⓭ **コネクターカバーを取り付けます。**



⓮ **フロントカバー（カッター）を閉じます。**

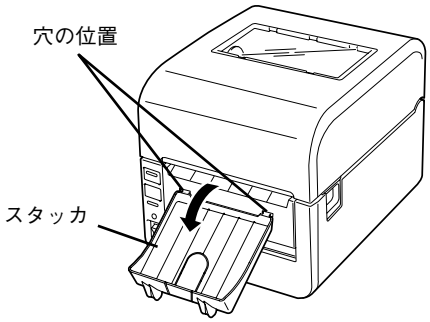


⓯ **トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。**



⑯ フロントカバー（カッター）の穴にスタッカを突き当て、手前に回転させて取り付けます。

使用する用紙によっては切り取られた用紙を正しくスタックする（積み重ねる）ことができない場合があります。その場合は、取り外して使用してください。



以上で取り付けは完了です。

取り外しは逆の手順で外してください。

用紙のセット

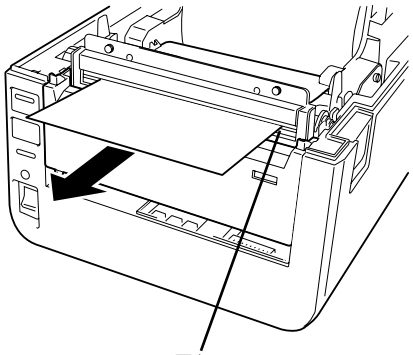
用紙をカッターモジュールに通します。用紙のセットについてはユーザーズマニュアルを参照してください。
カッタースタッカーを装着している場合は、取り外してからセットしてください。

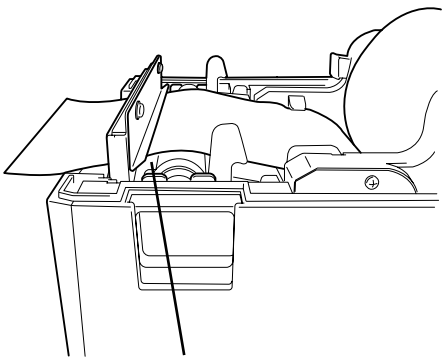
コンピューターからカット印刷を実行する場合の手順については、1章の「カット印刷」（82ページ）を参照してください。

❶ **プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。**

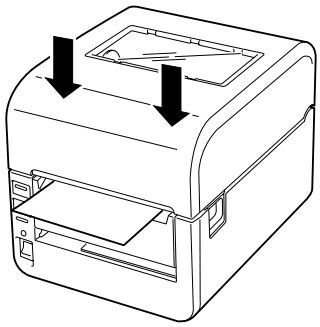
❷ **カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。**

❸ **用紙をプラテンホルダーとカッターユニットの用紙口の間に通し、引き出します。**





❹ **トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。**



以上で用紙のセットは完了です。

ハクリモジュール

ハクリモジュールを取り付けた本プリンターは印刷済みのラベルを自動的に台紙から剥離（はくり）し、台紙からはがしやすくします。また連続印刷としてもご利用いただける専用オプションです。
台紙からラベルが正常に剥離できなくなったり、各種ハクリ調整を行っても改善されなかったりする場合は、ハクリモジュールが寿命に達したことを示します（ハクリモジュールは有償交換部品です）。

警告

電源コードを抜くときはぬれた手で電源プラグを持たないでください。感電のおそれがあります。

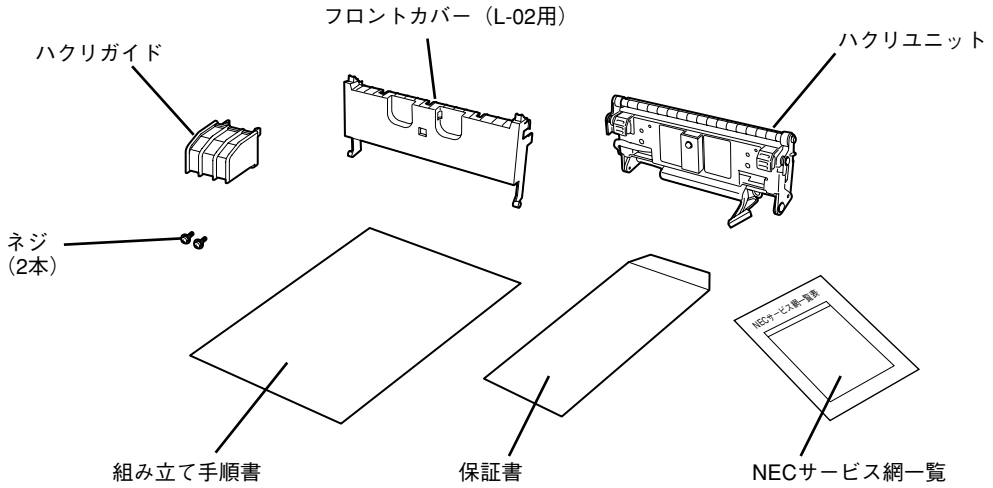
注意

- 取り付け前にプリンターの電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。
- カバーで指や手を挟まないよう注意して作業してください。
- 印刷直後はサーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷をするおそれがあります。
- トップカバーは静かに開いてください。勢いをつけて開くと、プリンターが転倒してけがや周囲のものを破損するおそれがあります。

付属品

ハクリモジュールの梱包箱の中には次の部品が入っています。すべてがそろっていること、また破損などがないことを確認してください。万一、不足している場合や破損がある場合は、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。

PR-T500L-02



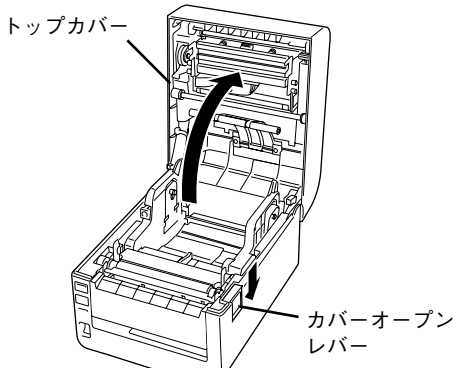
取り付け／取り外し手順

取り付け／取り外しの手順は次のとおりです。

❶ プラスドライバーを用意します。

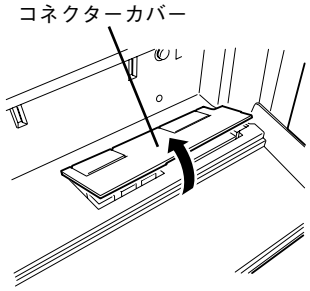
❷ プリンターの電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜きます。

❸ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

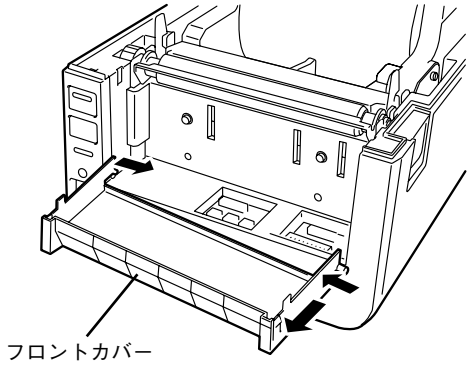


❹ 本体前面のフロントカバーを開きます。

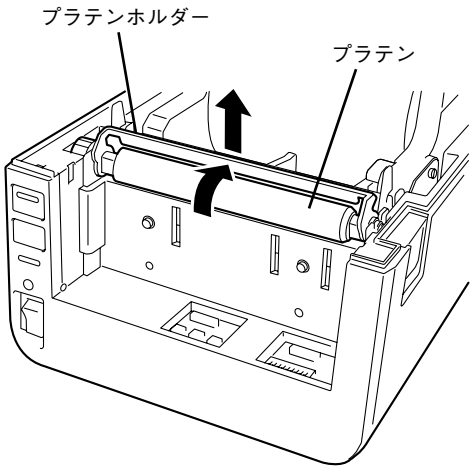
❺ コネクターカバーを取り外します。



❻ 右側のフロントカバーの根元を内側に押して手前に引き出し、左側の突起部を右にずらして取り外します。

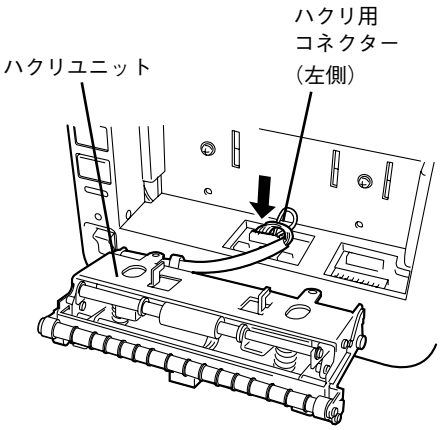


❼ プラテンホルダーを上に回してプラテンを外し、近くに仮置きしておきます。



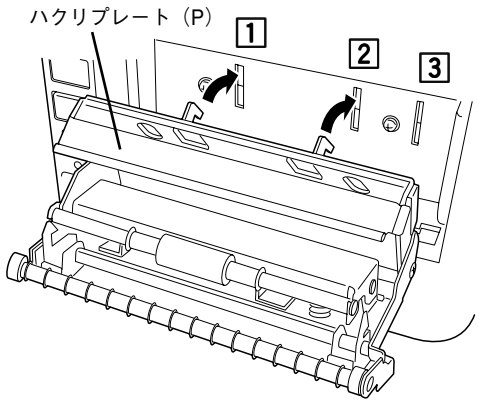
❽ ハクリユニットのケーブルをプリンターのハクリ用コネクター（左側）に接続します。

> **チェック**
>
> コネクターを逆向きに差さないでください。

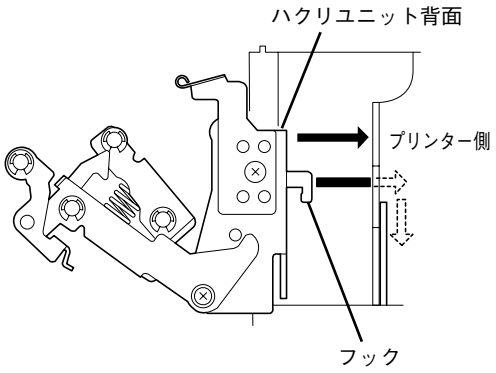


❾ **ハクリプレート（P）の両端を手で持ちながらフックをプリンターの1・2のフック穴に差し込みます。**

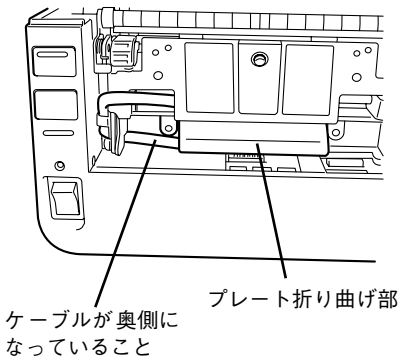
このときケーブルはハクリユニットのネジ穴の下を通し、手前側にしてください。



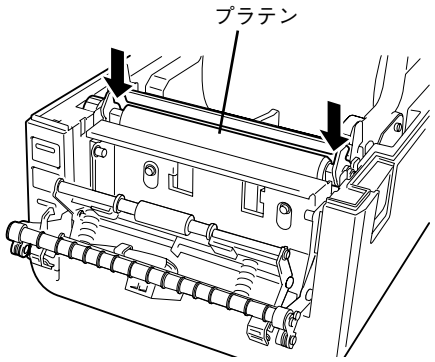
❿ **ハクリユニット背面がプリンター側に突き当たるまでフックを水平に差してから垂直に下げて取り付けます。**



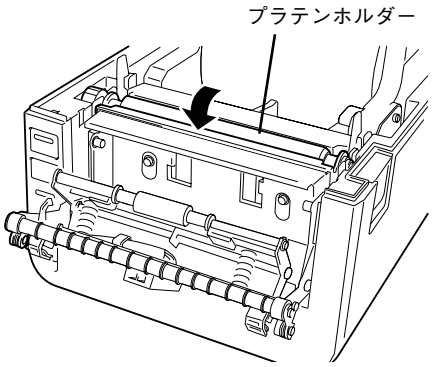
⓫ **ハクリユニットを差した後、ケーブルがネジ穴とプレート折り曲げ部の間に収まっていることを確認してください。**



⓬ **プラテンの垂直な面を手前にして軸受けに差し込みます。**



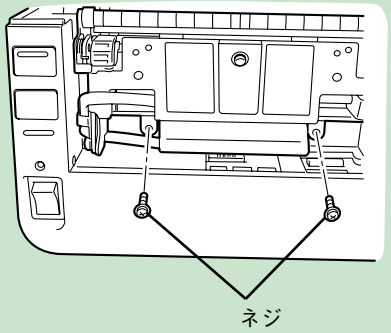
⓭ **プラテンホルダーを水平にします。**



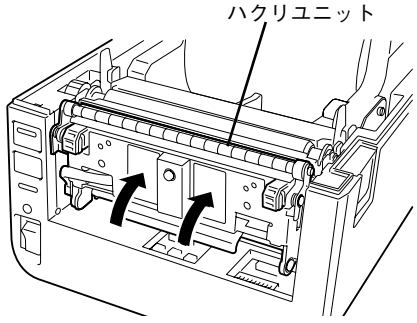
⓮ **ハクリユニットを手で軽く押さえながらネジ 2 本でハクリユニットを固定します。**

チェック

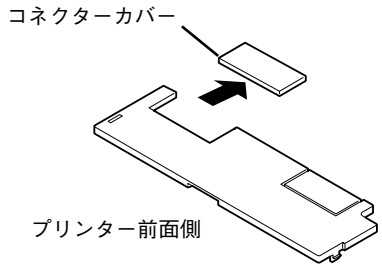
ケーブルを挟まないように注意しながら取り付けてください。



⓯ **「PUSH閉じる」と記されたラベル部（2か所）を押してハクリユニットを確実に閉じます。**

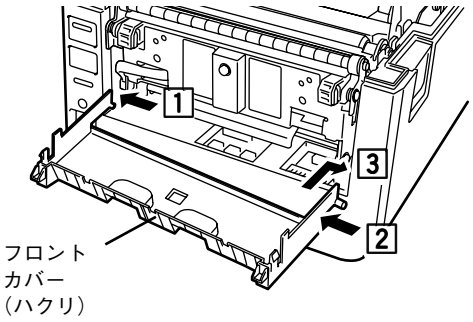


⑯ **コネクターカバーのハクリユニット用の溝を手ではぎ取り、ケーブル用穴を作ります。**

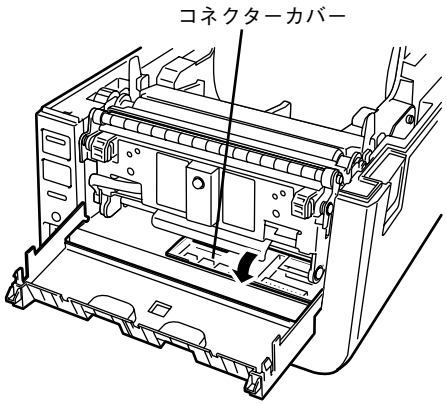


⑰ **フロントカバー（ハクリ）を取り付けます。**

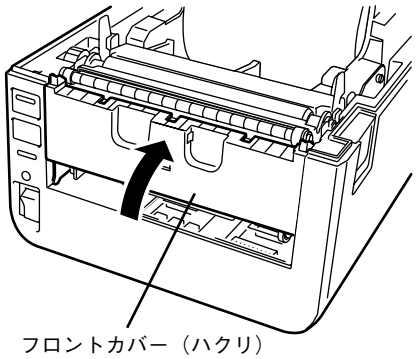
左側突起部をプリンターの穴に差し、右側の根元を内側に押しながら右側の突起部を差し込みます。



⑱ **コネクターカバーを取り付けます。**

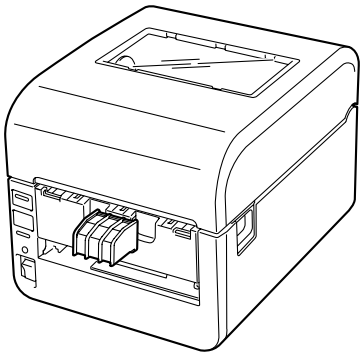


⑲ **フロントカバー（ハクリ）を閉じます。**



⑳ **トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。**

㉑ **フックを引っ掛けてハクリガイドを取り付けます。**



チェック

使用する用紙によっては剥離されたラベルがはがしにくくなる場合があります。その場合は、取り外してください。

以上で取り付けは完了です。実際に使用する前に、リボンを使った印刷をする場合はユーザーズマニュアルの「7 リボンを取り付ける」を参照して準備を済ませておいてください。
なお、取り外しは逆の手順で外してください。

用紙のセット

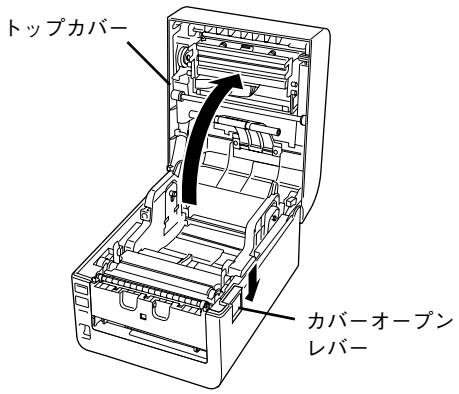
用紙をハクリモジュールに通します。用紙のセットについてはユーザーズマニュアルの1章「8 用紙をセットする」を参照してください。用紙の通し方にはハクリ印刷の場合と連続印刷の場合があります。
ハクリガイドを装着している場合は、取り外してからセットしてください。

コンピューターからハクリ印刷を実行する場合の手順については、1章の「ハクリ印刷」（87ページ）を参照してください。

ハクリ印刷の場合

❶ **プリンターの電源スイッチを押して、電源をONにします。**

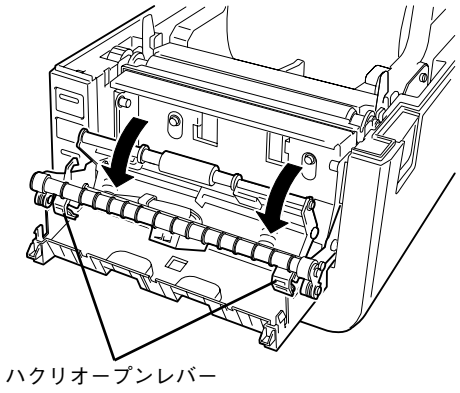
❷ **カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。**



❸ **用紙先端から何枚かのラベルをはがし、台紙だけの部分を約200mm用意します。**

❹ **フロントカバー（ハクリ）を開きます。**

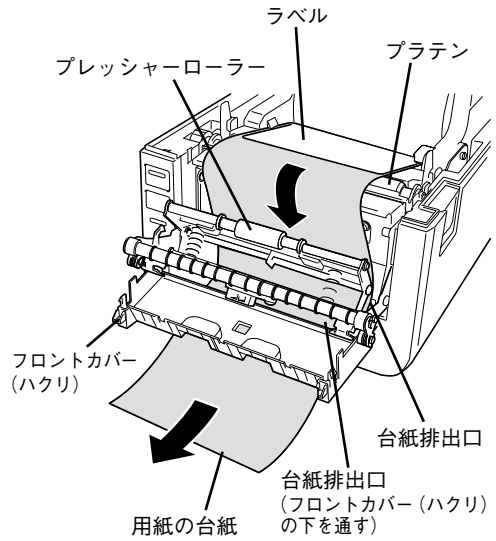
❺ **ハクリオープンレバーを押してハクリユニットを開きます。**



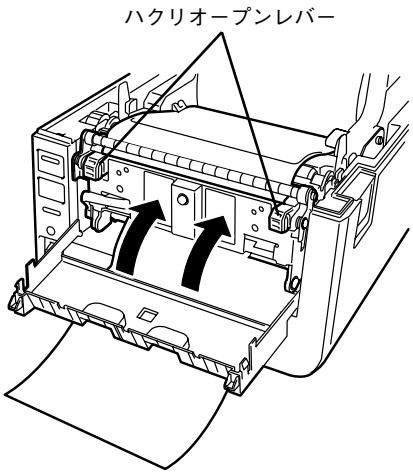
❻ **用紙をプレッシャーローラーと台紙排出口の間に通します。**

❼ **フロントカバー（ハクリ）の下の台紙排出口に通します。**

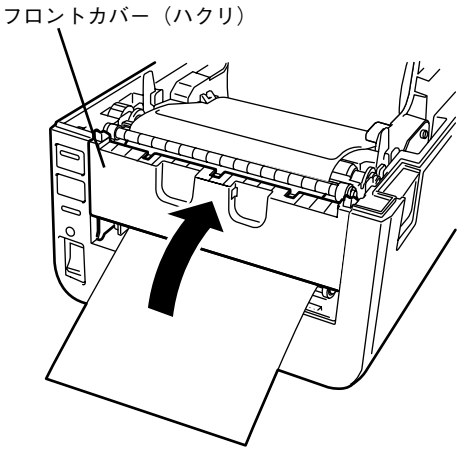
このときラベルがプラテンの上にくるようにセットします。



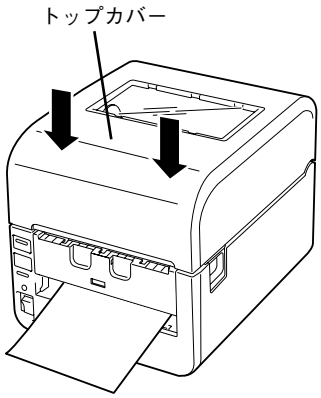
❽ **「PUSH閉じる」と記されたラベル部（2か所）を押してハクリユニットを確実に閉じます。**



❾ フロントカバー（ハクリ）を閉じます。



❿ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。

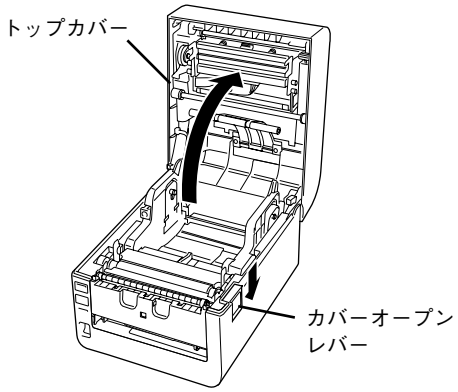


以上で用紙のセットは完了です。

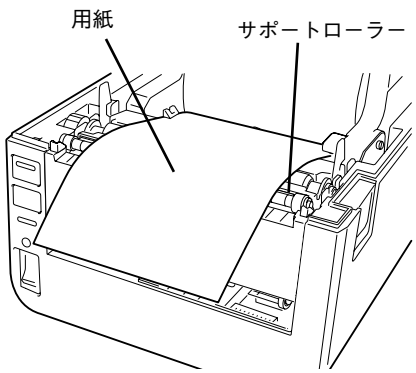
ハクリモジュールを付けたまま連続印刷の場合

❶ プリンターの電源スイッチを押して、電源をONにします。

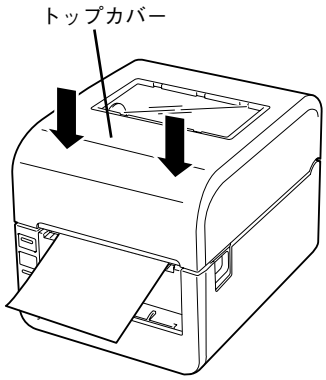
❷ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



❸ 用紙をサポートローラーの上に通します。



❹ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。



以上で用紙のセットは完了です。

ペーパーテーブル（L）

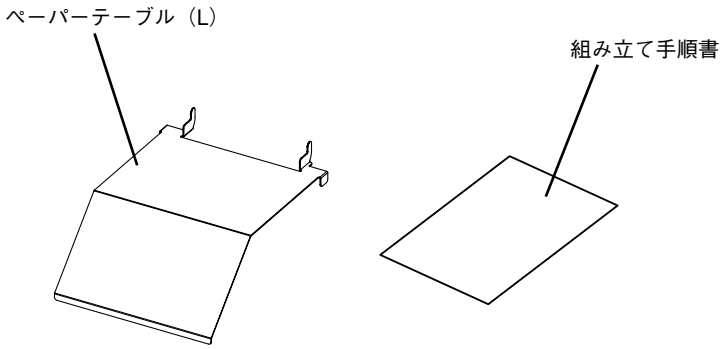
ペーパーテーブル（L）はファンフォールド紙（折りたたまれた状態の用紙）をスムーズに送るための専用オプションです。各種ケーブルが紙送りのじゃまになる場合にもご利用ください。
ロール紙を使用する場合も取り付けて利用することができます。

⚠注意

ペーパーテーブル（L）で手を切らないよう取り扱いには十分に注意してください。

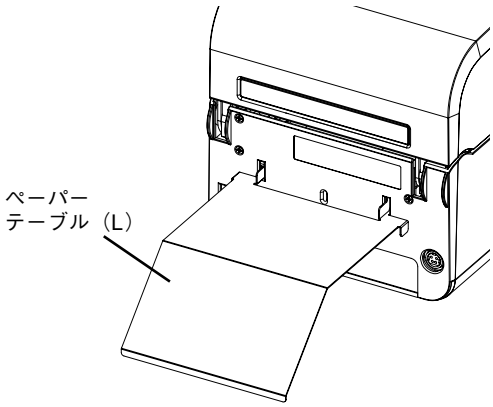
付属品

ペーパーテーブル（L）の梱包箱の中には次の部品が入っています。すべてがそろっていること、また破損などがないことを確認してください。万一、不足している場合や破損がある場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。



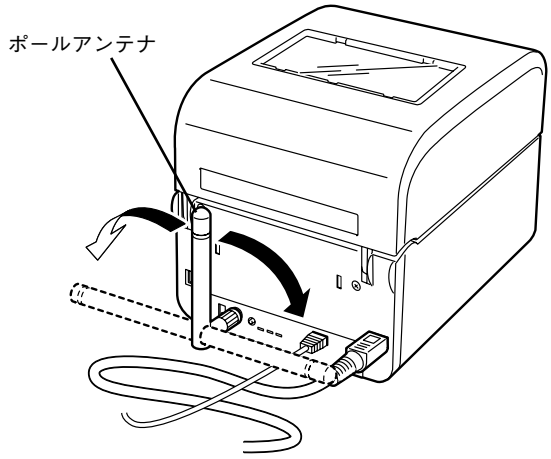
取り付け／取り外し手順

ペーパーテーブル（L）はプリンターの背面に差し込んで使用します。詳細な手順は次ページのとおりです。

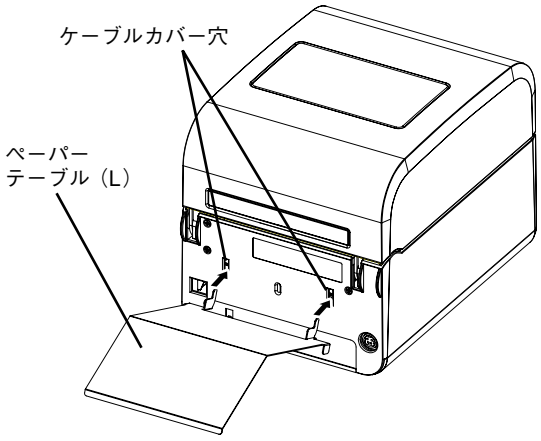


❶ 電源コードやインターフェースケーブルの接続が完了していることを確認します。

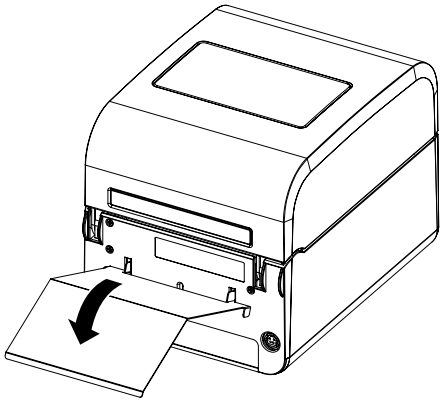
❷ 無線LANを装着している場合は、ポールアンテナを横に倒します。



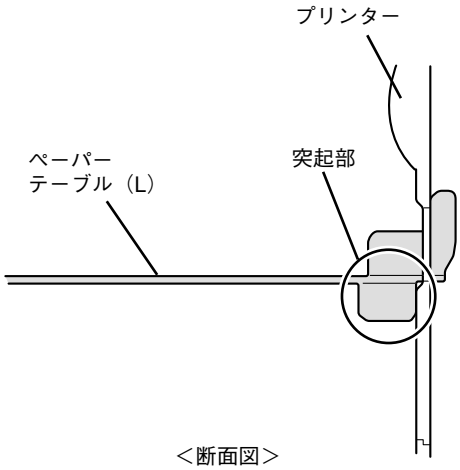
❸ プリンター背面のケーブルカバー穴（2か所）にペーパーテーブル（L）の突起部を斜めから差し込みます。



❹ 下側へ回転させるように向きを変えます。



❺ ペーパーテーブル（L）の突起部（左右各1か所）がプリンターに突き当たるようにして安定させます。



＜断面図＞

以上で組み立ては完了です。取り外しは取り付けの逆の手順を行ってください。

メ　モ

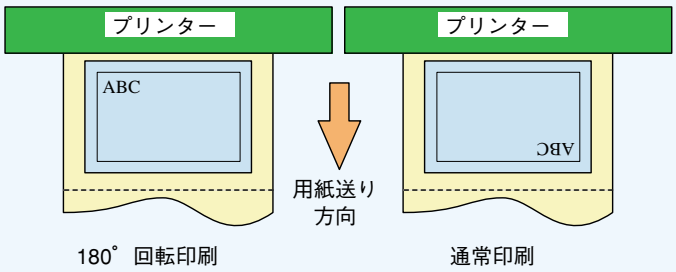
8章
用紙規格と印刷範囲

この章では、本プリンターが使用できる用紙と印刷方式別に本プリンターが保証する印刷範囲、用紙長の微調整の方法などについて説明します。用紙規格と印刷範囲に対する印刷品質の保証範囲を230ページに記載しています。
リストバンドについては、「リストバンドの印刷方法」(183ページ) を参照してください。

また、プリンタードライバーの用紙サイズについては「1章　ユーザー定義用紙サイズの登録」(72ページ) を参照してください。

用紙の排出方向と印刷イメージ（向き）

222ページ以降の図中の「原点」は、印刷方向によって異なります。また、用紙の種類に関わらず、すべてのラベルとタグに適用されます。



180° 回転印刷 ：プリンター前面から見て正しく読める向きでの印刷。
通常印刷 ：印刷データの先頭から印刷し、プリンター前面から見て印刷結果がさかさまになる印刷。

自動用紙先頭位置合わせ機能

トップカバーを開けて用紙交換後、コンピューターから印刷すると、設定したセンサー〔透過センサーまたは反射センサー〕を使用してプリンターは自動で用紙先頭位置を合わせてから印刷を行います。
用紙交換後、FEEDスイッチを押して用紙先頭位置を合わせる必要がありません。用紙先頭位置が合っているかどうかを意識せずに印刷を行うことができます。

チェック

- プリンターの電源をOFFにしてから、トップカバーを開けて用紙交換をしたときは、FEEDスイッチで用紙を送って先頭位置を合わせてください。
- 「リモートパネル」（103ページ）で機能の有効／無効を切り替えることができます。
- プリンタードライバーやDIP SWで用紙頭出しセンサーを「センサー無視」に設定しているときは、本機能は無効になります。

使用できる用紙

本プリンターで使用できる用紙は下表に示すラベル紙とタグ紙の2種類です。
各種材質、サイズ、加工仕様、印刷仕様に対応しています。詳細はMultiCoderのホームページ（http://www.nec.co.jp/products/label）を参照するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

印刷方式	品　名	説　明
感熱	一般感熱紙	安価な感熱紙で、ラベルとタグを用意しています。
	耐保存感熱紙	保存性に優れたラベルです。
	合成紙	合成樹脂を主原料としたパルプを使用しないラベルです。
熱転写	コート紙	安価な熱転写用のラベルです。
	タグ紙	安価な熱転写用のタグです。
	合成紙	合成樹脂を主原料としたパルプを使用しないラベルです。
	白PET	PETフィルムのラベルです。
	銀PET	

重要

- 糊（のり）部をカットする場合は、PR-T500-L11をご使用ください（「カッターモジュール」（204ページ）参照）。
  糊（のり）部をカットしない場合は、PR-T500-L01をご使用ください（「カッターモジュール」（204ページ）参照）。
  なお、ラベルの糊（のり）部をカットしないでください。）
- 本プリンターはNECが指定する用紙を使用時に、印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の用紙を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、用紙はNEC指定品のご使用をお勧めします。
- 黒ベタおよび黒の面積が大きいパターンの連続印刷を行うと、スループットが遅くなったり、印刷品位が損なわれたり、リボンが切れたりする場合がありますので行わないでください。
- サーマルヘッドの高温エラー“H”が起きた後、サーマルヘッドの温度が印刷できる温度まで下がると、印刷は自動的に再開されますが、印刷を再開した印字位置から約20mmの部分の印刷品位が損なわれることがあります。

リボン一覧

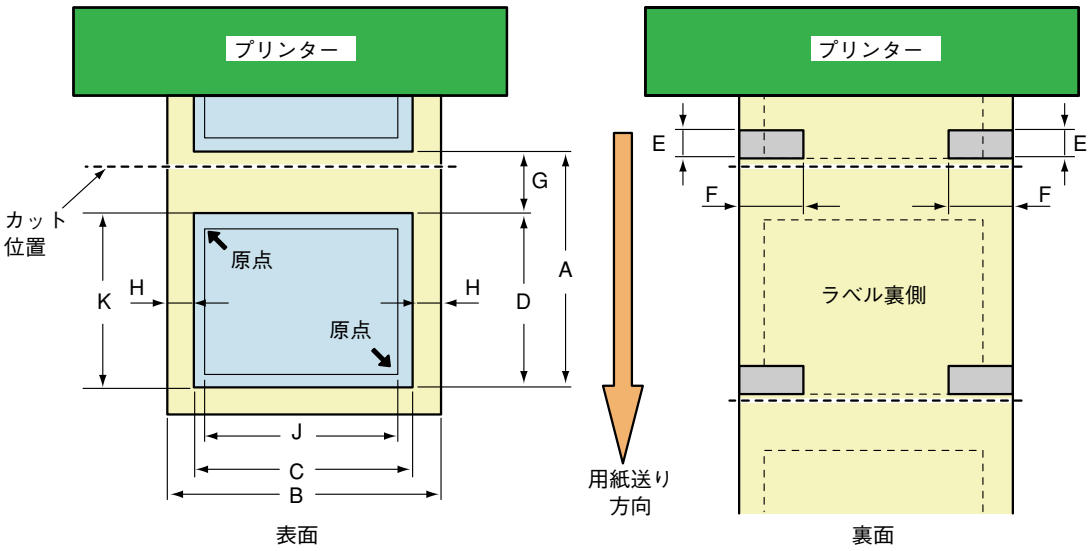
お客様の仕様に合わせた対応もできます。お買い求めの販売店にご相談ください。

品　名	型　番	仕　様	説　明
ワックスリボン40	PR-T500L-111S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 耐性は低いが、高感度でコストが安いリボン。
ワックスリボン60	PR-T500L-112S	幅：60mm×長さ：100m	
ワックスリボン90	PR-T500L-113S	幅：90mm×長さ：100m	
ワックスリボン112	PR-T500L-114S	幅：112mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン40	PR-T500L-411S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 ワックスより耐性が高く、印刷品位の高いリボン。
ワックスレジンリボン60	PR-T500L-412S	幅：60mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン90	PR-T500L-413S	幅：90mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン112	PR-T500L-414S	幅：112mm×長さ：100m	
レジンリボン40	PR-T500L-711S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 耐性、印刷品位に優れたリボン。
レジンリボン60	PR-T500L-712S	幅：60mm×長さ：100m	
レジンリボン90	PR-T500L-713S	幅：90mm×長さ：100m	
レジンリボン112	PR-T500L-714S	幅：112mm×長さ：100m	

リボン幅と用紙幅の適合表

リボン幅	対応可能な用紙幅 （台紙含む）
40mm	25～35mm
60mm	25～55mm
90mm	55～85mm
112mm	85～118mm

連続印刷（自動カット位置送り対応）ラベル紙



符　号	項　目	仕　様
A	用紙ピッチ	30～457mm
B*1	ラベル台紙幅	28～118mm
C*1	ラベル上紙幅	25～115mm
D	ラベル長	27～454mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
G	ギャップ長	3～10mm
H	ラベル端ギャップ	1.5mm*2
J*1	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	27～454mm
ー	用紙厚さ	80*3～200μm
ー	最大ロール径	φ110mm
ー	ラベル巻	外巻き（内巻き）*4
ー	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
ー	芯管	内径φ40±0.3mm

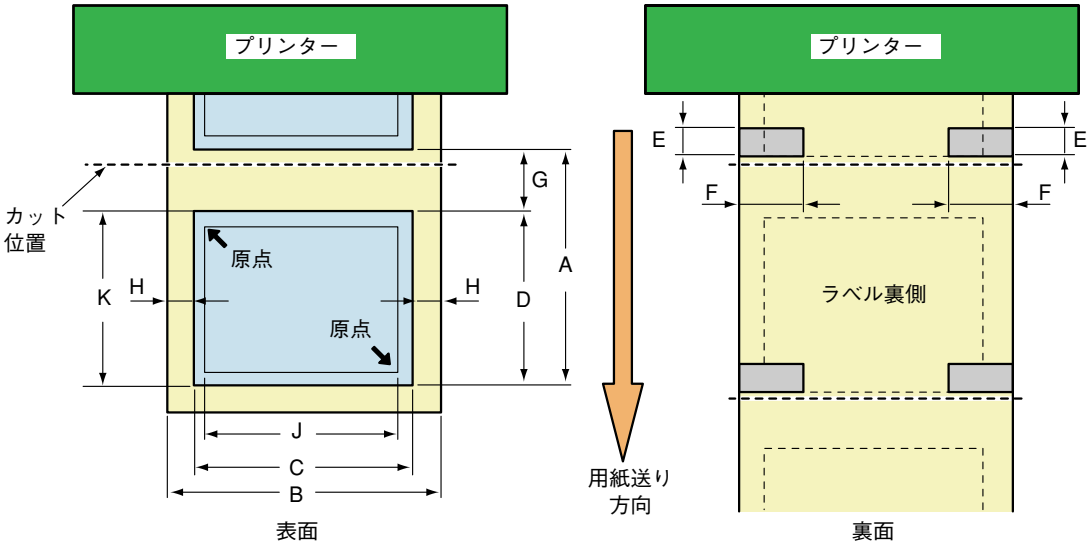
*1　横方向は用紙の中央を基準とします。

*2　用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。また角に丸み（R：アール）が付いている場合は、透過センサーでは正しく検出されない場合があります。

*3　用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*4　外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

連続印刷（自動カット位置送り非対応）ラベル紙



符　号	項　目	仕　様
A	用紙ピッチ	5～457mm
B*1	ラベル台紙幅	28～118mm
C*1	ラベル上紙幅	25～115mm
D	ラベル長	3～455mm
E	黒マーク長	2～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
G	ギャップ長	2～10mm
H	ラベル端ギャップ	1.5mm*2
J*1	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	3～455mm
ー	用紙厚さ	80*3～200μm
ー	最大ロール径	φ110mm
ー	ラベル巻	外巻き（内巻き）*4
ー	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
ー	芯管	内径φ40±0.3mm

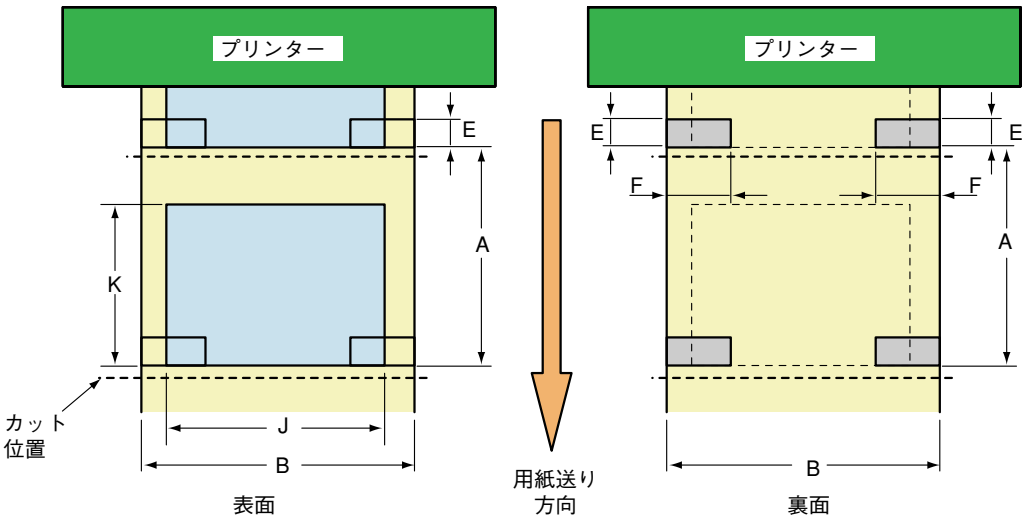
*1　横方向は用紙の中央を基準とします。

*2　用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。また角に丸み（R：アール）が付いている場合は、透過センサーでは正しく検出されない場合があります。

*3　用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*4　外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

連続印刷（自動カット位置送り対応）タグ紙

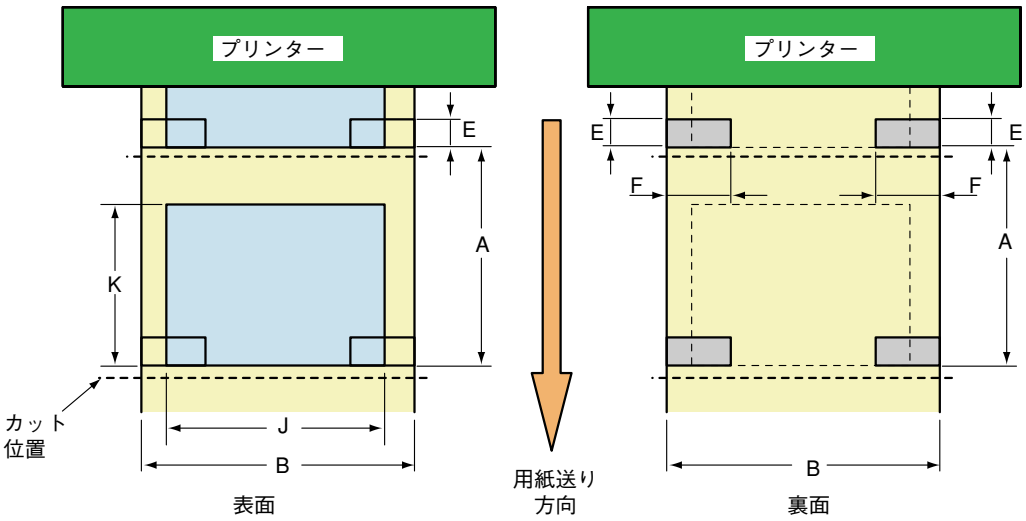


符　号	項　目	仕　様
A	用紙ピッチ	30～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	27～454mm
ー	用紙厚さ	80＊1～200μm
ー	最大ロール径	φ110mm
ー	ラベル巻	外巻き（内巻き）＊2
ー	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
ー	芯管	内径φ40±0.3mm

＊1　用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「自動カット送り非対応」を推奨します。

＊2　外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

連続印刷（自動カット位置送り非対応）タグ紙



符　号	項　目	仕　様
A	用紙ピッチ	5～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	3～455mm
ー	用紙厚さ	80*1～200μm
ー	最大ロール径	φ110mm
ー	ラベル巻	外巻き（内巻き）*2
ー	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
ー	芯管	内径φ40±0.3mm

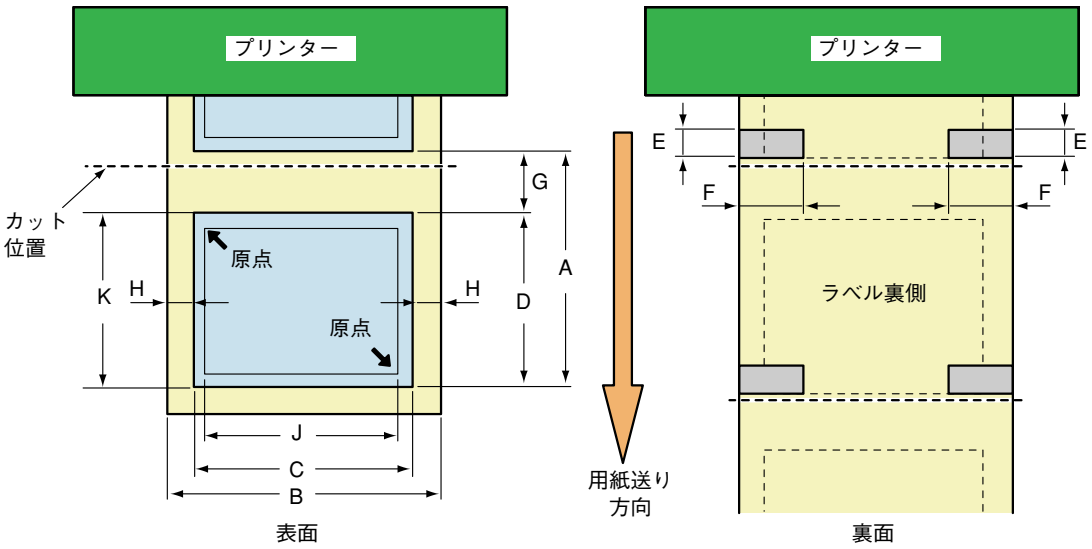
*1　用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*2　外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

カット印刷（フルカット）ラベル紙

チェック

「フルカット」についての詳しい説明は1章の「カット印刷」（82ページ）をご覧ください。



符　号	項　目	仕　様	
		PR-T500L-01	PR-T500L-11（のり部カット）
A	用紙ピッチ	23～457mm	23～457mm
B*1	ラベル台紙幅	28～118mm	28～110mm
C*1	ラベル上紙幅	25～115mm	25～107mm
D	ラベル長	20～454mm	20～454mm
E	黒マーク長	3～10mm	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上	15mm以上
G	ギャップ長	3～10mm	3～10mm
H	ラベル端ギャップ	1.5mm*2	1.5mm*2
J*1	最大印刷幅	105.7mm	105.7mm
K	有効印刷長	20～454mm	20～454mm
―	用紙厚さ	80*3～200μm	80*3～200μm
―	最大ロール径	φ110mm	φ110mm
―	ラベル巻	外巻き（内巻き）*4	外巻き（内巻き）*4
―	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm	100mm
―	芯管	内径φ40±0.3mm	内径φ40±0.3mm

*1　横方向は用紙の中央を基準とします。

*2　用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。また角に丸み（R：アール）が付いている場合は、透過センサーでは正しく検出されない場合があります。

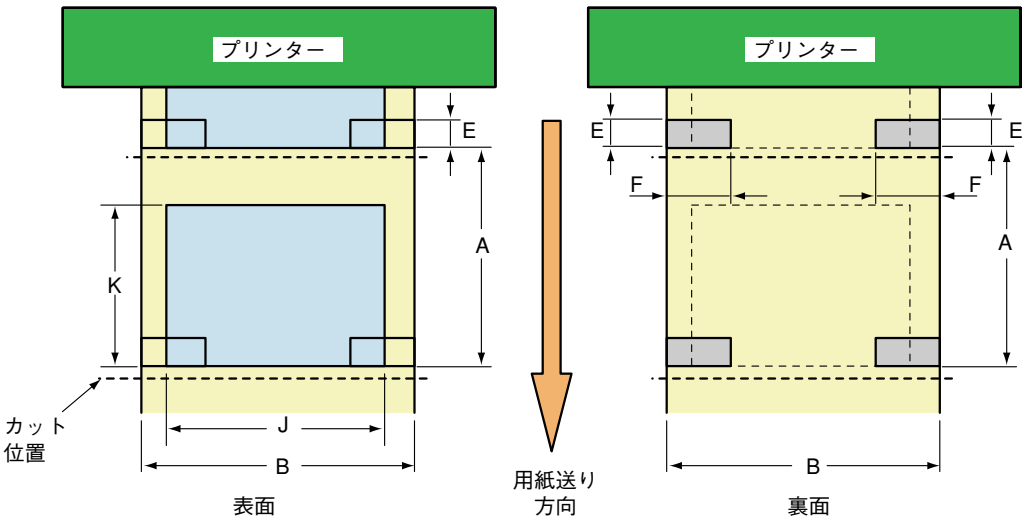
*3　用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*4　外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

カット印刷（フルカット）タグ紙

チェック

「フルカット」についての詳しい説明は1章の「カット印刷」（82ページ）をご覧ください。



符　号	項　目	仕　様
A	用紙ピッチ	23～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	20～454mm
ー	用紙厚さ	80*1 ～200μm
ー	最大ロール径	φ110mm
ー	ラベル巻	外巻き（内巻き）*2
ー	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
ー	芯管	内径φ40±0.3mm

*1　用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。用紙厚の薄い用紙でカットする場合は、「パーシャルカット」を推奨します。

*2　外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

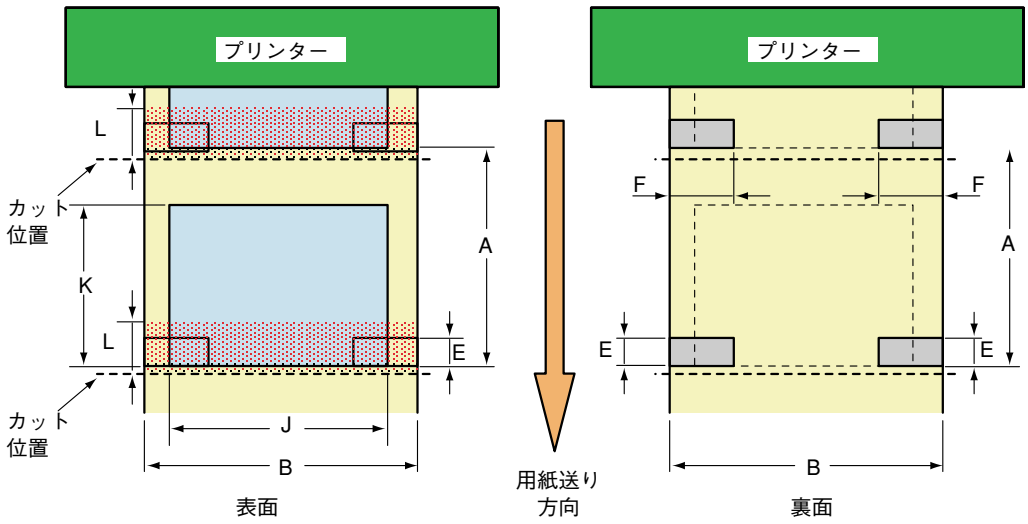
カット印刷（パーシャルカット）タグ紙

重要

PR-T500L-11カッターモジュールではパーシャルカットはできません。

チェック

「パーシャルカット」についての詳しい説明は1章の「パーシャルカットを使用する場合」（84ページ）および2章の「パーシャルカット」（115ページ）をご覧ください。



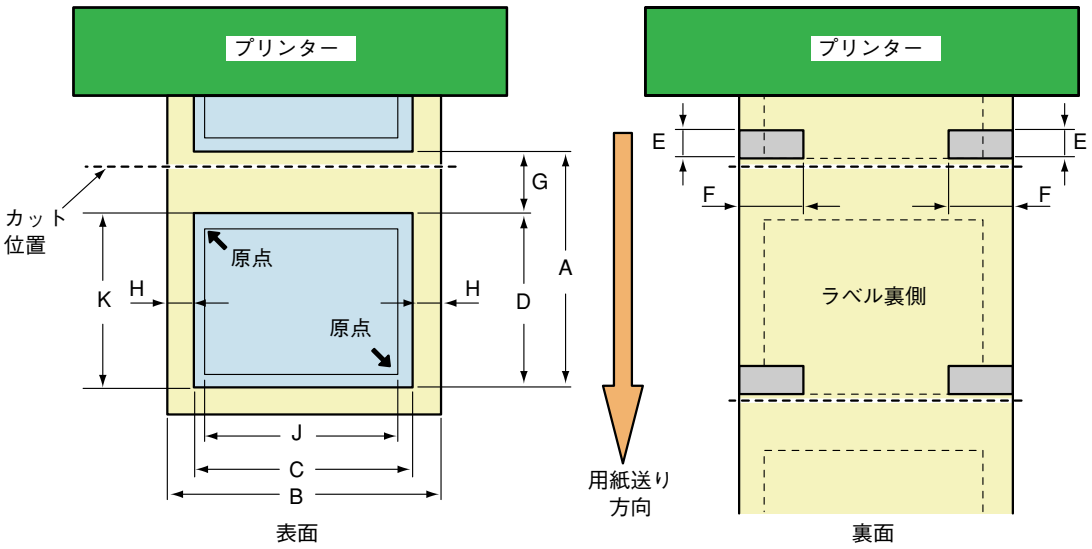
符　号	項　目	仕　様
A	用紙ピッチ	41～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長*1	38～454mm
L	印刷不可長さ	18mm
―	用紙厚さ	80*2～200μm
―	最大ロール径	φ110mm
―	ラベル巻	外巻き（内巻き）*3
―	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
―	芯管	内径φ40±0.3mm

*1　パーシャルカット時は用紙のバックフィードができません。
カット位置から18mm（符号L）は印刷できない範囲となります。

*2　用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*3　外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

ハクリ印刷ラベル紙



符　号	項　目	仕　様
A	用紙ピッチ	23～457mm
B*1	ラベル台紙幅	28～118mm
C*1	ラベル上紙幅	25～115mm
D	ラベル長	20～454mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
G	ギャップ長	3～10mm
H	ラベル端ギャップ	1.5mm*2
J*1	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	20～454mm
ー	用紙厚さ	80*3～200μm
ー	最大ロール径	φ110mm
ー	ラベル巻	外巻き（内巻き）*4
ー	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
ー	芯管	内径φ40±0.3mm

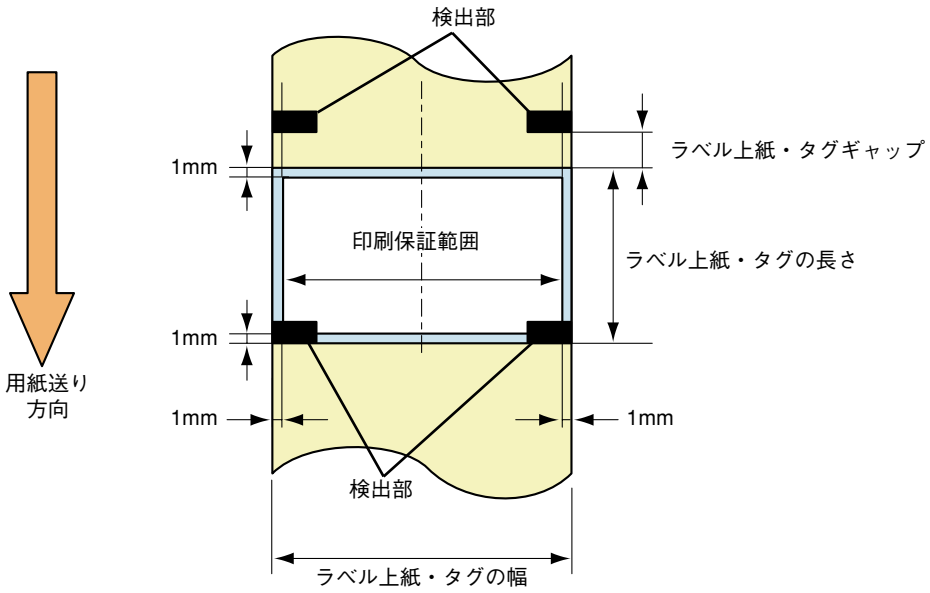
*1　横方向は用紙の中央を基準とします。

*2　用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。また角に丸み（R：アール）が付いている場合は、透過センサーでは正しく検出されない場合があります。

*3　用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*4　外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

タグ・ラベルの印刷保証範囲

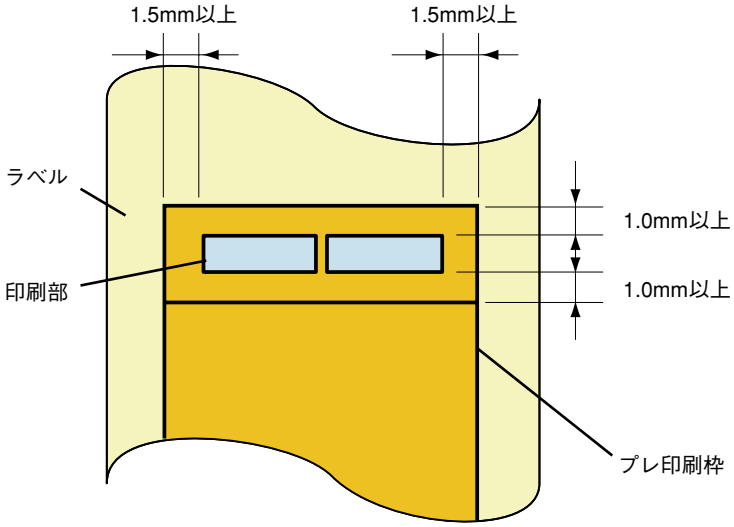


上図において、網かけ部（　　）での印刷品質は保証できません。
この部分に印刷をすると、リボンじわが起こり印刷保証領域での印刷品質も損なわれるおそれがあります。

プレ印刷用紙に関する注意

プレ印刷用紙とは、書式があらかじめ印刷されている用紙のことです。

- プレ印刷に使用するインクには炭酸カルシウムやカオリンなどの硬度の高い原料が含まれていないインクを使用してください。ヘッド寿命を縮めるおそれがあります。
- プレ印刷は印刷位置のばらつきを考慮して印刷を行う部分より1.5mm以上離れた部分に行ってください。
- なおラベル紙のラベル長が3mm未満の場合やタグ紙の有効印刷長が5mm未満の場合は印刷できない場合があります。



- プレ印刷の種類によってはラベル位置が正しく補正されず、紙送りが正しく行われないことがあります。このような場合はユーザーズマニュアルの1章「11　センサーしきい値を調整する」を参照してしきい値の設定を行ってください。
- プレ印刷の内容は、しきい値が設定できるようにラベルのギャップ（透過センサーの場合）または黒マーク（反射センサーの場合）がはっきりと認識できるように薄い色にすることをお勧めします。
- プレ印刷を行ってインクが塗布されたエリアではプリンターによる印刷が正しく行われず、印刷品質が損なわれることがあります。

印刷濃度推奨設定

印刷濃度はプリンタードライバー（1章の「プリンタードライバー」（11ページ）を参照）で設定することができます。また、プリンター本体の基本設定をリモートパネル（2章の「リモートパネル」（103ページ）または操作部のボリューム（ユーザーズマニュアルの5章を参照）によって変更することができます。

印刷が薄い場合は、印刷濃度のトーンを上げるか、または印刷速度を遅くしてご使用ください。

ここでは印刷方式と印刷する際に使用する用紙類やリボンの組み合わせから適正となるプリンターの設定値を参考に記載します。

＜感熱印刷＞

用紙	推奨設定値
一般感熱紙（タグ）	0
一般感熱紙（ラベル）	4
耐保存感熱紙	4
合成紙	4

＜熱転写印刷＞

用紙類 / リボン	コート紙	タグ紙	合成紙	白 PET	銀 PET	リストバンド
ワックスリボン	0	2	ー	ー	ー	ー
ワックスレジンリボン	3	5	−1	0	0	ー
レジンリボン	ー	ー	4	5	5	ー
リストバンドリボン	ー	ー	ー	ー	ー	7

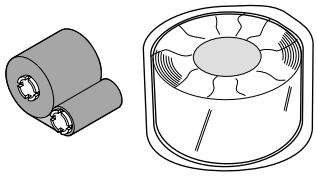
- 上記推奨設定は目安であり、用紙の表面加工やご使用条件により一致しない場合があります。十分な試し印刷をして、その印刷結果により印刷濃度の微調整を行ってください。
- 印刷結果がかすれる場合には印刷濃度を+方向に、つぶれる場合にはー方向に微調整を行ってください。
- 印刷速度などの設定値や、印刷パターンの変更により印刷結果が変わることがありますので、そのような場合には再度印刷濃度の微調整を行ってください。

チェック

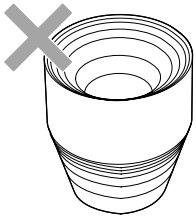
- 印刷濃度の工場出荷設定は「0」になっています。印刷確認の際は上記推奨値への変更をお試しください（工場出荷設定のままでは、印刷品位を満足しない可能性があります）。
  プリンターに添付の用紙およびリボンは次のとおりです。
  - MultiCoder 502L3Dタイプ
    用紙：一般感熱紙（ラベル）
  - MultiCoder 502L3Tタイプ
    用紙：一般感熱紙（ラベル）
- リボンから用紙に転写される面積が大きく、濃度が高い場合は、リボンが切れるおそれがあるため、ご注意ください。

用紙・リボンの保管上の注意

- 印刷する用紙が規格に合っていることを確認してください（用紙の規格については「使用できる用紙」（220ページ）または223ページ以降で説明しています）。規格に合った用紙を使うことは印刷品質を高めるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。
- 用紙を持つときは層ずれを起こさないよう注意してください。
- 残った用紙は包装袋に包み、直射日光を避けて保管してください。用紙が変形しないように平らな場所に置いてください。
- 使用したリボンをプリンターから取り外して保管する場合は袋や箱に入れ固定し、巻きが乱れないようにしてください。
- 用紙やリボンは高温、多湿を嫌います。涼しい場所に保管してください。また直射日光が当たるような場所は避けて保管してください。
- 用紙やリボンにほこりや紙粉が付着しないように気を付けてください。
- 用紙やリボンは下図の向きにして置いてください。正しい向きにして置いていないと、巻きが乱れて用紙やリボンがずれる場合があります。



リボン・用紙の置き方



層ずれした状態

- 用紙やリボンには使用期限が設定されたものがあります。使用期限内に使い終わるようにお願いいたします。

メ　モ

付録
技術情報

ここでは、本プリンターの仕様、初期状態、その他の技術情報について説明します。

仕　様

本プリンターの仕様です。

- 感熱タイプ - 1/4　～標準モデル～ 236ページ
- 感熱タイプ - 2/4　～カッターモデル～ 238ページ
- 感熱タイプ - 3/4　～ハクリモデル～ 240ページ
- 感熱タイプ - 4/4　～糊カッターモデル～ 242ページ
- 熱転写タイプ - 1/4　～標準モデル～ 244ページ
- 熱転写タイプ - 2/4　～カッターモデル～ 246ページ
- 熱転写タイプ - 3/4　～ハクリモデル～ 248ページ
- 熱転写タイプ - 4/4　～糊カッターモデル～ 250ページ

感熱タイプ - 1/4　～標準モデル～

項　目		MultiCoder				
		502L3D	502L3DL	502L3DW	502L3DP	502L3DR
印刷方式		感熱方式（直接発色）				
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）				
	発熱体ピッチ	0.0834mm				
	ドット総数	1296ドット				
印刷速度		50.8mm (2インチ)/秒、101.6mm (4インチ)/秒、152.4mm (6インチ)/秒				
フィード方向		順方向または逆方向				
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm (2インチ)/秒、76.2mm (3インチ)/秒、101.6mm（4インチ）/秒				
印刷方法	連続印刷	可能				
	カット印刷	○	○	○	○	○
	ハクリ印刷	○	○	○	○	○
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き(内巻き)*1				
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）				
排紙方式		装置前面排紙のみ				
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）				
ブザー		あり（設定により消音可能）				
有効印刷幅		最大105.7mm				
用紙種類*2	ラベル	一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙				
	タグ	一般感熱紙*3				
インターフェース*4	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース (通信速度：12Mbps、コネクター：USB Bタイプ)				
	LAN*5	○	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）		○	○
	無線LAN*5	○	○	IEEE 802.11b/g準拠Ethernetインターフェース	○	○
	パラレル	ー	ー	ー	IEEE1284準拠 双方向パラレルインターフェース ニブルモード対応	ー
	RS-232C	ー	ー	ー	ー	RS-232Cインターフェース
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語				
内蔵フォント*6	1バイト(半角)フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）				
	2バイト(全角)フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。				
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF(Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar (NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128）、GS1 Databar（RSS）、MSI/Plessey、カスタマーバーコード				
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode				
制御フォント		NECプリンタ制御フォント				
外形寸法		188(W)×245(D)×170(H)mm（無線LANの突起部は含みません）				
質量*7		約2.6kg	約2.8kg	約2.8kg	約2.8kg	約2.8kg
消費電力	動作時最大*8	137W（2.4A）				
	待機時	13W（0.3A）				
	省電力モード*9	8W（0.2A）				
製品寿命		5年				
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：ー25～60℃				

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

項　目	MultiCoder				
	502L3D	502L3DL	502L3DW	502L3DP	502L3DR
湿度範囲	使用時：25～85%RH（ただし､結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし､結露しないこと）				
有償交換部品（消耗部品）*10	サーマルヘッドブロック　寿命（目安）：25km プラテンブロック　寿命（目安）：25km				
プリンタードライバー	Microsoft Windows 8 日本語版*11 Microsoft Windows 7 日本語版*11 Microsoft Windows Vista 日本語版*11 Microsoft Windows XP 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2012 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2008 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2003 日本語版*11 Microsoft Windows 2000 日本語版				
ユーティリティー	リモートパネル PrinterSignalStation for ラベルプリンタ ドライバー括設定ツール				
バンドルソフトウェア	LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF (Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5(Industrial 2 of 5)、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5)、Code11、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128)、GS1 Databar（RSS)、BC412、MSI/Plessey、カスタマーバーコード、PostNet 〈サポート2次元コード〉 Code49、PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、Micro QR Code、DataMatrix、MaxiCode、AztecCode、GS1 Composite（EAN.UCC Composite） MultiCoder SDK				

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

*1 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*2 用紙の保管は装置の使用環境温湿度内です。

*3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。

*4 プリントサーバー（LAN)、プリントサーバー（無線 LAN)、パラレルインターフェースボード、およびRS-232C ボードは同時に装着できません。

*5 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

*6 内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。

*7 本体のみの質量です (用紙、AC アダプターを除く)。

*8 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。

*9 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。

*10 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

*11 64 ビットバージョンにも対応しています。

感熱タイプ - 2/4　～カッターモデル～

項　目		MultiCoder				
		502L3DC	502L3DCL	502L3DCW	502L3DCP	502L3DCR
印刷方式		感熱方式（直接発色）				
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）				
	発熱体ピッチ	0.0834mm				
	ドット総数	1296ドット				
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒、152.4mm（6インチ）/秒				
フィード方向		順方向または逆方向				
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒				
印刷方法	連続印刷	可能				
	カット印刷 *1	可能	可能	可能	可能	可能
	ハクリ印刷	○	○	○	○	○
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き(内巻き) *2				
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）				
排紙方式		装置前面排紙のみ				
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）				
ブザー		あり（設定により消音可能）				
有効印刷幅		最大105.7mm				
用紙種類 *3	ラベル	一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙				
	タグ	一般感熱紙 *4				
インターフェース *5	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクター：USB Bタイプ）				
	LAN *6	○	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）		○	○
	無線LAN *6	○	○	IEEE 802.11b/g準拠Ethernetインターフェース	○	○
	パラレル	ー	ー	ー	IEEE1284準拠 双方向パラレルインターフェース ニブルモード対応	ー
	RS-232C	ー	ー	ー	ー	RS-232Cインターフェース
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語				
内蔵フォント *7	1バイト（半角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）				
	2バイト（全角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。				
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF(Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7）、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128）、GS1 Databar（RSS）、MSI/Plessey、カスタマーバーコード				
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode				
制御フォント		NECプリンタ制御フォント				
外形寸法		188(W)×245(D)×170(H)mm（無線LANの突起部は含みません）				
質量 *8		約2.9kg	約3.1kg	約3.1kg	約3.1kg	約3.1kg
消費電力	動作時最大 *9	137W（2.4A）				
	待機時	13W（0.3A）				
	省電力モード *10	8W（0.2A）				
製品寿命		5年				

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

項　目	MultiCoder				
	502L3DC	502L3DCL	502L3DCW	502L3DCP	502L3DCR
温度範囲	使用時：5～38℃ 保管時：ー 25～60℃				
湿度範囲	使用時：25～85%RH（ただし､結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし､結露しないこと）				
有償交換部品（消耗部品）*11	サーマルヘッドブロック　寿命（目安）：25km プラテンブロック　寿命（目安）：25km カッターモジュール寿命（目安）：薄紙30万カット				
プリンタードライバー	Microsoft Windows 8 日本語版*12 Microsoft Windows 7 日本語版*12 Microsoft Windows Vista 日本語版*12 Microsoft Windows XP 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2012 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2008 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2003 日本語版*12 Microsoft Windows 2000 日本語版				
ユーティリティー	リモートパネル PrinterSignalStation for ラベルプリンタ ドライバー括設定ツール				
バンドルソフトウェア	LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF (Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5(Industrial 2 of 5)、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5)、Code11、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128)、GS1 Databar（RSS)、BC412、MSI/Plessey、カスタマーバーコード、PostNet 〈サポート2次元コード〉 Code49、PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、Micro QR Code、DataMatrix、MaxiCode、AztecCode、GS1 Composite（EAN.UCC Composite） MultiCoder SDK				

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

*1 フルカット／パーシャルカットの切り替えが可能です。なお、ラベルの粘着部分はカットできません。

*2 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*3 用紙の保管は装置の使用環境温湿度内です。

*4 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。

*5 プリントサーバー（LAN)、プリントサーバー（無線 LAN)、パラレルインターフェースボード、およびRS-232C ボードは同時に装着できません。

*6 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

*7 内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。

*8 本体のみの質量です (用紙、AC アダプターを除く)。

*9 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。

*10 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。

*11 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

*12 64 ビットバージョンにも対応しています。

感熱タイプ - 3/4　～ハクリモデル～

項　目		MultiCoder				
		502L3DS	502L3DSL	502L3DSW	502L3DSP	502L3DSR
印刷方式		感熱方式（直接発色）				
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）				
	発熱体ピッチ	0.0834mm				
	ドット総数	1296ドット				
印刷速度		50.8mm (2インチ)/秒、101.6mm (4インチ)/秒、152.4mm (6インチ)/秒				
フィード方向		順方向または逆方向				
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm (2インチ)/秒、76.2mm (3インチ)/秒、101.6mm（4インチ）/秒				
印刷方法	連続印刷	可能				
	カット印刷	○	○	○	○	○
	ハクリ印刷	可能	可能	可能	可能	可能
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き(内巻き)*1				
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）				
排紙方式		装置前面排紙のみ				
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）				
ブザー		あり（設定により消音可能）				
有効印刷幅		最大105.7mm				
用紙種類*2	ラベル	一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙				
	タグ	一般感熱紙*3				
インターフェース*4	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース (通信速度：12Mbps、コネクター：USB Bタイプ)				
	LAN*5	○	IEEE　802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）		○	○
	無線LAN*5	○	○	IEEE 802.11b/g準拠Ethernetインターフェース	○	○
	パラレル	ー	ー	ー	IEEE1284準拠 双方向パラレルインターフェース ニブルモード対応	ー
	RS-232C	ー	ー	ー	ー	RS-232Cインターフェース
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語				
内蔵フォント*6	1バイト(半角)フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）				
	2バイト(全角)フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。				
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF(Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar (NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128）、GS1 Databar（RSS）、MSI/Plessey、カスタマーバーコード				
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode				
制御フォント		NECプリンタ制御フォント				
外形寸法		188(W)×245(D)×170(H)mm（無線LANの突起部は含みません）				
質量*7		約2.9kg	約3.1kg	約3.1kg	約3.1kg	約3.1kg
消費電力	動作時最大*8	137W（2.4A）				
	待機時	13W（0.3A）				
	省電力モード*9	8W（0.2A）				
製品寿命		5年				
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：ー25～60℃				

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

項　目	MultiCoder				
	502L3DS	502L3DSL	502L3DSW	502L3DSP	502L3DSR
湿度範囲	使用時：25～85%RH（ただし､結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし､結露しないこと）				
有償交換部品（消耗部品）*10	サーマルヘッドブロック　寿命（目安）：25km プラテンブロック　寿命（目安）：25km ハクリモジュール寿命（目安）：15km				
プリンタードライバー	Microsoft Windows 8 日本語版*11 Microsoft Windows 7 日本語版*11 Microsoft Windows Vista 日本語版*11 Microsoft Windows XP 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2012 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2008 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2003 日本語版*11 Microsoft Windows 2000 日本語版				
ユーティリティー	リモートパネル PrinterSignalStation for ラベルプリンタ ドライバー括設定ツール				
バンドルソフトウェア	LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF (Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5(Industrial 2 of 5)、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5)、Code11、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128)、GS1 Databar（RSS)、BC412、MSI/Plessey、カスタマーバーコード、PostNet 〈サポート2次元コード〉 Code49、PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、Micro QR Code、DataMatrix、MaxiCode、AztecCode、GS1 Composite（EAN.UCC Composite） MultiCoder SDK				

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

*1 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*2 用紙の保管は装置の使用環境温湿度内です。

*3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。

*4 プリントサーバー（LAN)、プリントサーバー（無線 LAN)、パラレルインターフェースボード、およびRS-232C ボードは同時に装着できません。

*5 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

*6 内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。

*7 本体のみの質量です (用紙、AC アダプターを除く)。

*8 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。

*9 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。

*10 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

*11 64 ビットバージョンにも対応しています。

感熱タイプ - 4/4　～糊カッターモデル～

項　目		MultiCoder			
		502L3DX	502L3DXL	502L3DXP	502L3DXR
印刷方式		感熱方式（直接発色）			
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）			
	発熱体ピッチ	0.0834mm			
	ドット総数	1296ドット			
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒、152.4mm（6インチ）/秒			
フィード方向		順方向または逆方向			
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒			
印刷方法	連続印刷	可能			
	カット印刷*1	可能	可能	可能	可能
	ハクリ印刷	○	○	○	○
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き(内巻き)*2			
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）			
排紙方式		装置前面排紙のみ			
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）			
ブザー		あり（設定により消音可能）			
有効印刷幅		最大105.7mm			
用紙種類*3	ラベル	一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙			
	タグ	一般感熱紙*4			
インターフェース*5	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクター：USB Bタイプ）			
	LAN*6	○	IEEE 802.3準拠 Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）	○	○
	無線LAN*6	○	○	○	○
	パラレル	ー	ー	IEEE1284準拠 双方向パラレルインターフェース ニブルモード対応	ー
	RS-232C	ー	ー	ー	RS-232Cインターフェース
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語			
内蔵フォント*7	1バイト（半角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）			
	2バイト（全角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。			
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF(Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar(NW-7)、Code93、Code128、GS1-128(UCC/EAN-128)、GS1 Databar(RSS)、MSI/Plessey、カスタマーバーコード			
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode			
制御フォント		NECプリンタ制御フォント			
外形寸法		188(W)×245(D)×170(H)mm（無線LANの突起部は含みません）			
質量*8		約2.9kg	約3.1kg	約3.1kg	約3.1kg
消費電力	動作時最大*9	137W（2.4A）			
	待機時	13W（0.3A）			
	省電力モード*10	8W（0.2A）			
製品寿命		5年			

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

項　目	MultiCoder			
	502L3DX	502L3DXL	502L3DXP	502L3DXR
温度範囲	使用時：5～38℃ 保管時：ー 25～60℃			
湿度範囲	使用時：25～85%RH（ただし､結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし､結露しないこと）			
有償交換部品（消耗部品）*11	サーマルヘッドブロック　寿命（目安）：25km プラテンブロック　寿命（目安）：25km カッターモジュール寿命（目安）：ラベル糊（のり）部13万カット			
プリンタードライバー	Microsoft Windows 8 日本語版*12 Microsoft Windows 7 日本語版*12 Microsoft Windows Vista 日本語版*12 Microsoft Windows XP 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2012 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2008 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2003 日本語版*12 Microsoft Windows 2000 日本語版			
ユーティリティー	リモートパネル PrinterSignalStation for ラベルプリンタ ドライバー括設定ツール			
バンドルソフトウェア	LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF (Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5(Industrial 2 of 5)、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5 (COOP 2 of 5)、Code11、Code39、Code39 full ASCII、Codabar (NW-7)、Code93、Code128、GS1-128 (UCC/EAN-128)、GS1 Databar (RSS)、BC412、MSI/Plessey、カスタマーバーコード、PostNet 〈サポート2次元コード〉 Code49、PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2)、Micro QR Code、DataMatrix、MaxiCode、AztecCode、GS1 Composite（EAN.UCC Composite） MultiCoder SDK			

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

*1 糊カッターモデルでラベルの粘着部分をカットする場合、印刷幅は 28～ 110mm で、パーシャルカットはできません（フルカット専用です）。

*2 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*3 用紙の保管は装置の使用環境温湿度内です。

*4 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。

*5 プリントサーバー（LAN)、プリントサーバー（無線 LAN)、パラレルインターフェースボード、およびRS-232C ボードは同時に装着できません。

*6 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATV など）へ直接接続することは許可されていません。

*7 内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。

*8 本体のみの質量です (用紙、AC アダプターを除く)。

*9 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。

*10 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。

*11 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

*12 64 ビットバージョンにも対応しています。

熱転写タイプ - 1/4　～標準モデル～

項　目		MultiCoder				
		502L3T	502L3TL	502L3TW	502L3TP	502L3TR
印刷方式		感熱方式（直接発色）、熱転写方式（リボン転写）				
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）				
	発熱体ピッチ	0.0834mm				
	ドット総数	1296ドット				
印刷速度		50.8mm (2インチ)/秒、101.6mm (4インチ)/秒、152.4mm (6インチ)/秒				
フィード方向		順方向または逆方向				
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm (2インチ)/秒、76.2mm (3インチ)/秒、101.6mm（4インチ）/秒				
印刷方法	連続印刷	可能				
	カット印刷	○	○	○	○	○
	ハクリ印刷	○	○	○	○	○
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き(内巻き)*1				
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）				
排紙方式		装置前面排紙のみ				
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）				
ブザー		あり（設定により消音可能）				
有効印刷幅		最大105.7mm				
用紙種類*2	ラベル	感熱：一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙 熱転写：コート紙、合成紙、白PET、銀PET				
	タグ	感熱：一般感熱紙*3 熱転写：タグ紙				
リストバンド		リストバンドリボン／リストバンドBタイプ・Nタイプ				
リボン種類*2		ワックスリボン、ワックスレジンリボン、レジンリボン				
インターフェース*4	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクター：USB Bタイプ）				
	LAN*5	○	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）		○	○
	無線LAN*5	○	○	IEEE 802.11b/g準拠 Ethernet インターフェース	○	○
	パラレル	ー	ー	ー	IEEE1284準拠 双方向パラレルインターフェース ニブルモード対応	ー
	RS-232C	ー	ー	ー	ー	RS-232Cインターフェース
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語				
内蔵フォント*6	1バイト(半角)フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）				
	2バイト(全角)フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。				
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF(Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar (NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128）、GS1 Databar（RSS）、MSI/Plessey、カスタマーバーコード				
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode				
制御フォント		NECプリンタ制御フォント				
外形寸法		188(W)×245(D)×190(H)mm（無線LANの突起部は含みません）				
質量*7		約3.1kg	約3.2kg	約3.2kg	約3.2kg	約3.2kg

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

項　目		MultiCoder				
		502L3T	502L3TL	502L3TW	502L3TP	502L3TR
消費電力	動作時最大*8	137W（2.4A）				
	待機時	13W（0.3A）				
	省電力モード*9	8W（0.2A）				
製品寿命		5年				
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：ー 25～60℃				
湿度範囲		使用時：25～85%RH（ただし､結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし､結露しないこと）				
有償交換部品（消耗部品）*10		サーマルヘッドブロック　寿命（目安）：25km プラテンブロック　寿命（目安）：25km				
プリンタードライバー		Microsoft Windows 8 日本語版*11 Microsoft Windows 7 日本語版*11 Microsoft Windows Vista 日本語版*11 Microsoft Windows XP 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2012 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2008 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2003 日本語版*11 Microsoft Windows 2000 日本語版				
ユーティリティー		リモートパネル PrinterSignalStation for ラベルプリンタ ドライバー括設定ツール				
バンドルソフトウェア		LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF (Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5(Industrial 2 of 5)、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5)、Code11、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128)、GS1 Databar（RSS)、BC412、MSI/Plessey、カスタマーバーコード、PostNet 〈サポート2次元コード〉 Code49、PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、Micro QR Code、DataMatrix、MaxiCode、AztecCode、GS1 Composite（EAN.UCC Composite） MultiCoder SDK				

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

*1 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*2 用紙、リボンの保管は装置の使用環境温湿度内です。

*3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。

*4 プリントサーバー（LAN)、プリントサーバー（無線 LAN)、パラレルインターフェースボード、およびRS-232C ボードは同時に装着できません。

*5 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

*6 内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。

*7 本体のみの質量です (用紙、リボン、AC アダプターを除く)。

*8 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。

*9 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。

*10 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグ／リストバンドの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

*11 64 ビットバージョンにも対応しています。

熱転写タイプ - 2/4　～カッターモデル～

項　目		MultiCoder				
		502L3TC	502L3TCL	502L3TCW	502L3TCP	502L3TCR
印刷方式		感熱方式（直接発色）、熱転写方式（リボン転写）				
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）				
	発熱体ピッチ	0.0834mm				
	ドット総数	1296ドット				
印刷速度		50.8mm (2インチ)/秒、101.6mm (4インチ)/秒、152.4mm (6インチ)/秒				
フィード方向		順方向または逆方向				
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm (2インチ)/秒、76.2mm (3インチ)/秒、101.6mm（4インチ）/秒				
印刷方法	連続印刷	可能				
	カット印刷 *1	可能	可能	可能	可能	可能
	ハクリ印刷	○	○	○	○	○
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き(内巻き) *2				
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）				
排紙方式		装置前面排紙のみ				
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）				
ブザー		あり（設定により消音可能）				
有効印刷幅		最大105.7mm				
用紙種類 *3	ラベル	感熱：一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙 熱転写：コート紙、合成紙、白PET、銀PET				
	タグ	感熱：一般感熱紙 *4 熱転写：タグ紙				
リストバンド		リストバンドリボン／リストバンドBタイプ・Nタイプ				
リボン種類 *3		ワックスリボン、ワックスレジンリボン、レジンリボン				
インターフェース *5	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース (通信速度：12Mbps、コネクター：USB Bタイプ)				
	LAN *6	○	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）		○	○
	無線LAN *6	○	○	IEEE 802.11b/g準拠 Ethernet インターフェース	○	○
	パラレル	ー	ー	ー	IEEE1284準拠 双方向パラレルインターフェース ニブルモード対応	ー
	RS-232C	ー	ー	ー	ー	RS-232Cインターフェース
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語				
内蔵フォント *7	1バイト(半角)フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）				
	2バイト(全角)フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。				
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF(Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar (NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128）、GS1 Databar（RSS）、MSI/Plessey、カスタマーバーコード				
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode				
制御フォント		NECプリンタ制御フォント				
外形寸法		188(W)×245(D)×190(H)mm（無線LANの突起部は含みません）				
質量 *8		約3.4kg	約3.5kg	約3.6kg	約3.5kg	約3.5kg

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

項　目		MultiCoder				
		502L3TC	502L3TCL	502L3TCW	502L3TCP	502L3TCR
消費電力	動作時最大*9	137W（2.4A）				
	待機時	13W（0.3A）				
	省電力モード*10	8W（0.2A）				
製品寿命		5年				
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：－ 25～60℃				
湿度範囲		使用時：25～85%RH（ただし､結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし､結露しないこと）				
有償交換部品（消耗部品）*11		サーマルヘッドブロック　寿命（目安）：25km プラテンブロック　寿命（目安）：25km カッターモジュール寿命（目安）：薄紙30万カット				
プリンタードライバー		Microsoft Windows 8 日本語版*12 Microsoft Windows 7 日本語版*12 Microsoft Windows Vista 日本語版*12 Microsoft Windows XP 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2012 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2008 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2003 日本語版*12 Microsoft Windows 2000 日本語版				
ユーティリティー		リモートパネル PrinterSignalStation for ラベルプリンタ ドライバー括設定ツール				
バンドルソフトウェア		LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF (Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5(Industrial 2 of 5)、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5)、Code11、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128)、GS1 Databar（RSS)、BC412、MSI/Plessey、カスタマーバーコード、PostNet 〈サポート2次元コード〉 Code49、PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、Micro QR Code、DataMatrix、MaxiCode、AztecCode、GS1 Composite（EAN.UCC Composite） MultiCoder SDK				

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

*1 フルカット／パーシャルカットの切り替えが可能です。なお、ラベルの粘着部分はカットできません。

*2 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*3 用紙、リボンの保管は装置の使用環境温湿度内です。

*4 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。

*5 プリントサーバー（LAN)、プリントサーバー（無線 LAN)、パラレルルインターフェースボード、およびRS-232C ボードは同時に装着できません。

*6 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

*7 内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。

*8 本体のみの質量です (用紙、リボン、AC アダプターを除く)。

*9 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。

*10 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。

*11 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグ／リストバンドの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

*12 64 ビットバージョンにも対応しています。

熱転写タイプ - 3/4　～ハクリモデル～

項　目		MultiCoder				
		502L3TS	502L3TSL	502L3TSW	502L3TSP	502L3TSR
印刷方式		感熱方式（直接発色）、熱転写方式（リボン転写）				
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）				
	発熱体ピッチ	0.0834mm				
	ドット総数	1296ドット				
印刷速度		50.8mm (2インチ)/秒、101.6mm (4インチ)/秒、152.4mm (6インチ)/秒				
フィード方向		順方向または逆方向				
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm (2インチ)/秒、76.2mm (3インチ)/秒、101.6mm（4インチ）/秒				
印刷方法	連続印刷	可能				
	カット印刷	○	○	○	○	○
	ハクリ印刷	可能	可能	可能	可能	可能
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き(内巻き)*1				
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）				
排紙方式		装置前面排紙のみ				
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）				
ブザー		あり（設定により消音可能）				
有効印刷幅		最大105.7mm				
用紙種類*2	ラベル	感熱：一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙 熱転写：コート紙、合成紙、白PET、銀PET				
	タグ	感熱：一般感熱紙*3 熱転写：タグ紙				
リストバンド		リストバンドリボン／リストバンドBタイプ・Nタイプ				
リボン種類*2		ワックスリボン、ワックスレジンリボン、レジンリボン				
インターフェース*4	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース (通信速度：12Mbps、コネクター：USB Bタイプ)				
	LAN*5	○	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）		○	○
	無線LAN*5	○	○	IEEE 802.11b/g準拠 Ethernet インターフェース	○	○
	パラレル	ー	ー	ー	IEEE1284準拠 双方向パラレルインターフェース ニブルモード対応	ー
	RS-232C	ー	ー	ー	ー	RS-232Cインターフェース
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語				
内蔵フォント*6	1バイト(半角)フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）				
	2バイト(全角)フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。				
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF(Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar (NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128）、GS1 Databar（RSS）、MSI/Plessey、カスタマーバーコード				
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode				
制御フォント		NECプリンタ制御フォント				
外形寸法		188(W)×245(D)×190(H)mm（無線LANの突起部は含みません）				
質量*7		約3.4kg	約3.5kg	約3.5kg	約3.5kg	約3.5kg

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

項　目		MultiCoder				
		502L3TS	502L3TSL	502L3TSW	502L3TSP	502L3TSR
消費電力	動作時最大*8	137W（2.4A）				
	待機時	13W（0.3A）				
	省電力モード*9	8W（0.2A）				
製品寿命		5年				
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：－ 25～60℃				
湿度範囲		使用時：25～85%RH（ただし､結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし､結露しないこと）				
有償交換部品（消耗部品）*10		サーマルヘッドブロック　寿命（目安）：25km プラテンブロック　寿命（目安）：25km ハクリモジュール寿命（目安）：15km				
プリンタードライバー		Microsoft Windows 8 日本語版*11 Microsoft Windows 7 日本語版*11 Microsoft Windows Vista 日本語版*11 Microsoft Windows XP 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2012 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2008 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*11 Microsoft Windows Server 2003 日本語版*11 Microsoft Windows 2000 日本語版				
ユーティリティー		リモートパネル PrinterSignalStation for ラベルプリンタ ドライバー括設定ツール				
バンドルソフトウェア		LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF (Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5(Industrial 2 of 5)、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5)、Code11、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128)、GS1 Databar（RSS)、BC412、MSI/Plessey、カスタマーバーコード、PostNet 〈サポート2次元コード〉 Code49、PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、Micro QR Code、DataMatrix、MaxiCode、AztecCode、GS1 Composite（EAN.UCC Composite） MultiCoder SDK				

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

*1　外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*2　用紙、リボンの保管は装置の使用環境温湿度内です。

*3　用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。

*4　プリントサーバー（LAN)、プリントサーバー（無線 LAN)、パラレルインターフェースボード、およびRS-232C ボードは同時に装着できません。

*5　LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

*6　内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。

*7　本体のみの質量です (用紙、リボン、AC アダプターを除く)。

*8　Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。

*9　プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。

*10　寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグ／リストバンドの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

*11　64 ビットバージョンにも対応しています。

熱転写タイプ - 4/4　～糊カッターモデル～

項　目		MultiCoder			
		502L3TX	502L3TXL	502L3TXP	502L3TXR
印刷方式		感熱方式（直接発色）、熱転写方式（リボン転写）			
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）			
	発熱体ピッチ	0.0834mm			
	ドット総数	1296ドット			
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒、152.4mm（6インチ）/秒			
フィード方向		順方向または逆方向			
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒			
印刷方法	連続印刷	可能			
	カット印刷 *1	可能	可能	可能	可能
	ハクリ印刷	○	○	○	○
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き(内巻き) *2			
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）			
排紙方式		装置前面排紙のみ			
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）			
ブザー		あり（設定により消音可能）			
有効印刷幅		最大105.7mm			
用紙種類 *3	ラベル	感熱：一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙 熱転写：コート紙、合成紙、白PET、銀PET			
	タグ	感熱：一般感熱紙 *4 熱転写：タグ紙			
リストバンド		リストバンドリボン／リストバンドBタイプ・Nタイプ			
リボン種類 *3		ワックスリボン、ワックスレジンリボン、レジンリボン			
インターフェース *5	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクター：USB Bタイプ）			
	LAN *6	○	IEEE 802.3準拠 Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）	○	○
	無線LAN *6	○	○	○	○
	パラレル	ー	ー	IEEE1284準拠 双方向パラレルインターフェース ニブルモード対応	ー
	RS-232C	ー	ー	ー	RS-232Cインターフェース
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語			
内蔵フォント *7	1バイト（半角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）			
	2バイト（全角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。			
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF(Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar(NW-7)、Code93、Code128、GS1-128(UCC/EAN-128)、GS1 Databar(RSS)、MSI/Plessey、カスタマーバーコード			
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode			
制御フォント		NECプリンタ制御フォント			
外形寸法		188(W)×245(D)×190(H)mm（無線LANの突起部は含みません）			
質量 *8		約3.4kg	約3.5kg	約3.5kg	約3.5kg

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

項　目		MultiCoder			
		502L3TX	502L3TXL	502L3TXP	502L3TXR
消費電力	動作時最大*9	137W（2.4A）			
	待機時	13W（0.3A）			
	省電力モード*10	8W（0.2A）			
製品寿命		5年			
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：ー 25～60℃			
湿度範囲		使用時：25～85%RH（ただし､結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし､結露しないこと）			
有償交換部品（消耗部品）*11		サーマルヘッドブロック　寿命（目安）：25km プラテンブロック　寿命（目安）：25km カッターモジュール寿命（目安）：ラベル糊（のり）部13万カット			
プリンタードライバー		Microsoft Windows 8 日本語版*12 Microsoft Windows 7 日本語版*12 Microsoft Windows Vista 日本語版*12 Microsoft Windows XP 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2012 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2008 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版*12 Microsoft Windows Server 2003 日本語版*12 Microsoft Windows 2000 日本語版			
ユーティリティー		リモートパネル PrinterSignalStation for ラベルプリンタ ドライバー括設定ツール			
バンドルソフトウェア		LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF (Interleaved 2 of 5)、Code 2 of 5(Industrial 2 of 5)、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5)、Code11、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7)、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128)、GS1 Databar（RSS)、BC412、MSI/Plessey、カスタマーバーコード、PostNet 〈サポート2次元コード〉 Code49、PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2)、Micro QR Code、DataMatrix、MaxiCode、AztecCode、GS1 Composite（EAN.UCC Composite) MultiCoder SDK			

可能：標準装備にて使用可能　○：オプションにてサポート　ー：未サポート

*1 糊カッターモデルでラベルの粘着部分をカットする場合、印刷幅は 28～ 110mm で、パーシャルカットはできません（フルカット専用です)。

*2 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*3 用紙、リボンの保管は装置の使用環境温湿度内です。

*4 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。

*5 プリントサーバー（LAN)、プリントサーバー（無線 LAN)、パラレルインターフェースボード、およびRS-232C ボードは同時に装着できません。

*6 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATV など）へ直接接続することは許可されていません。

*7 内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。

*8 本体のみの質量です (用紙、リボン、AC アダプターを除く)。

*9 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。

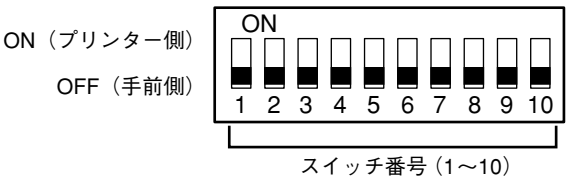
*10 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。

*11 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグ／リストバンドの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

*12 64 ビットバージョンにも対応しています。

DIP SW設定早見表

プリンター本体にあるスイッチ（DIP SW）が持つ機能について下表に示します。なお、設定状態はリモートパネルからも確認することができます（123ページを参照）。



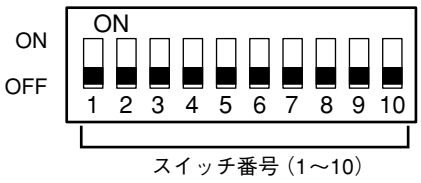
<table>
<tr><th>DIP SW</th><th>機　能</th><th>設定【出荷時設定】</th><th>備　考</th><th>関連事項</th></tr>
<tr><td>1
2</td><td>動作モード切り替え*1</td><td><table><tr><th>SW1</th><th>SW2</th><th>設　定</th></tr><tr><td>【OFF】</td><td>【OFF】</td><td>モード1（NLPL）</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>モード2（305dpi）</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>未使用</td></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>モード3（203dpi エミュレーション）</td></tr></table></td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>3
4</td><td>印刷モード切り替え*2</td><td><table><tr><th>SW3</th><th>SW4</th><th>設　定</th></tr><tr><td>【OFF】</td><td>【OFF】</td><td>連続印刷</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>ハクリ印刷</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>ハクリ印刷</td></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>カット印刷</td></tr></table></td><td>－</td><td>「1章　ハクリ」（65ページ）
「1章　カット」（66ページ）</td></tr>
<tr><td>5</td><td>印刷方式</td><td>ON：熱転写方式
【OFF】：感熱方式</td><td>感熱タイプのプリンターでは［ON］に設定しても熱転写方式の機能は有効になりません。</td><td>「1章　印刷方法」（63ページ）</td></tr>
<tr><td>6
7</td><td>用紙頭出しセンサーの選択</td><td><table><tr><th>SW6</th><th>SW7</th><th>設　定</th></tr><tr><td>【OFF】</td><td>【OFF】</td><td>センサー無視</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>反射センサー</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>透過センサー</td></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>センサー無視</td></tr></table></td><td>－</td><td>「1章　センサー」（64ページ）</td></tr>
<tr><td>8</td><td>プリンタードライバー設定の有効／無効</td><td>ON：プリンタードライバー設定を無効とする
【OFF】：プリンタードライバー設定を有効とする</td><td>［ON］にすると、DIP SW3～7の設定が有効になります。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>9</td><td>調整値設定のリモートパネル／操作盤ボリュームの切り替え</td><td>ON：操作盤ボリューム設定を有効にする
【OFF】：リモートパネル設定を有効にする</td><td>－</td><td>「1章　印刷濃度調整」（68ページ）
「2章　印刷濃度微調整（感熱）」（118ページ）
「2章　印刷濃度微調整（熱転写）」（118ページ）</td></tr>
<tr><td>10</td><td>インターフェースボード装着時のインターフェースの切り替え</td><td>ON：本体USBが有効
【OFF】：インターフェースボードが有効</td><td>インターフェースボードが搭載されていない場合は、［OFF］でもUSBが有効です。</td><td>「1 章　印刷先の変更」（41ページ）</td></tr>
</table>

*1　モード1：プリンタドライバを使った印刷、NLPL コマンドを使った印刷の場合、PrinterSignalStation による状態監視をする場合に使用します。
モード2：SVF for JavaPrint、RDE(305dpi）で印刷する場合に使用します。
モード3：SVF for JavaPrint、RDE（203dpi）で印刷する場合に使用します。

*2　モード2、3の場合、DIP SW8 に関わらず、電源ON 時の初期値として使用します。

DIP SW設定早見表（RS-232C）

RS-232Cインターフェースを標準装備しているプリンター本体の底面にあるスイッチ（DIP SW）が持つ機能について下表に示します。



<table>
<tr><th rowspan="2">DIP SW</th><th rowspan="2">機能</th><th colspan="2">設　定</th><th rowspan="2">工場出荷時の設定</th></tr>
<tr><th>OFF</th><th>ON</th></tr>
<tr><td>SW1</td><td>データビット長</td><td>8ビット</td><td>7ビット</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>SW2</td><td rowspan="2">パリティビット</td><td rowspan="2" colspan="2"><table><tr><th>SW2</th><th>SW3</th><th>設定</th></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>未使用</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>ODD</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>EVEN</td></tr><tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>NONE</td></tr></table></td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>SW3</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>SW4</td><td>ストップビット</td><td>1ビット</td><td>2ビット</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>SW5</td><td rowspan="3">ボーレート</td><td rowspan="3" colspan="2"><table><tr><th>SW5</th><th>SW6</th><th>SW7</th><th>設定</th></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>ON</td><td>未使用</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>ON</td><td>115200bps</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>ON</td><td>57600bps</td></tr><tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>ON</td><td>38400bps</td></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>19200bps</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>9600bps</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>未使用</td></tr><tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>19200bps</td></tr></table></td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>SW6</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>SW7</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>SW8</td><td rowspan="2">プロトコル*1</td><td rowspan="2" colspan="2"><table><tr><th>SW8</th><th>SW9</th><th colspan="2">設定</th></tr><tr><td rowspan="2">ON</td><td rowspan="2">ON</td><td>モード1</td><td>XON/XOFF+ハードウェア制御（DTR）</td></tr><tr><td>モード2・3</td><td>ステータス監視（ステータス長27バイト）</td></tr><tr><td rowspan="2">OFF</td><td rowspan="2">ON</td><td>モード1</td><td>ハードウェア制御（DTR）</td></tr><tr><td>モード2・3</td><td>ステータス監視（ステータス長11バイト）</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>XON/XOFF</td><td>XON/XOFF</td></tr><tr><td rowspan="2">OFF</td><td rowspan="2">OFF</td><td>モード1</td><td>ハードウェア制御（RTS）</td></tr><tr><td>モード2・3</td><td>ハードウェア制御</td></tr></table></td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>SW9</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>SW10</td><td>未使用</td><td>－</td><td>－</td><td>OFF</td></tr>
</table>

*1　プリンター前面の DIP SW でモードを切り替えます（252 ページを参照）。

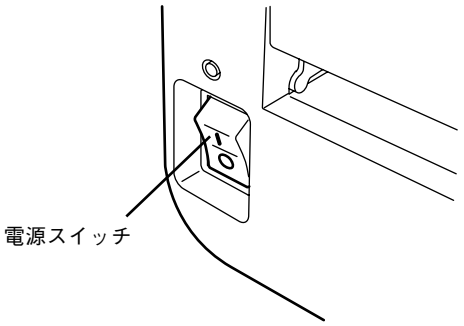
チェック

RS-232Cインターフェースボードには上記のDIP SWの他に動作モードを選択するスライドスイッチがあります。この後の手順❹を参照してください。

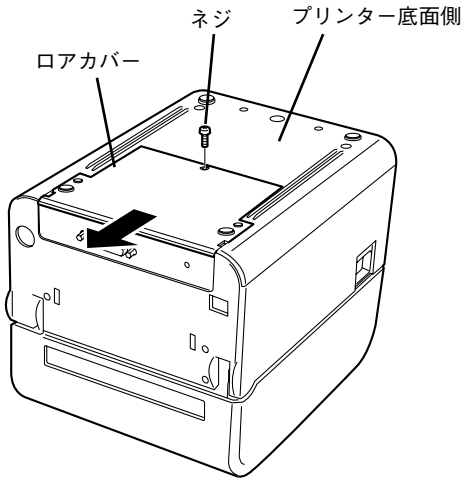
ディップスイッチを変更するために、次の手順でプリンターのカバーを取り外します。

❶ **プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。**

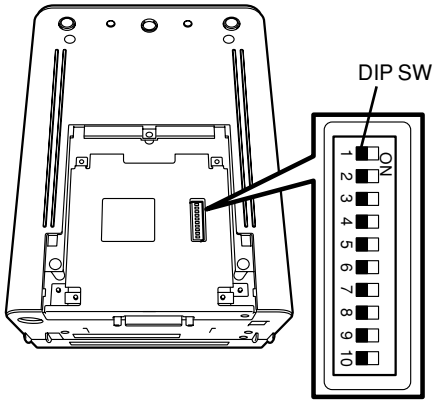
「○」側がOFFです。



❷ **プリンターを裏返し、ロアカバーを固定しているネジを外してロアカバーを取り外します。**



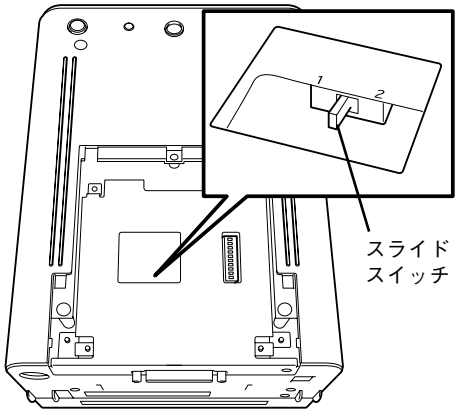
❸ **添付の調整ドライバーでスイッチの設定を変更します。**



❹ **プリンター前面にあるDIP SWの設定とスライドスイッチの設定を合わせます。**

「DIP SW設定早見表」（252 ページ）のDIP SW1とSW2の設定（動作モードの設定）と同じ設定にしてください。

「モード1（NLPL）」で使用する場合は、“1”の位置にセットします（工場出荷時の設定）。「モード2」または「モード3」で使用する場合は、“2”の位置にセットします。



❺ **ロアカバーを取り付けて元のとおりに戻します。**

チェック

プリンタードライバーのインストール後、プリンターのプロパティダイアログボックスの［ポート］シート内にある［ポートの構成］をクリックして表示される［ポートの設定］シートでディップスイッチの設定と同じ設定に変更してください。



初期状態

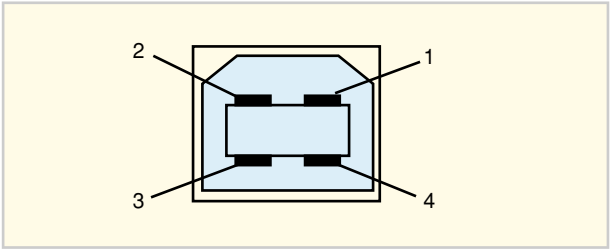
本プリンターの購入時の初期状態について示します。

項　目	初期値	リモートパネルの設定シート
電源ON時の断線エラー表示	あり	「パラメータ設定1」（114ページ）
電源ON・カバー閉用紙確認	あり	
エラー発生時ブザー音	鳴らす	
カバークローズ後停止位置制御	カバーオープン直前の停止位置を保持する	
カッターオプション制御方法	フルカット	
自動用紙先頭位置合わせ	有効	
薄紙印刷モード	無効	
印刷方向	プリンタードライバーの設定に従う	
ミラー印刷	プリンタードライバーの設定に従う	
バックフィード速度	4ips	
黒マーク検出時の頭出し制御	黒マーク上端	「パラメータ設定2」（117ページ）
ゼロスラッシュ	なし	
プリンタ起動時の状態	オンライン	
［FEED］スイッチによる印刷	行わない	
自動カット位置送り機能	有効	
自動カット位置戻し時間	無制限	
パラレルI/F ACK幅変更	0.5 µsec	
インプットプライム	無効	
ステータス自動送信	無効	
印刷濃度微調整（感熱）	0	「微調整設定」（118ページ）
印刷濃度微調整（熱転写）	0	
フィード量微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm	
カット（ハクリ）位置微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm	
自動カット位置送り微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm	
戻し位置微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm	
自動正転待機位置微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm	
X位置微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm	
DHCP/BOOTP機能設定	有効	「IPアドレス設定」（123ページ）
RARP機能設定	有効	
IPアドレス	0.0.0.0	
サブネットマスク	0.0.0.0	
ゲートウェイ	0.0.0.0	
ソケット通信ポート設定	12000	

インターフェース（コネクターピン配置）

USBインターフェース

本プリンターのUSBインターフェースはUSB1.1およびUSB 2.0（フルスピード（12Mbps））に対応しています。



ピン番号	信号名	機　能
1	VCC	
2	-DATA	
3	+DATA	
4	GND	グランド

LANインターフェース

プリントサーバー（PR-NP-08/09）のインターフェースの仕様についてはプリントサーバーのマニュアルを参照してください。

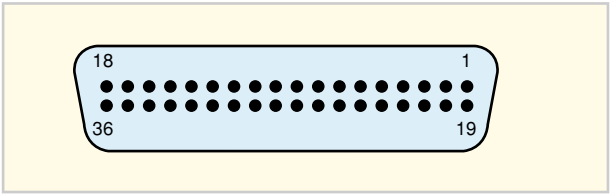
パラレルインターフェース

USB+パラレルインターフェースモデルに搭載されているパラレルインターフェースの仕様は次のとおりです。

共通仕様

項　目	仕　様
種類	セントロニクス
モード	IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース（ニブルモード）
データ入力方式	8ビット並列方式（DATA1～8）
データ入力コード	• ASCIIコード • 欧州文字対応8ビットコード • グラフィック対応8ビットコード • JIS8コード • シフトJIS漢字コード • JIS漢字コード
受信方法	• ファームウェア受信（1バイト受信） • DMA受信（連続受信）
受信バッファ容量	4Mバイト

コネクターピン接続図（IEEE1284-Bコネクター）



Pin No.	信号名	
	互換モード	ニブルモード
1	nStrobe	HostClk
2	Data1	Data1
3	Data2	Data2
4	Data3	Data3
5	Data4	Data4
6	Data5	Data5
7	Data6	Data6
8	Data7	Data7
9	Data8	Data8
10	nAck	PtrClk
11	Busy	PtrBusy
12	Perror	AckDataReq
13	Select	Xflag
14	nAutoFd	HostBusy
15	NC	NC
16	LOGIC GND	LOGIC GND
17	CHASSIS GND	CHASSIS GND
18	DCN	DCN
19	TWISTED PAIR GND（PIN1）	TWISTED PAIR GND（PIN1）
20	TWISTED PAIR GND（PIN2）	TWISTED PAIR GND（PIN2）
21	TWISTED PAIR GND（PIN3）	TWISTED PAIR GND（PIN3）
22	TWISTED PAIR GND（PIN4）	TWISTED PAIR GND（PIN4）
23	TWISTED PAIR GND（PIN5）	TWISTED PAIR GND（PIN5）
24	TWISTED PAIR GND（PIN6）	TWISTED PAIR GND（PIN6）
25	TWISTED PAIR GND（PIN7）	TWISTED PAIR GND（PIN7）
26	TWISTED PAIR GND（PIN8）	TWISTED PAIR GND（PIN8）
27	TWISTED PAIR GND（PIN9）	TWISTED PAIR GND（PIN9）
28	TWISTED PAIR GND（PIN10）	TWISTED PAIR GND（PIN10）
29	TWISTED PAIR GND（PIN11）	TWISTED PAIR GND（PIN11）
30	TWISTED PAIR GND（PIN31）	TWISTED PAIR GND（PIN31）
31	nInit	nInit
32	nFault	nDataAvail
33	GND	GND
34	NC	NC
35	NC	NC
36	nSelectIn	IEEE1284Active

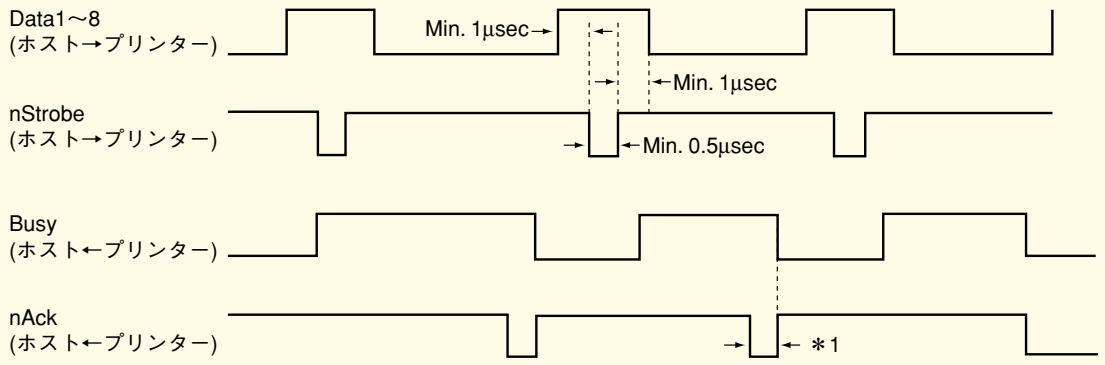
チェック

- nAckについて
  - 2章の「リモートパネル」の「パラレルI/F ACK幅変更」(117ページ)で［0.5μsec］が選択された場合の動作となります。
  - 2章の「リモートパネル」の「パラレルI/F ACK幅変更」(117ページ)で［8μsec］が選択された場合は、STROBE信号にてデータ取り込みが完了した時点でLowとなり、約8μsecのパルス信号となります。
- nInitについて
  - 2章の「リモートパネル」の「インプットプライム」(117ページ)で［無効］が設定されている場合には、Lowレベルの入力があっても電源投入後の初期状態とはなりません。
  - 2章の「リモートパネル」の「インプットプライム」(117ページ)で［無効］が設定されている場合には、次の処理を中止せずに続行します。

タイミングチャート

【通常データ受信時】

データ受信時のBUSY−ACKのタイミングは次のとおりです。



＊1　2章の「リモートパネル」の「パラレルI/F ACK幅変更」(117ページ)の設定

オフライン／エラー検出してもデータ受信可能状態となります。

プリンターの状態	出力信号			
	Busy	Select	nFault	PError
通常状態	L	H	H	L
バッファフル	H	H	H	L
復旧不可能エラー DIPSW10＝ON	H	L	L	L

RS-232Cインターフェース

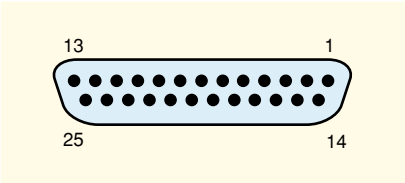
USB-RS-232Cモデルに搭載されているRS-232Cインターフェースの仕様は次のとおりです。

共通仕様

項　目	仕　様
種類	RS-232C準拠
通信形態	全2重方式
伝送速度	• 9600bps • 19200bps • 38400bps • 57600bps • 115200bps
同期方式	調歩同期方式
スタートビット	1ビット
ストップビット	• 1ビット • 2ビット
データ長	• 7ビット • 8ビット
パリティ	• 無し（NONE） • EVEN • ODD
誤り検出*1	• パリティエラー 垂直パリティエラーチェック • フレーミングエラー スタートビットより定められたフレーム内にストップビットが無い場合に発生します。
プロトコル	無手順方式
データ入力コード	• ASCIIコード • 欧州文字対応8ビットコード • グラフィック対応8ビットコード • JIS8コード • シフトJIS漢字コード • JIS漢字コード

*1　誤り検出は、電源ON直後は無効状態で有効なコマンドを受信した後から有効です。有効となってから、誤り検出した場合は、復旧不可能エラーとなります。

コネクターピン接続図



コンピューター側（9ピン）		ケーブル配線	プリンター側（25ピン）	
1	DCD		FG	1
2	RxD		RxD	2
3	TxD		TxD	3
4	DTR		CTS	4
5	GND		RTS	5
6	DSR		DTR	6
7	RTS		GND	7
8	CTS		DCD	8
9	Ri		DSR	20
			Ri	22

信号は、スライドスイッチ（254ページ参照）による設定に従ってプリンターの動作モード（モード1とモード2・モード3）に合わせた接続に切り替えることができます。

RS-232Cインターフェースボードのコネクター		RS-232Cインターフェースボード内部の接続*1	プリンターのマザーボードからの信号
1	FG		—
2	RxD		RxD
3	TxD		TxD
4	CTS		CTS
5	RTS		RTS
6	DTR		DTR
7	GND		GND
8	DCD		DCD
20	DSR		DSR
22	Ri		Ri

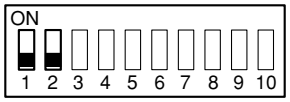
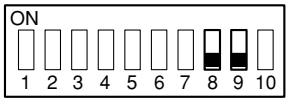
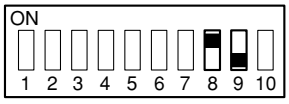
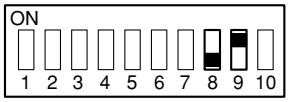
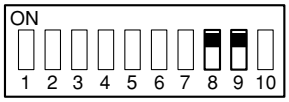
*1　赤線：モード1時の接続。
青線：モード2・モード3時の接続。

スイッチ設定

RS-232Cインターフェースボード上にはディップスイッチとスライドスイッチがあります。それぞれのスイッチの機能については、「DIP SW設定早見表（RS-232C）」（253 ページ）で詳しく説明しています。

伝送制御（プロトコル）

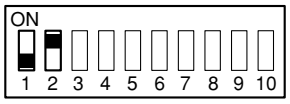
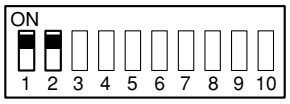
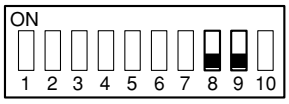
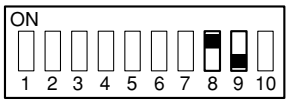
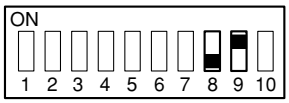
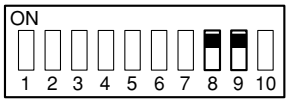
RS-232Cインターフェースボード上のDIP SW8とSW9のON/OFFで4つの伝送方式を切り替えることができます。また、伝送制御はプリンターの動作モードの設定（モード1またはモード2・3）の2つのモードによっても異なるため、合計で8つの伝送方式をサポートします。プリンターの動作モードの説明については、252ページで詳しく説明しています。

プリンター前面のDIP SW	RS-232Cインターフェースボード上のDIP SW	機能説明
モード1 （DIP SW1 ：OFF・SW2：OFF） 	**READY/BUSY(RTS)方式** （DIP SW8：OFF・SW9：OFF） 	• 電源投入後の初期化が完了すると RTS 信号を High レベル（READY）にします。 • 受信バッファの空容量が128K バイト未満となった時、RTS信号をLowレベル（BUSY）にします。 • 受信バッファの空容量が受信バッファニアフル解除となった時、RTS信号をHighレベル（READY）にします。 • DTR信号は常にHighレベル（READY）です。
	XON/XOFF(DC1/DC3)方式 （DIP SW8：ON・SW9：OFF） 	• 電源投入後の初期化が完了するとデータ受信可能となり、XON CODE（11H）を送信します。 • 受信バッファの空容量が128Kバイト未満となった時、XOFF CODE（13H）を送信します。 • 受信バッファの空容量が受信バッファニアフル解除となった時、XON CODE（11H）を送信します。 • DTR信号は常にHighレベル（READY）です。 • RTS信号は常にHighレベルです。
	READY/BUSY(DTR)方式 （DIP SW8：OFF・SW9：ON） 	• 電源投入後の初期化が完了するとデータ受信可能となり、DTR信号をHighレベル（READY）にします。 • 受信バッファの空容量が128KB未満となった時、DTR信号をLowレベル（BUSY）にします。 • 受信バッファの空容量が受信バッファニアフル解除となった時、DTR信号をHighレベル（READY）にします。 • RTS信号は常にHighレベルです。
	XON/XOFF(DC1/DC3）方式＋READY/BUSY(DTR)方式 （DIP SW8：ON・SW9：ON） 	• 電源投入後の初期化が完了するとデータ受信可能となり、DTR信号をHighレベル（READY）にします。また、XON CODE（11H）を送信します。 • 受信バッファの空容量が128KB未満となった時、DTR信号をLowレベル（BUSY）とし、XOFF CODE（13H）を送信します。 • 受信バッファの空容量が受信バッファニアフル解除となった時、DTR信号をHighレベル（READY）とし、XON CODE（11H）を送信します。 • RTS信号は常にHighレベルです。

チェック

- Windowsとの間でフロー制御を行う場合、READY/BUSY(RTS)方式を設定してください。この時、Windowsの通信ポートの設定にて、フロー制御は［ハードウェア］に設定してください。
- READY/BUSY（RTS）方式の場合、プリンターの電源投入後RTS信号がHighレベル（READY）になってから200ms後にデータを送信してください。
- READY/BUSY（DTR）方式の場合、プリンターの電源投入後DTR信号がHighレベル（READY）になってから200ms後にデータを送信してください。



プリンター前面のDIP SW	RS-232Cインターフェースボード上のDIP SW	機能説明
モード2 （DIP SW1：OFF・SW2：ON）  または **モード3** （DIP SW1：ON・SW2：ON）  	**READY/BUSY方式** （DIP SW8：OFF・SW9：OFF）  	• ソフト手順を持たずに、ハード信号による制御のみで印刷データの受信管理を行います。 • プリンターがオフラインまたはエラー発生時には受信した印刷データは保証しません。
XON/XOFF方式 （DIP SW8：ON・SW9：OFF）  	• プリンターがデータ受信可能状態にあるか否かを、“XON”（11H）または“XOFF”（13H）コードを送出することによりホストに伝えます。 • プリンターがオフラインまたはエラー発生時には受信した印刷データは保証しません。
ステータス監視（ステータス長11バイト） （DIP SW8：OFF・SW9：ON）  	• 上位ホストにてプリンターの状態を管理することを目的とし、ホストからの要求コマンドによりプリンターからステータスを返送します。 • ステータスは要求コマンドを受信後、即返送します。 • プリンターがオフラインまたはエラー発生時には受信した印刷データは保証しません。
ステータス監視（ステータス長27バイト） （DIP SW8：ON・SW9：ON）  	• 上位ホストにてプリンターの状態を管理することを目的とし、ホストからの要求コマンドによりプリンターからステータスを返送します。 • ステータスは要求コマンドを受信後、即返送します。

メ　モ

索　引

記号

「@NEC プリンタ制御（ファイル）」フォント 100
「@NEC プリンタ制御」フォント 98
~（チルダ） 99

B

BarStar Pro 174
　アンインストール 176
　インストール 174

C

CT 98

L

LabelStar Lite 177
　アンインストール 180
　インストール 177
LAN インターフェース 256

M

MultiCoder SDK 182

N

「NEC プリンタ制御（ファイル）」フォント 100
「NEC プリンタ制御」フォント 98

P

PrinterSignalStation
　アイコン一覧 154
　~が正しく動作しないときは 151
　環境設定 143
　状態 142
　ステータス 150
　ステータス一覧 156
　ソフトウェアの起動 135
　タスクトレイアイコン 135
　トレイアイコン 150
　~に関する注意事項 134
　~のアンインストール 132
　~のインストール 129
　~の使用できる環境 128
　バルーンポップアップ 136
　バルーンポップアップ一覧 155
　プリンター覧 142
　ヘルプを見る 149
　メニューの起動 138
　リモートパネルの起動 148

U

USB インターフェース 256

ア

アンインストール
　BarStar Pro 176
　LabelStar Lite 180
　プリンタードライバー 35
安全上のご注意 2
安全にお使いいただくために 1
安全にかかわる表示 ii

イ

一般感熱紙 220
［色の管理］シート 71
印刷
　~の種類と方法 78
印刷先の変更 41
［印刷設定］ダイアログボックス 53
印刷速度 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
印刷濃度 232
印刷濃度推奨設定（リストバンド） 199
印刷の詳細設定 53
印刷の手順 37
印刷範囲 219
印刷ヘッド 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
印刷方式 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
印刷方法 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
インストーラー 14
インストール
　BarStar Pro 174
　LabelStar Lite 177
　プリンタードライバー 12
インターフェース 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250, 256

ウ

薄紙印刷モード 116

オ

温度 236, 239, 240, 243, 245, 247, 249, 251

カ

外形寸法 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
カッターモジュール
　取り付け 206
カッターユニット 204, 205
カット印刷 78, 82

キ

技術情報 235
給紙方式 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
［共有］シート 70
共有プリンターに設定する 50
銀 PET 220

ケ

警告ラベル 1

コ

コート紙 220
コネクターピン配置 256
コマンドインターフェース 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, ... 250

シ

湿度 237, 239, 241, 243, 245, 247, 249, 251
質量 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
自動用紙先頭位置合わせ機能 220
寿命 236, 238, 240, 242, 245, 247, 249, 251
［詳細設定］シート 70
使用できる用紙 220
消費電力 236, 238, 240, 242, 245, 247, 249, 251
初期状態 255
シリアルインターフェース 260
白 PET 220

ス

推奨設定 232
寸法 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250

セ

［セキュリティ］シート 71
センサーしきい値（リストバンド） 193
［全般］シート 69

タ

耐保存感熱紙 220
タグ紙 220
タグ・ラベルの印刷保証範囲 230

チ

チルダ 99

テ

［デバイスの設定］シート 71

ト

ドキュメントのオプション 62
取り付け
　カッターモジュール 206
　ハクリモジュール 211
　ペーパーテーブル（L） 216

ナ

内蔵フォント 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250

ハ

バーコード 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
パーシャルカット 78, 115
排紙方式 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
ハクリ印刷 78, 87
ハクリモジュール
　取り付け 211
ハクリユニット 210
はじめに v
バックフィード速度 . 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
パラレルインターフェース 257
バンドルソフトウェア 173, 237, 239, 241, 243, 245, 247, 249, ... 251

ヒ

表示方式 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250

フ

フィード方向 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
ブザー 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
付属品
　カッターモジュール 204

ハクリモジュール 210
ペーパーテーブル（L） 216
プラグ・アンド・プレイ 27
Windows 2000 日本語版 33
Windows 8/7/Vista/Server 2012/Server 2008 日本語版 27
Windows XP/Windows Server 2003 日本語版 31
プリンター制御フォント 93
「NEC プリンタ制御（ファイル）」フォントを使ったカット指定 100
「NEC プリンタ制御」フォントを使ったカット指定 98
アプリケーションでの指定方法 96
プリンタードライバーの設定 93
プリンタードライバー 237, 239, 241, 243, 245, 247, 249, 251
2 階調しきい値 65
LAN インターフェース 44
USB インターフェース 42
アンインストール 35
イメージデータ圧縮 64
イメージデータのディザリング 65
印刷イメージ位置微調整 68
印刷速度 64
印刷濃度調整 68
印刷の最適化 62
印刷の向き 59
印刷方向 63
印刷方法 63
インストール 12
カット 66
カット間隔 66
シートごとのページ 60
シートごとのページレイアウト 62
詳細な印刷機能 62
シリアルインターフェース 48
センサー 64
装置微調整 66
ディザリングなしの色調整 65
ネガイメージ 63
～の削除 35
ハーフトーン 62
ハクリ 65
ハクリ / カット位置 67
バックフィード量 67
パラレルインターフェース 46
フィード量 66
部数 61
プリンタ制御フォント 65
ページの順序 59
ミラーイメージ 63
用紙サイズ 61
ラベルギャップ 65
プリンタードライバーの選択 39
プリンタドライバー一括設定ツール 159
フルカット 78
プレ印刷用紙 231
［プロパティ］ダイアログボックス 53

へ

ペーパーテーブル（L）
取り付け 216

ホ

［ポート］シート 70

マ

マニュアルの構成 v

ユ

有効印刷幅 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250
有効印刷部（リストバンド） 186
ユーザー定義用紙サイズ 72
リストバンド 187
有償交換部品 237, 239, 241, 243, 245, 247, 249, 251

ヨ

用紙
～のセット（カッターモジュール） 209
～のセット（ハクリモジュール） 214
保管上の注意 233
～をセットする（リストバンド） 191
用紙規格 219
用紙サイズについて 72
用紙出力 61
用紙種類 236, 238, 240, 242, 244, 246, 248, 250

リ

リストバンド
印刷できるモデル 184
印刷方法 185
種類 184
～セットする 191
センサーしきい値 193
有効印刷部 186
ユーザー定義用紙サイズの登録 187
リボン
取り付け（リストバンド用） 189
幅 221
保管上の注意 233
リボン一覧 221
リモートパネル
DHCP/BOOTP 機能設定 123
［FEED］スイッチによる印刷 117
IP アドレス 123
IP アドレス設定 123

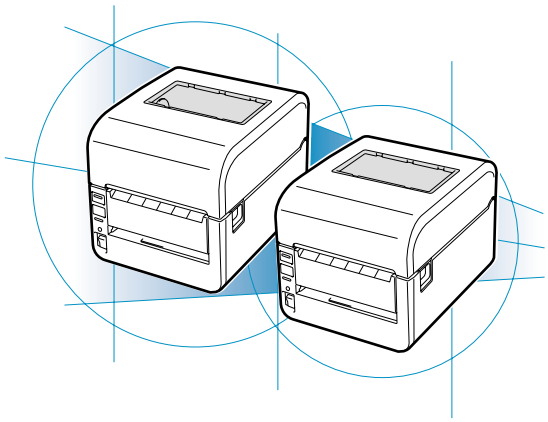
RARP 機能設定 123
X 位置微調整値 122
印刷濃度微調整（感熱） 118
印刷濃度微調整（熱転写） 118
印刷方向 114
インプットプライム 117
薄紙印刷モード 114
エラー発生時ブザー音 114
～が正しく動作しないときは 126
カッターオプション制御方法 114
カット（ハクリ）位置微調整値 119
カバークローズ後停止位置 114
黒マーク検出時の頭出し制御 117
ゲートウェイ 123
サブネットマスク 123
システムメニュー 108
自動カット位置送り機能 117
自動カット位置戻し時間 117
自動カット位置送り微調整値 120
自動正転待機位置微調整値 121
自動用紙先頭位置合わせ 114
ステータス自動送信 117
設定変更手順 124
ゼロスラッシュ 117
ソケット通信ポート設定 123
ツールバー 112
テスト印刷 111
電源 ON・カバー閉用紙確認 114
電源 ON 時の断線エラー表示 114
～のインストール 104
～の起動 107
～の削除 105
～の使い方 108
バックフィード速度 114
パラメータ設定 1 114
パラメータ設定 2 117
パラレル I/F ACK 幅変更 117
微調整設定 118
フィード量微調整値 118
プリンタ起動時の状態 117
プリンタの選択 110
プロパティシート 114
ミラー印刷 114
メニューバー 109
戻し位置微調整値 121

レ

［レイアウト］シート 59
レジンリボン 221
連続印刷 78, 79
連続印刷（リストバンド） 195

ワ

ワックスリボン 221
ワックスレジンリボン 221



NEC